

第 10 次 芦屋すこやか長寿プラン 21

策定に向けたアンケート調査

結果報告書

<案>

令和5年5月

芦屋市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	2
II. 調査結果	3
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
調査対象者の基本属性	3
1 ご家族や生活状況について	6
2 からだを動かすことについて	10
3 新型コロナウイルス感染症の影響について	20
4 食べることについて	24
5 毎日の生活について	29
6 地域での活動について	50
7 たすけあいについて	61
8 健康について	71
9 認知症について	82
10 災害時や緊急時の対応などについて	91
11 今後のサービスの利用について	95
12 生活機能評価等に関する分析	99
2. 在宅介護実態調査	110
調査対象者の基本属性	110
1 調査対象者本人について	113
2 主な介護者について	158
3 介護者の就労について	166
調 査 票	172

I. 調査の概要




1 調査目的

本調査は、令和6年度を初年度とする「第10次芦屋市すこやか長寿プラン21（第10次芦屋市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画）」の策定にあたり、市民の生活の実態や介護保険に対する考え・意向などを把握するとともに、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 実施要領

	調査区分	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
(1) 調査対象	令和5年1月1日現在で、市内在住の要介護認定を受けていない65歳以上の方から無作為抽出	令和5年1月1日現在で、市内在住の要支援・要介護認定者から無作為抽出 ※施設サービス利用者を除く
(2) 調査期間	令和5年2月1日～2月15日 (2月8日にリマインドを行い、2月22日まで延長して回収)	
(3) 調査方法	郵送による配布、郵送・WEBによる回収	
(4) 配布数	3,000件	2,000件
(5) 有効回収数 [有効回収率]	2,008件 (郵送1,872件、WEB136件) [66.9%]	1,176件 (郵送1,107件、WEB69件) [58.8%]

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
 - ・ M A % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 L A % (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合これ以外の場合は、特に断りがない限り、単数回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- (6) 表中の  は一番目に多い割合の項目、 は二番目に多い割合の項目、 は三番目に多い割合の項目を示しています。

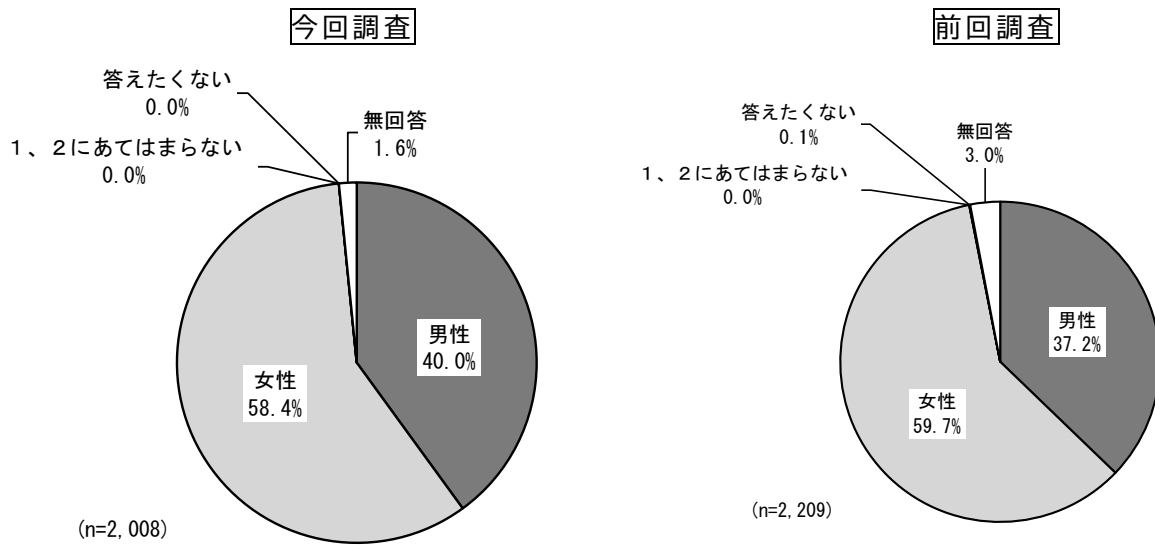
Ⅱ. 調査結果

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象者の基本属性

〔1〕性別

性別は、「男性」が40.0%、「女性」が58.4%となっています。

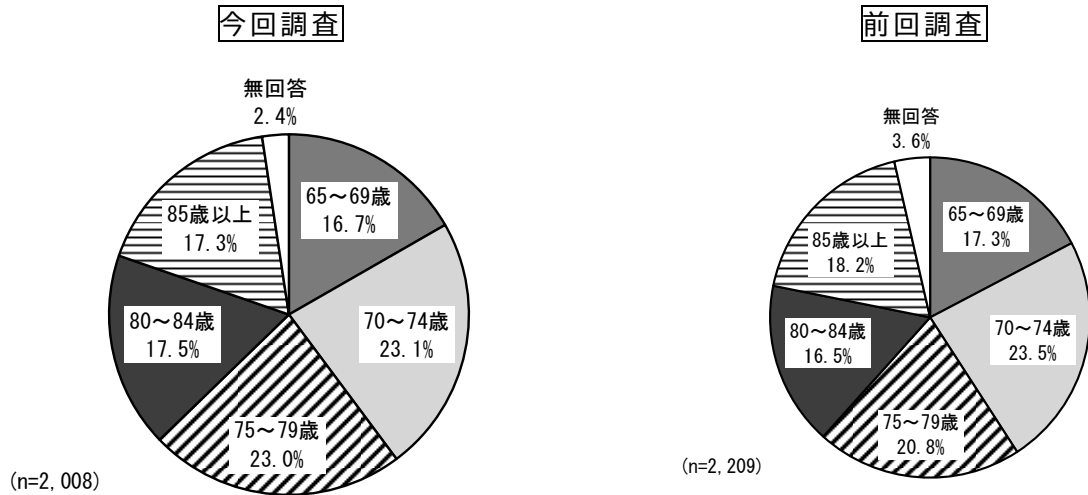


Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

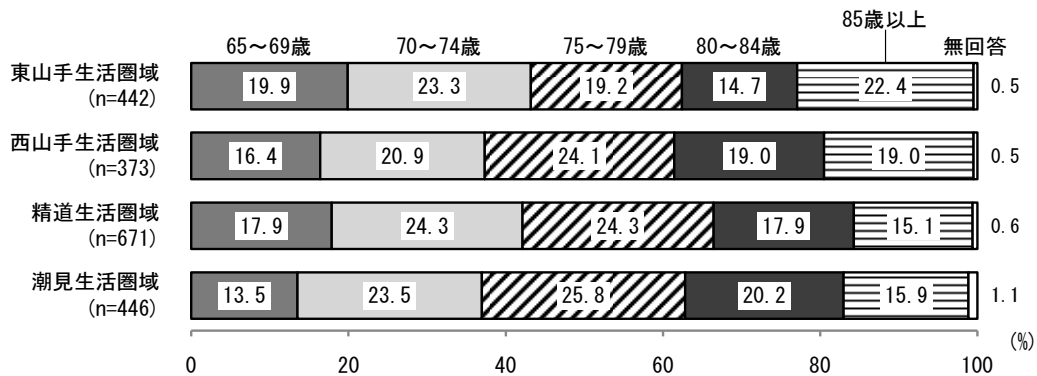
〔2〕年齢

年齢は、「70～74歳」が23.1%と最も多く、65～74歳の前期高齢者は合計39.8%、75歳以上の後期高齢者は合計57.8%で、前回調査に比べて後期高齢者の割合が2.3ポイント減少しています。

居住地域別にみると、西山手生活圏域では後期高齢者の割合が62.1%と多くなっています。

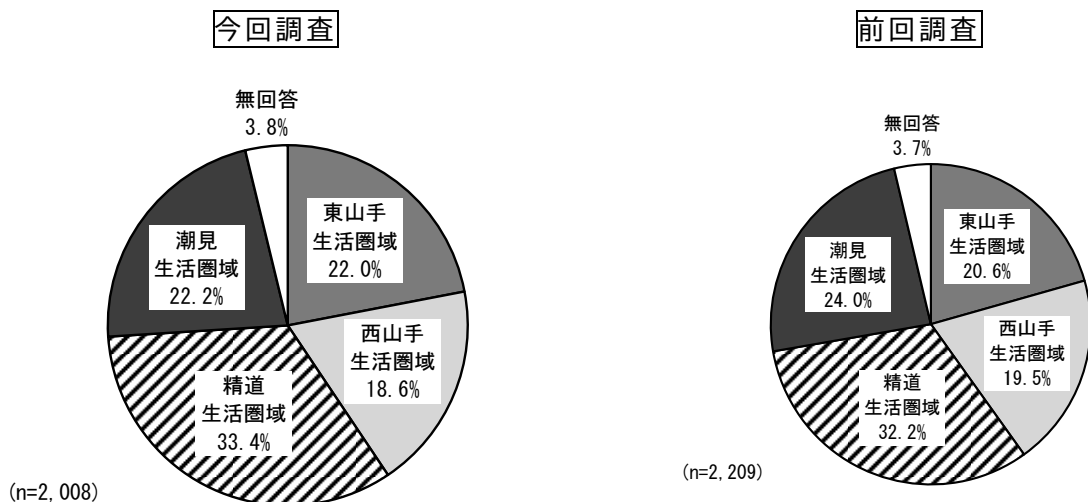


【居住地域別 年齢】



〔3〕居住地域

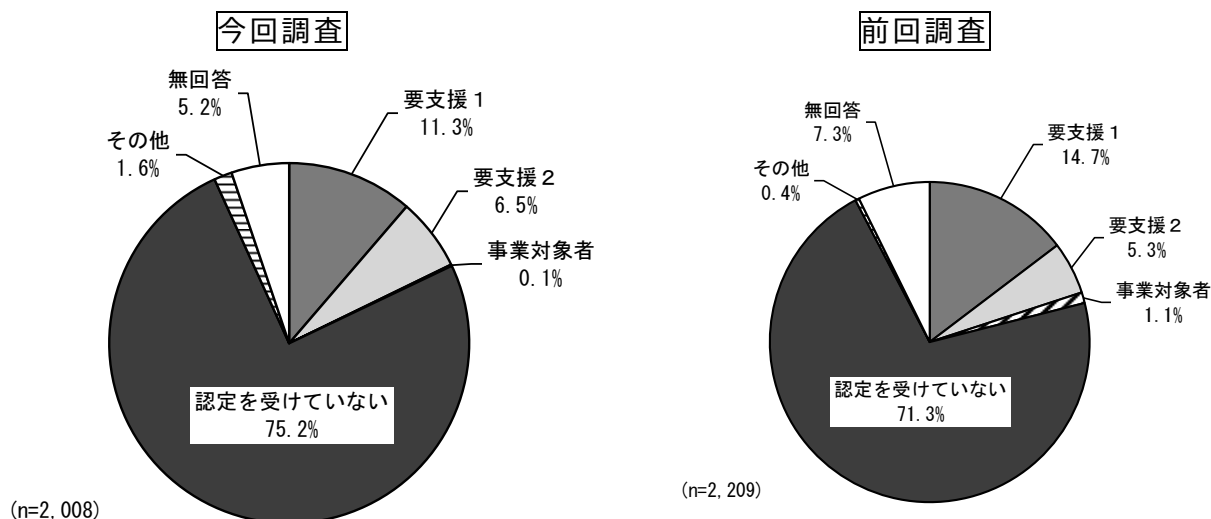
居住地域は「東山手生活圏域」が22.0%、「西山手生活圏域」が18.6%、「精道生活圏域」が33.4%、「潮見生活圏域」が22.2%となっています。



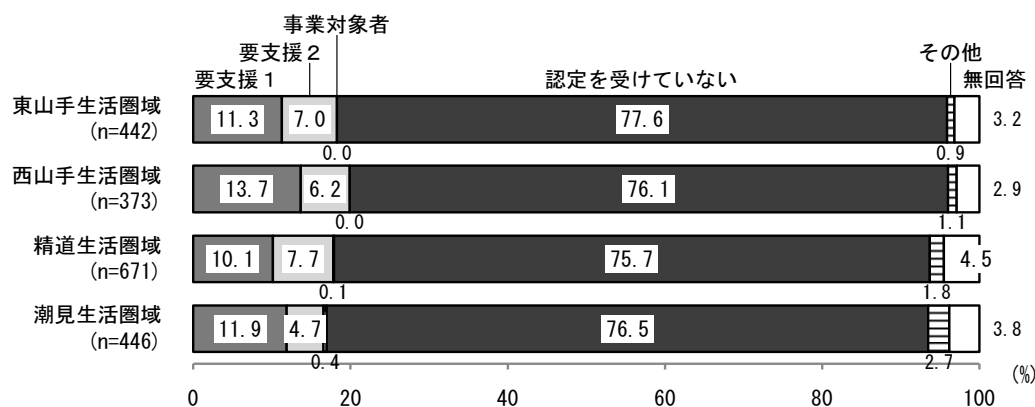
〔4〕要介護認定状況

要介護認定状況については、「要支援1」が11.3%、「要支援2」が6.5%で、要支援認定者は合計17.8%で、前回調査に比べて2.2ポイント減少しています。

居住地域別にみると、西山手生活圏域では要支援認定者は19.9%と、他の地域に比べてやや多くなっています。

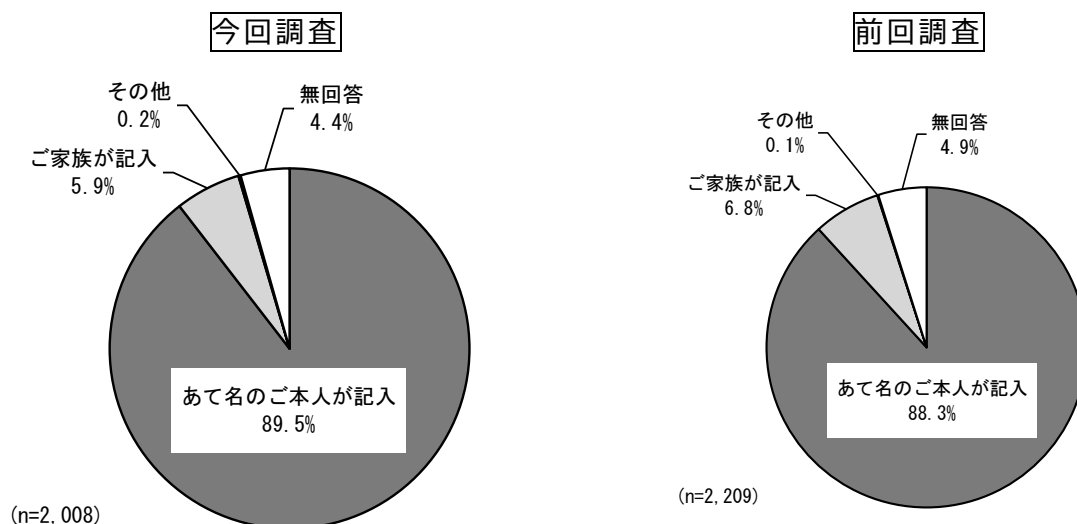


【居住地域別 要介護認定状況】



〔5〕調査票の記入者

調査票の記入者は、「あて名の本人が記入」が89.5%と多く、「家族が記入」が5.9%となっています。



1 ご家族や生活状況について

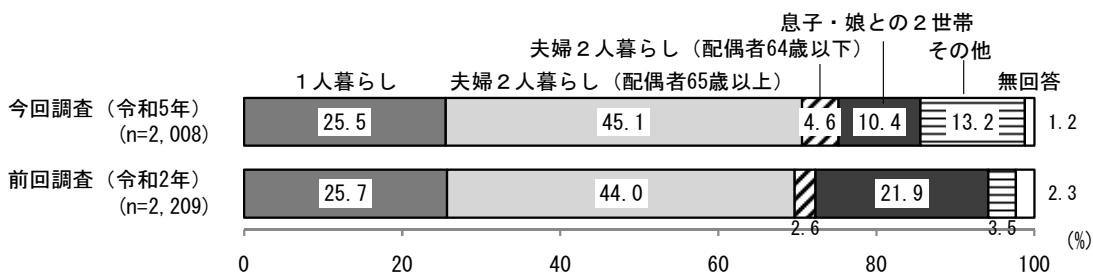
〔1〕家族構成

問1(1) 家族構成をお教えてください (1つに○)

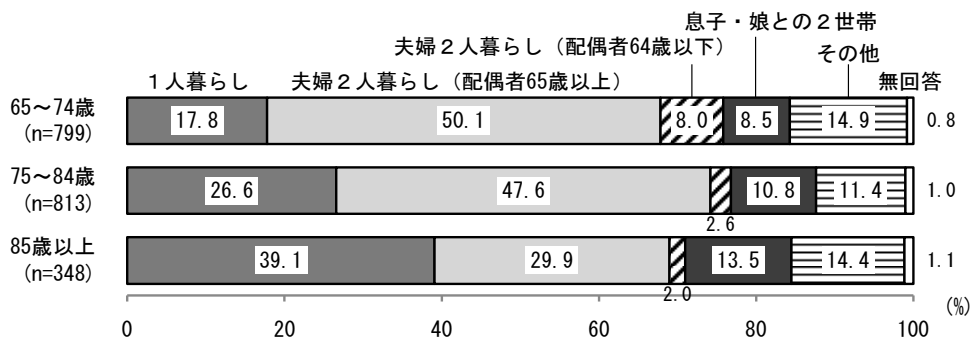
家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が45.1%と最も多く、次いで、「1人暮らし」が25.5%、「息子・娘との2世帯」が10.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が4.6%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」の割合は多くなり、85歳以上では39.1%と多くなっています。

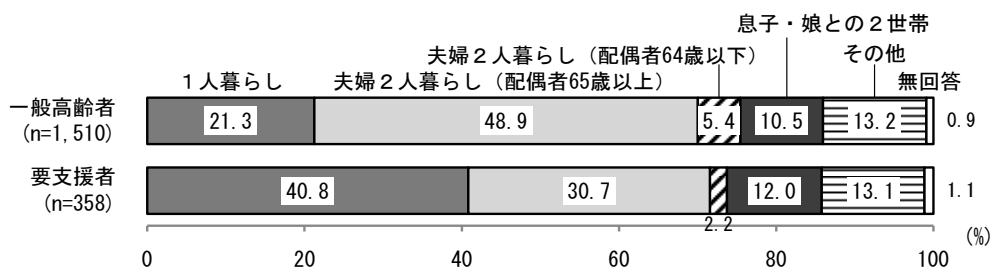
認定状況別にみると、要支援認定者では「1人暮らし」が40.8%と、一般高齢者よりも19.5ポイント多くなっています。



【年齢別 家族構成】



【認定状況別 家族構成】



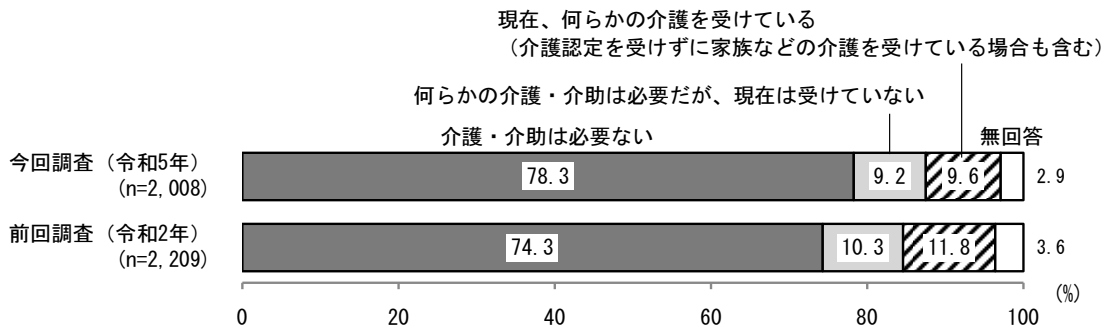
〔2〕介護・介助の必要性

問1(2) 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (1つに○)

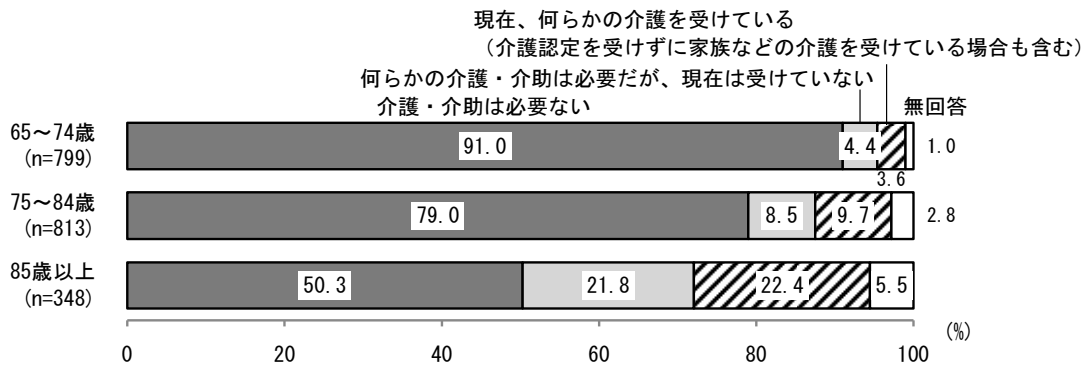
介護・介助の必要性については、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.2%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む）」が9.6%で、介護・介助の必要な人は合計18.8%となっています。前回調査に比べて、介護・介助の必要な人は3.3ポイント減少しています。

年齢別にみると、介護・介助の必要な人は75～84歳で18.2%、85歳以上で44.2%と、年齢が上がるにつれて多くなっています。

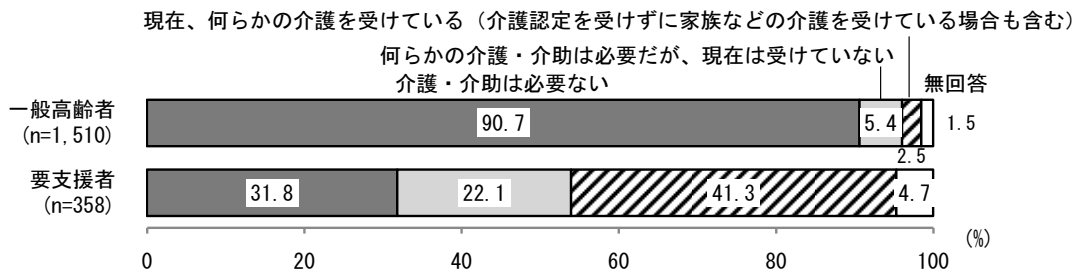
認定別にみると、要支援認定を受けているにもかかわらず、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」人は22.1%みられます。



【年齢別 介護・介助の必要性】



【認定状況別 介護・介助の必要性】

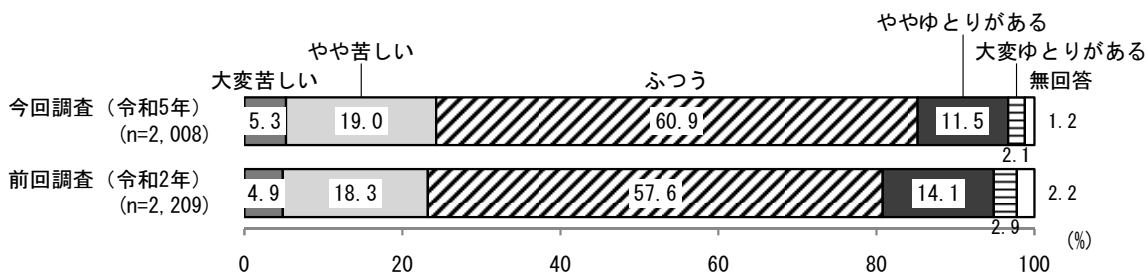


〔3〕暮らしの状況

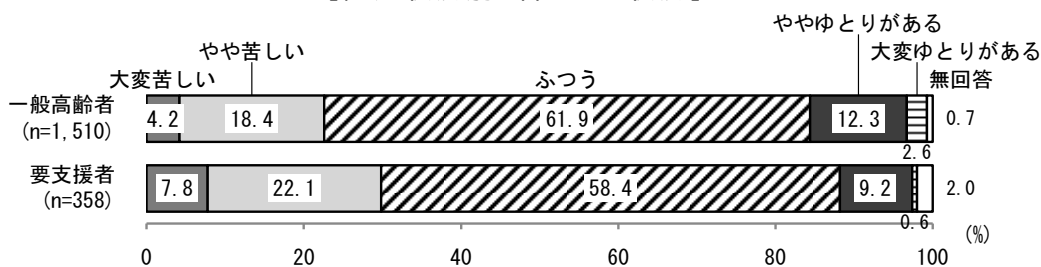
問1(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つに○)

現在の暮らしの状況については、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が合計24.3%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が合計13.6%となっています。前回調査に比べて、『ゆとりがある』は3.4ポイント減少しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では『苦しい』が29.9%と一般高齢者に比べて7.3ポイント多くなっています。



【認定状況別 暮らしの状況】



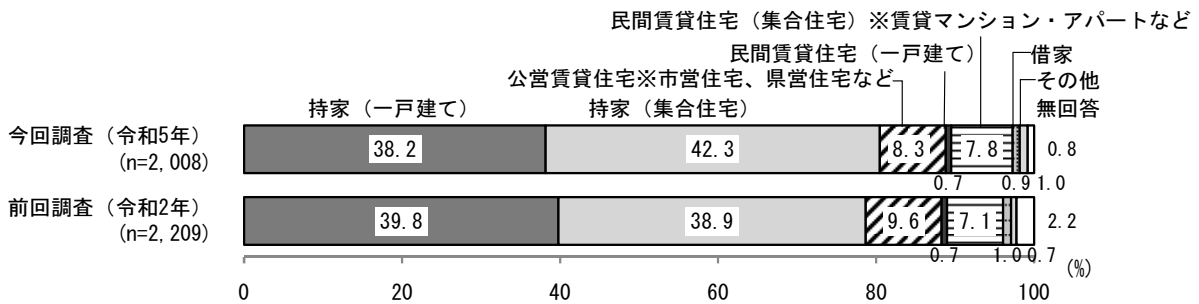
〔4〕住居形態

問1(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つに○)

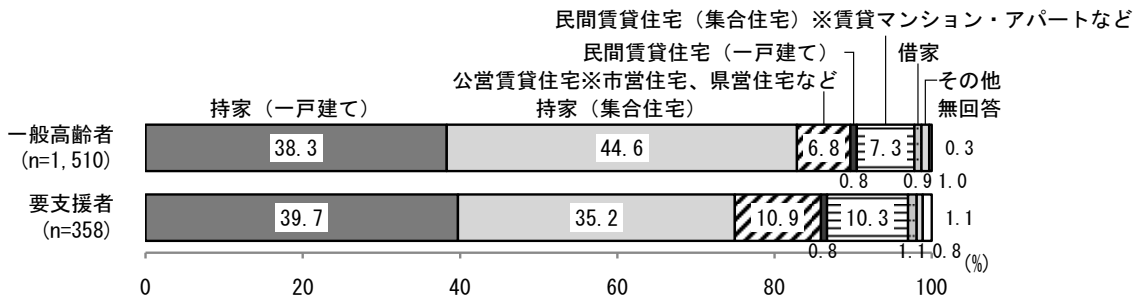
住居形態は、「持家（集合住宅）」が 42.3%と最も多く、次いで、「持家（一戸建て）」が 38.2%となっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「公営賃貸住宅」が 10.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 10.3%と、一般高齢者よりも多くなっています。

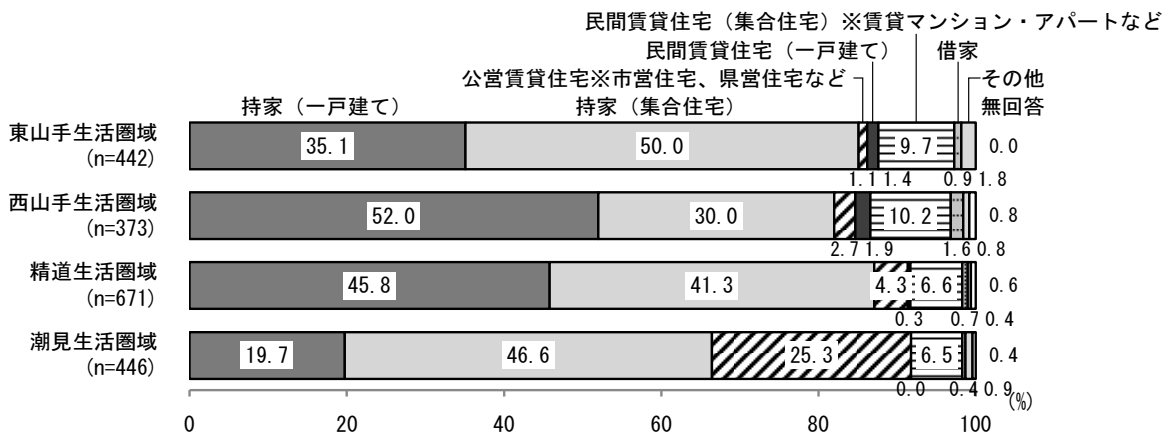
居住地域別にみると、潮見生活圏域では、他の生活圏域に比べて「持家（一戸建て）」の割合が少なく、「公営賃貸住宅」が多くなっています。



【認定状況別 住居形態】



【居住地域別 住居形態】

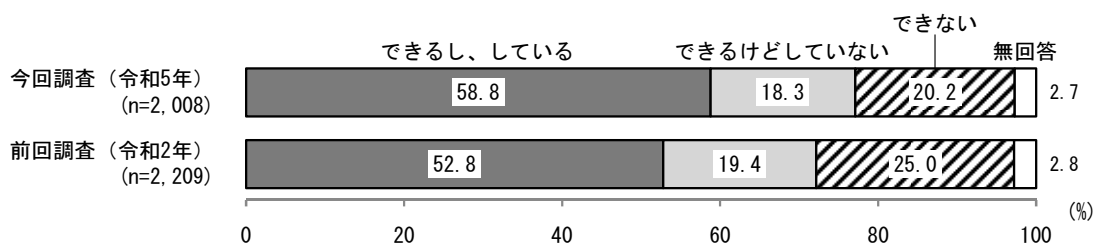


2 からだを動かすことについて

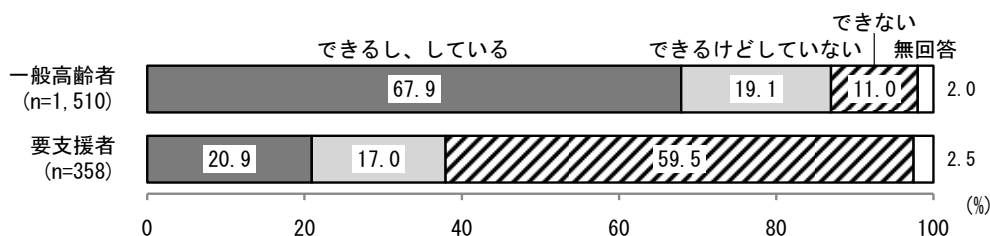
〔1〕運動機能の状況

問2(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つに○)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が58.8%となっています。前回調査に比べて、「できるし、している」が6.0ポイント増加しています。

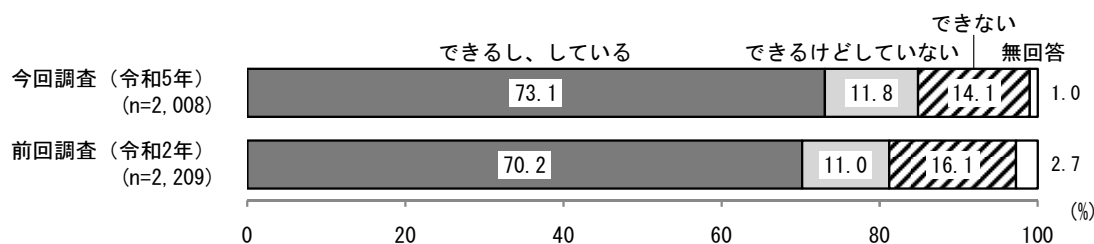


【認定状況別 階段を手すりや壁をつたわずに上っているか】

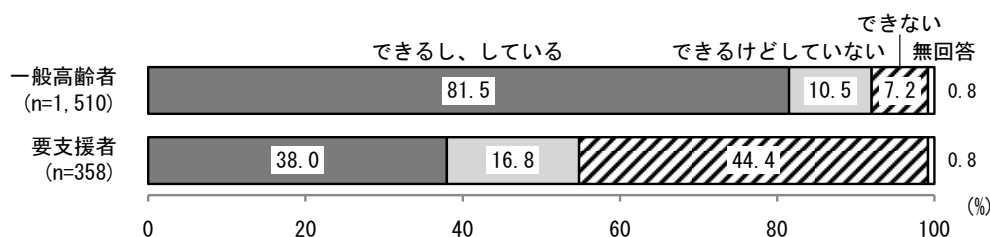


問2(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つに○)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が73.1%となっています。前回調査に比べて、「できるし、している」が2.9ポイント増加しています。

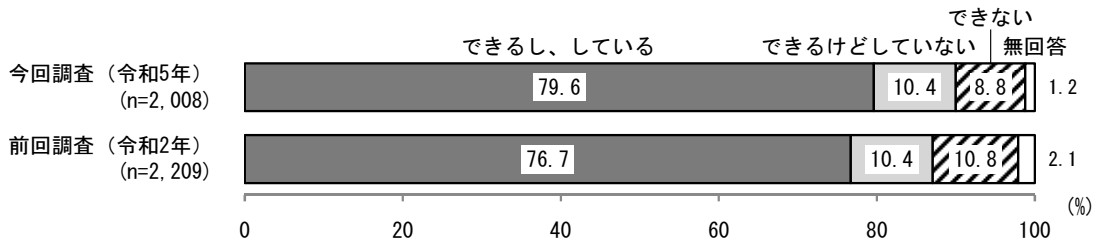


【認定状況別 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか】

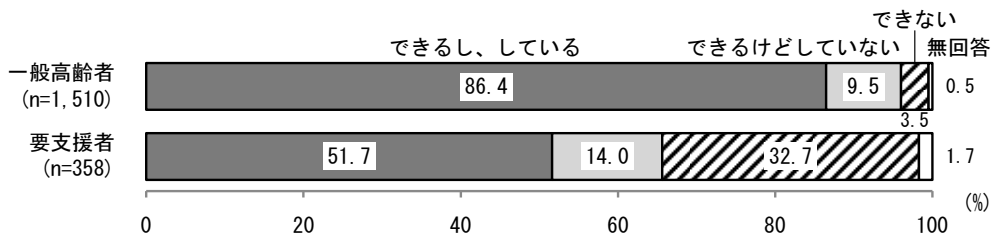


問2(3) 15分位続けて歩いていますか (1つに○)

15分位続けて歩いているかについては、「できてるし、している」が79.6%と多くなっています。前回調査に比べて、「できるし、している」が2.9ポイント増加しています。

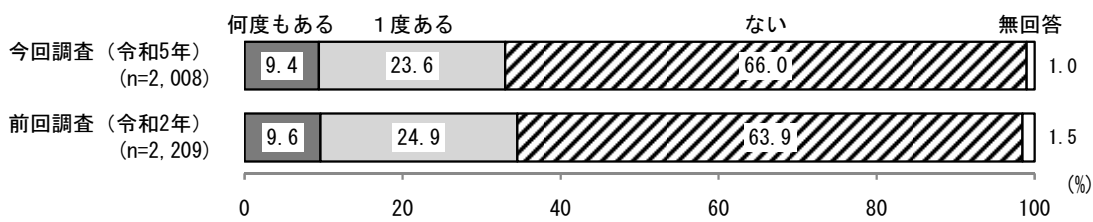


【認定状況別 15分位続けて歩いているか】

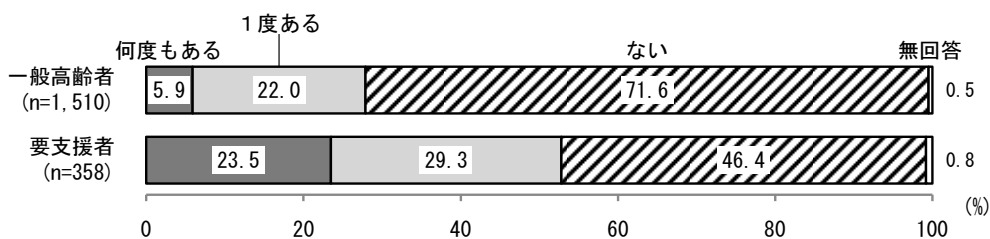


問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つに○)

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が66.0%と多く、「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』は合計33.0%となっています。



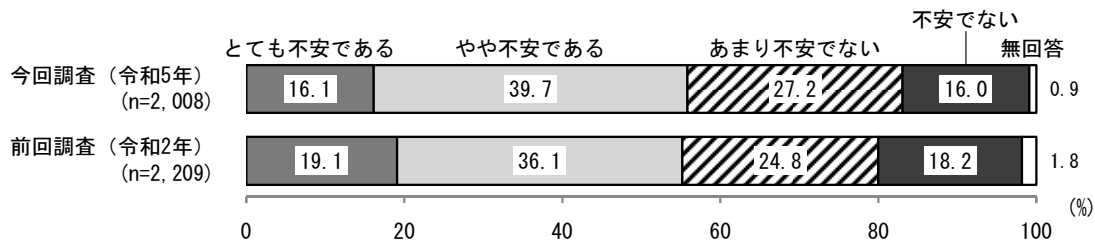
【認定状況別 過去1年間に転んだ経験の有無】



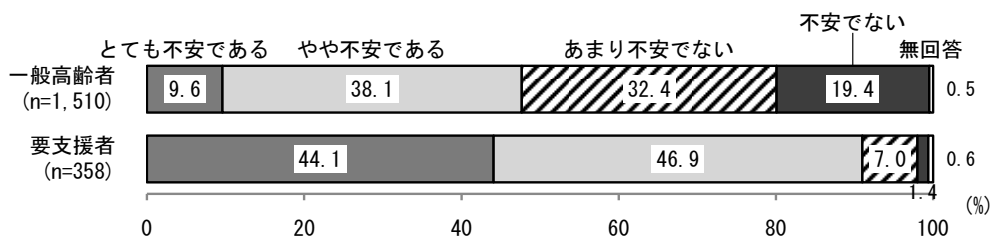
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問2(5)転倒に対する不安は大きいですか (1つに○)

転倒に対する不安については、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が合計55.8%となっています。



【認定状況別 転倒に対する不安の有無】



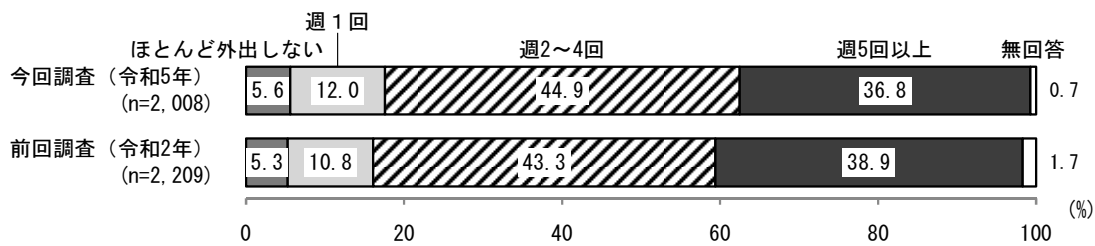
〔2〕1週間の外出回数

問2(6)週に1回以上は外出していますか (1つに○)

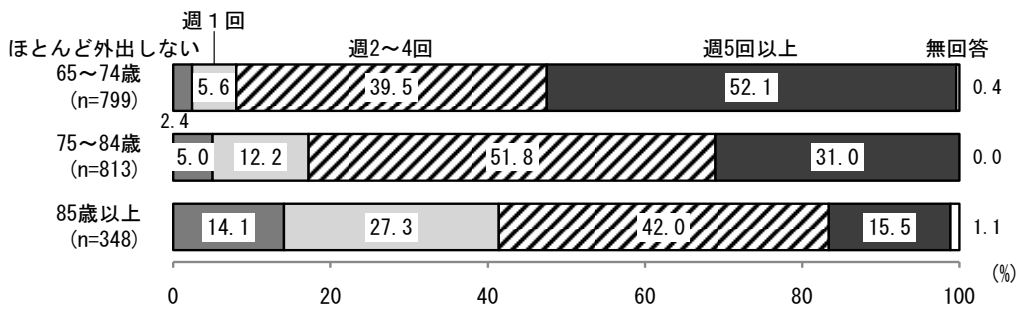
1週間の外出回数は、「週2～4回」が44.9%と最も多く、次いで、「週5回以上」が36.8%、「週1回」が12.0%、「ほとんど外出しない」が5.6%となっています。外出回数が『週1回以下』（「週1回」、「ほとんど外出しない」）は合計17.6%で、前回調査に比べて1.5ポイント増加しています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて外出の頻度は少なくなる傾向がみられ、85歳以上では『週1回以下』が4割強となっています。

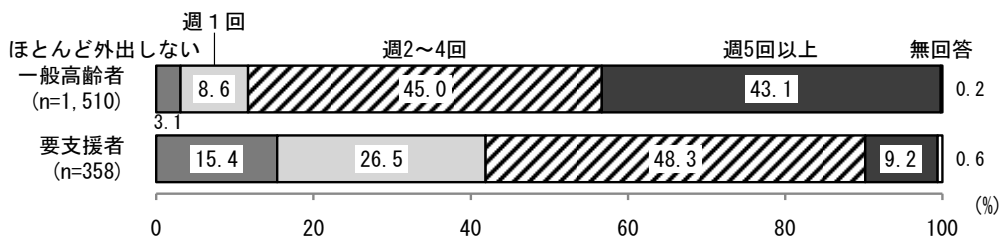
認定状況別にみると、要支援認定者では『週1回以下』が4割強となっています。



【年齢別 外出の頻度】



【認定状況別 外出の頻度】



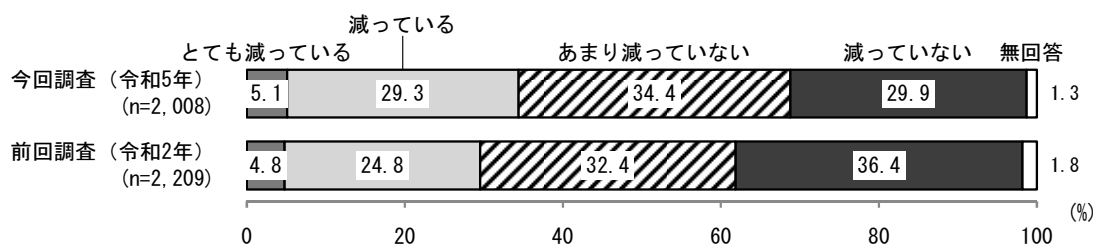
〔3〕外出回数の変化

問2(7)昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つに○)

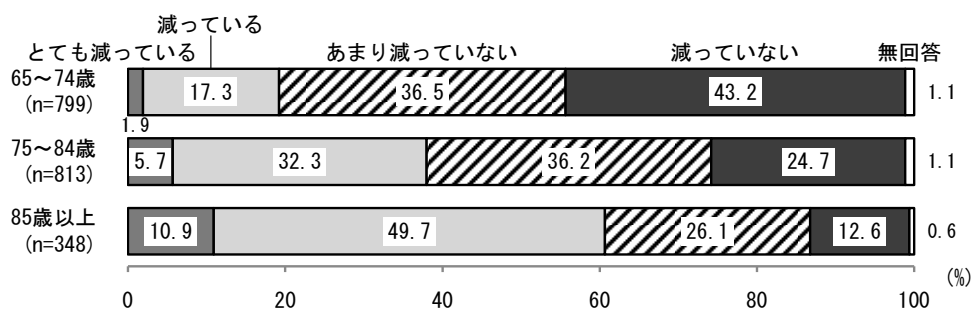
昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が34.4%、「減っていない」と「あまり減っていない」を合わせた『減っていない』が64.3%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『減っている』の割合は多くなり、85歳以上では60.6%となっています。

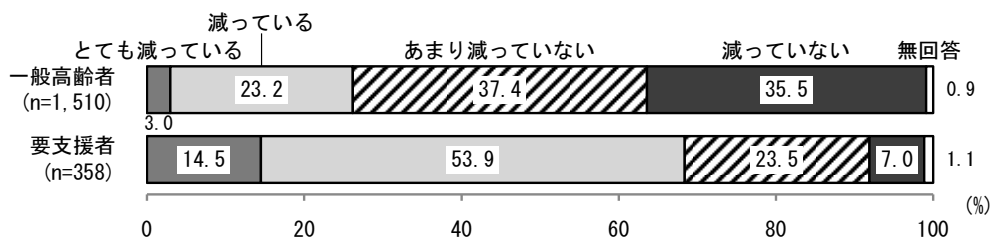
認定状況別にみると、要支援認定者では『減っている』の割合が68.4%と多くなっているのに対し、一般高齢者では『減っていない』が72.9%となっています。



【年齢別 外出回数の減少度合い】



【認定状況別 外出回数の減少度合い】



〔4〕外出する際の移動手段

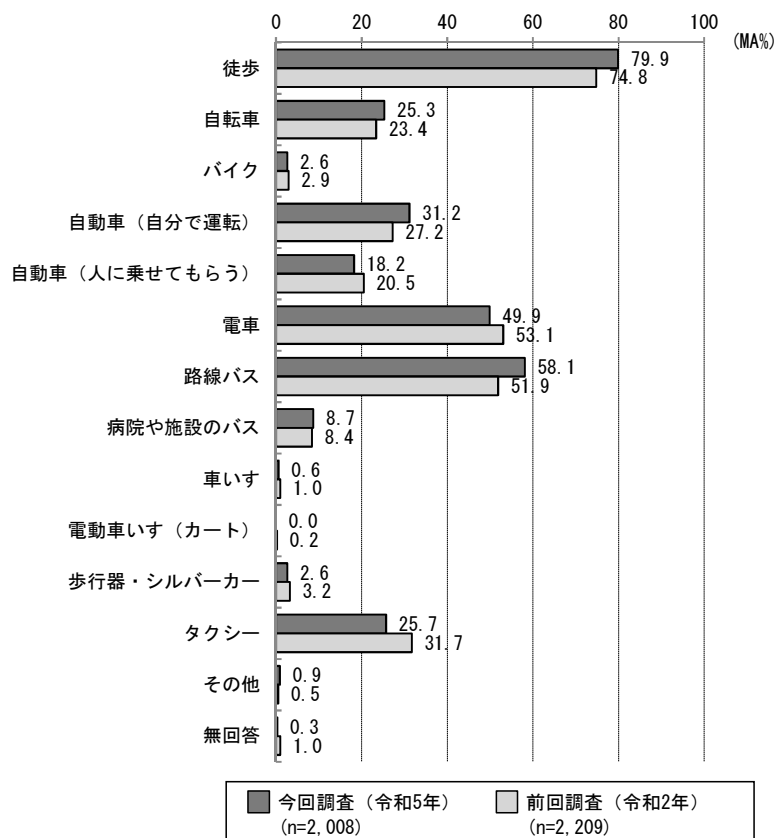
問2(8)外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

外出時の移動手段については、「徒歩」が79.9%と最も多く、次いで、「路線バス」が58.1%、「電車」が49.9%となっています。前回調査に比べて、「路線バス」が6.2ポイント増加し、「タクシー」が6.0ポイント減少しています。

年齢別にみると、「病院や施設のバス」、「車いす」、「歩行器・シルバーカー」、「タクシー」は、年齢が上がるにつれてその割合が増加しています。

認定状況別にみると、「タクシー」が要支援認定者では55.0%と、一般高齢者に比べて35.5ポイント多くなっています。

居住地域別にみると、潮見生活圏域では「路線バス」が80.9%、その他の生活圏域では「徒歩」が最も多くなっています。



Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 外出時の移動手段】

(MA%)

		n	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,008 100.0	1,604 79.9	508 25.3	52 2.6	626 31.2	366 18.2	1,002 49.9	1,167 58.1	174 8.7	13 0.6	1 0.0	53 2.6	516 25.7	18 0.9	7 0.3
性別	男性	803 100.0	671 83.6	252 31.4	35 4.4	398 49.6	88 11.0	435 54.2	427 53.2	52 6.5	3 0.4	1 0.1	7 0.9	151 18.8	3 0.4	0 0.0
	女性	1,172 100.0	909 77.6	251 21.4	16 1.4	221 18.9	272 23.2	555 47.4	725 61.9	119 10.2	10 0.9	0 0.0	45 3.8	357 30.5	14 1.2	2 0.2
年齢別	65～74歳	799 100.0	670 83.9	256 32.0	36 4.5	395 49.4	147 18.4	459 57.4	393 49.2	27 3.4	0 0.0	0 0.0	2 0.3	119 14.9	3 0.4	2 0.3
	75～84歳	813 100.0	666 81.9	211 26.0	14 1.7	207 25.5	127 15.6	409 50.3	533 65.6	84 10.3	5 0.6	0 0.0	19 2.3	227 27.9	10 1.2	0 0.0
	85歳以上	348 100.0	232 66.7	35 10.1	2 0.6	15 4.3	81 23.3	116 33.3	219 62.9	59 17.0	8 2.3	1 0.3	32 9.2	159 45.7	5 1.4	0 0.0
状況別	一般高齢者	1,510 100.0	1,277 84.6	445 29.5	43 2.8	580 38.4	248 16.4	830 55.0	861 57.0	84 5.6	2 0.1	0 0.0	7 0.5	295 19.5	9 0.6	1 0.1
	要支援者	358 100.0	226 63.1	21 5.9	5 1.4	20 5.6	94 26.3	115 32.1	220 61.5	80 22.3	11 3.1	1 0.3	45 12.6	197 55.0	9 2.5	0 0.0
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	347 78.5	63 14.3	9 2.0	151 34.2	88 19.9	204 46.2	286 64.7	32 7.2	4 0.9	0 0.0	8 1.8	159 36.0	1 0.2	0 0.0
	西山手生活圏域	373 100.0	309 82.8	46 12.3	8 2.1	130 34.9	62 16.6	207 55.5	176 47.2	28 7.5	2 0.5	0 0.0	9 2.4	114 30.6	4 1.1	1 0.3
	精道生活圏域	671 100.0	557 83.0	245 36.5	18 2.7	183 27.3	126 18.8	355 52.9	306 45.6	46 6.9	4 0.6	0 0.0	21 3.1	143 21.3	7 1.0	1 0.1
	潮見生活圏域	446 100.0	332 74.4	140 31.4	14 3.1	136 30.5	75 16.8	204 45.7	361 80.9	64 14.3	3 0.7	1 0.2	14 3.1	85 19.1	6 1.3	0 0.0

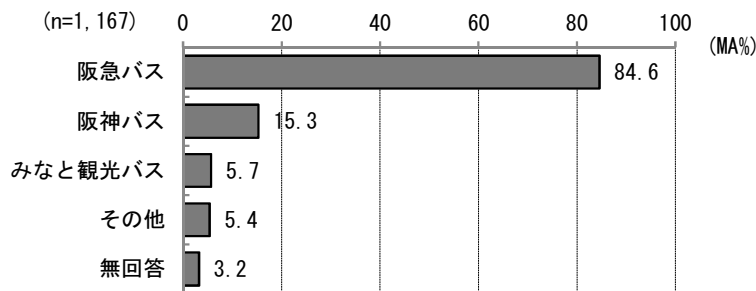
〔5〕路線バスの利用について

【問2(8)で「7.路線バス」とお答えの方】

問2(8)-1 ご本人が、普段利用する路線バスは何ですか（〇はいくつでも）

普段利用する路線バスは、「阪急バス」が84.6%と最も多く、次いで「阪神バス」が15.3%、「みなと観光バス」が5.7%となっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「阪急バス」の利用が最も多くなっていますが、精道生活圏域では「阪神バス」が、東山手生活圏域では「みなと観光バス」が、それぞれ他の地域よりも利用が多くなっています。



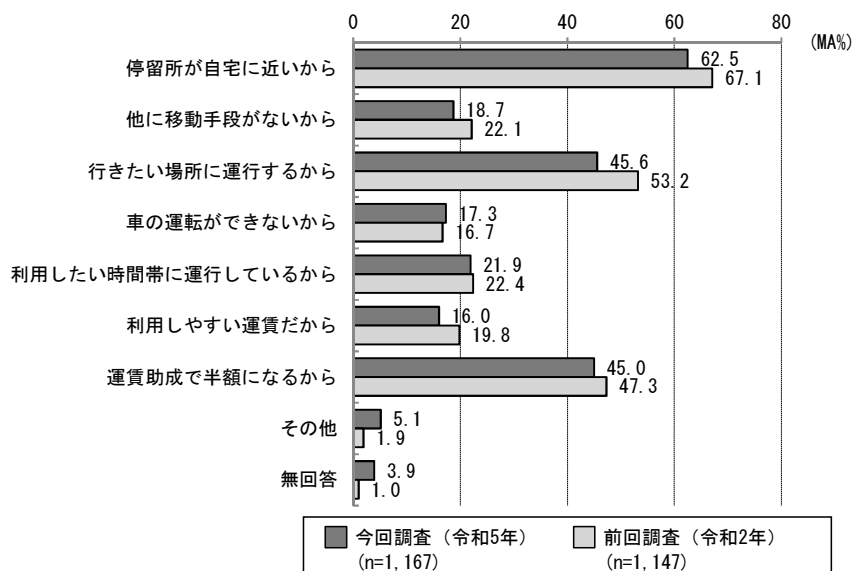
【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 外出時に利用する路線バス】

		n	阪急バス	阪神バス	みなと観光バス	その他	無回答
全体		1,167	987	178	67	63	37
		100.0	84.6	15.3	5.7	5.4	3.2
性別	男性	427	356	54	18	25	16
		100.0	83.4	12.6	4.2	5.9	3.7
性別	女性	725	619	121	47	34	21
		100.0	85.4	16.7	6.5	4.7	2.9
年齢別	65～74歳	393	332	56	32	19	10
		100.0	84.5	14.2	8.1	4.8	2.5
	75～84歳	533	451	89	18	27	20
	100.0	84.6	16.7	3.4	5.1	3.8	
	85歳以上	219	184	29	15	14	7
	100.0	84.0	13.2	6.8	6.4	3.2	
状況別	一般高齢者	861	731	127	51	42	28
		100.0	84.9	14.8	5.9	4.9	3.3
	要支援者	220	181	35	11	16	6
	100.0	82.3	15.9	5.0	7.3	2.7	
地域別	東山手生活圏域	286	233	37	44	9	6
		100.0	81.5	12.9	15.4	3.1	2.1
	西山手生活圏域	176	138	26	15	19	8
		100.0	78.4	14.8	8.5	10.8	4.5
	精道生活圏域	306	249	82	1	14	15
	100.0	81.4	26.8	0.3	4.6	4.9	
	潮見生活圏域	361	335	29	2	16	7
	100.0	92.8	8.0	0.6	4.4	1.9	

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問2(8)-2 ご本人が、路線バスを利用する理由は何ですか (〇はいくつでも)

路線バスを利用する理由は、「停留所が自宅に近いから」が62.5%と最も多く、次いで「行きたい場所に運行するから」が45.6%、「運賃助成で半額になるから」が45.0%となっています。前回調査に比べて、「車の運転ができないから」のみが0.6ポイントの微増となっており、その他の項目についてはすべて減少しています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 路線バスの利用理由】

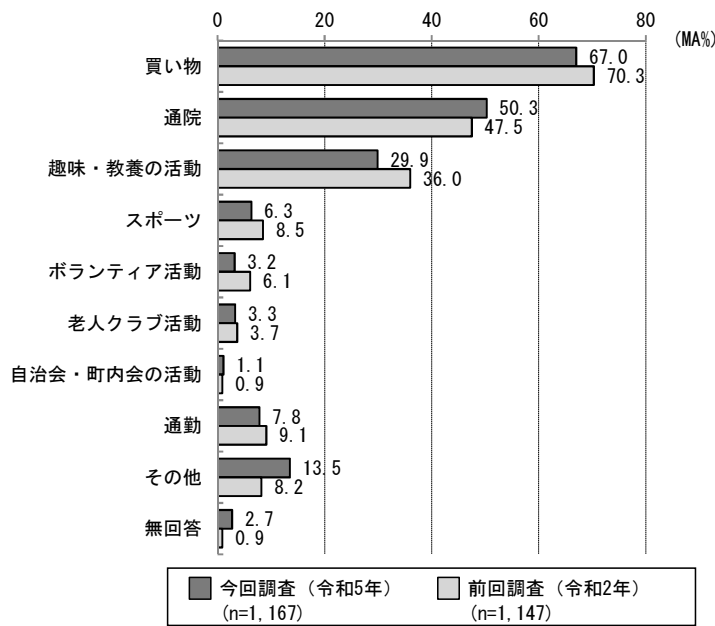
		n	停留所が自宅に近いから	他に移動手段がないから	行きたい場所に運行するから	車の運転ができないから	利用したい時間帯に運行しているから	利用しやすい運賃だから	運賃助成で半額になるから	その他	無回答
全体		1167	729	218	532	202	255	187	525	60	46
		100.0	62.5	18.7	45.6	17.3	21.9	16.0	45.0	5.1	3.9
性別	男性	427	267	68	179	59	83	67	195	18	23
	女性	725	454	145	347	138	171	116	325	40	22
		100.0	62.6	20.0	47.9	19.0	23.6	16.0	44.8	5.5	3.0
年齢別	65~74歳	393	267	51	182	61	81	48	147	27	11
	75~84歳	533	325	106	256	88	124	92	255	25	20
	85歳以上	219	122	55	85	45	48	43	116	7	14
		100.0	55.7	25.1	38.8	20.5	21.9	19.6	53.0	3.2	6.4
状況別	一般高齢者	861	538	143	407	137	180	128	388	43	28
	要支援者	220	136	60	91	51	57	47	109	11	14
		100.0	61.8	27.3	41.4	23.2	25.9	21.4	49.5	5.0	6.4
地域別	東山手生活圏域	286	197	39	123	59	73	48	126	15	11
	西山手生活圏域	176	77	38	89	32	33	28	64	11	10
	精道生活圏域	306	172	52	146	50	41	41	123	17	18
	潮見生活圏域	361	263	82	160	49	101	63	196	12	5
		100.0	72.9	22.7	44.3	13.6	28.0	17.5	54.3	3.3	1.4

問2(8)-3 ご本人が、路線バスを利用する目的は何ですか (〇はいくつでも)

路線バスを利用する目的については、「買い物」が67.0%と最も多く、次いで、「通院」が50.3%、「趣味・教養の活動」が29.9%となっています。

性別にみると、女性は「買い物」が73.4%と、男性に比べて17ポイント多く、「通院」、「趣味・教養の活動」、「スポーツ」などでも男性より女性の方が多くなっています。一方、男性は「通勤」が12.4%と、女性に比べて7.4ポイント多くなっています。

年齢別にみると、「通院」は年齢が上がるにつれてその割合が多くなり、「趣味・教養の活動」は年齢が上がるにつれて少なくなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 路線バスの利用目的】

		n	買い物	通院	趣味・教養の活動	スポーツ	ボランティア活動	老人クラブ活動	自治会・町内会の活動	通勤	その他	無回答
全体		1167	78.2	58.7	34.9	7.4	3.7	3.8	1.3	9.1	15.8	3.1
		100.0	67.0	50.3	29.9	6.3	3.2	3.3	1.1	7.8	13.5	2.7
性別	男性	427	24.1	19.8	12.1	2.1	1.4	1.5	0.3	5.3	6.8	1.5
		100.0	56.4	46.4	28.3	4.9	3.3	3.5	0.7	12.4	15.9	3.5
性別	女性	725	53.2	38.3	22.4	5.3	2.2	2.3	1.0	3.6	8.8	1.4
		100.0	73.4	52.8	30.9	7.3	3.0	3.2	1.4	5.0	12.1	1.9
年齢別	65~74歳	393	26.4	13.9	13.3	2.6	1.0	0.8	0.3	6.4	5.6	0.7
		100.0	67.2	35.4	33.8	6.6	2.5	2.0	0.8	16.3	14.2	1.8
	75~84歳	533	36.1	29.8	16.9	3.6	2.0	2.4	0.7	2.3	6.7	1.4
	100.0	67.7	55.9	31.7	6.8	3.8	4.5	1.3	4.3	12.6	2.6	
年齢別	85歳以上	219	14.2	14.0	4.3	1.2	0.6	0.3	0.2	0.2	3.1	0.8
		100.0	64.8	63.9	19.6	5.5	2.7	2.7	1.4	0.9	14.2	3.7
状況別	一般高齢者	861	58.3	38.8	27.9	6.7	3.3	3.0	1.1	8.0	11.5	2.0
		100.0	67.7	45.1	32.4	7.8	3.8	3.5	1.3	9.3	13.4	2.3
状況別	要支援者	220	14.4	15.9	4.1	0.3	0.1	0.7	0.2	0.2	2.7	1.0
		100.0	65.5	72.3	18.6	1.4	0.5	3.2	0.9	0.9	12.3	4.5
地域別	東山手生活圏域	286	21.1	13.5	9.7	3.0	1.1	0.8	0.5	3.2	3.0	0.7
		100.0	73.8	47.2	33.9	10.5	3.8	2.8	1.7	11.2	10.5	2.4
	西山手生活圏域	176	9.4	8.6	4.4	0.9	0.3	0.6	0.2	1.4	3.2	0.7
		100.0	53.4	48.9	25.0	5.1	1.7	3.4	1.1	8.0	18.2	4.0
地域別	精道生活圏域	306	19.8	14.1	8.3	1.6	0.7	1.2	0.0	0.9	4.5	0.9
		100.0	64.7	46.1	27.1	5.2	2.3	3.9	0.0	2.9	14.7	2.9
地域別	潮見生活圏域	361	25.5	21.0	11.5	1.7	1.5	1.2	0.6	3.1	4.6	0.4
		100.0	70.6	58.2	31.9	4.7	4.2	3.3	1.7	8.6	12.7	1.1

3 新型コロナウイルス感染症の影響について

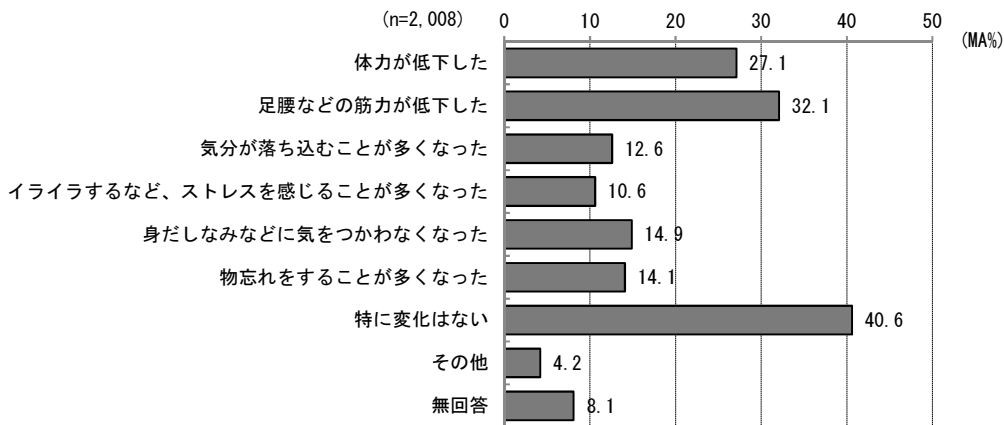
〔1〕新型コロナウイルス感染症が与えた影響

問3(1) ご本人は、新型コロナウイルス感染症の影響で、以下のような変化はありましたか（〇はいくつでも）

新型コロナウイルス感染症が心身に与えた影響については、「足腰などの筋力が低下した」が32.1%と最も多く、次いで、「体力が低下した」が27.1%となっていますが、「特に変化はない」も40.6%みられません。

性別にみると、「特に変化はない」以外のすべての項目で、女性の方が多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「足腰などの筋力が低下した」が54.2%、「体力が低下した」が43.6%と、一般高齢者に比べてそれぞれ26.7ポイント、19.8ポイント多くなっています。



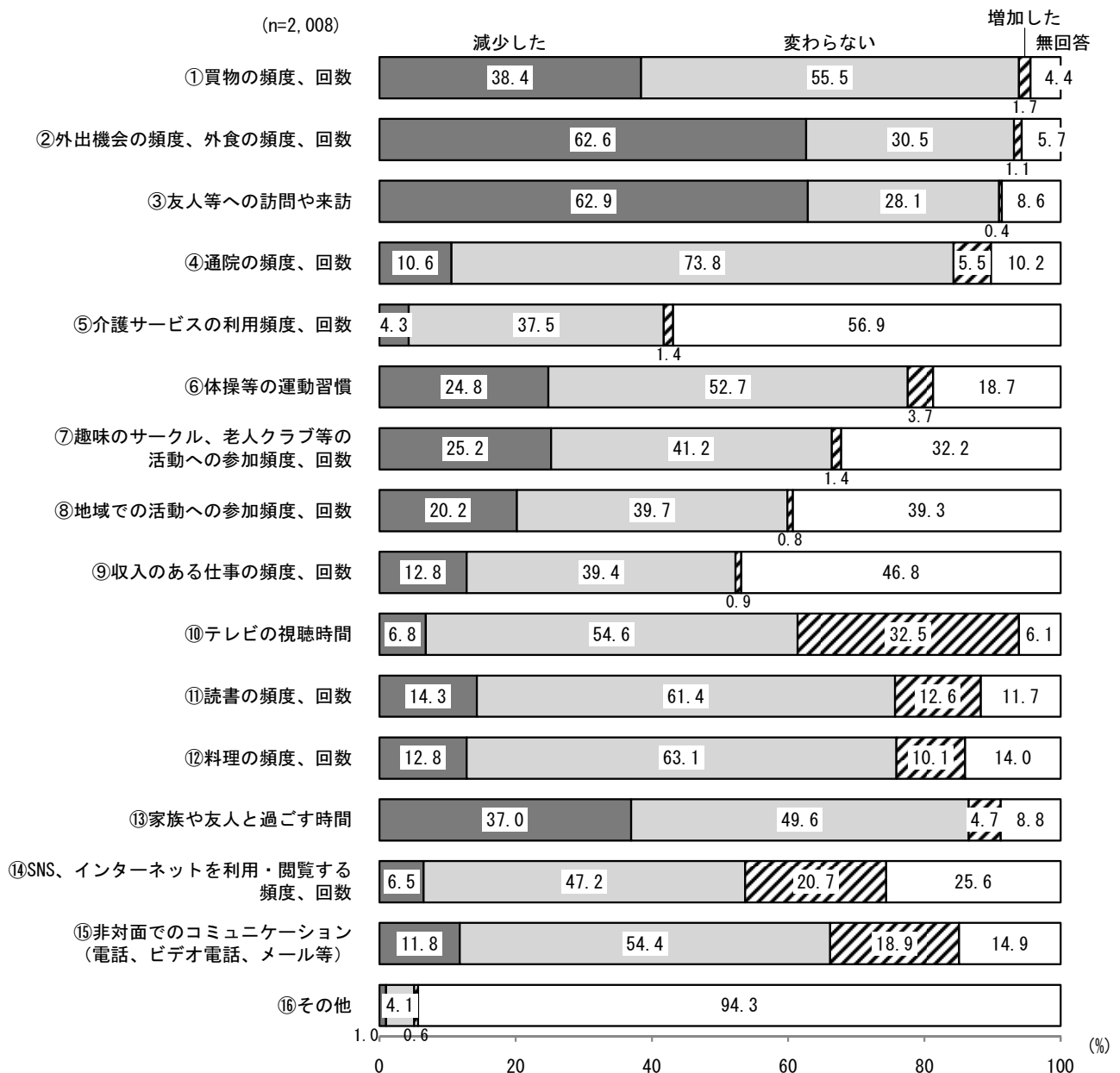
【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 新型コロナウイルス感染症の影響】

	n	体力が低下した	足腰などの筋力が低下した	気分が落ち込むことが多かった	ストレスを感じるようになった	イライラするなど、多	身だしなみなどに気がつかわなくなった	物忘れをすることが多かった	特に変化はない	その他	無回答
全体	2008	544	645	254	213	299	284	815	85	163	
	100.0	27.1	32.1	12.6	10.6	14.9	14.1	40.6	4.2	8.1	
性別	男性	803	180	219	58	71	71	94	400	33	56
	100.0	22.4	27.3	7.2	8.8	8.8	11.7	49.8	4.1	7.0	
性別	女性	1172	355	416	190	137	223	188	409	51	97
	100.0	30.3	35.5	16.2	11.7	19.0	16.0	34.9	4.4	8.3	
年齢別	65~74歳	799	162	180	83	81	114	69	404	35	41
	100.0	20.3	22.5	10.4	10.1	14.3	8.6	50.6	4.4	5.1	
	75~84歳	813	252	305	106	91	126	135	290	35	71
100.0	31.0	37.5	13.0	11.2	15.5	16.6	35.7	4.3	8.7		
85歳以上	348	119	149	59	35	53	78	105	13	39	
100.0	34.2	42.8	17.0	10.1	15.2	22.4	30.2	3.7	11.2		
認定状況別	一般高齢者	1510	359	416	161	149	212	179	699	64	101
	100.0	23.8	27.5	10.7	9.9	14.0	11.9	46.3	4.2	6.7	
要支援者	358	156	194	78	53	67	89	72	14	37	
100.0	43.6	54.2	21.8	14.8	18.7	24.9	20.1	3.9	10.3		
地域別	東山手生活圏域	442	123	140	61	46	57	59	182	22	31
	100.0	27.8	31.7	13.8	10.4	12.9	13.3	41.2	5.0	7.0	
	西山手生活圏域	373	111	135	53	45	68	54	145	14	30
	100.0	29.8	36.2	14.2	12.1	18.2	14.5	38.9	3.8	8.0	
	精進生活圏域	671	169	207	81	74	100	102	280	27	51
100.0	25.2	30.8	12.1	11.0	14.9	15.2	41.7	4.0	7.6		
潮見生活圏域	446	125	141	48	38	61	61	180	20	39	
100.0	28.0	31.6	10.8	8.5	13.7	13.7	40.4	4.5	8.7		

〔2〕コロナ禍前との日常生活の変化

問3(2) コロナ禍前と現在を比較して、ご本人の日常生活はどのように変化しましたか（それぞれに○は1つ）

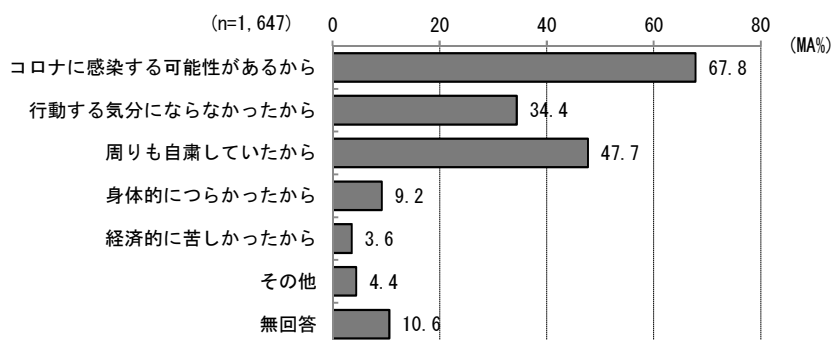
コロナ禍前と比較した日常生活の変化については、ほとんどの項目で「変わらない」が最も多くなっていますが、「減少した」が目立つものとしては、「②外出機会の頻度、外食の頻度、回数」、「③友人等への訪問や来訪」で6割強、「①買物の頻度、回数」、「⑬家族や友人と過ごす時間」で4割弱となっています。「増加した」が目立つものとしては、「⑩テレビの視聴時間」で3割強、「⑭SNS、インターネットを利用・閲覧する頻度、回数」、「⑮非対面でのコミュニケーション（電話、ビデオ電話、メール等）」で約2割となっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

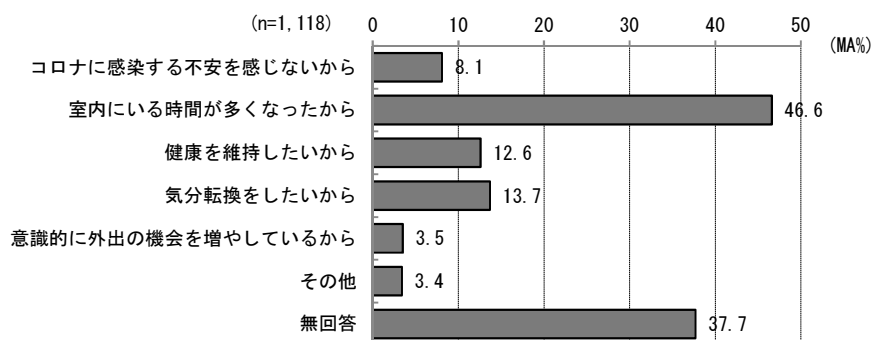
問3(2)-1 「減少した」を選択した理由は何ですか（〇はいくつでも）

「減少した」を選択した理由については、「コロナに感染する可能性があるから」が67.8%と最も多く、次いで「周りも自粛していたから」が47.7%、「行動する気にならなかったから」が34.4%となっています。



問3(2)-2 「増加した」を選択した理由は何ですか（〇はいくつでも）

「増加した」を選択した理由については、「室内にいる時間が多くなったから」が46.6%と最も多く、次いで「気分転換をしたいから」が13.7%、「健康を維持したいから」が12.6%となっています。



問3(3) コロナ禍の後に取り組みたいことは何ですか(自由記述)

854件(のべ1,169件)の回答をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

内 容	件数
旅行(国内旅行、海外旅行、温泉、バス旅行などの小旅行 など)	395件
外食(レストランで食事、家族で外食、友人とランチ など)	183件
家族や親戚、友達など、会えなかった人に会う	86件
家族や友人との会食、飲み会、懇親会、同窓会などの会合	74件
散歩、街歩き、ドライブなどの外出	60件
テニスやゴルフなどのスポーツ、体操・ウォーキングなどの運動、ジムやスポーツクラブで体力づくり	38件
映画、観劇、コンサート、展覧会、スポーツ観戦、イベントへの参加 など	36件
人との会話、おしゃべり	27件
趣味の活動(本を読む、絵を描く、カラオケ など)	23件
繁華街やデパートでのショッピング	21件
サークル活動、習い事、セミナー・口座の聴講、カルチャーセンターなど	23件
マスクなしで生活したい	17件
帰省、帰郷、墓参り	15件
自由に行動したい	12件
仕事、ボランティア活動	7件
デイサービスやリハビリに行きたい	3件
その他(のんびりマイペースに、コロナに気を付けて生活、体力の衰え等で出かけられない など)	41件
今まで通りの普通の生活	27件
特にない、意識していない	82件

4 食べることについて

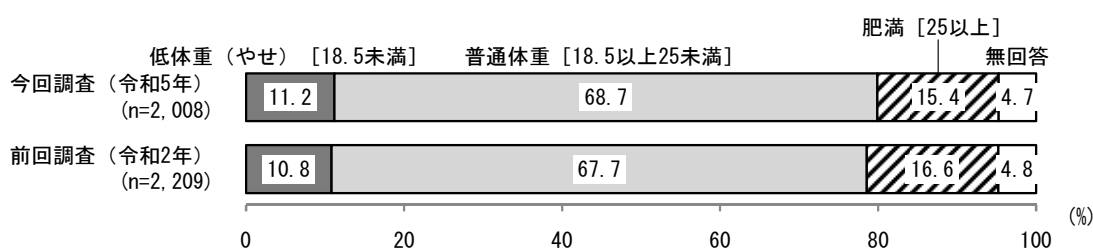
〔1〕BMI

問4(1) 身長・体重

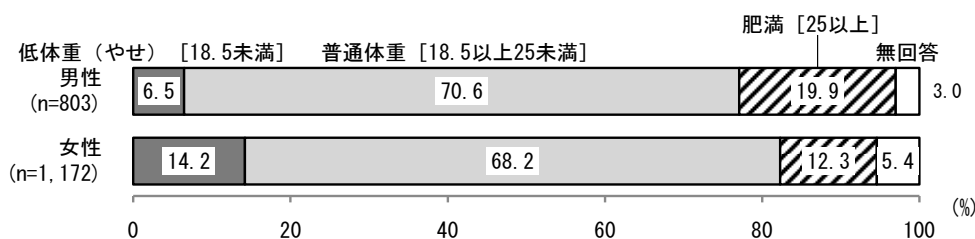
身長・体重から算出したBMI値をみると、「普通体重 [18.5以上25未満]」が68.7%と最も多く、次いで、「肥満 [25以上]」が15.4%、「低体重 (やせ) [18.5未満]」が11.2%となっています。

性別にみると、男性は「肥満 [25以上]」が19.9%と女性に比べて多く、女性は「低体重 (やせ) [18.5未満]」が14.2%と男性に比べて多くなっています。

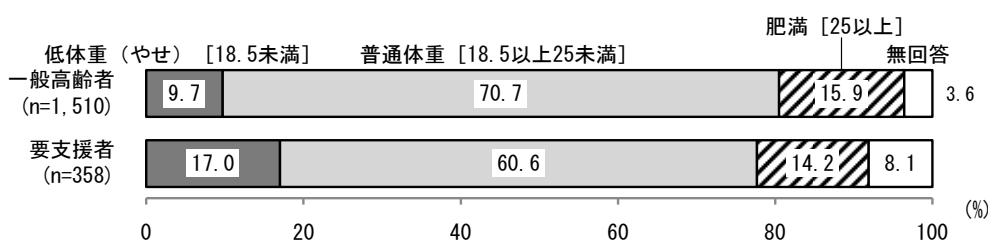
認定状況別にみると、要支援認定者では「低体重 (やせ) [18.5未満]」が17.0%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



【性別 BMI】



【認定状況別 BMI】

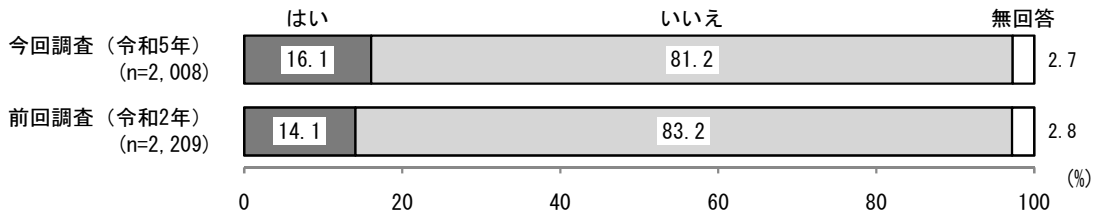


〔2〕体重減少の有無

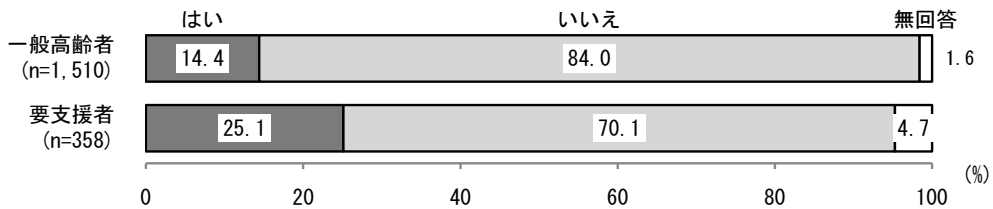
問4(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が16.1%、「いいえ」が81.2%となっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が25.1%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



【認定状況別 体重の増減】

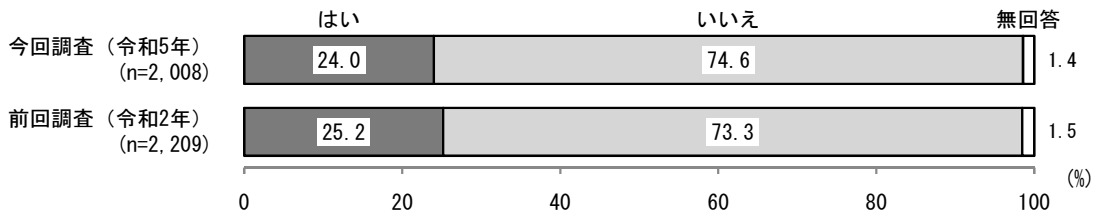


〔3〕口腔機能の状況

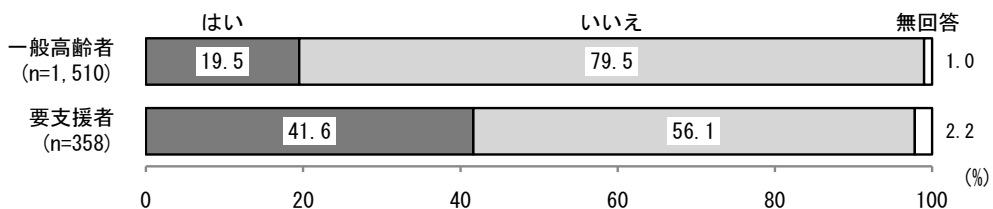
問4(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が24.0%、「いいえ」が74.6%となっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が41.6%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



【認定状況別 固いものが食べにくくなったか】

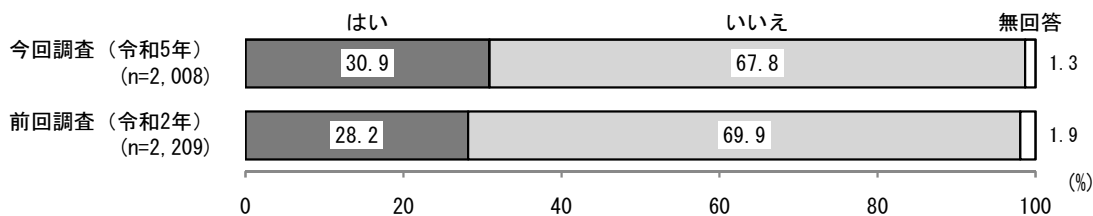


II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

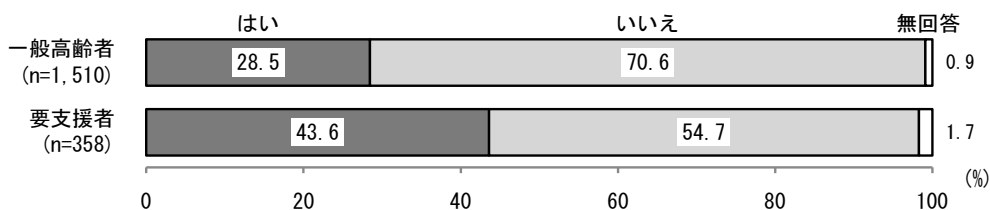
問4(4) お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が30.9%、「いいえ」が67.8%となっています。前回調査に比べて、「はい」が2.7ポイント増加しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が43.6%と一般高齢者に比べて多くなっています。



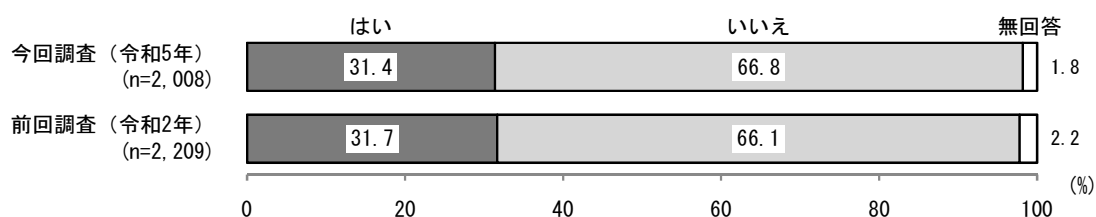
【認定状況別 お茶や汁物等でむせることがあるか】



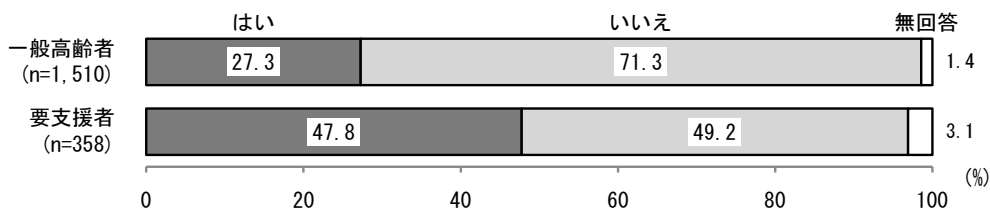
問4(5) 口の渇きが気になりますか

口の渇きが気になるかについては、「はい」が31.4%、「いいえ」が66.8%となっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が47.8%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



【認定状況別 口の渇きが気になるか】



〔4〕歯の数と入れ歯の利用状況

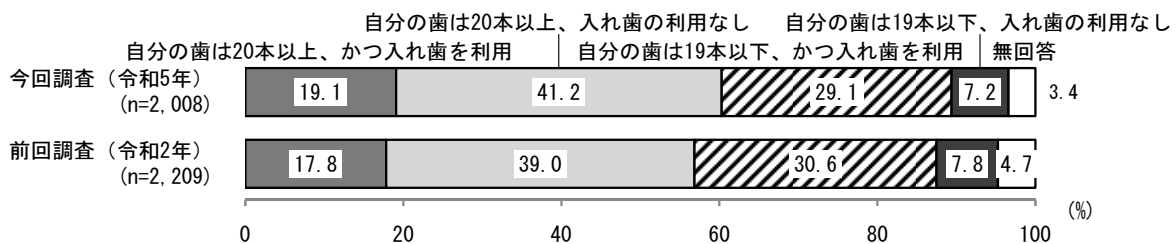
問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (1つに○)

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です

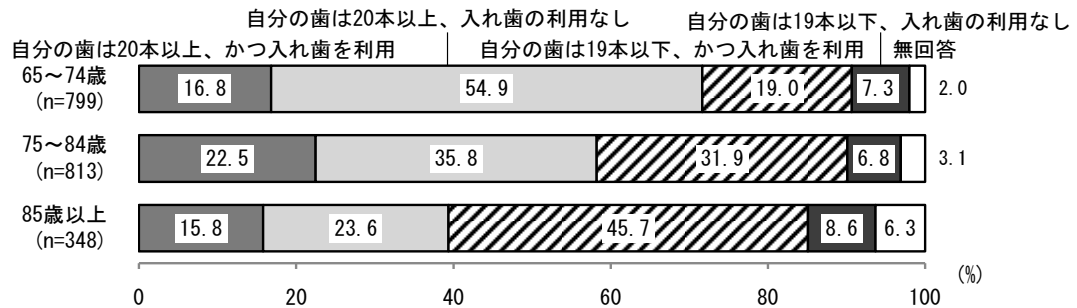
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が41.2%と最も多く、次いで、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が19.1%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が7.2%となっています。『自分の歯は20本以上』は合計60.3%で、前回調査に比べて3.5ポイント増加しています。

年齢別にみると、『自分の歯は20本以上』は65～74歳で71.7%、75～84歳で58.3%、85歳以上では39.4%となっています。

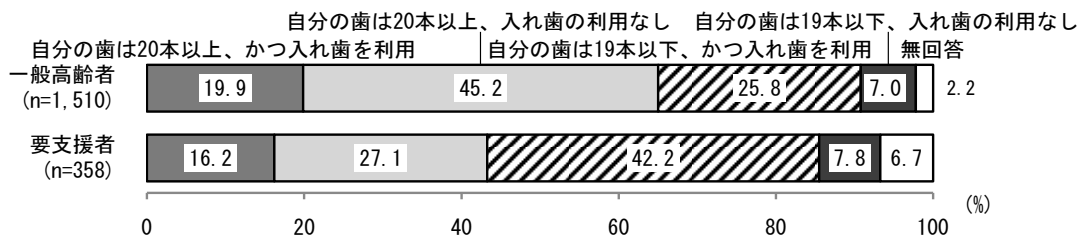
認定状況別にみると、要支援認定者では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が42.4%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



【年齢別 歯の数と入れ歯の利用状況】



【認定状況別 歯の数と入れ歯の利用状況】



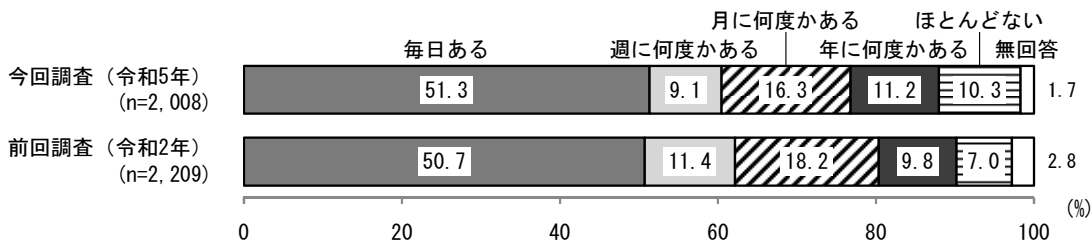
〔5〕共食の状況

問4(7) どなたかと食事をとる機会がありますか (1つに○)

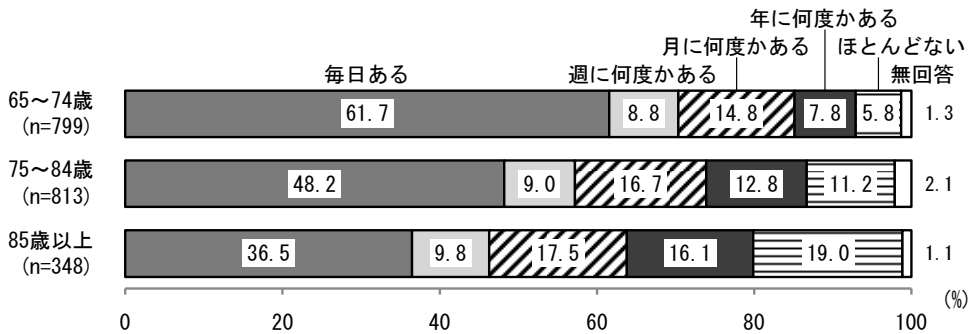
共食の状況については、「毎日ある」が51.3%と最も多く、次いで、「月に何度かある」が16.3%、「年に何度かある」が11.2%、「週に何度かある」が9.1%、「ほとんどない」が10.3%となっています。週に1回以上誰かと食事をとっている人は60.4%で、前回調査に比べて1.7ポイント減少しています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「ほとんどない」の割合が増え、共食の機会が少なくなっていることがうかがえます。

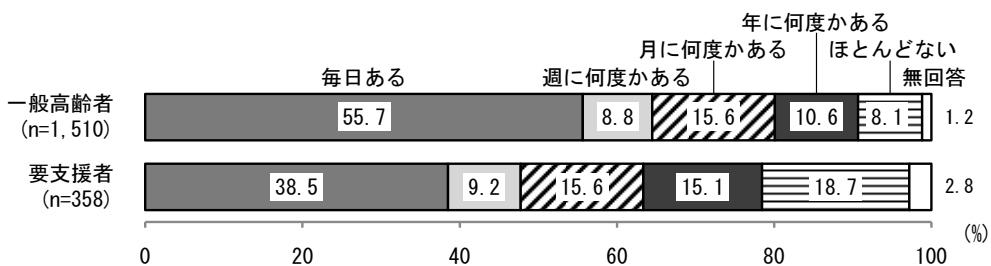
認定状況別にみると、要支援認定者では「毎日ある」は38.5%と、一般高齢者に比べて少なくなっています。



【年齢別 共食の状況】



【認定状況別 共食の状況】

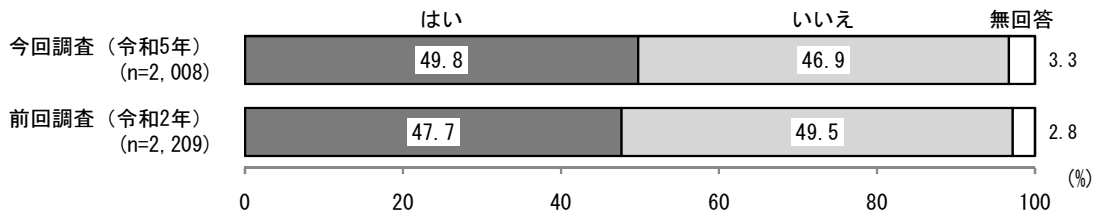


5 毎日の生活について

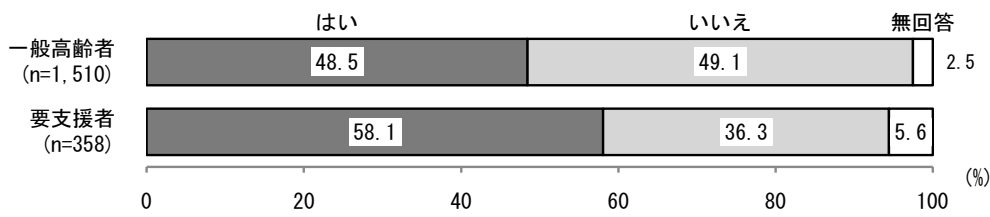
〔1〕認知機能の状況

問5(1) 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が49.8%、「いいえ」が46.9%となっています。
認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が58.1%と、一般高齢者に比べて多くなっています。

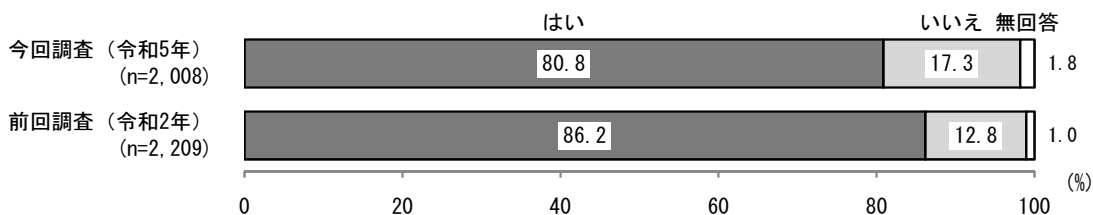


【認定状況別 物忘れが多いと感じるか】

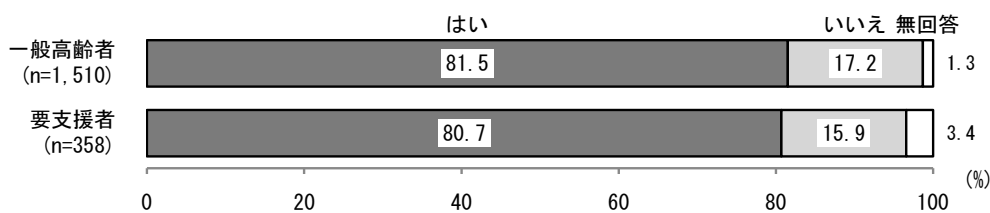


問5(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているかについては、「はい」が80.8%、「いいえ」が17.3%となっています。前回調査に比べて、「はい」が5.4ポイント減少しています。



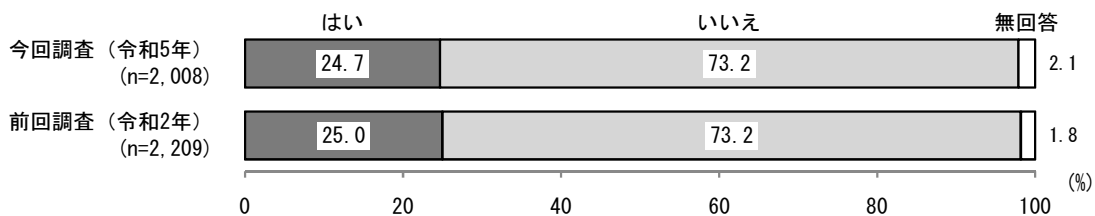
【認定状況別 自分で電話番号を調べて電話をかけているか】



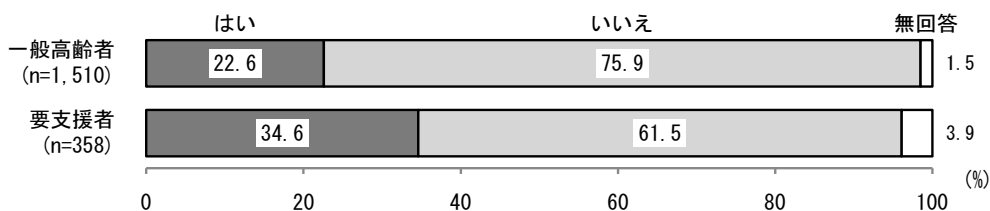
問5(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が24.7%、「いいえ」が73.2%となっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が34.6%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



【認定状況別 今日が何月何日かわからない時があるか】

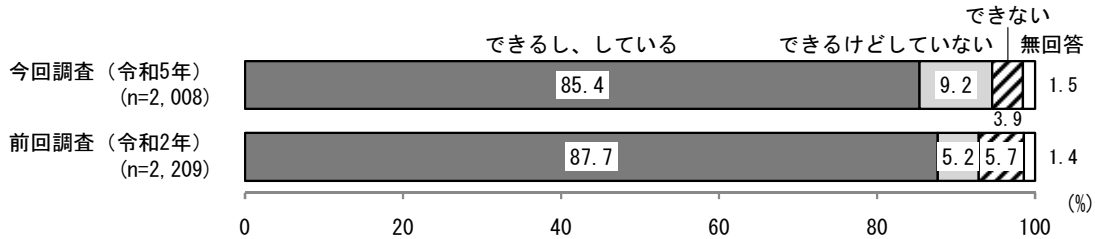


〔2〕手段的日常生活動作の状況

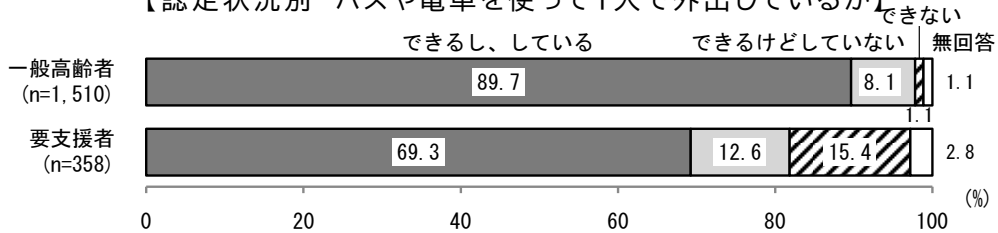
問5(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(タクシーや自家用車でも可)

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が85.4%と多くなっています。前回調査に比べて、「できるけどしていない」が4.0ポイント増加しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「できるし、している」が69.3%と、一般高齢者に比べて少なくなっています。



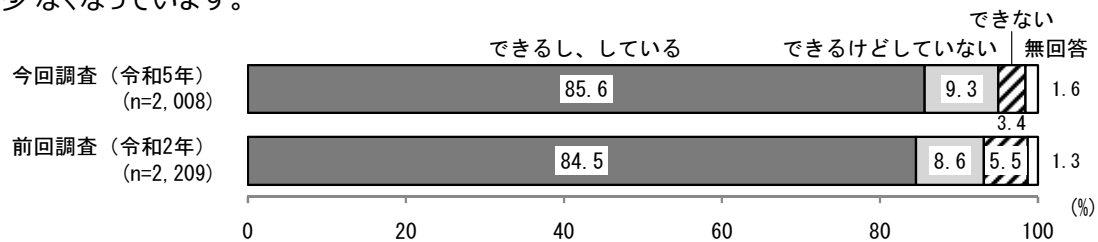
【認定状況別 バスや電車を使って1人で外出しているか】



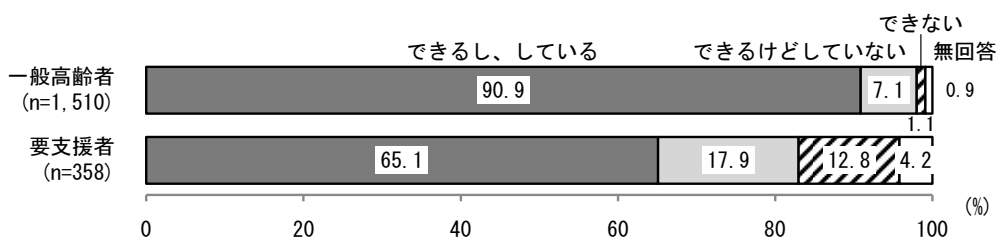
問5(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が85.6%と多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「できるし、している」が65.1%と、一般高齢者に比べて少なくなっています。



【認定状況別 自分で食品・日用品の買物をしていますか】

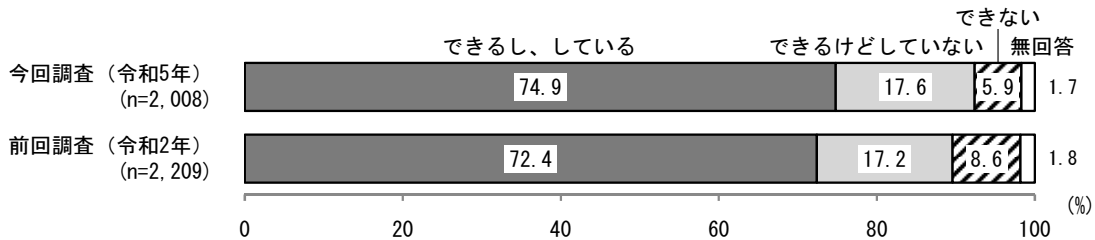


II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

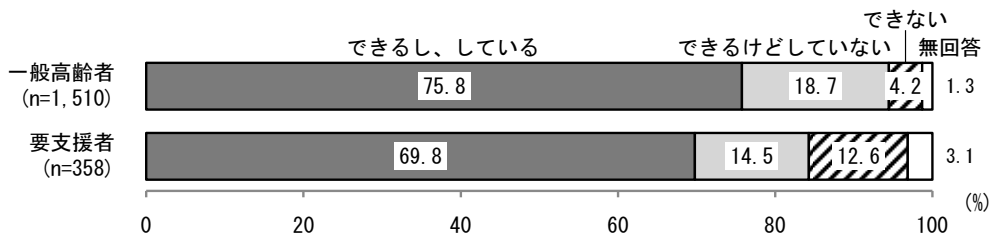
問5(6) 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が 74.9%と多くなっています。前回調査に比べて、「できるし、している」が 2.5 ポイント増加しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「できない」が 12.6%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



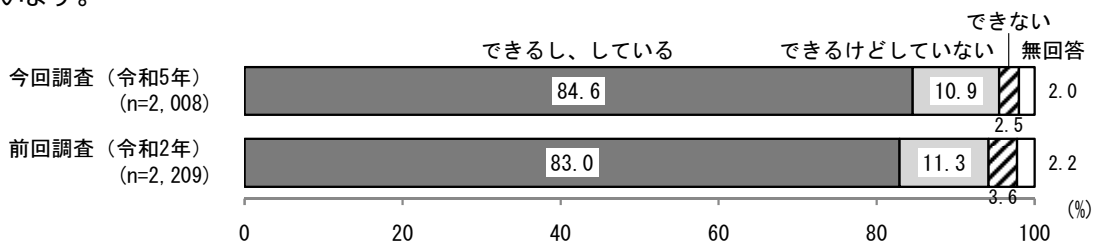
【認定状況別 自分で食事の用意をしているか】



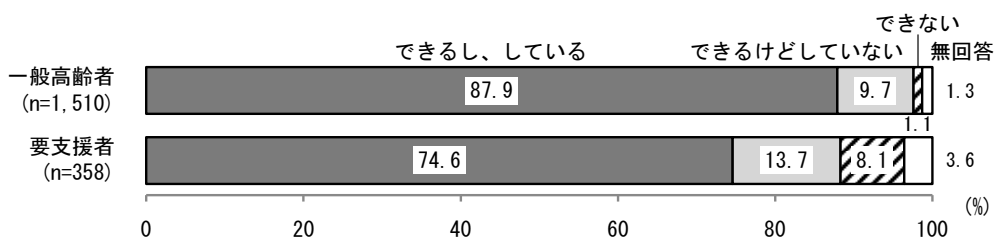
問5(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が 84.6%と多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「できない」が 8.1%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



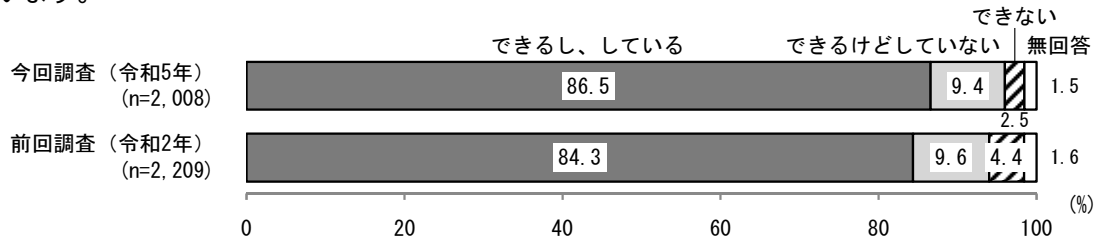
【認定状況別 自分で請求書の支払いをしているか】



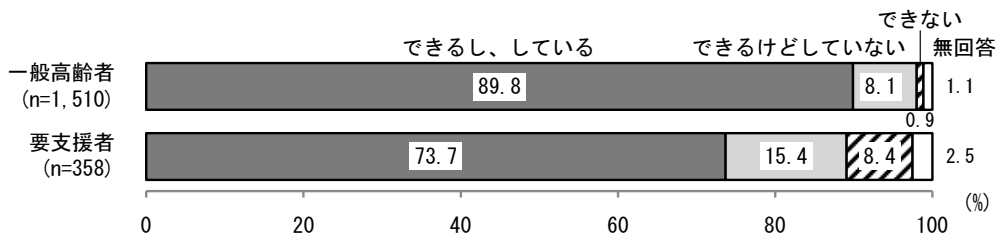
問5(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が 86.5%と多くなっています。前回調査に比べて、「できるし、している」が 2.2 ポイント増加しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「できない」が 8.4%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



【認定状況別 自分で預貯金の出し入れをしているか】

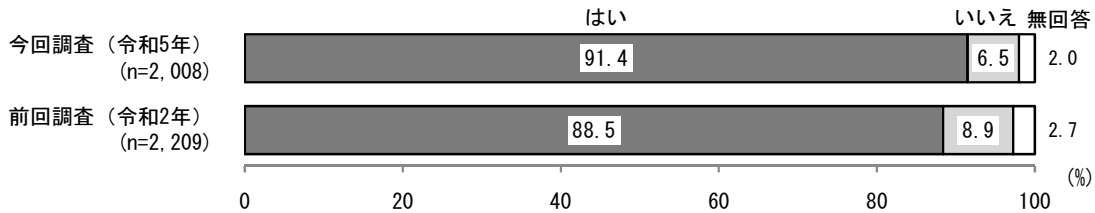


〔3〕知的能動性の状況

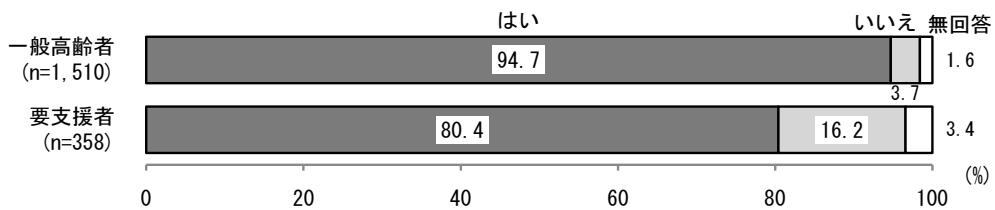
問5(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が91.4%、「いいえ」が6.5%となっています。前回調査に比べて、「はい」が2.9ポイント増加しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「いいえ」が16.2%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



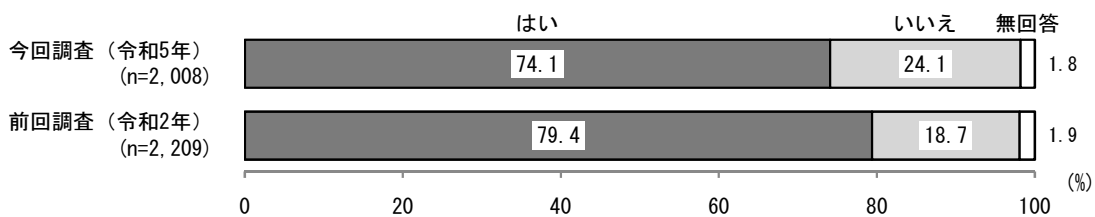
【認定状況別 年金などの書類が書けるか】



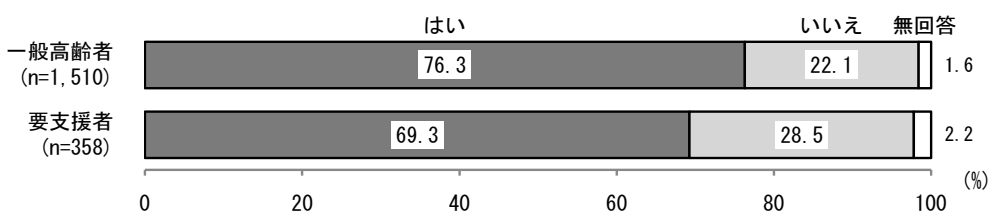
問5(10) 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいるかについては、「はい」が74.1%、「いいえ」が24.1%となっています。前回調査に比べて、「いいえ」が5.4ポイント増加しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「いいえ」が28.5%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



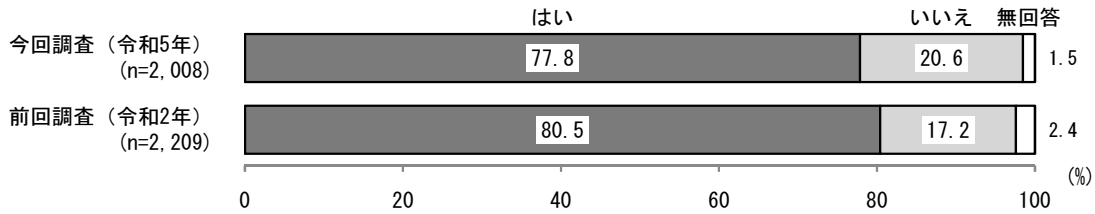
【認定状況別 新聞を読んでいるか】



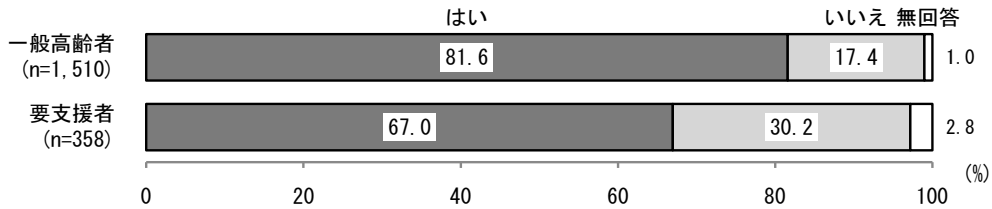
問5(11) 本や雑誌を読んでいますか

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が 77.8%、「いいえ」が 20.6%となっています。前回調査に比べて、「いいえ」が 3.4 ポイント増加しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「いいえ」が 30.2%と、一般高齢者に比べて多くなっています。



【認定状況別 本や雑誌を読んでいるか】



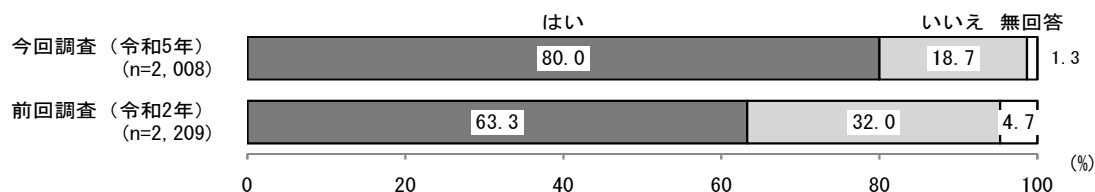
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

[4]スマートフォンまたはタブレットの所持・利用

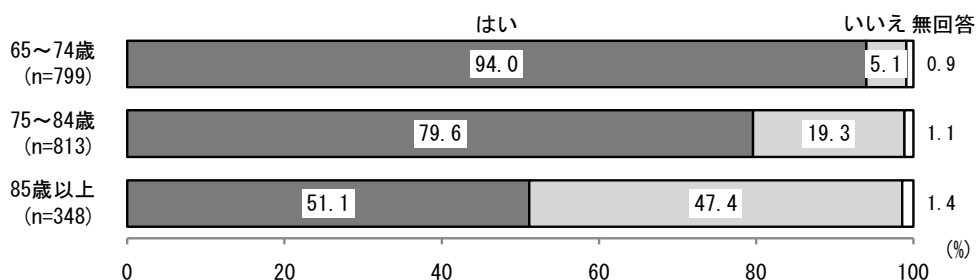
問5(12) スマートフォンまたはタブレットをお持ちですか

スマートフォンまたはタブレットを持っているかについては、「はい」が80.0%、「いいえ」が18.7%となっています。前回調査に比べて、「はい」が16.7ポイント増加しています。

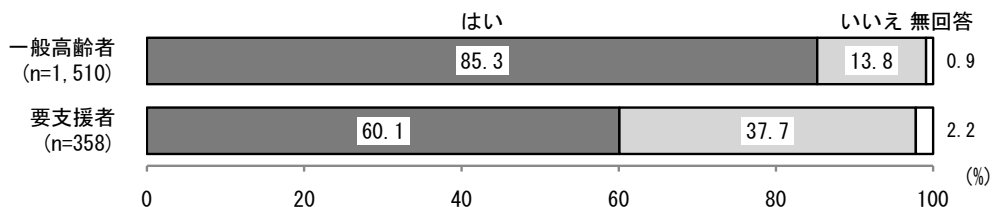
年齢別にみると、「前期高齢者」（65～74歳）の所持率は94.0%、85歳以上でも半数の人が所持していると回答しています。



【年齢別 スマートフォンまたはタブレットを持っているか】



【認定状況別 スマートフォンまたはタブレットを持っているか】

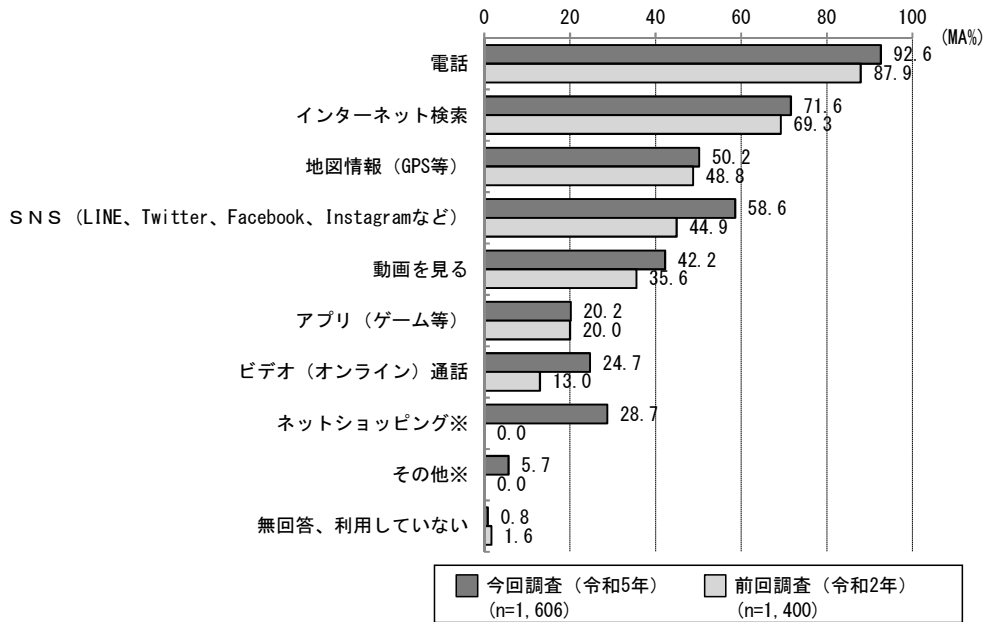


【問5(12)で「1.はい」とお答えの方のみ】

問5(12)-1 お持ちの人はどの機能を利用していますか（〇はいくつでも）

スマートフォンまたはタブレットのどの機能を利用しているかについては、「電話」が92.6%と最も多く、次いで「インターネット検索」が71.6%、「SNS（LINE、Twitter、Facebook、Instagram など）」が58.6%となっています。前回調査に比べて、すべての項目で利用が増えていますが、とくに、「SNS」は13.7ポイント増加しています。

年齢別にみると、65～74歳では「ネットショッピング」が41.4%と、他の年齢に比べて多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 どの機能を利用しているか】

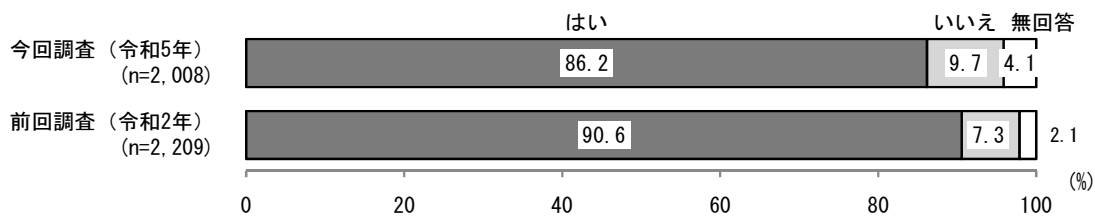
区分	n	(MA%)										
		電話	インターネット検索	地図情報 (GPS等)	インターネット検索 (LINE、Twitter、Facebook、Instagramなど)	動画を見る	アプリ (ゲーム等)	ビデオ (オンライン) 通話	ネットショッピング	その他	無回答	
全体	1,606	1,487	1,150	806	941	678	324	396	461	92	13	
性別												
男性	671	603	540	395	369	273	121	139	223	37	5	
女性	915	866	599	403	565	397	199	250	234	54	7	
年齢別												
65～74歳	751	686	653	465	501	398	202	231	311	33	9	
75～84歳	647	603	416	278	358	222	98	129	127	46	3	
85歳以上	178	170	66	52	68	47	19	30	18	12	0	
認定状況別												
一般高齢者	1,288	1,186	1,001	706	791	563	273	323	414	70	10	
要支援者	215	205	94	61	101	72	30	48	29	17	0	
地域別												
東山手生活圏域	363	336	271	200	229	178	81	97	119	21	2	
西山手生活圏域	307	289	219	166	179	121	53	79	96	23	1	
精道生活圏域	514	481	366	252	308	202	104	114	136	24	7	
潮見生活圏域	366	331	257	162	196	154	75	87	95	20	2	

Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

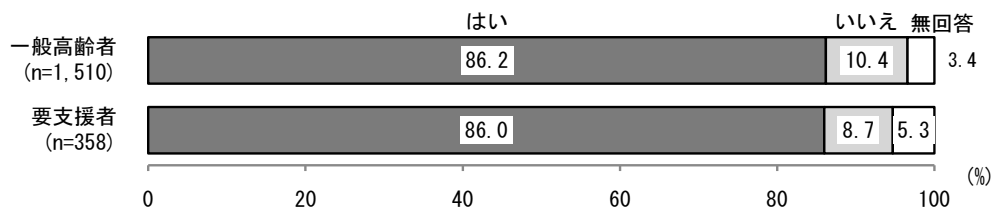
〔5〕健康への関心

問5(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が86.2%、「いいえ」が9.7%となっています。前回調査に比べて、「はい」は4.4ポイント減少しています。



【認定状況別 健康についての記事や番組に関心があるか】



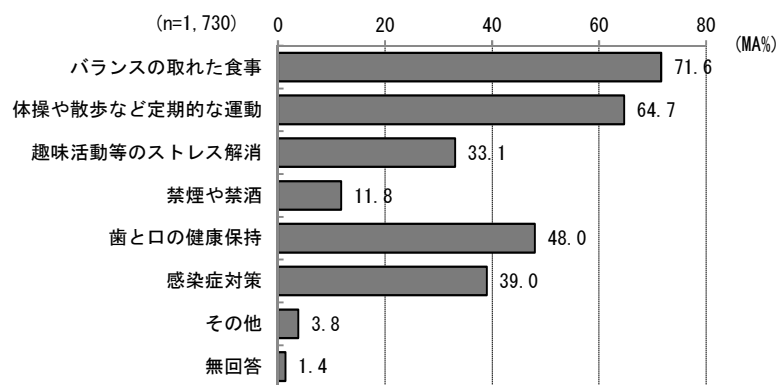
【問5(13)で「1.はい」とお答えの方のみ】

問5(13)-1 記事や番組を参考にして、自宅で何に取り組んでいますか
(〇はいくつでも)

記事や番組を参考にして何に取り組んでいるかについては、「バランスの取れた食事」が71.6%と最も多く、次いで、「体操や散歩など定期的な運動」が64.7%、「歯と口の健康保持」が48.0%となっています。

性別にみると、「バランスの取れた食事」では女性が77.1%と男性に比べて14.2ポイント多くっており、「禁煙や禁酒」では男性が17.9%と女性に比べて10.2ポイント多くなっています。

認定状況別でみると、一般高齢者では「趣味活動等のストレス解消」が35.4%、要支援認定者では22.7%と一般高齢者に比べ少なくなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 自宅での取り組みについて】

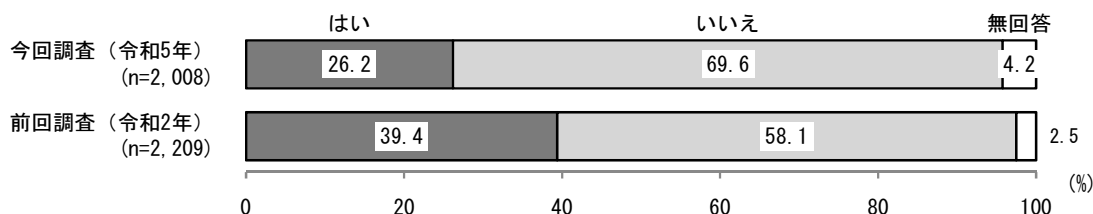
		n	バ ラ ン ス の 取 れ た 食 事	動 体 操 や 散 歩 な ど 定 期 的 な 運 動	趣 味 活 動 等 の ス ト レ ス 解 消	禁 煙 や 禁 酒	歯 と 口 の 健 康 保 持	感 染 症 対 策	そ の 他	無 回 答
全体		1,730	1,239	1,119	573	205	830	675	66	24
		100.0	71.6	64.7	33.1	11.8	48.0	39.0	3.8	1.4
性別	男性	660	415	436	231	118	294	234	25	13
	女性	1,042	803	662	335	80	520	423	41	11
		100.0	77.1	63.5	32.1	7.7	49.9	40.6	3.9	1.1
年齢別	65～74歳	693	513	471	248	79	330	266	20	8
	75～84歳	699	494	455	235	87	335	286	33	9
	85歳以上	297	201	170	78	31	142	102	13	7
		100.0	67.7	57.2	26.3	10.4	47.8	34.3	4.4	2.4
認定状況別	一般高齢者	1,302	952	869	461	162	643	519	46	16
	要支援者	308	206	181	70	27	138	115	11	4
		100.0	66.9	58.8	22.7	8.8	44.8	37.3	3.6	1.3
地域別	東山手生活圏域	378	284	237	146	54	190	153	8	7
	西山手生活圏域	323	236	212	105	30	144	135	12	0
	精道生活圏域	576	403	373	188	59	274	213	28	8
	潮見生活圏域	386	263	255	114	49	181	138	18	8
		100.0	68.1	66.1	29.5	12.7	46.9	35.8	4.7	2.1

〔6〕他者との関わりの状況

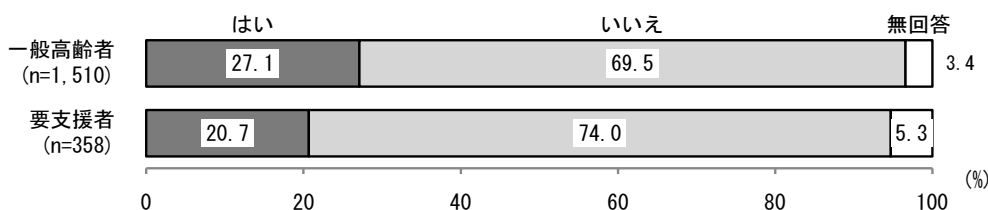
問5(14) 友人の家を訪ねていますか

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が26.2%、「いいえ」が69.6%となっています。前回調査に比べて、「はい」が13.2ポイント減少しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が20.7%と、一般高齢者に比べて少なくなっています。



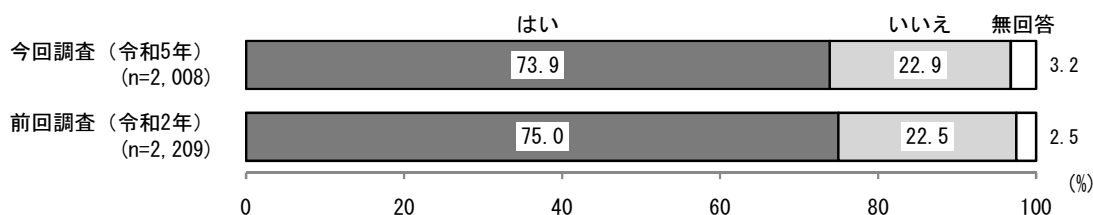
【認定状況別 友人の家を訪ねているか】



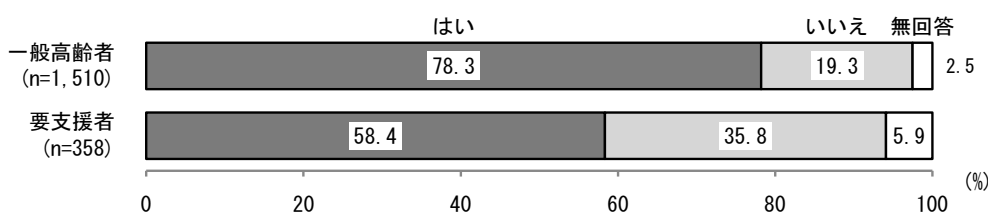
問5(15) 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が73.9%、「いいえ」が22.9%となっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が58.4%と、一般高齢者に比べて少なくなっています。



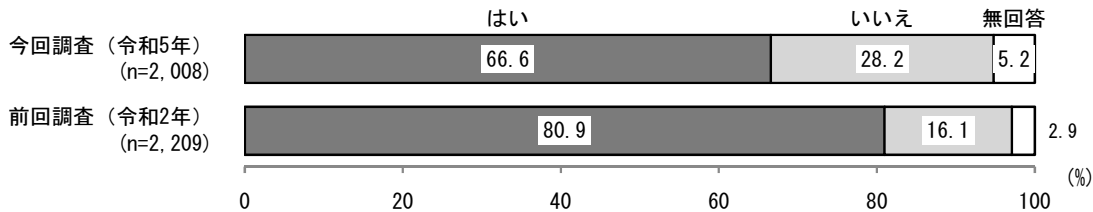
【認定状況別 家族や友人の相談にのっているか】



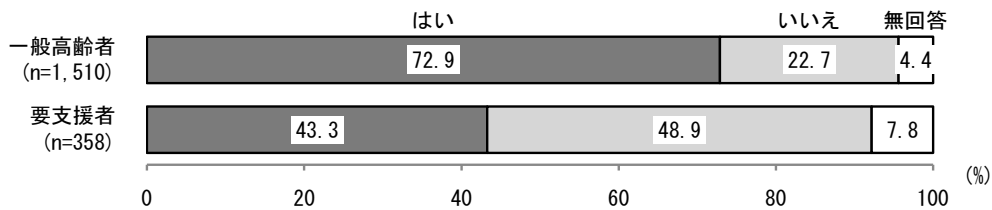
問5(16) 病人を見舞うことができますか

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が 66.6%、「いいえ」が 28.2%となっています。前回調査に比べて、「はい」は 14.3 ポイント減少しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「いいえ」が 48.9%と、「はい」の 43.3%を上回っています。

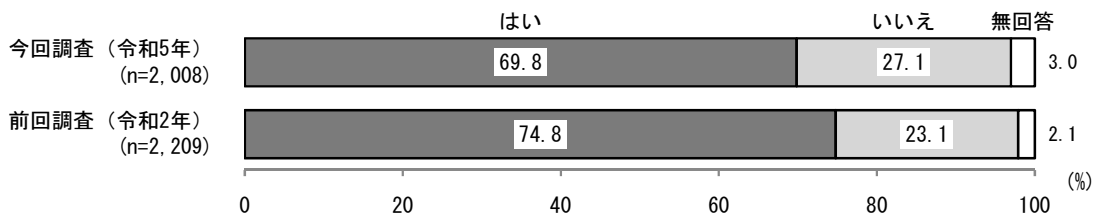


【認定状況別 病人を見舞うことができますか】

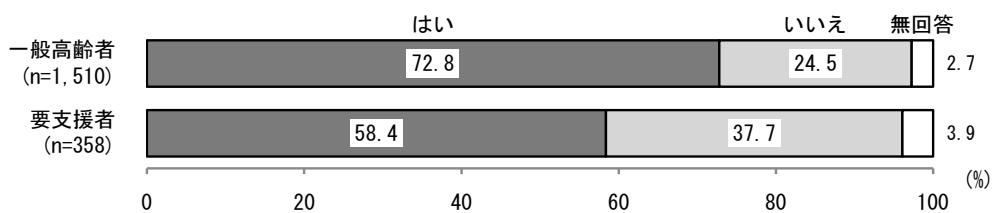


問5(17) 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が 69.8%、「いいえ」が 27.1%となっています。前回調査に比べて、「はい」が 5.0 ポイント減少しています。



【認定状況別 若い人に自分から話しかけることがありますか】

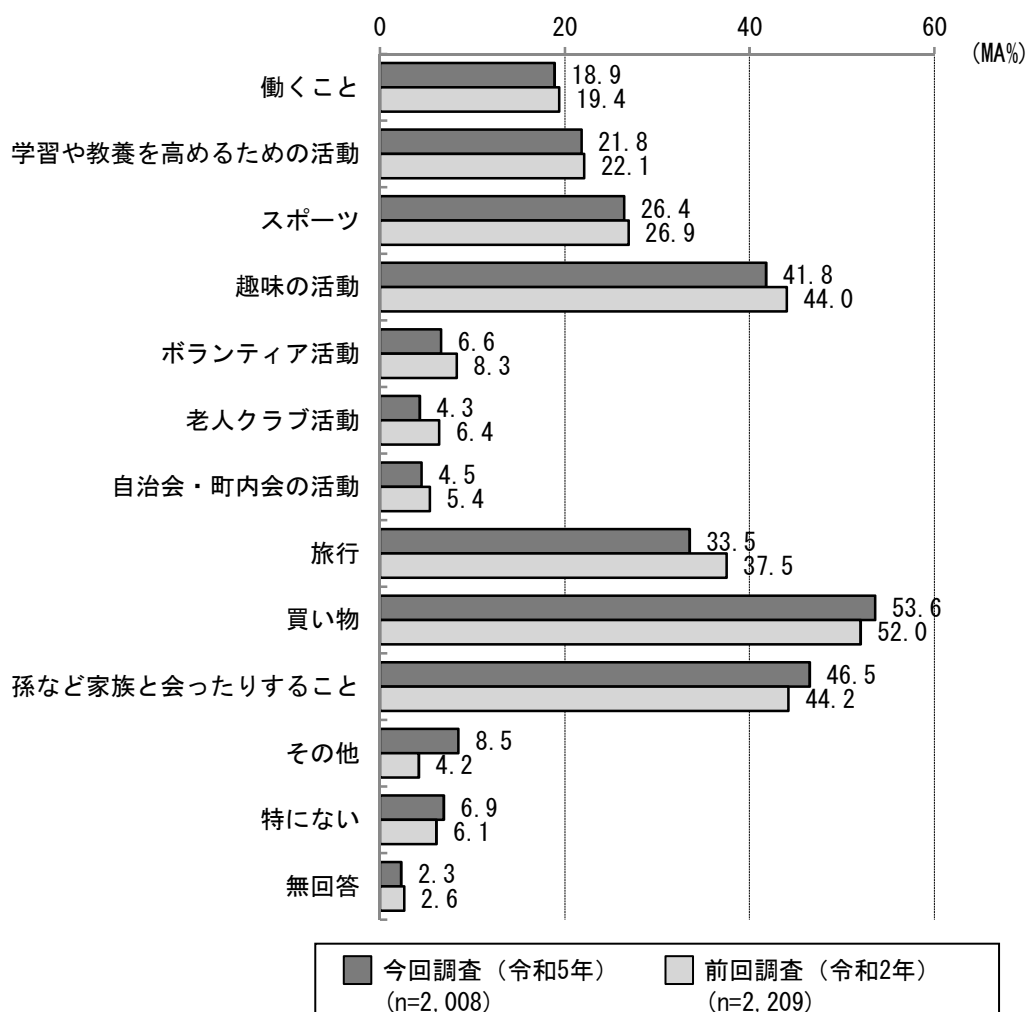


問5(18) ご本人の日常生活の中での楽しみは何ですか (〇はいくつでも)

日常生活の中での楽しみについては、「買い物」が 53.6%と最も多く、次いで「孫など家族と会ったりすること」が 46.5%、「趣味の活動」が 41.8%となっています。

性別にみると、男女ともに「買い物」が最も多くなっていますが、女性が男性に比べて 19.1 ポイント多くなっています。一方、「スポーツ」、「働くこと」、「学習や教養を高めるための活動」、「旅行」などでは男性のほうが女性に比べて多くなっています。

年齢別にみると、75～84 歳では「ボランティア活動」、「老人クラブ活動」、「自治会・町内会の活動」が他の年齢層よりもやや多く、この年齢層がこれらの活動の中心となっているようです。



Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 日常生活の中での楽しみ】

(MA%)

		n	働くこと	学習や教養を高めるための活動	スポーツ	趣味の活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	自治会・町内会の活動
全体		2,008 100.0	379 18.9	437 21.8	531 26.4	840 41.8	132 6.6	86 4.3	91 4.5
性別	男性	803 100.0	209 26.0	197 24.5	286 35.6	333 41.5	47 5.9	29 3.6	42 5.2
	女性	1,172 100.0	164 14.0	233 19.9	241 20.6	496 42.3	80 6.8	56 4.8	48 4.1
年齢別	65～74歳	799 100.0	233 29.2	199 24.9	274 34.3	377 47.2	51 6.4	16 2.0	25 3.1
	75～84歳	813 100.0	111 13.7	186 22.9	204 25.1	347 42.7	60 7.4	50 6.2	49 6.0
	85歳以上	348 100.0	28 8.0	42 12.1	47 13.5	99 28.4	15 4.3	18 5.2	15 4.3
状況別	一般高齢者	1,510 100.0	321 21.3	361 23.9	465 30.8	674 44.6	112 7.4	61 4.0	73 4.8
	要支援者	358 100.0	24 6.7	51 14.2	33 9.2	117 32.7	7 2.0	20 5.6	12 3.4
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	87 19.7	113 25.6	123 27.8	201 45.5	27 6.1	19 4.3	19 4.3
	西山手生活圏域	373 100.0	66 17.7	90 24.1	108 29.0	155 41.6	20 5.4	9 2.4	9 2.4
	精道生活圏域	671 100.0	133 19.8	127 18.9	166 24.7	276 41.1	47 7.0	39 5.8	40 6.0
	潮見生活圏域	446 100.0	79 17.7	91 20.4	112 25.1	178 39.9	31 7.0	17 3.8	22 4.9

		旅行	買い物	こ孫など家族と会ったりする	その他	特にない	無回答
全体		673 33.5	1,077 53.6	934 46.5	171 8.5	139 6.9	47 2.3
性別	男性	300 37.4	341 42.5	338 42.1	56 7.0	61 7.6	14 1.7
	女性	367 31.3	722 61.6	580 49.5	111 9.5	75 6.4	31 2.6
年齢別	65～74歳	362 45.3	460 57.6	371 46.4	53 6.6	33 4.1	12 1.5
	75～84歳	231 28.4	433 53.3	385 47.4	70 8.6	56 6.9	18 2.2
	85歳以上	69 19.8	160 46.0	158 45.4	42 12.1	45 12.9	13 3.7
状況別	一般高齢者	580 38.4	846 56.0	721 47.7	111 7.4	87 5.8	21 1.4
	要支援者	56 15.6	158 44.1	152 42.5	49 13.7	42 11.7	19 5.3
地域別	東山手生活圏域	156 35.3	227 51.4	198 44.8	41 9.3	25 5.7	15 3.4
	西山手生活圏域	125 33.5	203 54.4	176 47.2	27 7.2	26 7.0	11 2.9
	精道生活圏域	210 31.3	352 52.5	316 47.1	60 8.9	48 7.2	15 2.2
	潮見生活圏域	157 35.2	255 57.2	205 46.0	32 7.2	34 7.6	3 0.7

〔7〕就労状況

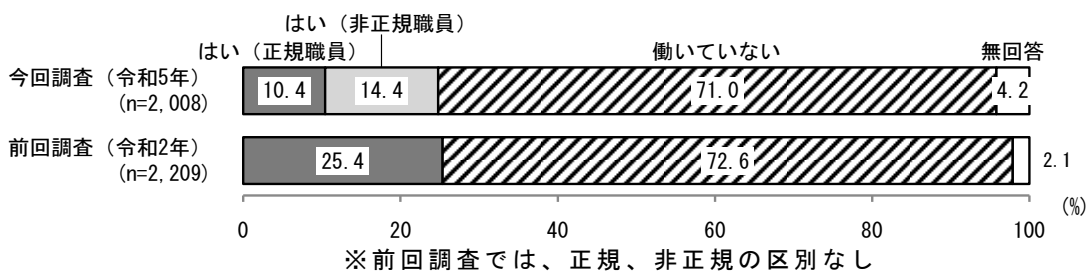
問5(19) ご本人は、現在、収入のある仕事をしていますか (1つに○)

就労状況については、「働いていない」が71.0%と最も多くなっています。就労している（「はい」）の割合は、正規職員、非正規職員を合わせて24.8%と、前回調査（25.4%）に比べて大きな差はみられません。

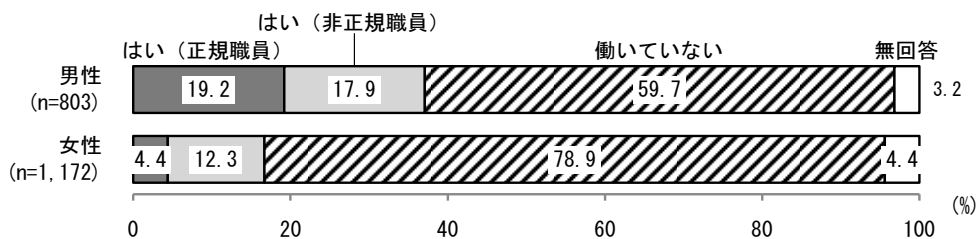
性別にみると、男性では就労している（「はい」）の割合が37.1%と、女性に比べて20.4ポイント多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて就労している（「はい」）の割合は減少し、65～74歳の「前期高齢者」では42.0%が就労している（「はい」）と回答しています。

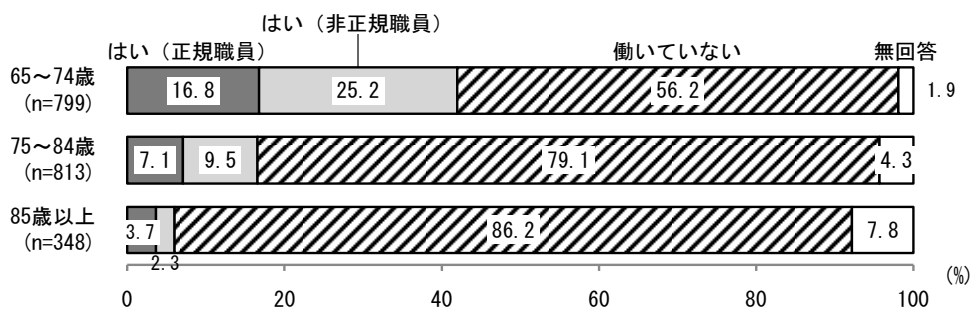
認定状況別にみると、要支援認定者では就労している（「はい」）の割合は5.9%と、一般高齢者に比べて23.7ポイント少なくなっています。



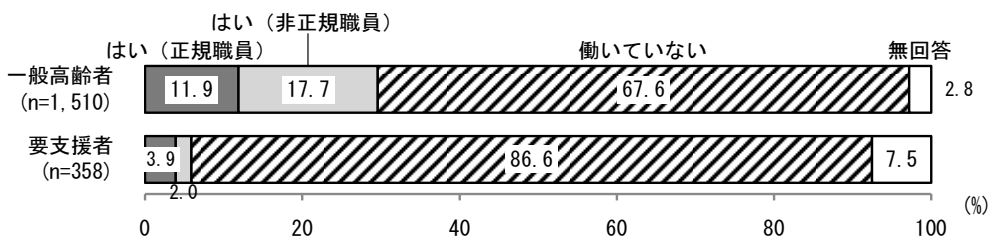
【性別 就労状況】



【年齢別 就労状況】



【認定状況別 就労状況】



[8] 今後の就労意向

【問5(19)で「3.働いていない」とお答えの方のみ】

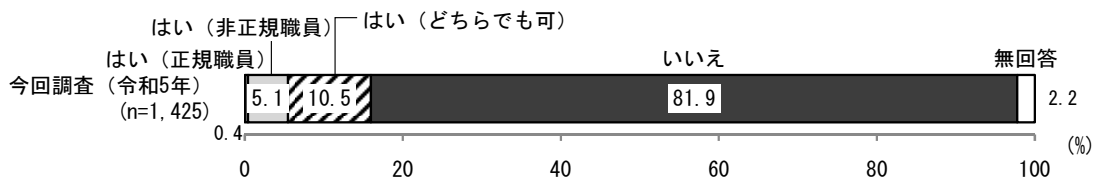
問5(19)-1 今後、働いてみたいという意向はありますか

今後の就労への意向については、「はい（どちらでも可）」が 10.5%、「はい（非正規職員）」が 5.1%、「はい（正規職員）」が 0.4%で、就労意向のある人は合計 16.0%となっています。

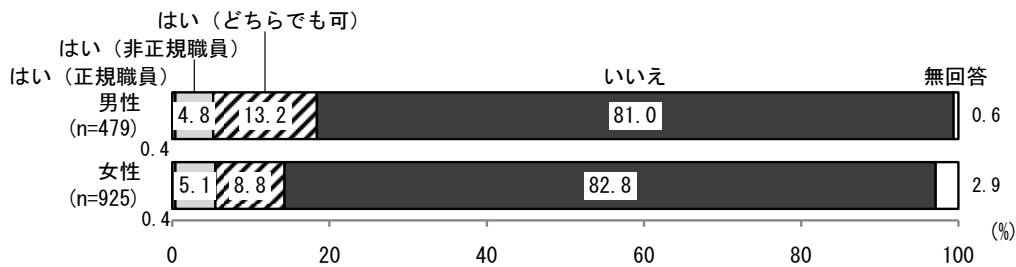
性別にみると、男性では就労意向のある人は 18.4%、女性は 14.3%と、男性のほうが女性に比べて 4.1 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて就労意向のある人の割合は減少し、65～74 歳で 26.3%、75～84 歳で 13.9%、85 歳以上では 4.0%となっています。

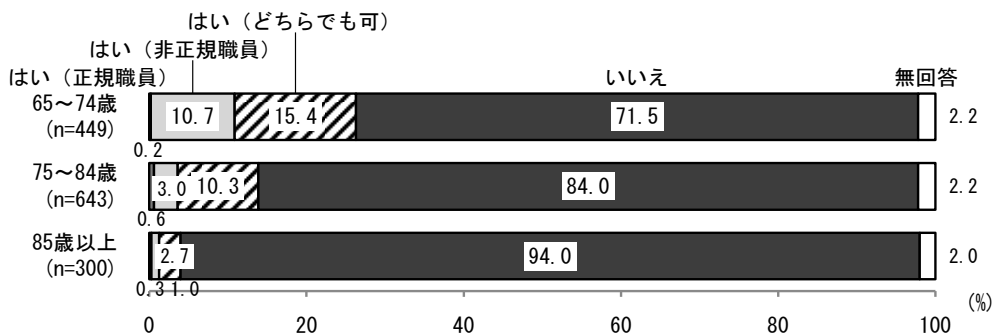
認定状況別にみると、就労意向のある人の割合は一般高齢者で 18.0%、要支援認定者では 10.0%と、一般高齢者のほうが 8.0 ポイント多くなっています。



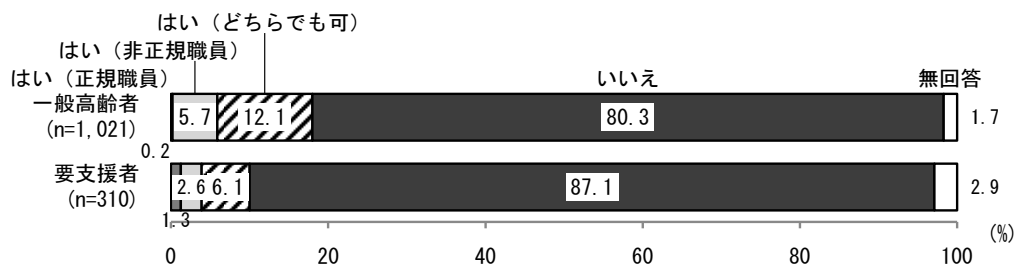
【性別 今後の就労への意向】



【年齢別 今後の就労への意向】



【認定状況別 今後の就労への意向】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

[9]働き方で重視する条件

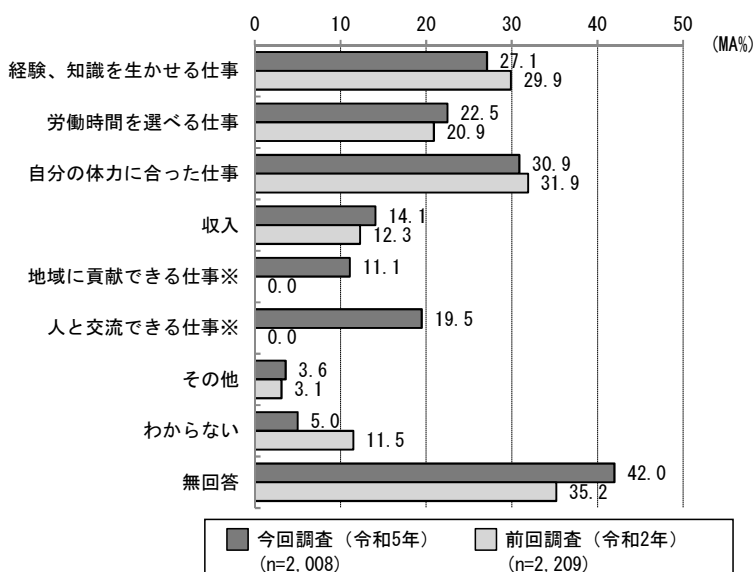
問5(20) ご本人が、働き方で重視する条件はどれですか (○はいくつでも)

働き方で重視する条件については、「自分の体力にあった仕事」が 30.9%と最も多く、次いで「経験、知識を生かせる仕事」が 27.1%、「労働時間を選べる仕事」が 22.5%となっています。

性別にみると、男性では「経験、知識を生かせる仕事」が 38.0%、女性では「自分の体力に合った仕事」が 27.9%で最も多くなっています。

認定状況別にみると、「人と交流できる仕事」が要支援認定者では 14.0%と 3 番目に多くなっています。

居住地域別にみると、東山手生活圏域と西山手生活圏域では他の地域に比べて「経験、知識を生かせる仕事」を望む人が多く、また、西山手生活圏域では「収入」、東山手生活圏域では「人と交流できる仕事」を望む人がやや多くなっています。



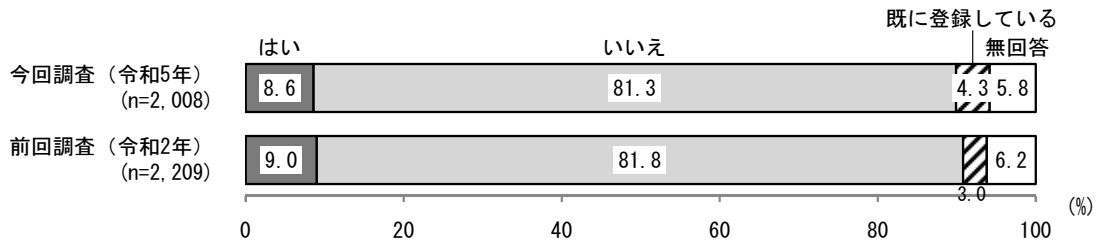
【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 働き方で重視する条件】

		n	経験、知識を生かせる仕事	労働時間を選べる仕事	自分の体力に合った仕事	収入	地域に貢献できる仕事	人と交流できる仕事	その他	わからない	無回答
全体		2,008	545	452	621	283	223	392	72	101	843
		100.0	27.1	22.5	30.9	14.1	11.1	19.5	3.6	5.0	42.0
性別	男性	803	305	201	284	166	108	170	27	30	265
		100.0	38.0	25.0	35.4	20.7	13.4	21.2	3.4	3.7	33.0
性別	女性	1,172	236	242	327	113	109	216	43	71	561
		100.0	20.1	20.6	27.9	9.6	9.3	18.4	3.7	6.1	47.9
年齢別	65~74歳	799	304	278	336	181	106	200	22	19	215
		100.0	38.0	34.8	42.1	22.7	13.3	25.0	2.8	2.4	26.9
	75~84歳	813	191	142	222	84	88	146	27	53	385
	100.0	23.5	17.5	27.3	10.3	10.8	18.0	3.3	6.5	47.4	
	85歳以上	348	40	18	48	12	24	39	21	27	221
	100.0	11.5	5.2	13.8	3.4	6.9	11.2	6.0	7.8	63.5	
認定状況別	一般高齢者	1,510	461	390	507	255	187	316	47	66	572
		100.0	30.5	25.8	33.6	16.9	12.4	20.9	3.1	4.4	37.9
	要支援者	358	56	33	66	14	20	50	21	26	208
	100.0	15.6	9.2	18.4	3.9	5.6	14.0	5.9	7.3	58.1	
地域別	東山手生活圏域	442	134	106	143	59	50	102	11	18	178
		100.0	30.3	24.0	32.4	13.3	11.3	23.1	2.5	4.1	40.3
	西山手生活圏域	373	116	76	94	60	41	61	13	18	168
		100.0	31.1	20.4	25.2	16.1	11.0	16.4	3.5	4.8	45.0
	精道生活圏域	671	166	146	218	96	80	134	29	35	269
	100.0	24.7	21.8	32.5	14.3	11.9	20.0	4.3	5.2	40.1	
	潮見生活圏域	446	115	104	143	56	46	85	16	27	188
	100.0	25.8	23.3	32.1	12.6	10.3	19.1	3.6	6.1	42.2	

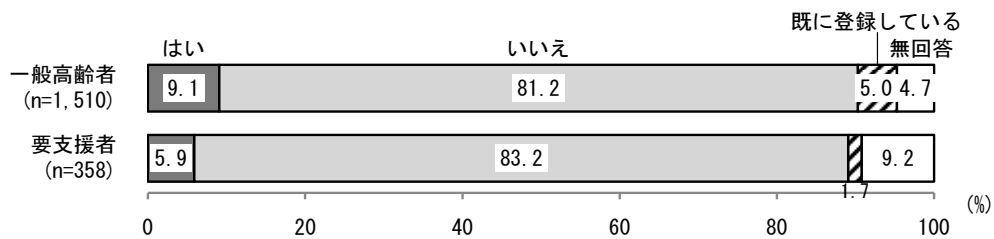
〔10〕シルバー人材センターへの登録意向

問5(21) ご本人は、シルバー人材センターに登録して、活動する希望はありますか

シルバー人材センターへの登録、活動の希望については、「はい」（希望がある）が8.6%、「いいえ」（希望しない）が81.3%で、「既に登録している」が4.3%となっています。



【認定状況別 シルバー人材センターへの登録、活動希望】



[11] 高齢者向けのイベントやサービスに関する情報の入手先

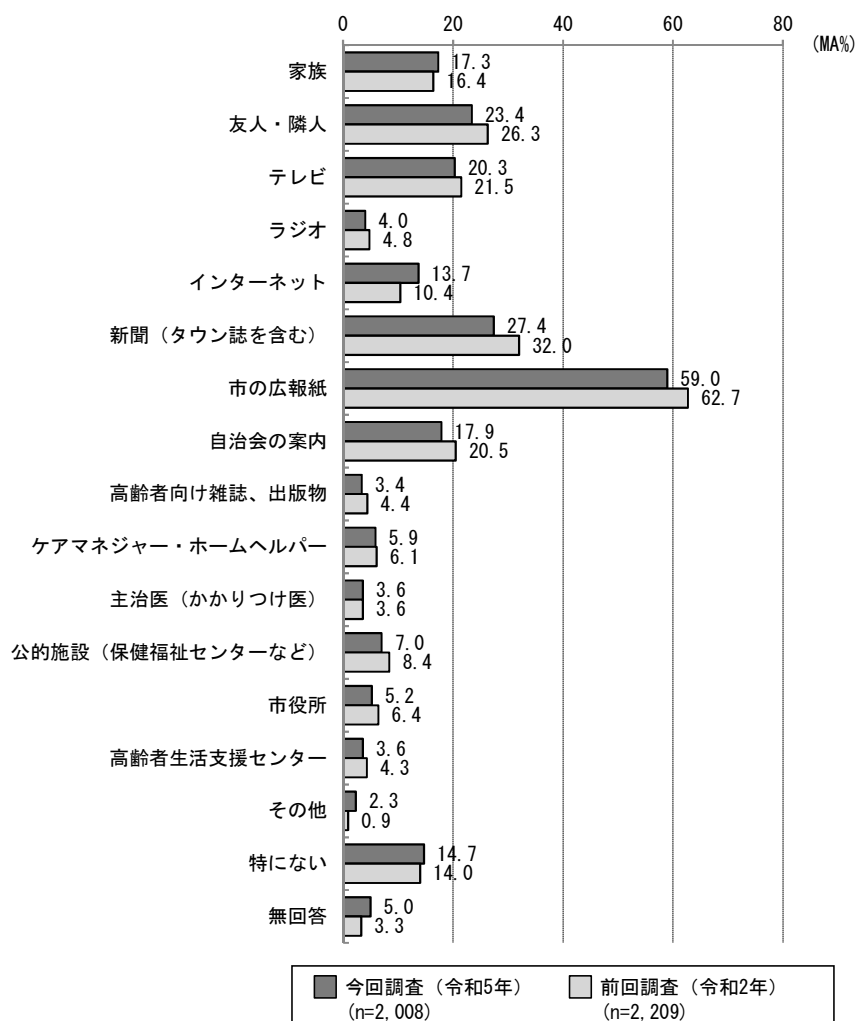
問5(22) ご本人は、高齢者向けのイベントやサービスに関する情報を、主にどこから得ていますか（〇はいくつでも）

高齢者向け情報の入手先については、「市の広報紙」が 59.0%と最も多く、次いで「新聞（タウン誌含む）」が 27.4%、「友人・隣人」が 23.4%となっています。前回調査に比べて、「インターネット」が 3.3 ポイント増加し、「市の広報紙」は 3.7 ポイント減少しています。

性別にみると、男性は女性に比べて「家族」が 8.8 ポイント、「インターネット」が 12.7 ポイント多く、女性は男性に比べて「友人・隣人」が 14.6 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳では「インターネット」が 21.0%、85 歳以上では「ケアマネジャー、ホームヘルパー」が 15.5%と、他の年齢層に比べて多くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者は要支援認定者に比べて「インターネット」が 8.3 ポイント多く、要支援認定者は一般高齢者に比べて「ケアマネジャー、ホームヘルパー」が 27.5 ポイント、「高齢者生活支援センター」が 6.9 ポイント多くなっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 高齢者向け情報の入手先】

		n	家族	友人・隣人	テレビ	ラジオ	インターネット	新聞（タウン誌を含む）	市の広報紙	自治会の案内	高齢者向け雑誌、出版物	ケアマネジャー・ホームヘルパー	主治医（かかりつけ医）
全体		2,008 100.0	348 17.3	470 23.4	408 20.3	80 4.0	276 13.7	550 27.4	1,185 59.0	360 17.9	68 3.4	118 5.9	72 3.6
性別	男性	803 100.0	181 22.5	119 14.8	177 22.0	22 2.7	171 21.3	238 29.6	415 51.7	130 16.2	16 2.0	27 3.4	26 3.2
	女性	1,172 100.0	161 13.7	344 29.4	222 18.9	57 4.9	101 8.6	309 26.4	751 64.1	226 19.3	50 4.3	88 7.5	46 3.9
年齢別	65～74歳	799 100.0	101 12.6	149 18.6	128 16.0	19 2.4	168 21.0	194 24.3	490 61.3	124 15.5	16 2.0	14 1.8	13 1.6
	75～84歳	813 100.0	147 18.1	231 28.4	164 20.2	41 5.0	81 10.0	244 30.0	496 61.0	172 21.2	29 3.6	44 5.4	28 3.4
	85歳以上	348 100.0	89 25.6	79 22.7	102 29.3	19 5.5	20 5.7	103 29.6	176 50.6	58 16.7	17 4.9	54 15.5	30 8.6
状況別	一般高齢者	1,510 100.0	234 15.5	344 22.8	290 19.2	58 3.8	239 15.8	418 27.7	925 61.3	288 19.1	45 3.0	11 0.7	41 2.7
	要支援者	358 100.0	89 24.9	91 25.4	88 24.6	11 3.1	27 7.5	105 29.3	192 53.6	50 14.0	18 5.0	101 28.2	26 7.3
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	66 14.9	87 19.7	93 21.0	15 3.4	62 14.0	130 29.4	258 58.4	58 13.1	21 4.8	31 7.0	20 4.5
	西山手生活圏域	373 100.0	58 15.5	82 22.0	79 21.2	8 2.1	56 15.0	106 28.4	211 56.6	60 16.1	12 3.2	18 4.8	14 3.8
	精道生活圏域	671 100.0	126 18.8	156 23.2	120 17.9	29 4.3	81 12.1	185 27.6	396 59.0	146 21.8	16 2.4	35 5.2	22 3.3
	潮見生活圏域	446 100.0	81 18.2	127 28.5	98 22.0	25 5.6	66 14.8	113 25.3	281 63.0	84 18.8	13 2.9	27 6.1	13 2.9

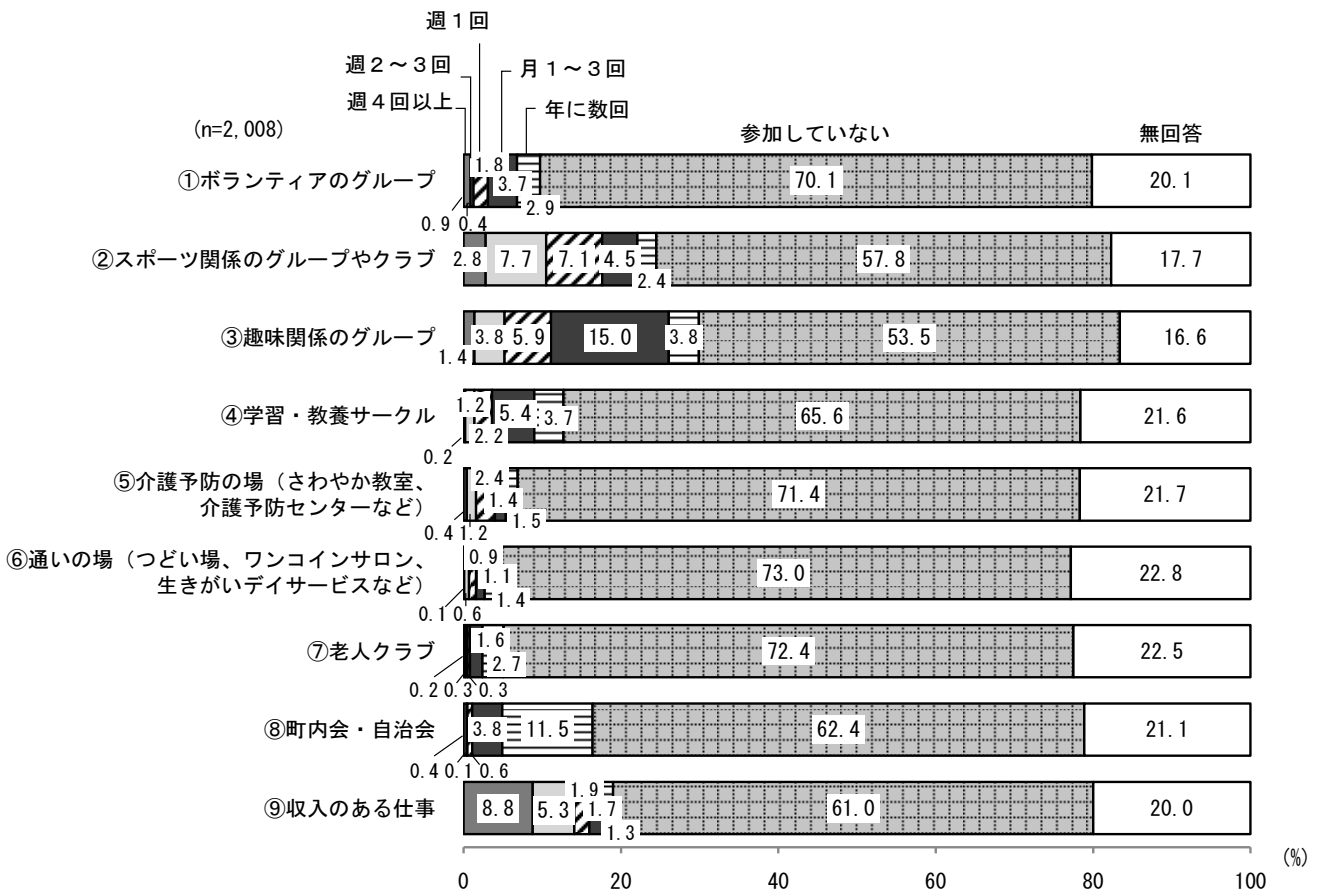
		公的施設（保健福祉センターなど）	市役所	高齢者生活支援センター	その他	特にない	無回答
全体		140 7.0	104 5.2	73 3.6	46 2.3	296 14.7	100 5.0
性別	男性	50 6.2	45 5.6	18 2.2	30 3.7	146 18.2	42 5.2
	女性	88 7.5	56 4.8	53 4.5	16 1.4	147 12.5	54 4.6
年齢別	65～74歳	51 6.4	41 5.1	8 1.0	18 2.3	141 17.6	29 3.6
	75～84歳	66 8.1	36 4.4	39 4.8	24 3.0	115 14.1	35 4.3
	85歳以上	18 5.2	24 6.9	23 6.6	3 0.9	38 10.9	29 8.3
状況別	一般高齢者	107 7.1	75 5.0	35 2.3	40 2.6	242 16.0	64 4.2
	要支援者	26 7.3	17 4.7	33 9.2	3 0.8	36 10.1	23 6.4
地域別	東山手生活圏域	21 4.8	28 6.3	17 3.8	11 2.5	68 15.4	24 5.4
	西山手生活圏域	19 5.1	24 6.4	13 3.5	7 1.9	63 16.9	21 5.6
	精道生活圏域	58 8.6	35 5.2	24 3.6	20 3.0	93 13.9	26 3.9
	潮見生活圏域	36 8.1	12 2.7	14 3.1	5 1.1	61 13.7	20 4.5

6 地域での活動について

[1] 地域の会・グループ等への参加状況

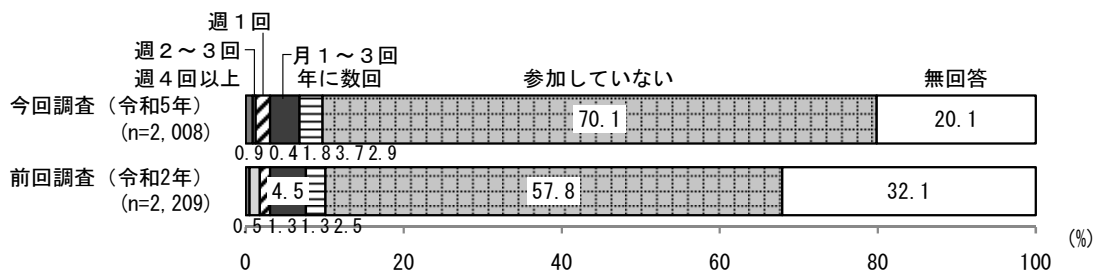
問6(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑨それぞれについて、選択肢1～6の中から選んで回答してください
 (それぞれ1つに○)

地域の会・グループ活動等への参加について、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた『参加している』は、「③趣味関係のグループ」が29.9%と最も多く、次いで、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が24.5%、「⑨収入のある仕事」が19.0%となっています。



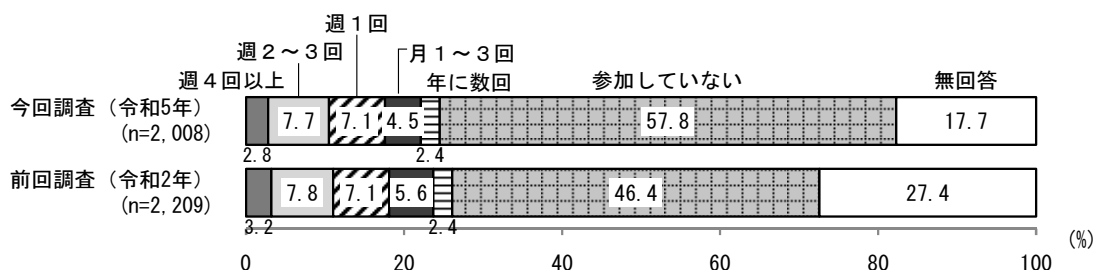
① ボランティアのグループ

ボランティアのグループに『参加している』は合計 9.7%で、前回調査 (10.1%) に比べて大きな変化はみられません。参加頻度は「月1～3回」が3.7%と最も多く、次いで、「年に数回」が2.9%となっています。



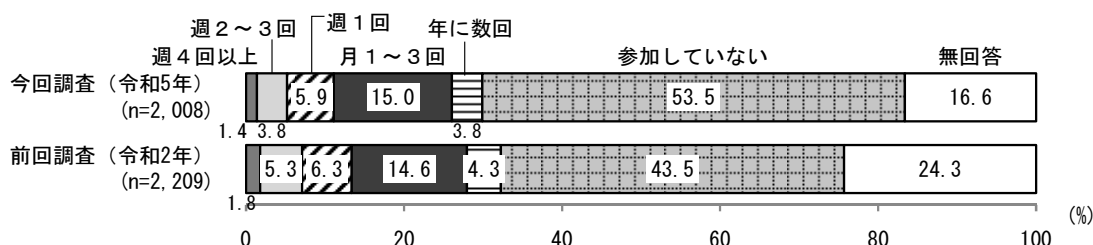
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブに『参加している』は合計 24.5%で、前回調査（26.1%）に比べて 1.6 ポイント減少しています。参加頻度は「週 2～3 回」が 7.7%、「週 1 回」が 7.1%、「月 1～3 回」が 4.5%となっています。



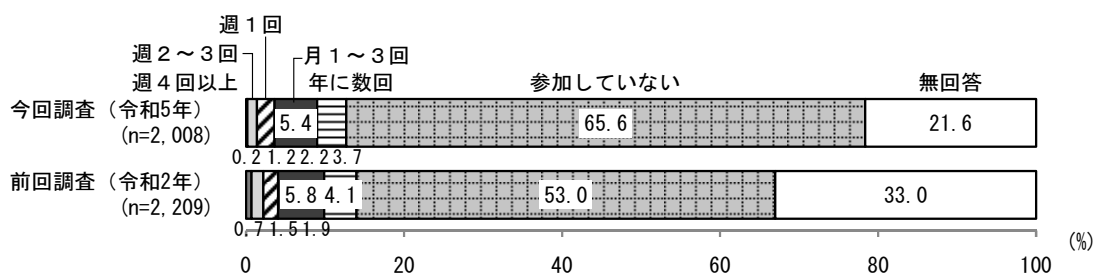
③趣味関係のグループ

趣味関係のグループに『参加している』は合計 29.9%で、前回調査（32.3%）に比べて 2.4 ポイント減少しています。参加頻度は「月 1～3 回」が 15.0%と最も多く、次いで、「週 1 回」が 5.9%となっています。



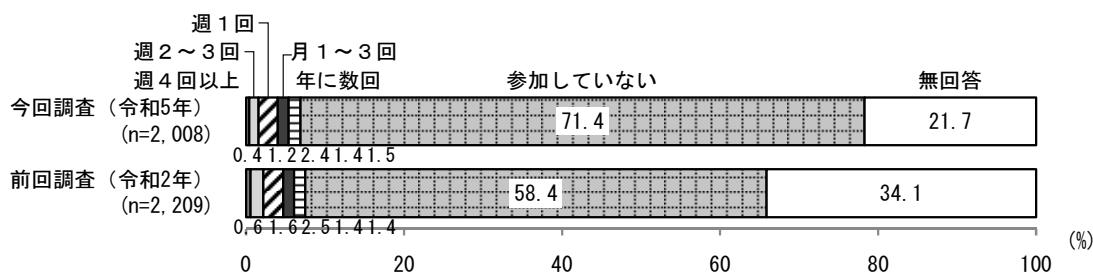
④学習・教養サークル

学習・教養サークルに『参加している』は合計 12.7%で、前回調査（14.0%）に比べて 1.3 ポイント減少しています。参加頻度は「月 1～3 回」が 5.4%、「年に数回」が 3.7%となっています。



⑤介護予防の場（さわやか教室、介護予防センターなど）

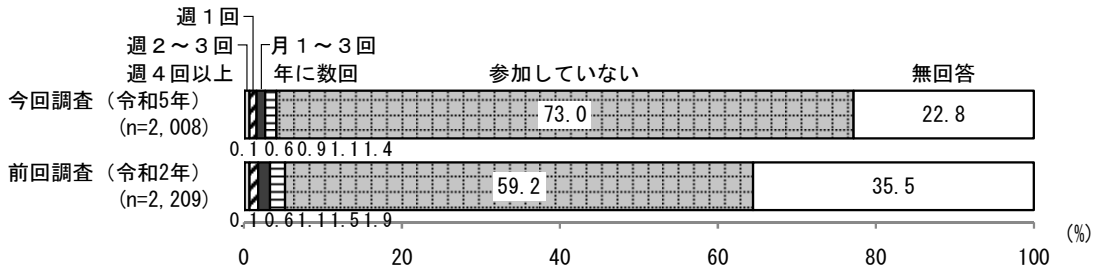
介護予防の場に『参加している』は合計 6.9%となっています。参加頻度は「週 1 回」が 2.4%、「年に数回」が 1.5%となっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

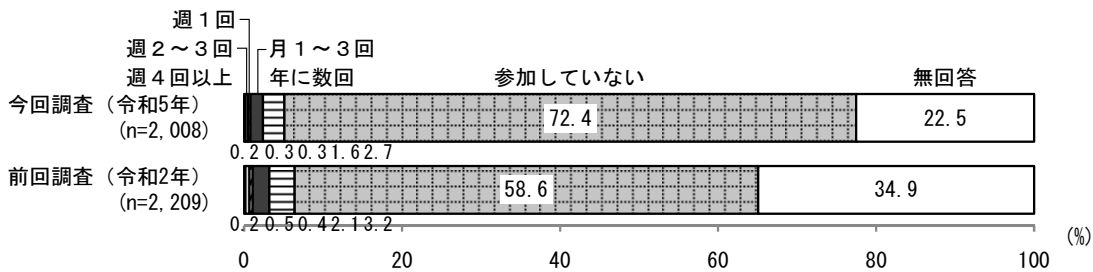
⑥ 通いの場（つどい場、ワンコインサロン、生きがいデイサービスなど）

通いの場に『参加している』は合計 4.1%となっています。参加頻度は「年に数回」が 1.4%、「月に1～3回」が 1.1%となっています。



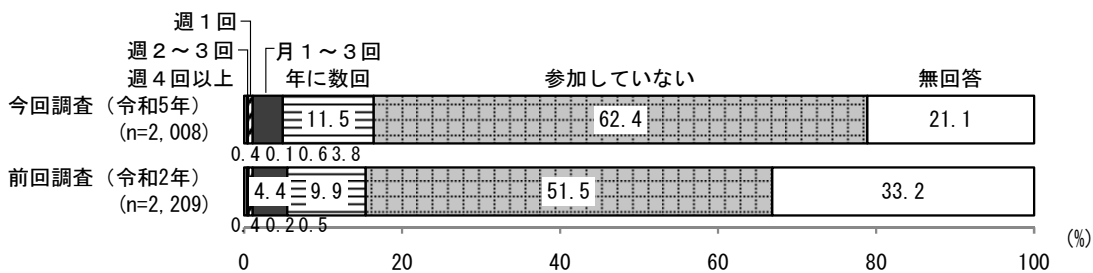
⑦ 老人クラブ

老人クラブに『参加している』は合計 5.1%で、前回調査（6.4%）に比べて 1.3ポイント減少しています。参加頻度は「年に数回」が 2.7%と最も多く、次いで、「月に1～3回」が 1.6%となっています。



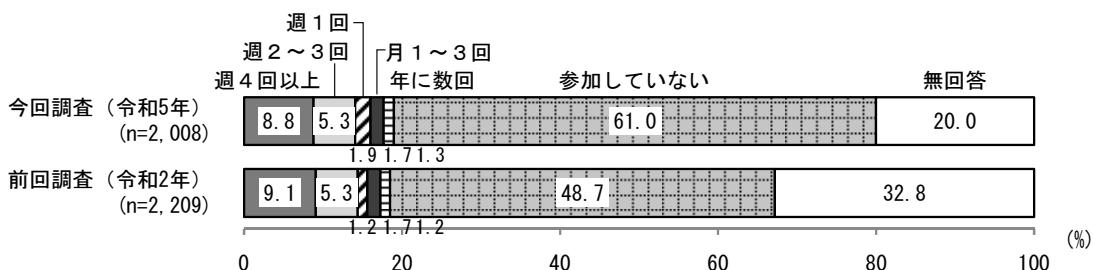
⑧ 町内会・自治会

町内会・自治会に『参加している』は合計 16.4%で、前回調査（15.4%）に比べて 1ポイント増加しています。参加頻度は「年に数回」が 11.5%と最も多く、次いで、「月に1～3回」が 3.8%となっています。



⑨ 収入のある仕事

収入のある仕事を『している』は合計 19.0%で、参加頻度は「週4回以上」が 8.8%と最も多く、次いで、「週2～3回」が 5.3%、「週1回」が 1.9%となっています。



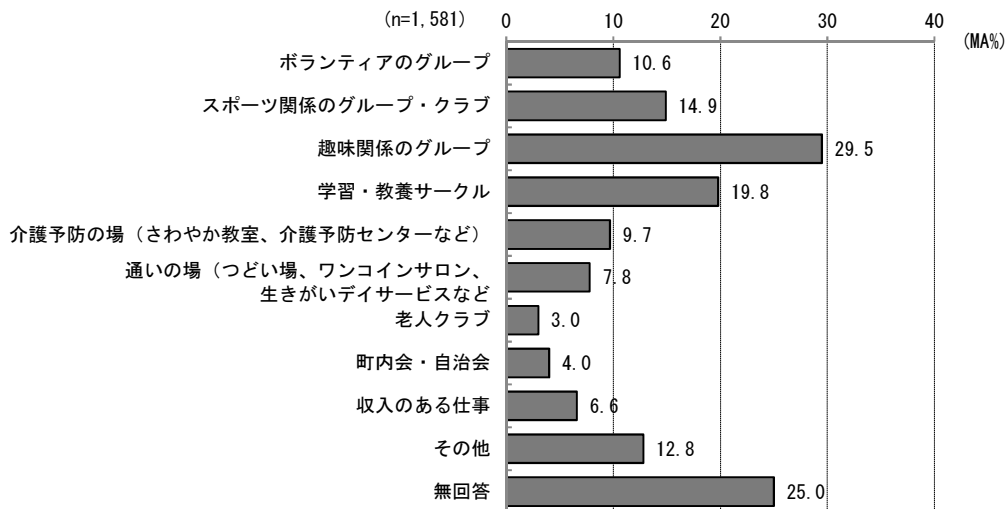
〔2〕今後参加したい地域の活動

問6(1)-1 現在参加していない活動のうち今後参加したい活動は何ですか
(○はいくつでも)

今後参加したい活動については、「趣味関係のグループ」が29.5%と最も多く、次いで、「学習・教養サークル」が19.8%、「スポーツ関係のグループ・クラブ」が14.9%となっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「介護予防の場（さわやか教室、介護予防センターなど）」が18.5%、「通いの場（つどいの場、ワンコインサロン、生きがいデイサービスなど）」が12.1%と、一般高齢者に比べて多くなっています。

居住地域にみると、精道生活圏域、潮見生活圏域では「町内会・自治会」が他の生活圏域に比べてやや多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 今後参加したい活動】

性別	年齢別	認定状況別	地域別	n	(MA%)										
					ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループ・クラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	（さわやか教室、介護予防センターなど）	通いの場（つどいの場、ワンコインサロン、生きがいデイサービスなど）	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事	その他	無回答
全体				1,581	168	235	466	313	154	123	47	64	105	202	395
男性				667	69	116	210	131	39	29	21	26	54	88	168
女性				895	97	114	251	176	112	94	25	37	50	113	221
65~74歳				700	102	137	213	154	37	42	9	27	73	78	149
75~84歳				633	58	78	195	119	83	57	28	33	26	82	165
85歳以上				219	5	16	48	29	30	23	8	3	5	42	72
一般高齢者				1,246	147	210	392	252	104	87	34	50	96	145	285
要支援者				248	14	16	55	44	46	30	9	11	6	48	71
東山手生活圏域				348	33	45	103	84	39	22	6	9	23	50	76
西山手生活圏域				288	30	47	88	59	26	21	8	6	21	30	85
精道生活圏域				531	58	82	150	94	53	46	14	25	34	66	135
潮見生活圏域				361	44	51	105	61	29	30	18	22	26	52	82

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

[3] 地域でお手伝いできること

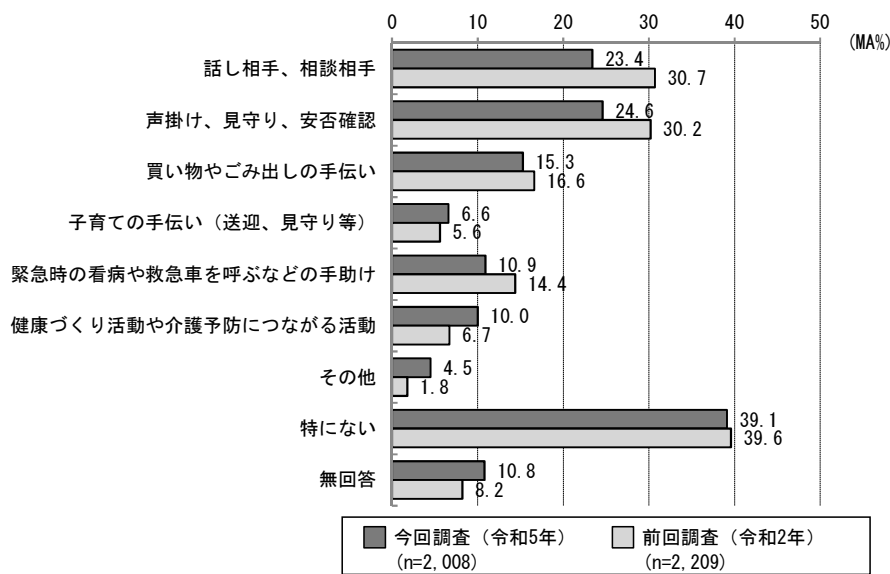
問6(2) ご本人が、地域でお手伝いできることは何ですか (〇はいくつでも)

地域でお手伝いできることについては、「声掛け、見守り、安否確認」が24.6%と最も多く、次いで、「話し相手、相談相手」が23.4%、「買い物やごみ出しの手伝い」が15.3%となっています。一方で、「特にない」が39.1%と4割近くを占めています。

性別にみると、男性は「緊急時の看病や救急車を呼ぶなどの手助け」や「健康づくり活動や介護予防につながる活動」で、女性に比べて割合が多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者で「話し相手、相談相手」が25.7%と、一般高齢者に比べて2.3ポイント多くなっています。

居住地域別にみると、東山手生活圏域、西山手生活圏域では「話し相手、相談相手」、精道生活圏域、潮見生活圏域では「声掛け、見守り、安否確認」が最も多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 地域でお手伝いできること】

	n	(MA%)									
		話し相手、相談相手	声掛け、見守り、安否確認	買い物やごみ出しの手伝い	子育ての手伝い(送迎、見守り等)	緊急時の看病や救急車を呼ぶなどの手助け	健康づくり活動や介護予防につながる活動	その他	特にない	無回答	
全体	2,008	469	493	308	132	218	201	91	785	217	
性別											
男性	803	149	183	122	50	100	93	52	341	58	
女性	1,172	315	306	186	80	116	105	39	433	149	
年齢別											
65~74歳	799	197	245	161	86	110	85	48	271	52	
75~84歳	813	197	198	121	39	82	90	35	326	83	
85歳以上	348	68	41	25	4	25	22	7	173	68	
認定状況別											
一般高齢者	1,510	353	419	282	119	185	164	72	576	125	
要支援者	358	92	45	14	4	20	24	12	164	62	
地域別											
東山手生活圏域	442	117	101	72	30	49	46	22	170	40	
西山手生活圏域	373	85	80	47	21	35	38	18	147	45	
精道生活圏域	671	153	181	105	43	76	67	29	265	68	
潮見生活圏域	446	100	113	78	34	52	43	19	178	45	

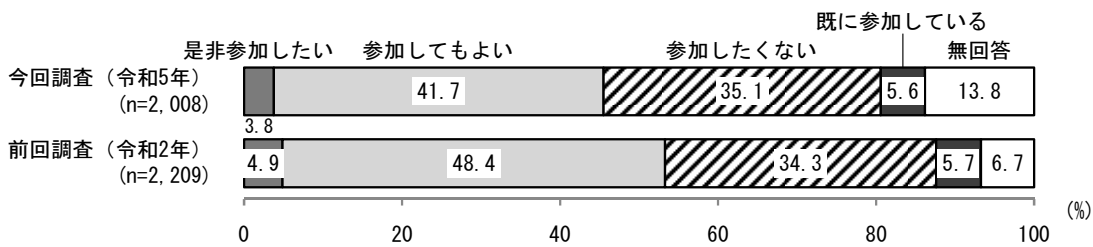
〔4〕地域の会・グループ等への参加意向

①参加者としての参加

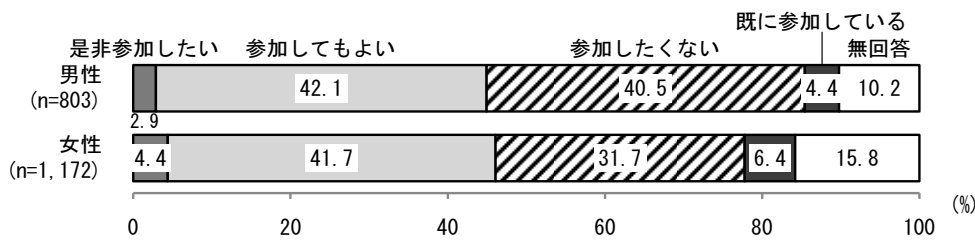
問6(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つに○）

地域の会・グループ活動等への参加者としての参加意向については、「是非参加したい」が3.8%、「参加してもよい」が41.7%で、「既に参加している」の5.6%も合わせて、『参加意向あり』は合計51.1%となっていますが、前回調査に比べて、『参加意向あり』は7.9ポイント減少しています。

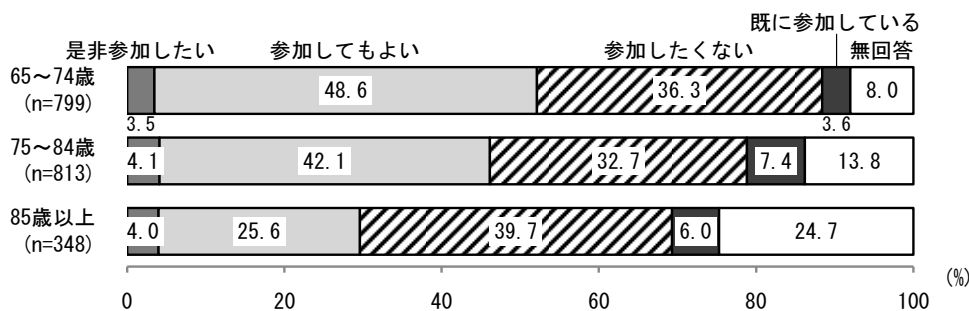
居住地域別にみると、『参加意向あり』は東山手生活圏域で53.9%と最も多くなっています。



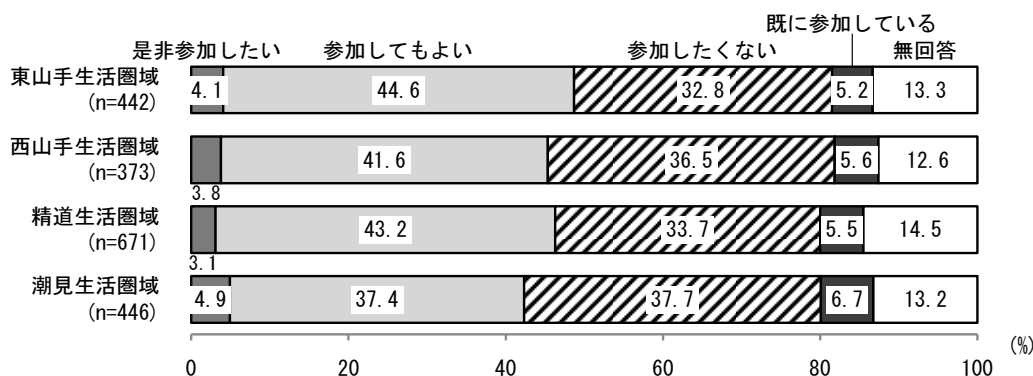
【性別 地域の会・グループ活動等への参加意向『参加者としての参加』】



【年齢別 地域の会・グループ活動等への参加意向『参加者としての参加』】



【居住地域別 地域の会・グループ活動等への参加意向『参加者としての参加』】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【問6(3)で「1」「2」「4」のいずれかとお答えの方のみ】

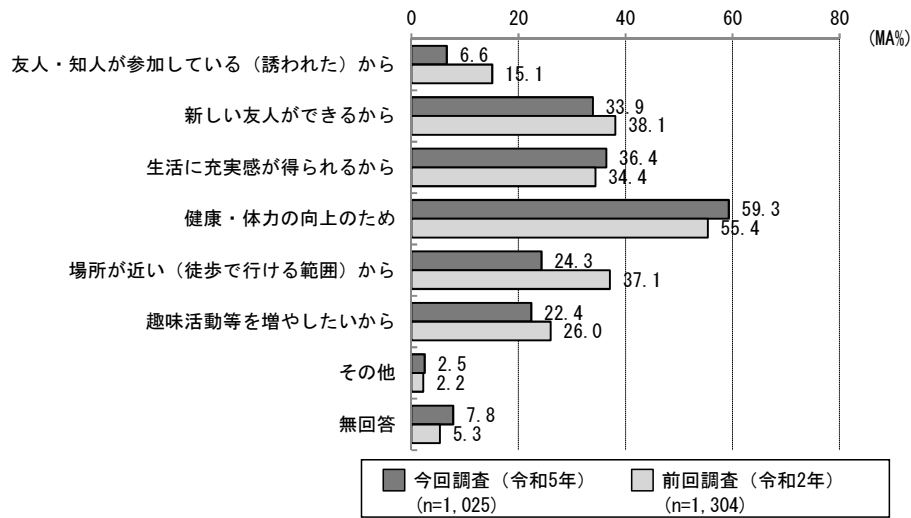
問6(3)-1 参加したい(参加している)と考えた理由は何ですか (〇はいくつでも)

参加したい(参加している)理由については、「健康・体力の向上のため」が59.3%と最も多く、次いで「生活に充実感が得られるから」が36.4%、「新しい友人ができるから」が33.9%となっています。

年齢別にみると、すべての年齢層で「健康・体力の向上のため」が最も多くなっていますが、85歳以上では63.7%ととくに多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「場所が近い(徒歩で行ける範囲)から」が31.6%と、一般高齢者に比べて8.3ポイント多くなっています。

居住地域別にみると、西山手生活圏域と潮見生活圏域では、「新しい友人ができるから」が他の地域に比べて多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 参加理由】

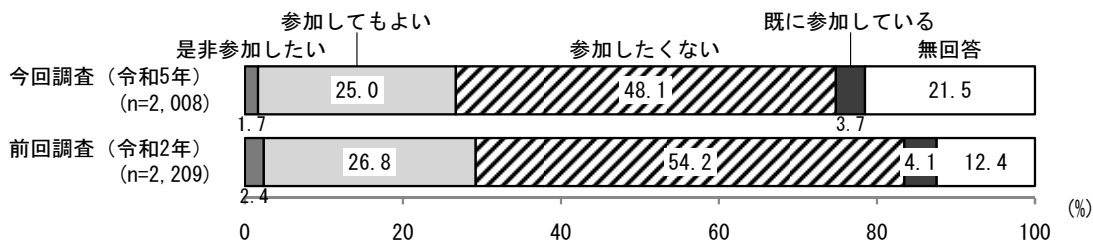
性別	年齢別	認定状況別	地域別	n	友人・知人が参加している	新しい友人ができるから	生活に充実感が得られるから	健康・体力の向上のため	場所が近い(徒歩で行ける範囲)から	趣味活動等を増やしたいから	その他	無回答
					(誘われた)から							
全体				1,025 100.0	68 6.6	347 33.9	373 36.4	608 59.3	249 24.3	230 22.4	26 2.5	80 7.8
性別	男性			396 100.0	19 4.8	156 39.4	152 38.4	235 59.3	83 21.0	108 27.3	9 2.3	22 5.6
	女性			615 100.0	47 7.6	186 30.2	216 35.1	366 59.5	164 26.7	117 19.0	17 2.8	57 9.3
年齢別	65~74歳			445 100.0	23 5.2	157 35.3	160 36.0	266 59.8	95 21.3	114 25.6	11 2.5	23 5.2
	75~84歳			435 100.0	36 8.3	148 34.0	170 39.1	253 58.2	120 27.6	88 20.2	8 1.8	43 9.9
	85歳以上			124 100.0	6 4.8	36 29.0	39 31.5	79 63.7	29 23.4	23 18.5	7 5.6	11 8.9
認定状況別	一般高齢者			810 100.0	53 6.5	280 34.6	304 37.5	481 59.4	189 23.3	189 23.3	20 2.5	59 7.3
	要支援者			152 100.0	7 4.6	50 32.9	50 32.9	89 58.6	48 31.6	28 18.4	5 3.3	15 9.9
地域別	東山手生活圏域			238 100.0	18 7.6	68 28.6	95 39.9	136 57.1	56 23.5	60 25.2	9 3.8	13 5.5
	西山手生活圏域			190 100.0	13 6.8	71 37.4	69 36.3	111 58.4	50 26.3	43 22.6	5 2.6	20 10.5
	精道生活圏域			348 100.0	20 5.7	104 29.9	121 34.8	204 58.6	86 24.7	75 21.6	7 2.0	28 8.0
	潮見生活圏域			219 100.0	14 6.4	93 42.5	74 33.8	144 65.8	52 23.7	47 21.5	5 2.3	15 6.8

②企画・運営としての参加

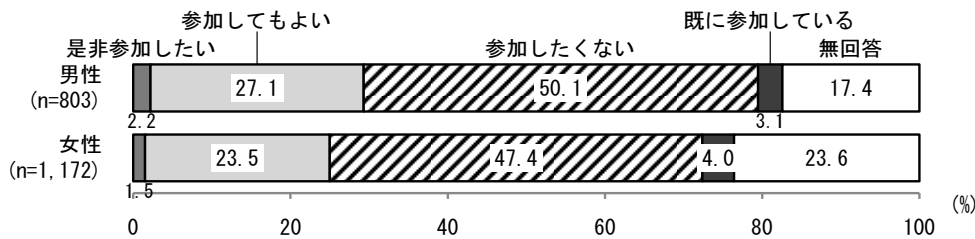
問6(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (1つに○)

地域の会・グループ活動等への企画・運営(お世話役)としての参加意向は、「是非参加したい」が1.7%、「参加してもよい」が25.0%で、「既に参加している」の3.7%も合わせて、『参加意向あり』は合計30.4%となっていますが、前回調査に比べて2.9ポイント減少しています。

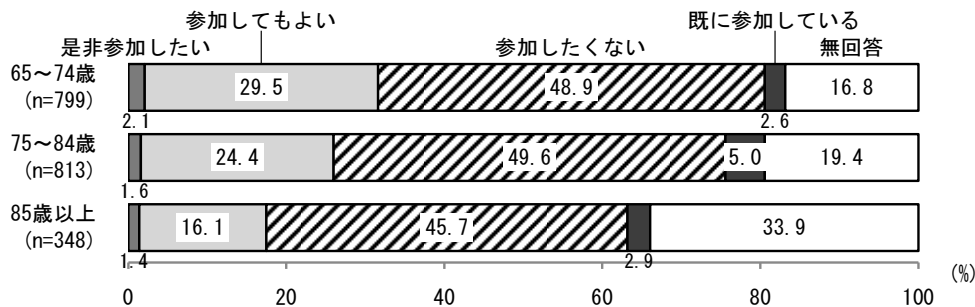
年齢別にみると、75～84歳では「既に参加している」が5.0%と他の年齢に比べて多くなっています。居住地域別にみると、『参加意向あり』は西山手生活圏域で32.5%と最も多くなっています。



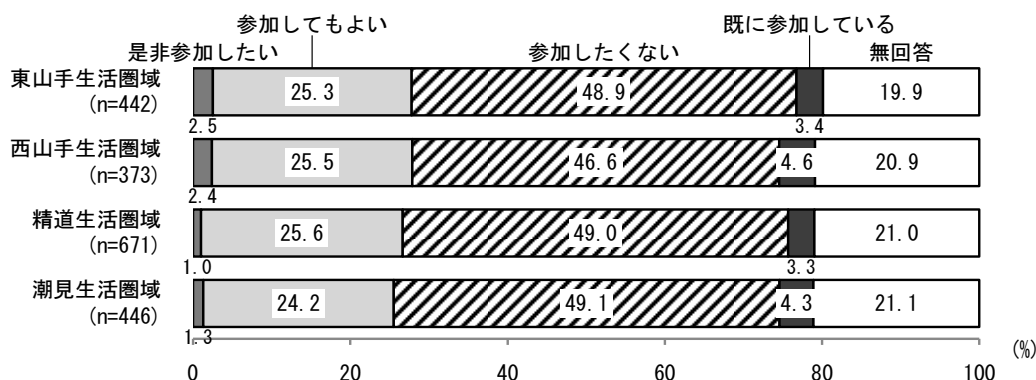
【性別 地域の会・グループ活動等への参加意向『企画・運営としての参加』】



【年齢別 地域の会・グループ活動等への参加意向『企画・運営としての参加』】



【居住地域別 地域の会・グループ活動等への参加意向『企画・運営としての参加』】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【問6(4)で「1」「2」「4」をのいずれかとお答えの方のみ】

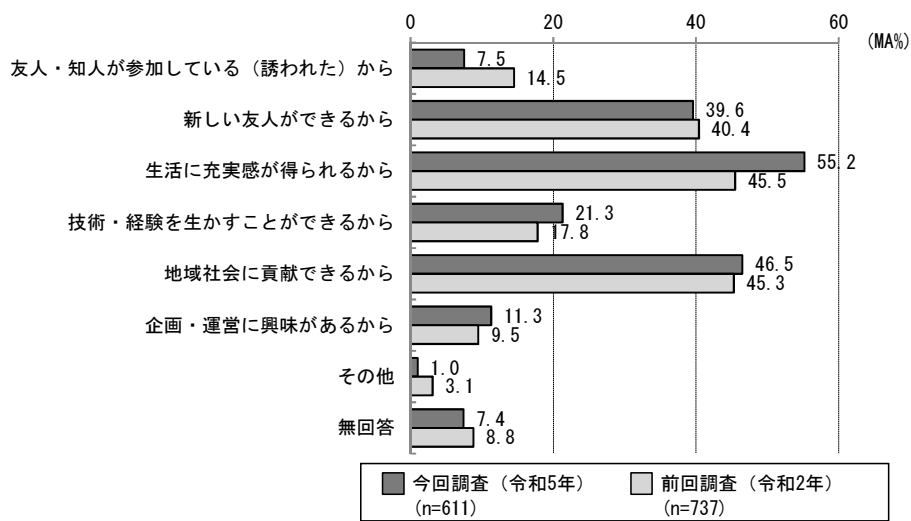
問6(4)-1 参加したい(参加している)と考えた理由は何ですか (〇はいくつでも)

参加したい(参加している)理由については、「生活に充実感が得られるから」が55.2%と最も多く、次いで、「地域社会に貢献できるから」が46.5%、「新しい友人ができるから」が39.6%となっています。

年齢別にみると、75～84歳では「生活に充実感が得られるから」が61.5%と、他の年齢層に比べて多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「生活に充実感が得られるから」が57.7%と、一般高齢者に比べて2.9ポイント多くなっています。

居住地域別にみると、西山手生活圏域と潮見生活圏域では「友人・知人が参加している(誘われた)から」が、他の地域に比べて多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 参加理由】

性別	年齢別	認定状況別	地域別	n	(MA%)							
					(友人・知人が参加している)	新しい友人ができるから	生活に充実感が得られるから	技術・経験を生かすことができるから	地域社会に貢献できるから	企画・運営に興味があるから	その他	無回答
全体				611	46.7	24.2	33.7	13.0	28.4	6.9	1.0	4.5
男性				261	14.2	11.4	14.6	5.9	12.9	3.2	1.1	1.5
女性				340	9.1	12.6	18.4	6.8	15.0	3.6	0.6	8.8
	65～74歳			274	6.9	11.7	13.4	5.7	14.2	3.4	1.1	7.7
	75～84歳			252	8.3	9.7	15.5	6.2	11.3	3.0	1.2	5.6
	85歳以上			71	7.0	25.2	39.9	9.0	23.4	4.0	0.0	11.3
	一般高齢者			482	7.5	19.9	26.4	10.6	23.0	6.1	1.0	5.8
	要支援者			78	6.4	38.5	57.7	21.8	35.9	5.1	0.0	12.8
	東山手生活圏域			138	4.3	5.4	7.9	3.7	5.8	2.4	3.0	4.0
	西山手生活圏域			121	10.7	37.2	52.9	23.1	43.8	12.4	1.7	9.9
	精進生活圏域			201	6.0	40.3	53.7	21.9	46.3	9.0	0.0	10.9
	潮見生活圏域			133	10.5	42.1	55.6	14.3	53.4	7.5	0.8	4.5

〔5〕普段から交流や付き合いのある相手

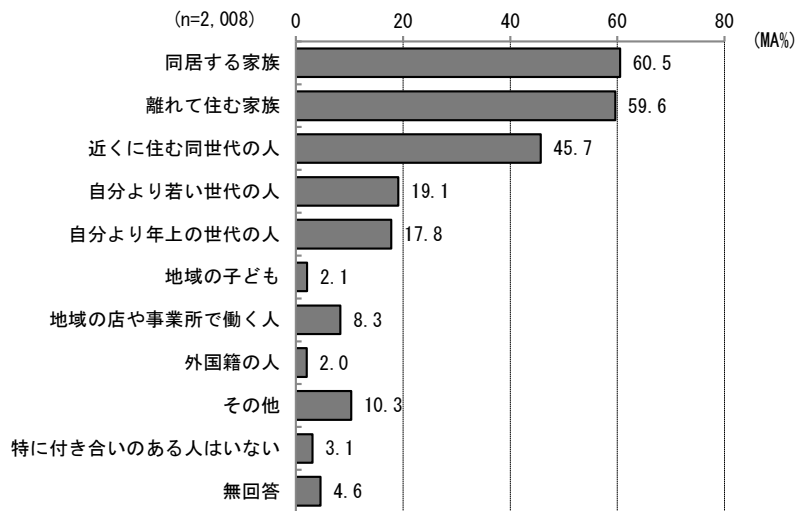
問6(5) ご本人が、普段から交流や付き合いのある方はどなたですか
(○はいくつでも)

交流や付き合いのある相手については、「同居する家族」が60.5%と最も多く、次いで、「離れて住む家族」が59.6%、「近くに住む同世代の人」が45.7%となっています。

性別にみると、「近くに住む同世代の人」は男性32.1%、女性55.0%と、女性の方が22.9ポイント多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「離れて住む家族」が57.0%と、「同居する家族」の45.5%を上回り最も多くなっています。

居住地域別にみると、西山手生活圏域では「近くに住む同世代の人」が、他の地域に比べて少なくなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 普段から交流がある人物】

	n	(MA%)										
		同居する家族	離れて住む家族	近くに住む同世代の人	自分より若い世代の人	自分より年上の世代の人	地域の子ども	地域の店や事業所で働く人	外国籍の人	その他	ない	特に付き合いのある人はいない
全体	2,008	1,214	1,196	917	384	358	43	166	41	206	63	93
	100.0	60.5	59.6	45.7	19.1	17.8	2.1	8.3	2.0	10.3	3.1	4.6
性別	男性	803	582	434	258	143	97	20	85	17	86	35
	100.0	72.5	54.0	32.1	17.8	12.1	2.5	10.6	2.1	10.7	4.4	4.9
年齢別	65~74歳	799	560	494	366	175	205	16	94	21	79	22
	100.0	70.1	61.8	45.8	21.9	25.7	2.0	11.8	2.6	9.9	2.8	3.1
	75~84歳	813	477	487	397	153	135	26	51	16	93	22
100.0	58.7	59.9	48.8	18.8	16.6	3.2	6.3	2.0	11.4	2.7	4.6	
85歳以上	348	158	191	134	52	12	1	15	3	32	16	
100.0	45.4	54.9	38.5	14.9	3.4	0.3	4.3	0.9	9.2	4.6	7.2	
認定状況別	一般高齢者	1,510	986	923	703	309	296	36	134	29	156	42
	100.0	65.3	61.1	46.6	20.5	19.6	2.4	8.9	1.9	10.3	2.8	3.6
要支援者	358	163	204	159	55	39	5	24	7	36	13	
100.0	45.5	57.0	44.4	15.4	10.9	1.4	6.7	2.0	10.1	3.6	7.0	
地域別	東山手生活圏域	442	266	268	207	100	82	9	30	10	54	14
	100.0	60.2	60.6	46.8	22.6	18.6	2.0	6.8	2.3	12.2	3.2	4.5
	西山手生活圏域	373	237	220	150	82	69	6	36	9	42	6
	100.0	63.5	59.0	40.2	22.0	18.5	1.6	9.7	2.4	11.3	1.6	4.0
	精進生活圏域	671	409	397	312	105	118	9	63	12	63	20
100.0	61.0	59.2	46.5	15.6	17.6	1.3	9.4	1.8	9.4	3.0	5.4	
潮見生活圏域	446	263	265	211	83	77	17	29	9	43	18	
100.0	59.0	59.4	47.3	18.6	17.3	3.8	6.5	2.0	9.6	4.0	3.6	

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔6〕新たに交流や関わり合いを持ちたい相手

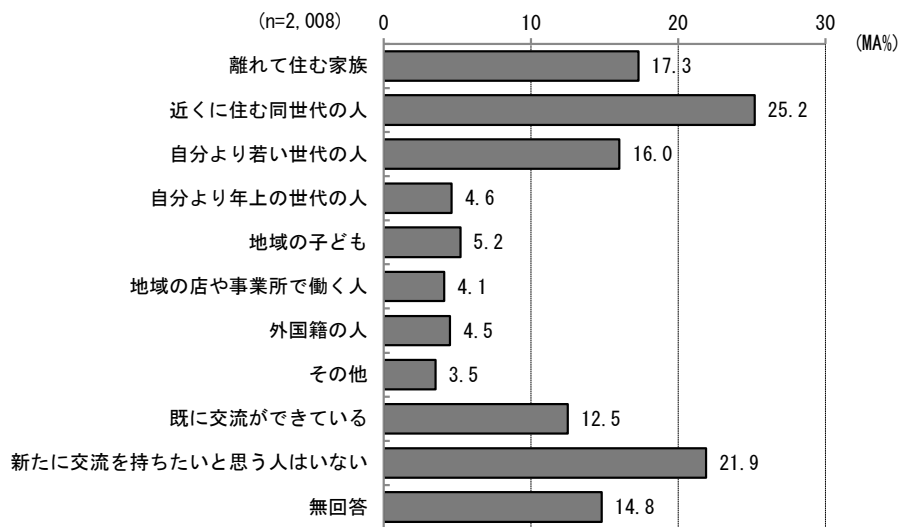
問6(5)-1 ご本人が、今後新たに交流や関わり合いを持ちたいと思う方はどなたですか（〇はいくつでも）

今後新たに交流や付き合いを持ちたいと思う相手については、「近くに住む同世代の人」が25.2%、「離れて住む家族」が17.3%、「自分より若い世代の人」が16.0%となっています。一方で、「新たに交流を持ちたいと思う人はいない」が21.9%と2割強を占めています。

性別にみると、男性では「新たに交流を持ちたいと思う人はいない」が25.9%と最も多く、女性に比べて6.6ポイント多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「離れて住む家族」が22.3%と、一般高齢者に比べて6.3ポイント多くなっています。

居住地域別にみると、東山手生活圏域では「既に交流ができるいる」の割合が、他の地域に比べて多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 今後交流を持ちたい人物】

	n	(MA%)											
		離れて住む家族	近くに住む同世代の人	自分より若い世代の人	自分より年上の世代の人	地域の子ども	地域の店や事業所で働く人	外国籍の人	その他	既に交流ができている	新たに交流を持ちたいと思	無回答	
全体	2,008	348	506	322	93	105	82	91	71	250	440	298	
	100.0	17.3	25.2	16.0	4.6	5.2	4.1	4.5	3.5	12.5	21.9	14.8	
性別	男性	803	129	160	124	20	37	39	42	32	103	208	106
		100.0	16.1	19.9	15.4	2.5	4.6	4.9	5.2	4.0	12.8	25.9	13.2
	女性	1,172	211	338	193	71	66	39	48	39	144	226	184
		100.0	18.0	28.8	16.5	6.1	5.6	3.3	4.1	3.3	12.3	19.3	15.7
年齢別	65～74歳	799	111	191	156	46	52	45	52	31	113	173	90
		100.0	13.9	23.9	19.5	5.8	6.5	5.6	6.5	3.9	14.1	21.7	11.3
	75～84歳	813	152	218	122	33	39	25	30	27	94	183	127
	100.0	18.7	26.8	15.0	4.1	4.8	3.1	3.7	3.3	11.6	22.5	15.6	
	85歳以上	348	75	86	39	9	10	8	6	12	38	78	68
	100.0	21.6	24.7	11.2	2.6	2.9	2.3	1.7	3.4	10.9	22.4	19.5	
認定状況別	一般高齢者	1,510	241	375	251	63	82	61	79	56	197	337	196
		100.0	16.0	24.8	16.6	4.2	5.4	4.0	5.2	3.7	13.0	22.3	13.0
	要支援者	358	80	93	48	19	15	11	9	12	37	82	65
	100.0	22.3	26.0	13.4	5.3	4.2	3.1	2.5	3.4	10.3	22.9	18.2	
地域別	東山手生活圏域	442	60	100	79	15	19	18	24	20	70	92	62
		100.0	13.6	22.6	17.9	3.4	4.3	4.1	5.4	4.5	15.8	20.8	14.0
	西山手生活圏域	373	67	81	63	20	21	19	18	13	41	85	57
		100.0	18.0	21.7	16.9	5.4	5.6	5.1	4.8	3.5	11.0	22.8	15.3
	精進生活圏域	671	115	166	96	25	34	25	32	24	81	157	102
	100.0	17.1	24.7	14.3	3.7	5.1	3.7	4.8	3.6	12.1	23.4	15.2	
	潮見生活圏域	446	92	137	72	27	26	15	14	12	50	92	59
	100.0	20.6	30.7	16.1	6.1	5.8	3.4	3.1	2.7	11.2	20.6	13.2	

7 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

[1] 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人

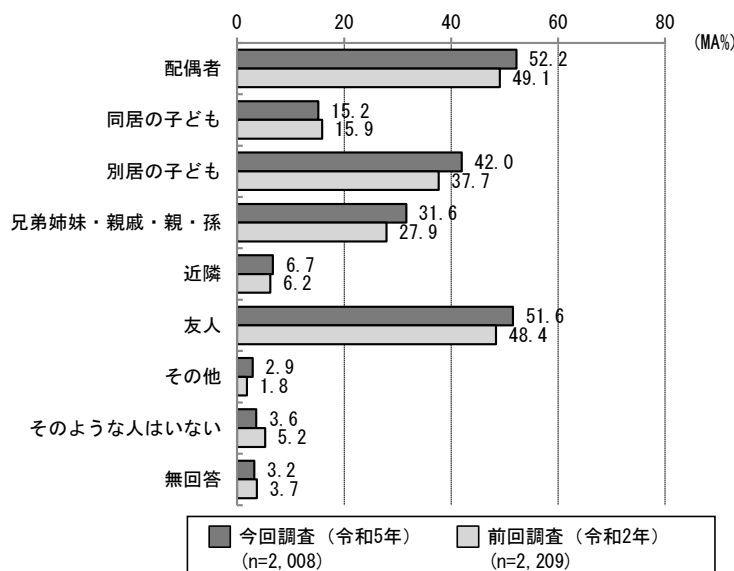
問6(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

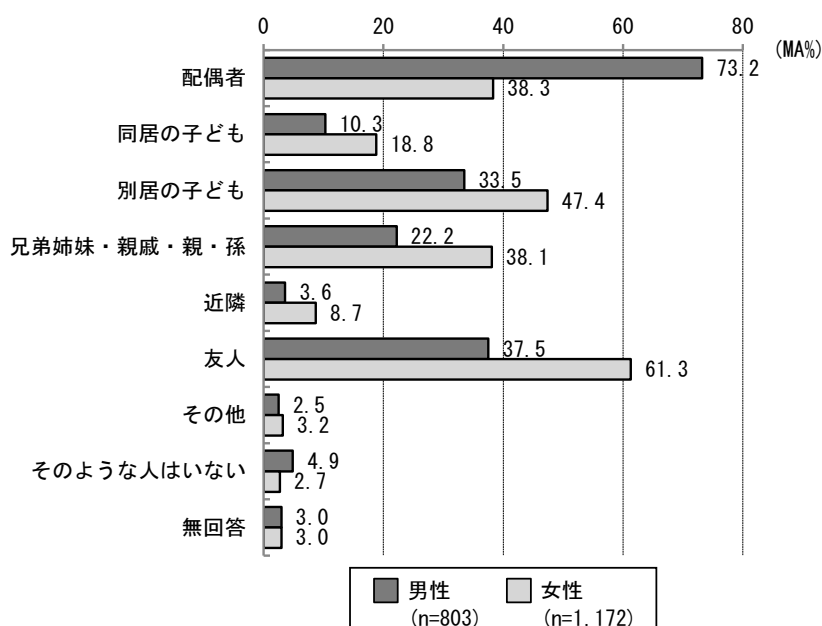
心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が52.2%と最も多く、次いで、「友人」が51.6%、「別居の子ども」が42.0%となっています。

性別にみると、男性は「配偶者」が73.2%と最も多く、女性は「友人」が61.3%と最も多くなっています。また、「そのような人はいない」は、男性が女性に比べて2.2ポイント多くなっています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人】



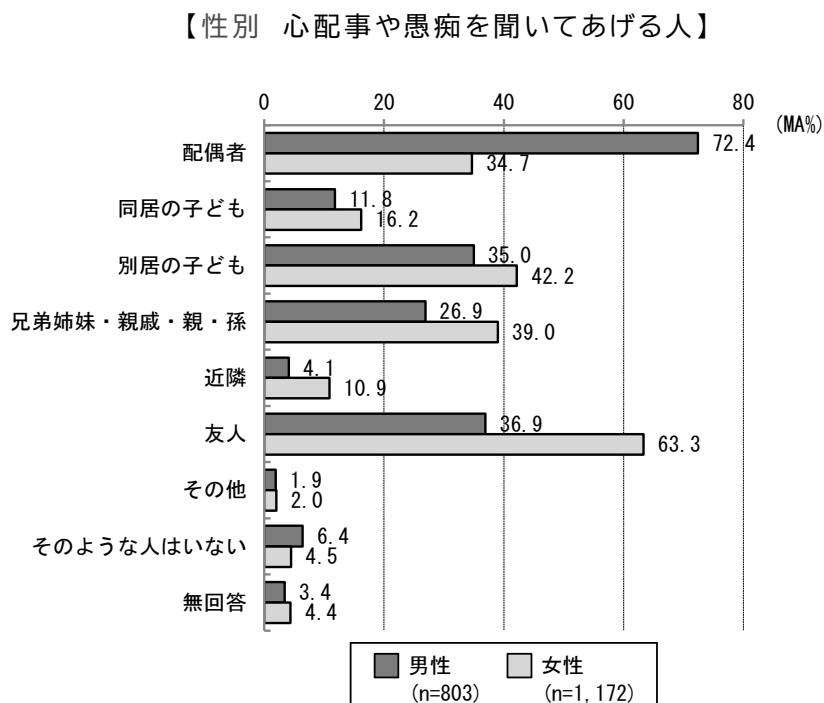
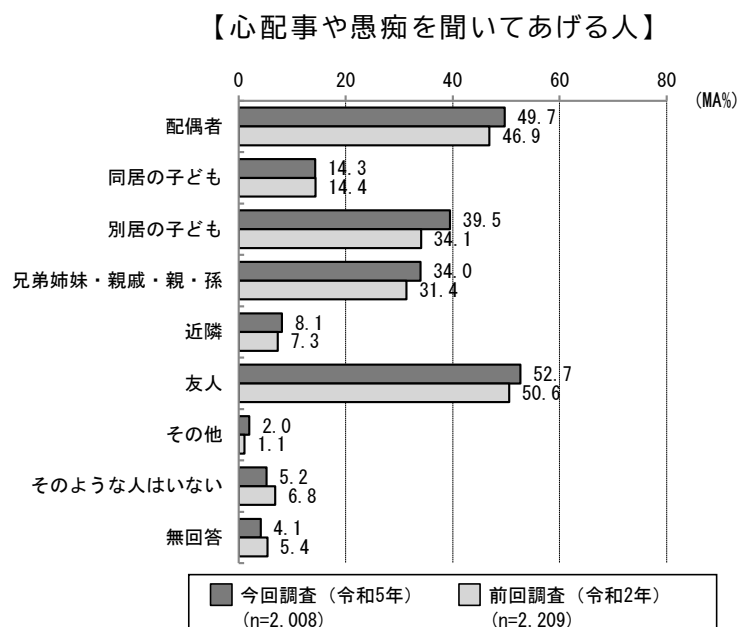
【性別 心配事や愚痴を聞いてくれる人】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」が52.7%と最も多く、次いで、「配偶者」が49.7%、「別居の子ども」が39.5%となっています。

性別にみると、心配事や愚痴を聞いてくれる人同様、男性は「配偶者」が72.4%と最も多く、女性は「友人」が63.3%と最も多くなっており、「そのような人はいない」は、男性が女性に比べて1.9ポイント多くなっています。



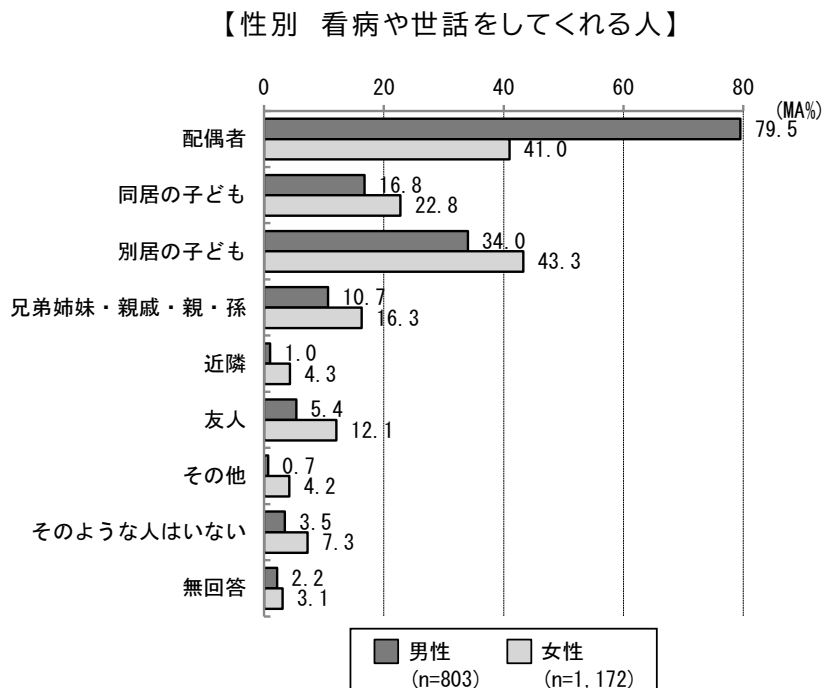
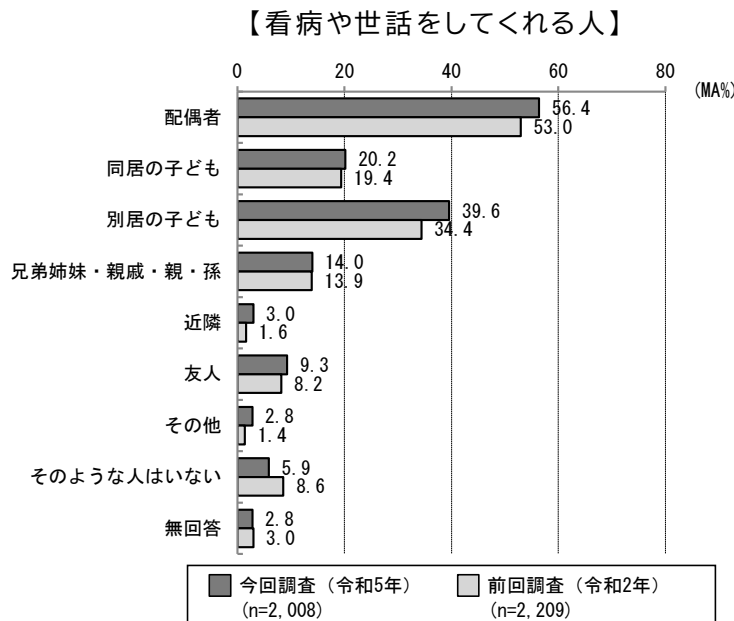
〔2〕看病や世話をしてくれる人、してあげる人

問7(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(○はいくつでも)

問7(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (○はいくつでも)

看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が56.4%と最も多く、次いで、「別居の子ども」が39.6%、「同居の子ども」が20.2%となっています。

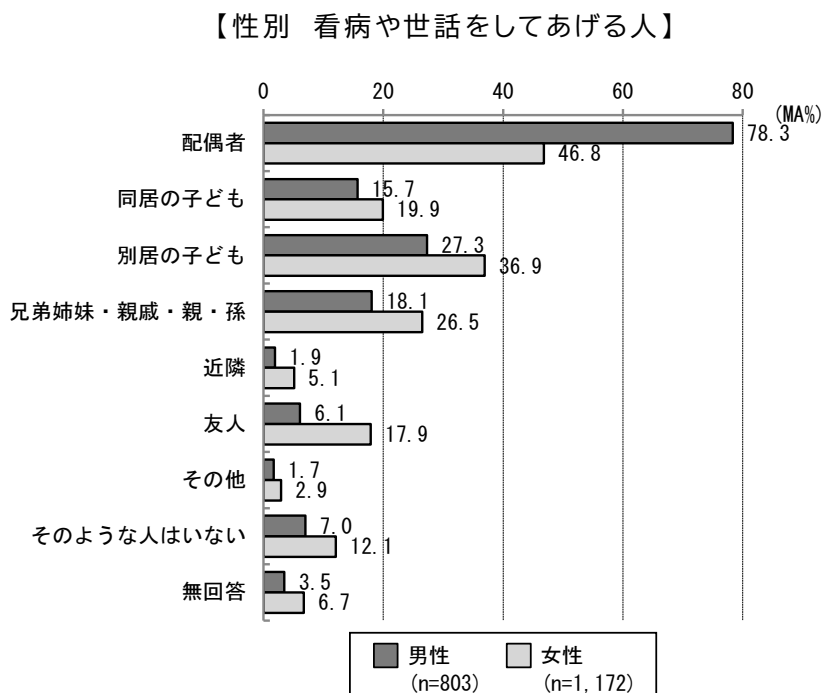
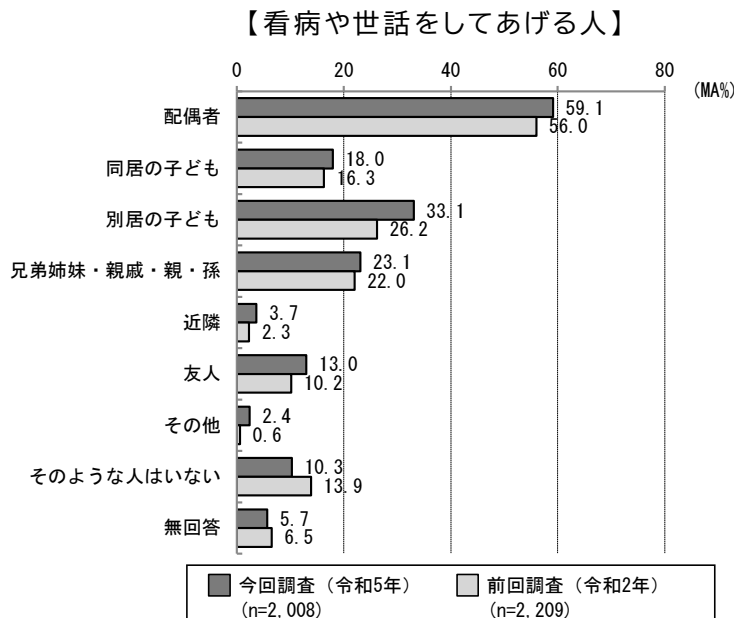
性別にみると、男性は「配偶者」が79.5%と最も多く、女性は「別居の子ども」が43.3%、「配偶者」が41.0%となっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

看病や世話をしあける人は、「配偶者」が59.1%と最も多く、次いで、「別居の子ども」が33.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.1%となっています。

性別にみると、看護や世話をしてくれる人同様、男性は「配偶者」が78.3%と最も多く、女性は「配偶者」が46.8%、「別居の子ども」が36.9%となっています。



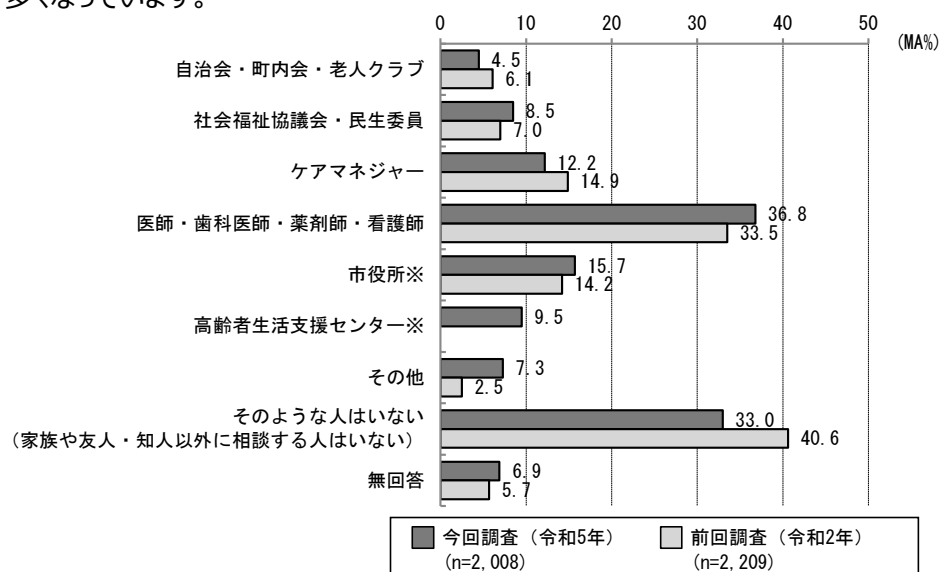
〔3〕相談相手

問7(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手は、「医師・歯科医師・看護師」が36.8%と最も多く、次いで、「市役所」が15.7%、「ケアマネジャー」が12.2%となっています。「そのような人はいない（家族や友人・知人以外に相談する人はいない）」は前回調査に比べて7.6ポイント減少していますが、3割ほどみられます。

年齢別にみると、85歳以上では「ケアマネジャー」が30.2%と最も多く、「高齢者生活支援センター」も15.8%と他の年齢層に比べて多くなっています。

居住地域別にみると、潮見生活圏域では「高齢者生活支援センター」が12.8%と、他の地域に比べて多くなっています。



※前回調査では、「高齢者生活相談支援センター・市役所」

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 家族や友人・知人以外の相談相手】

		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師・薬剤師	市役所	高齢者生活支援センター	その他	（家族や友人・知人以外に相談する人はいない）	無回答
全体		90	171	244	738	315	191	147	663	138
		4.5	8.5	12.2	36.8	15.7	9.5	7.3	33.0	6.9
性別	男性	41	63	65	314	142	66	74	275	42
	女性	47	107	174	416	169	122	72	375	92
		5.1	7.8	8.1	39.1	17.7	8.2	9.2	34.2	5.2
		4.0	9.1	14.8	35.5	14.4	10.4	6.1	32.0	7.8
年齢別	65～74歳	28	50	34	278	148	36	77	304	41
	75～84歳	52	81	96	316	125	95	52	256	57
	85歳以上	7	39	105	129	36	55	16	86	36
		3.5	6.3	4.3	34.8	18.5	4.5	9.6	38.0	5.1
		6.4	10.0	11.8	38.9	15.4	11.7	6.4	31.5	7.0
		2.0	11.2	30.2	37.1	10.3	15.8	4.6	24.7	10.3
認定状況別	一般高齢者	72	130	38	558	272	119	123	551	82
	要支援者	10	28	192	141	25	62	14	62	33
		2.8	7.8	53.6	39.4	7.0	17.3	3.9	17.3	9.2
地域別	東山手生活圏域	8	32	53	186	69	35	37	139	26
	西山手生活圏域	10	28	46	144	48	30	21	129	27
	精道生活圏域	2.7	7.5	12.3	38.6	12.9	8.0	5.6	34.6	7.2
	潮見生活圏域	31	37	55	157	80	57	26	150	29
		7.0	8.3	12.3	35.2	17.9	12.8	5.8	33.6	6.5

〔4〕高齢者生活支援センターについて

問7(6) ご本人のお住いを担当する「高齢者生活支援センター」を知っていますか
(1つに○)

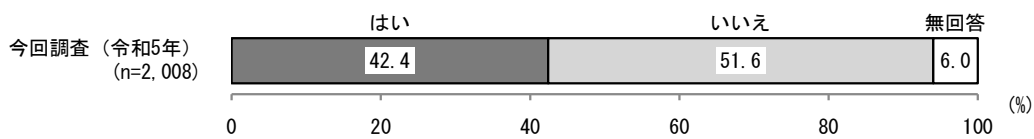
「高齢者生活支援センター」の認知については、「はい」（知っている）が 42.4%、「いいえ」（知らない）が 51.6%となっています。

性別にみると、女性は「はい」（知っている）が 49.1%と、男性に比べて 16.6 ポイント多くなっています。

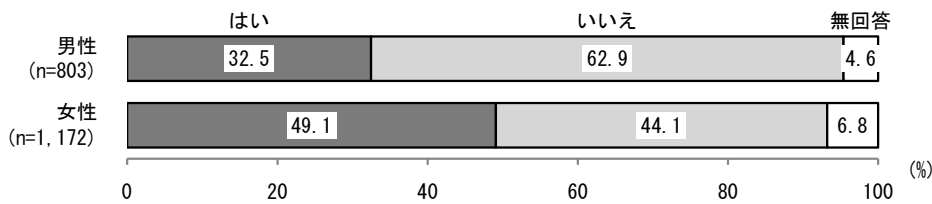
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて認知度も上がり、85 歳以上では「はい」（知っている）が 56.3%と半数強を占めています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」（知っている）が 71.5%となっています。

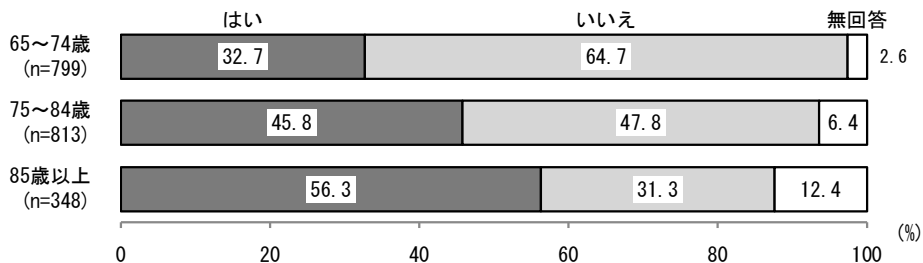
居住地域別にみると、「はい」（知っている）は潮見生活圏域で 45.1%と最も多く、東山手生活圏域では 39.6%とやや少なくなっています。



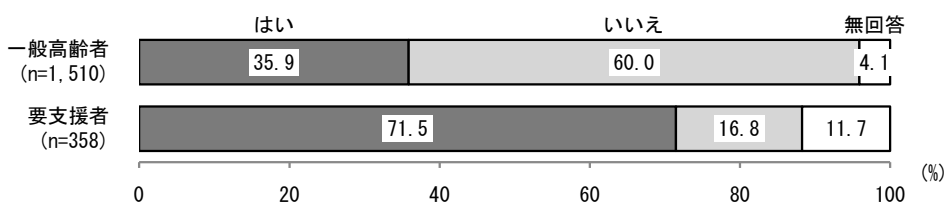
【性別 高齢者生活支援センターの認知度】



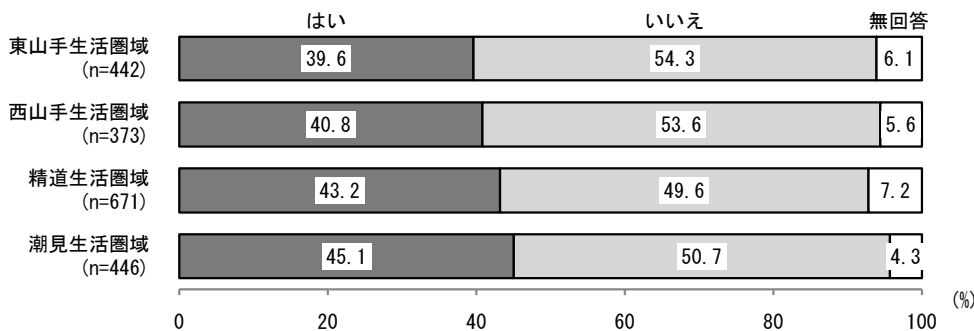
【年齢別 高齢者生活支援センターの認知度】



【認定状況別 高齢者生活支援センターの認知度】



【居住地域別 高齢者生活支援センターの認知度】



【問7(6)で「1.はい」(知っている)とお答えの方のみ】

問7(6)-1 ご本人やご家族は、高齢者生活支援センターを利用したことがありますか
(1つに○)

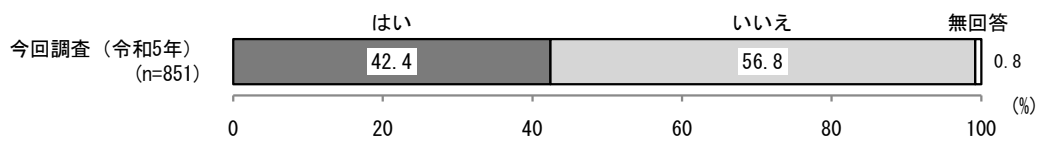
「高齢者生活支援センター」の利用の有無については、「はい」(利用したことがある)が42.4%、「いいえ」(利用したことがない)が56.8%となっています。

性別にみると、「はい」(利用したことがある)は男性で37.2%、女性が45.4%となっています。

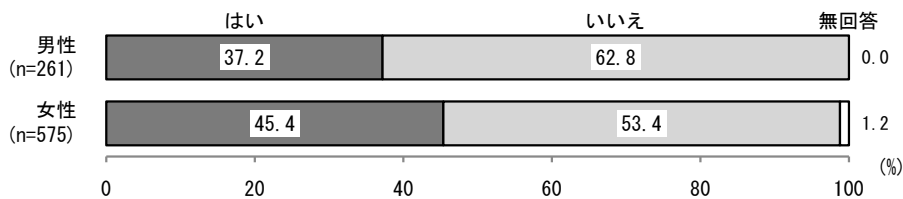
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい」(利用したことがある)の割合も多くなり、85歳以上では53.6%と半数強の人が利用しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」(利用したことがある)70.3%となっています。

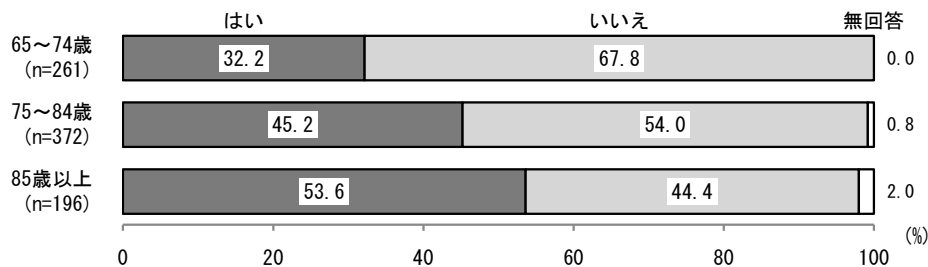
居住地域別にみると、「はい」(利用したことがある)は西山手生活圏域で50.7%と最も多く、潮見生活圏域では35.3%と少なくなっています。



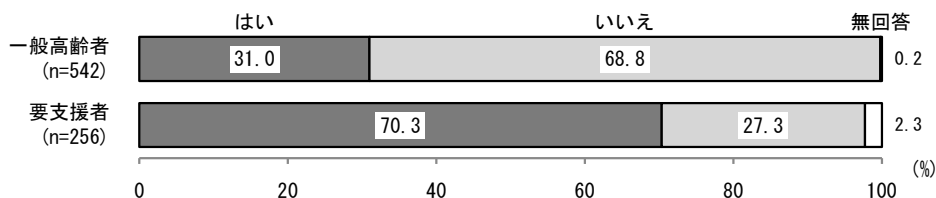
【性別 高齢者生活支援センターの利用の有無】



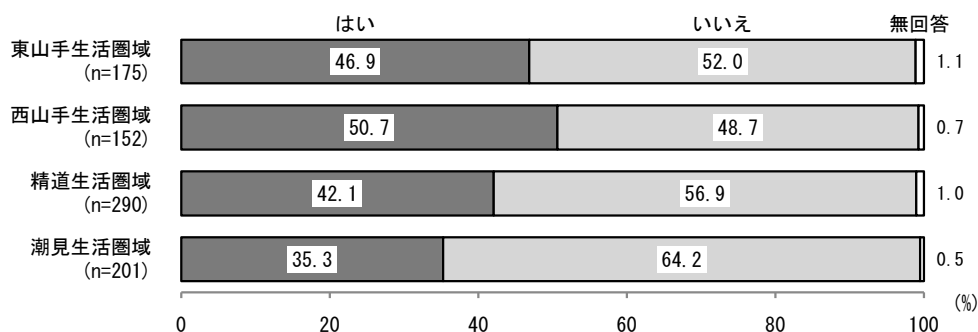
【年齢別 高齢者生活支援センターの利用の有無】



【認定状況別 高齢者生活支援センターの利用の有無】



【居住地域別 高齢者生活支援センターの利用の有無】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【問7(6)で「2.いいえ」(利用したことがない)とお答えの方のみ】

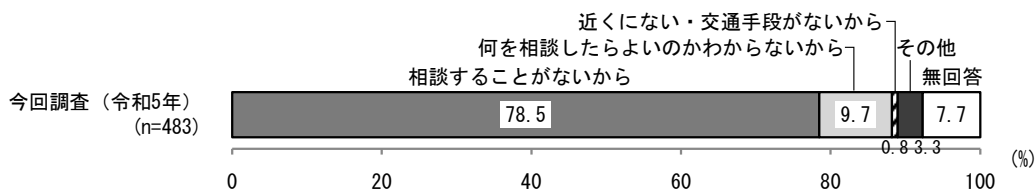
問7(6)-2 その理由は何ですか

高齢者生活支援センターを利用していない理由は、「相談することがないから」が78.5%と最も多く、次いで、「何を相談したらよいのかわからないから」が9.7%となっています。

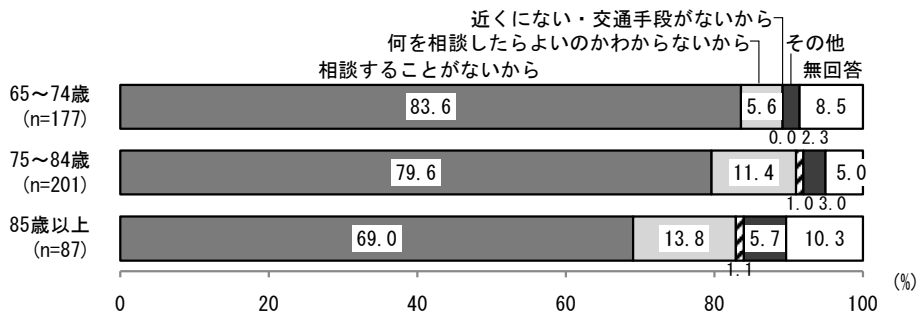
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「何を相談したらよいのかわからないから」の割合が多くなり、75～84歳では11.4%、85歳以上では13.8%となっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「何を相談したらよいのかわからないから」が14.3%と、一般高齢者に比べて多くなっています。

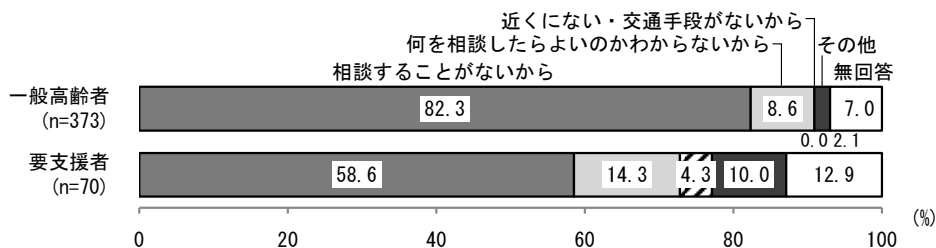
居住地域別にみると、東山手生活圏域では、「何を相談したらよいのかわからないから」が13.2%と、他の地域に比べて多くなっています。



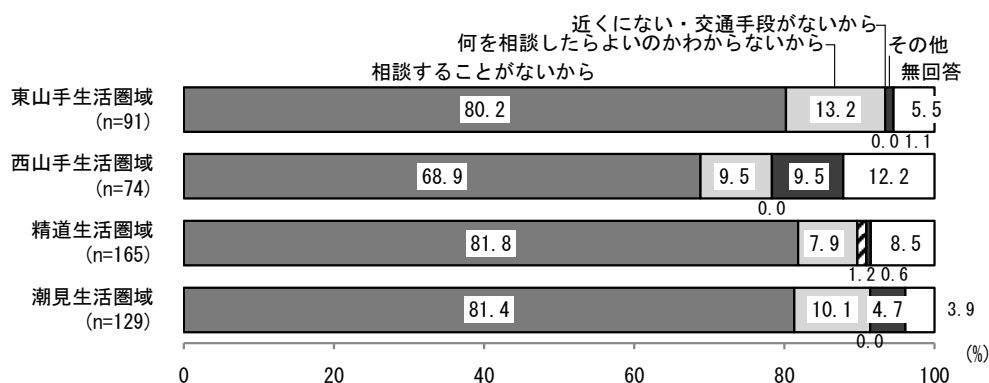
【年齢別 高齢者生活支援センターの未利用の理由】



【認定状況別 高齢者生活支援センターの未利用の理由】



【居住地域別 高齢者生活支援センターの未利用の理由】



〔5〕成年後見制度について

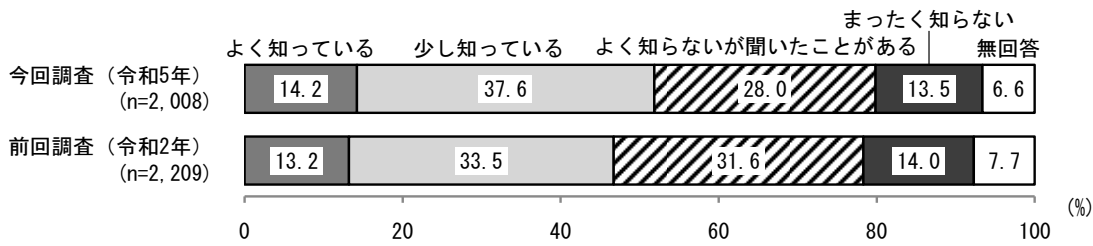
問7(7) ご本人は、「成年後見制度」について知っていますか (1つに○)

成年後見制度の認知については、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている』が合計 51.8%、「まったく知らない」と「よく知らないが聞いたことがある」を合わせた『知らない』が 41.5%となっています。前回調査に比べて、『知っている』は 5.1 ポイント増加しています。

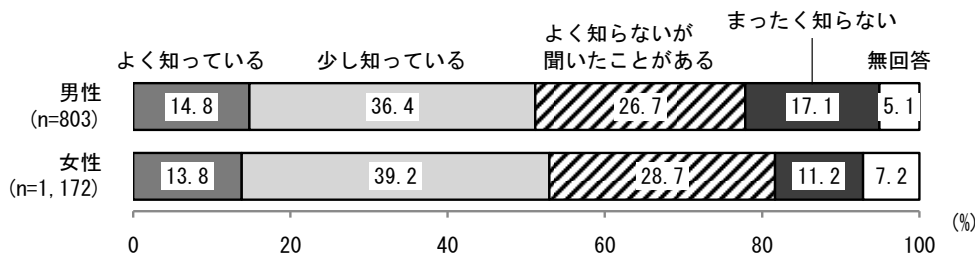
性別にみると、男女とも半数強が『知っている』と回答しています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『知っている』の割合は減少する傾向がみられ、75～84歳では 51.9%、85歳以上では 45.7%となっています。

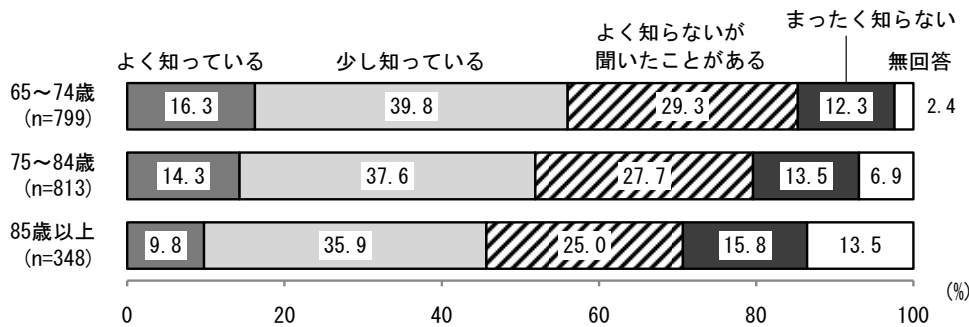
認定状況別にみると、一般高齢者、要支援認定者ともに『知っている』が半数強となっています。



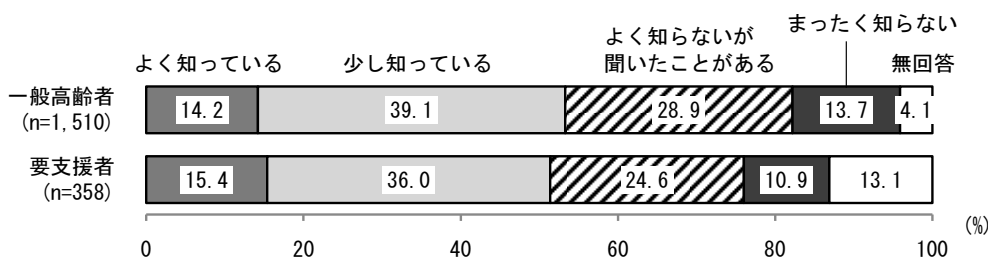
【性別 成年後見制度の認知度】



【年齢別 成年後見制度の認知度】



【認定状況別 成年後見制度の認知度】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【問7(7)で「1.よく知っている」または「2.少し知っている」とお答えの方のみ】

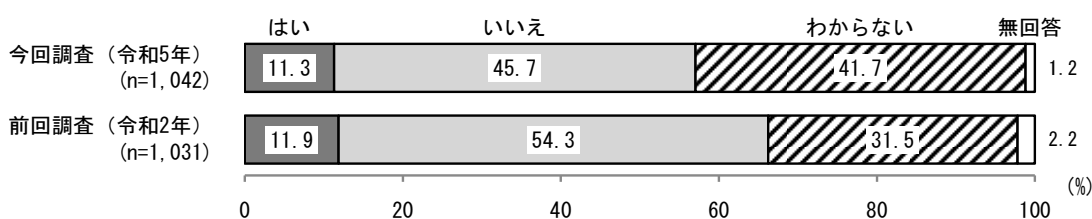
問7(7)-1 今後、成年後見制度を利用したいですか（1つに○）

成年後見制度の今後の利用意向については、「はい」（利用したい）が11.3%、「いいえ」（利用したくない）が45.7%、「わからない」が41.7%となっています。前回調査に比べて、「わからない」が10.2ポイント多くなっています。

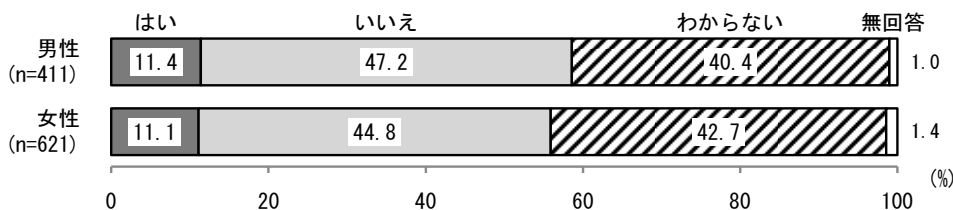
性別にみると、男女とも「はい」（利用したい）は1割強となっています。

年齢別になると、「はい」（利用したい）は85歳以上で16.4%と、他の年齢層に比べて多くなっています。

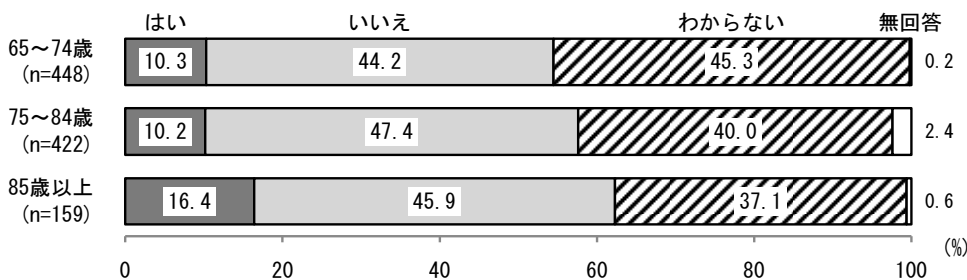
認定状況別にみると、「はい」（利用したい）は要支援認定者で17.9%と、一般高齢者に比べ、8.7ポイント多くなっています。



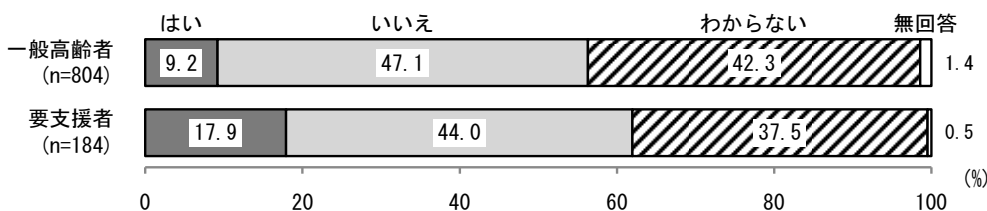
【性別 成年後見制度の利用意向】



【年齢別 成年後見制度の利用意向】



【認定状況別 成年後見制度の利用希望】



8 健康について

〔1〕主観的健康感

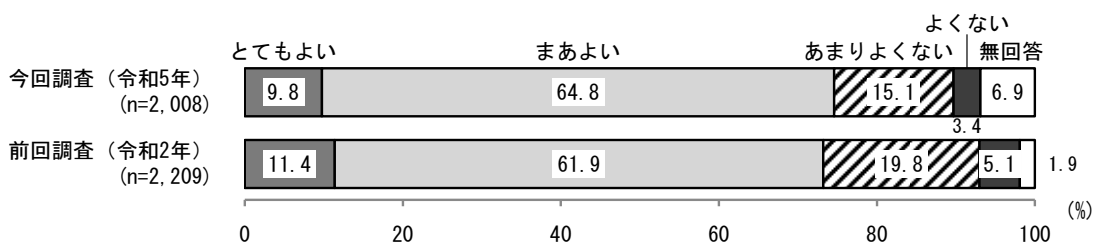
問8(1) 現在の健康状態はいかがですか (1つに○)

現在の健康状態については、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が合計 74.6%、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた『よくない』が合計 18.5%となっています。前回調査に比べて、『よい』が 1.3 ポイント増加しています。

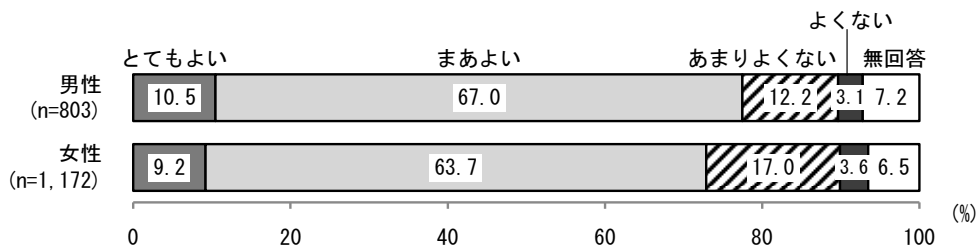
性別にみると、『よい』は男性で 77.5%と、女性に比べて 4.6 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『よい』の割合は少なくなっていますが、85歳以上でも6割近くの方が『よい』と回答しています。

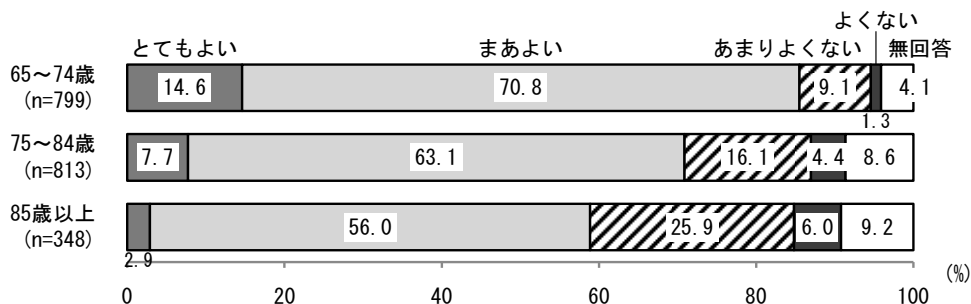
認定状況別にみると、『よい』は要支援認定者では 48.0%と、一般高齢者に比べて 33.2 ポイント少なくなっています。



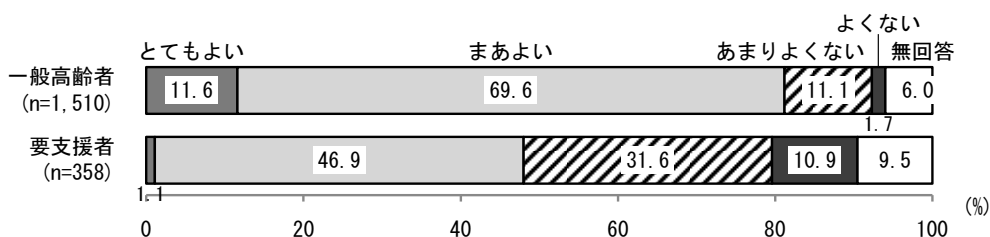
【性別 主観的健康感】



【年齢別 主観的健康感】



【認定状況別 主観的健康感】



Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔2〕主観的幸福感

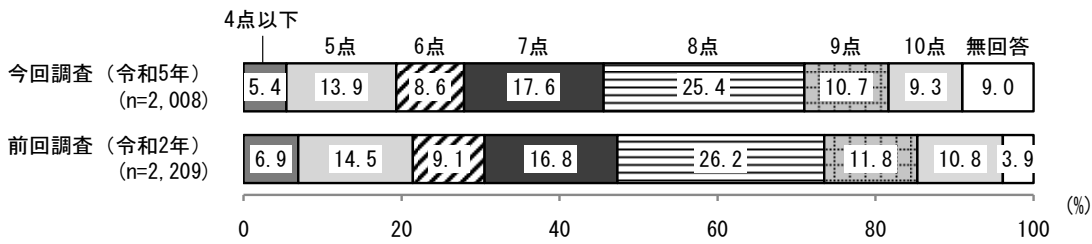
問8(2) 現在、どの程度幸せですか (1つに○)
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

現在の幸福度を10点満点で評価してもらったところ、「8点」が25.4%と最も多く、次いで、「7点」が17.6%、「5点」が13.9%で、平均7.18点となっています。

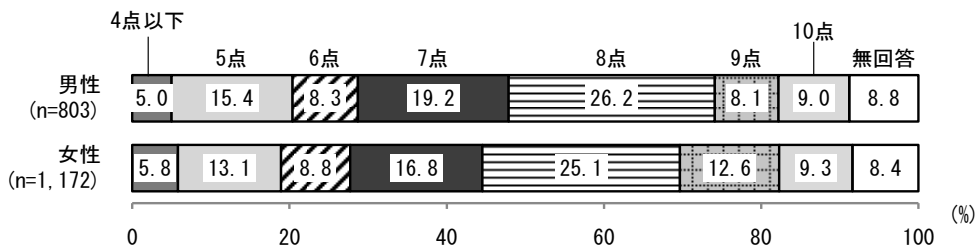
性別にみると、男性は平均7.11点、女性は7.23点と、女性のほうが幸福度は高くなっています。

年齢別にみると、65～74歳は平均7.23点、75～84歳は7.16点、85歳以上は7.12点と、年齢が上がるにつれて幸福度が下がっている傾向がみられます。

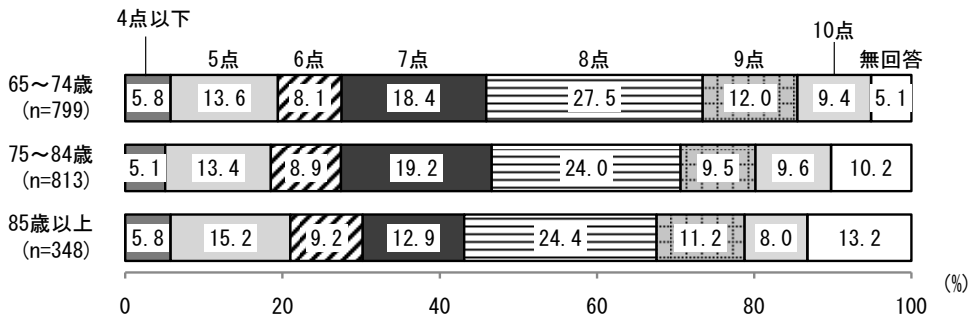
認定状況別にみると、一般高齢者は平均7.29点、要支援認定者は平均6.70点と、要支援認定者の幸福度が低くなっています。



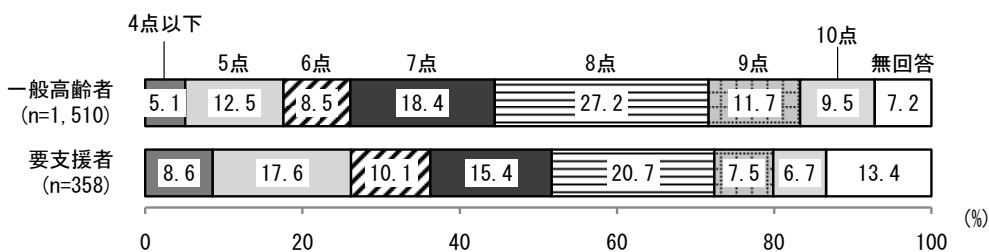
【性別 主観的幸福感】



【年齢別 主観的幸福感】



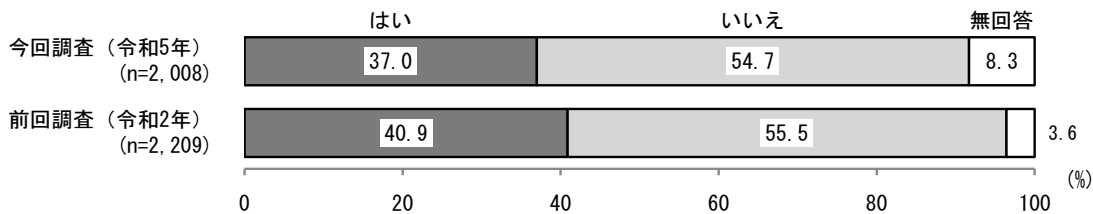
【認定状況別 主観的幸福感】



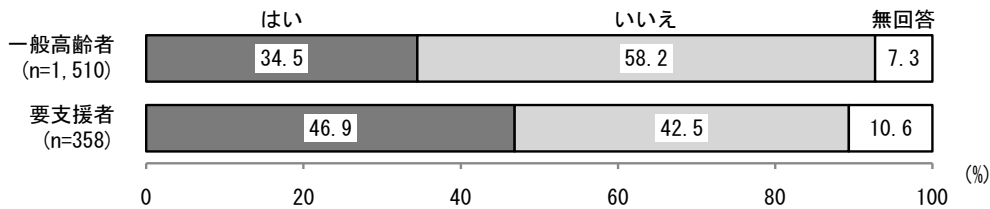
〔3〕ゆううつ感や物事に対する興味の喪失感

問8(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が37.0%、「いいえ」が54.7%となっています。前回調査に比べて、「はい」は3.9ポイント減少しています。認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が46.9%と一般高齢者に比べて多くなっています。



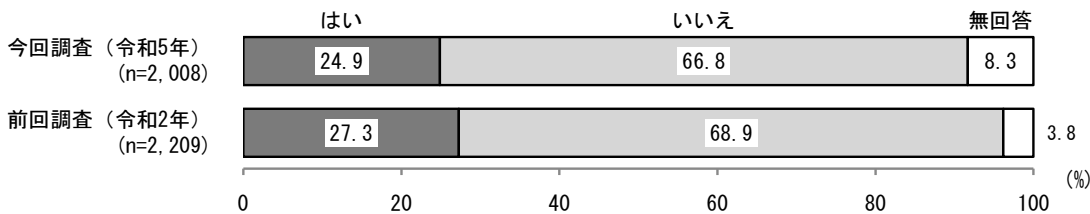
【認定状況別 ゆううつ感】



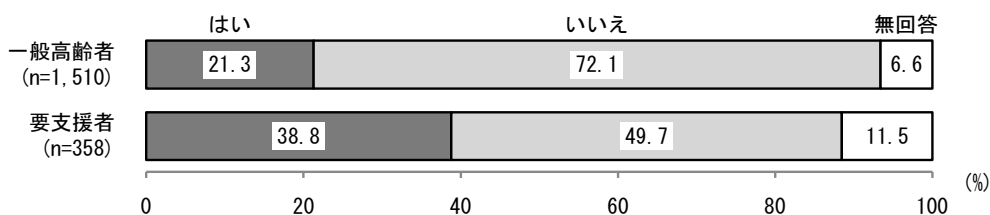
問8(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあるかについては、「はい」が24.9%、「いいえ」が66.8%となっています。前回調査に比べて、「はい」は2.4ポイント減少しています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」が38.8%と一般高齢者に比べて多くなっています。



【認定状況別 物事に対する興味の喪失感】



〔4〕喫煙習慣

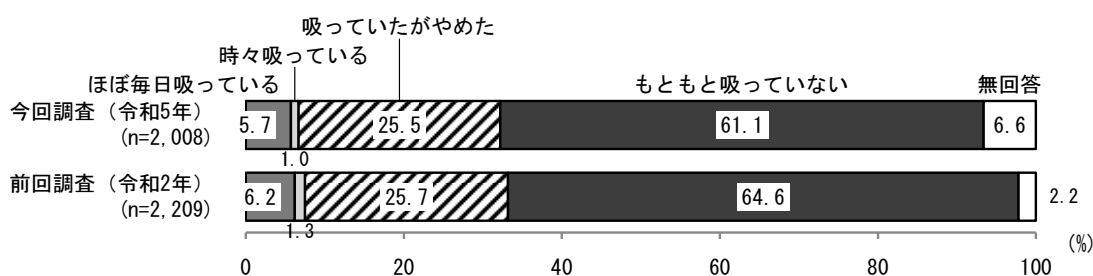
問8(5) タバコは吸っていますか (1つに○)

喫煙習慣については、「もともと吸っていない」が61.1%と最も多く、次いで、「吸っていたがやめた」が25.5%で、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』は合計6.7%となっています。

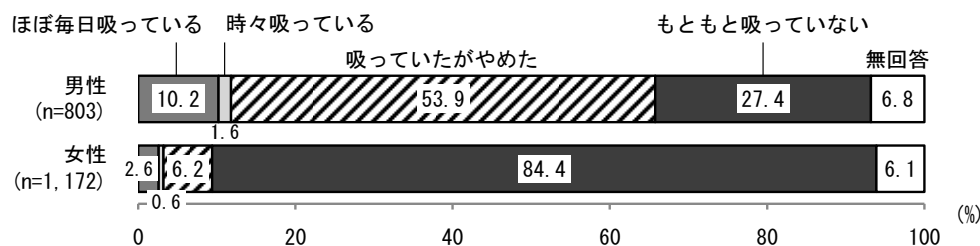
性別にみると、男性では『吸っている』が11.8%、女性は3.2%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて喫煙率は下がり、85歳以上では『吸っている』は1.7%となっています。

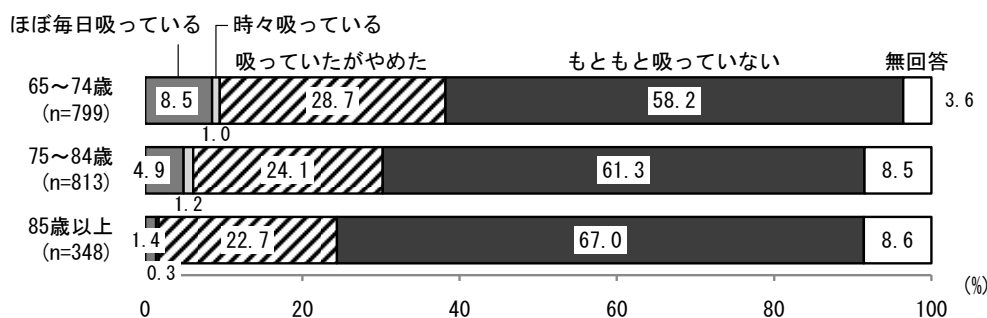
認定状況別にみると、『吸っている』は一般高齢者で7.7%、要支援認定者では3.0%となっています。



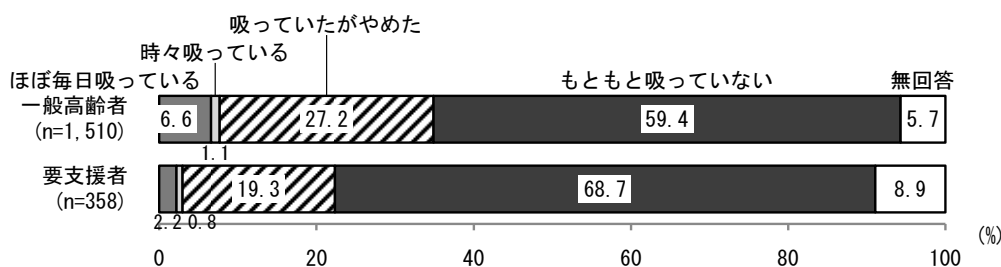
【性別 喫煙習慣の有無】



【年齢別 喫煙習慣の有無】



【認定状況別 喫煙習慣の有無】



〔5〕かかりつけ医等の有無

問8(6) あなたは、かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師を決めていますか
(○はいくつでも)

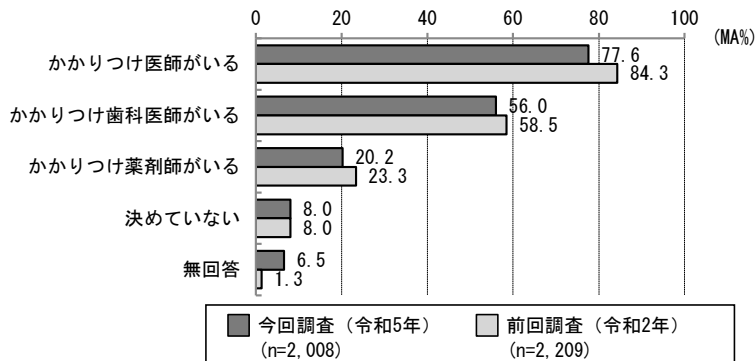
かかりつけ医等の有無については、「かかりつけ医師がいる」が 77.6%と最も多く、次いで、「かかりつけ歯科医師がいる」が 56.0%、「かかりつけ薬剤師がいる」が 20.2%となっています。前回調査に比べて、「かかりつけ医師がいる」は 6.7 ポイント減少しています。

性別にみると、かかりつけ医等のいる割合は女性で多くなっています。

年齢別にみると、「かかりつけ歯科医師がいる」は 75～84 歳で、「かかりつけ医師がいる」と「かかりつけ薬剤師がいる」は 85 歳以上で他の年齢層に比べて多くなっています。

認定状況別にみると、かかりつけ医等のいる割合は要支援認定者で多くなっています。

居住地域別にみると、「かかりつけ医師がいる」は精道生活圏域で、「かかりつけ歯科医師がいる」は西山手生活圏域で、他の地域に比べて多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 かかりつけ医等の有無】

		n	かかりつけ医師がいる	かかりつけ歯科医師がいる	かかりつけ薬剤師がいる	決めていない	無回答
全体		2,008 100.0	1,559 77.6	1,125 56.0	405 20.2	160 8.0	131 6.5
性別	男性	803 100.0	619 77.1	410 51.1	145 18.1	68 8.5	58 7.2
	女性	1,172 100.0	917 78.2	700 59.7	251 21.4	90 7.7	67 5.7
年齢別	65～74歳	799 100.0	588 73.6	418 52.3	111 13.9	98 12.3	31 3.9
	75～84歳	813 100.0	641 78.8	481 59.2	175 21.5	48 5.9	66 8.1
	85歳以上	348 100.0	296 85.1	199 57.2	110 31.6	12 3.4	28 8.0
状況別	一般高齢者	1,510 100.0	1,145 75.8	833 55.2	247 16.4	139 9.2	89 5.9
	要支援者	358 100.0	306 85.5	220 61.5	130 36.3	10 2.8	28 7.8
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	337 76.2	250 56.6	80 18.1	36 8.1	33 7.5
	西山手生活圏域	373 100.0	289 77.5	222 59.5	79 21.2	28 7.5	21 5.6
	精道生活圏域	671 100.0	551 82.1	380 56.6	143 21.3	42 6.3	37 5.5
	潮見生活圏域	446 100.0	328 73.5	231 51.8	92 20.6	49 11.0	33 7.4

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔6〕治療中、後遺症のある病気

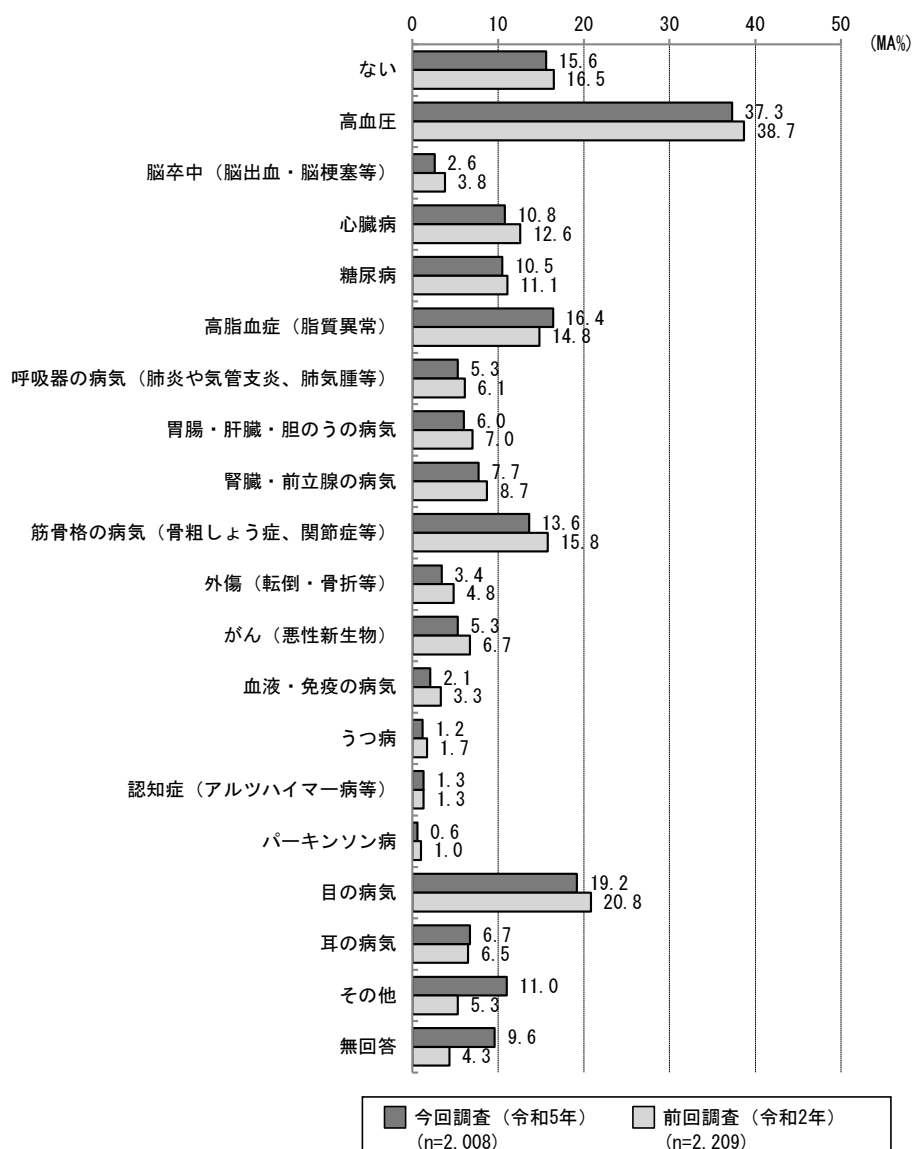
問8(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（〇はいくつでも）

治療中や後遺症のある病気については、「高血圧」が 37.3%と最も多く、次いで、「目の病気」が 19.2%、「高脂血症（脂質異常）」が 16.4%となっています。

性別にみると、男女ともに「高血圧」が最も多くなっていますが、男性では「心臓病」や「糖尿病」などが女性に比べて多く、女性では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が男性に比べて 14.5 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて病気のある割合が多くなっていますが、「糖尿病」と「がん（悪性新生物）」では 75～84 歳が他の年齢層に比べて多くなっています。

居住地域別にみると、精道生活圏域では「ない」が他の地域に比べて多くなっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 治療中や後症のある病気】

		n	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎、肺気腫等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)
全体		2,008 100.0	314 15.6	748 37.3	53 2.6	216 10.8	210 10.5	329 16.4	107 5.3	120 6.0	155 7.7	273 13.6	68 3.4	106 5.3
性別	男性	803 100.0	128 15.9	309 38.5	33 4.1	123 15.3	115 14.3	106 13.2	43 5.4	53 6.6	128 15.9	40 5.0	21 2.6	54 6.7
	女性	1,172 100.0	181 15.4	426 36.3	20 1.7	88 7.5	91 7.8	222 18.9	60 5.1	67 5.7	25 2.1	228 19.5	47 4.0	48 4.1
年齢別	65～74歳	799 100.0	192 24.0	251 31.4	12 1.5	44 5.5	69 8.6	145 18.1	30 3.8	41 5.1	33 4.1	65 8.1	17 2.1	38 4.8
	75～84歳	813 100.0	87 10.7	316 38.9	27 3.3	111 13.7	98 12.1	134 16.5	48 5.9	53 6.5	74 9.1	142 17.5	28 3.4	48 5.9
	85歳以上	348 100.0	26 7.5	163 46.8	14 4.0	52 14.9	35 10.1	46 13.2	22 6.3	26 7.5	44 12.6	60 17.2	23 6.6	16 4.6
状況別	一般高齢者	1,510 100.0	279 18.5	535 35.4	24 1.6	137 9.1	147 9.7	256 17.0	61 4.0	78 5.2	109 7.2	158 10.5	28 1.9	72 4.8
	要支援者	358 100.0	13 3.6	167 46.6	25 7.0	59 16.5	48 13.4	59 16.5	30 8.4	34 9.5	40 11.2	102 28.5	37 10.3	28 7.8
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	68 15.4	170 38.5	9 2.0	39 8.8	38 8.6	73 16.5	22 5.0	33 7.5	40 9.0	58 13.1	11 2.5	23 5.2
	西山手生活圏域	373 100.0	54 14.5	141 37.8	11 2.9	35 9.4	36 9.7	61 16.4	17 4.6	20 5.4	23 6.2	54 14.5	13 3.5	23 6.2
	精道生活圏域	671 100.0	118 17.6	241 35.9	21 3.1	72 10.7	69 10.3	120 17.9	34 5.1	39 5.8	44 6.6	99 14.8	26 3.9	32 4.8
	潮見生活圏域	446 100.0	60 13.5	166 37.2	11 2.5	59 13.2	58 13.0	65 14.6	25 5.6	26 5.8	40 9.0	56 12.6	17 3.8	23 5.2

		n	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2,008 100.0	42 2.1	24 1.2	26 1.3	12 0.6	386 19.2	134 6.7	220 11.0	192 9.6
性別	男性	803 100.0	13 1.6	7 0.9	6 0.7	3 0.4	147 18.3	53 6.6	80 10.0	74 9.2
	女性	1,172 100.0	29 2.5	17 1.5	19 1.6	9 0.8	234 20.0	78 6.7	138 11.8	112 9.6
年齢別	65～74歳	799 100.0	16 2.0	10 1.3	2 0.3	4 0.5	124 15.5	32 4.0	91 11.4	53 6.6
	75～84歳	813 100.0	14 1.7	11 1.4	16 2.0	4 0.5	175 21.5	58 7.1	85 10.5	89 10.9
	85歳以上	348 100.0	11 3.2	2 0.6	7 2.0	4 1.1	77 22.1	40 11.5	41 11.8	44 12.6
状況別	一般高齢者	1,510 100.0	25 1.7	12 0.8	8 0.5	5 0.3	275 18.2	84 5.6	152 10.1	132 8.7
	要支援者	358 100.0	14 3.9	9 2.5	13 3.6	7 2.0	87 24.3	44 12.3	54 15.1	43 12.0
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	10 2.3	3 0.7	3 0.7	1 0.2	86 19.5	27 6.1	59 13.3	41 9.3
	西山手生活圏域	373 100.0	9 2.4	7 1.9	7 1.9	1 0.3	62 16.6	25 6.7	40 10.7	36 9.7
	精道生活圏域	671 100.0	11 1.6	14 2.1	9 1.3	6 0.9	126 18.8	40 6.0	66 9.8	62 9.2
	潮見生活圏域	446 100.0	11 2.5	0 0.0	6 1.3	4 0.9	97 21.7	34 7.6	51 11.4	44 9.9

[7] 定期健診・検診の受診状況

問8(8) ご本人は、この1年または2年の間に、以下の定期健診・検診を受けていますか（○はいくつでも）
 ※過去に受けたことがあっても、1～2年以上前に受けたものは含みません

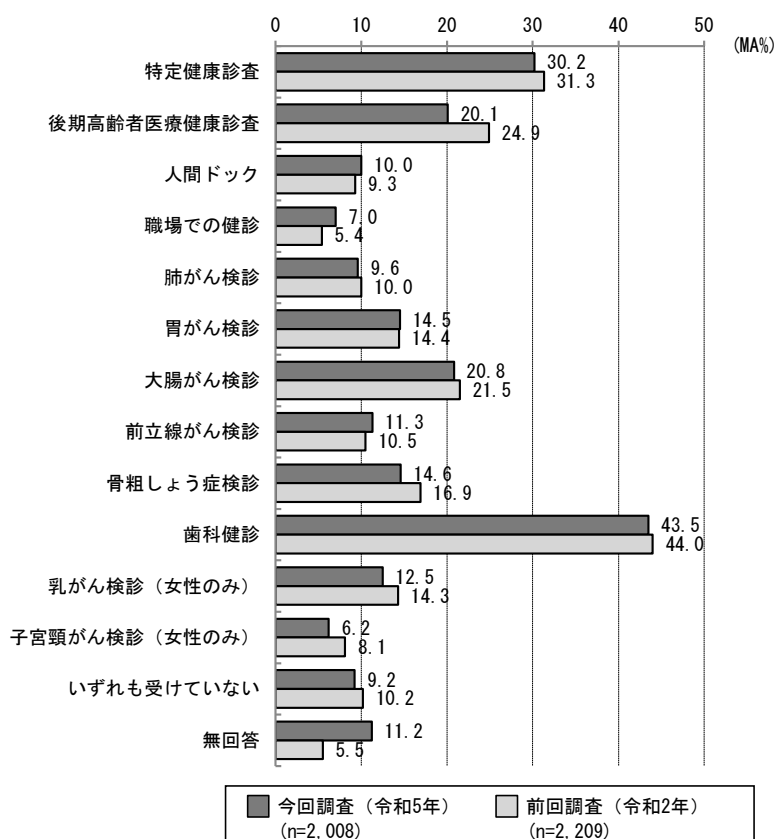
この1年または2年の間に受けた定期健診・検診については、「歯科健診」が43.5%と最も多く、次いで、「特定健康診査」が30.2%となっています。前回調査に比べて、「後期高齢者医療健康診査」が4.8ポイント減少しています。

性別にみると、男女ともに「歯科健診」が最も多く、男性が37.5%、女性が47.8%と、女性が男性に比べて10.3ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳では「特定健康診査」が39.8%、75～84歳では「歯科健診」が47.2%と、他の年齢層に比べて多く、85歳以上では「後期高齢者医療健康診査」が最も多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「歯科健診」に次いで「後期高齢者医療健康診査」、「骨粗しょう症検診」が多くなっています。

居住地域別にみると、精道生活圏域では「特定健康診査」、西山手生活圏域では「大腸がん検診」、「歯科健診」が他の地域比べて多くなっています。



Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 定期健診・検診の受診状況】

(MA%)

		n	特定健康診査	後期高齢者医療健康診査	人間ドック	職場での健診	肺がん検診	胃がん検診	大腸がん検診	前立線がん検診	骨粗しょう症検診	歯科健診	乳がん検診（女性のみ）	子宮頸がん検診（女性のみ）	いずれも受けていない	無回答
全体		2,008 100.0	607 30.2	404 20.1	200 10.0	140 7.0	192 9.6	291 14.5	417 20.8	226 11.3	293 14.6	874 43.5	252 12.5	125 6.2	184 9.2	225 11.2
性別	男性	803 100.0	228 28.4	146 18.2	106 13.2	90 11.2	91 11.3	137 17.1	176 21.9	226 28.1	25 3.1	301 37.5	0 0.0	0 0.0	71 8.8	110 13.7
	女性	1,172 100.0	367 31.3	255 21.8	91 7.8	46 3.9	101 8.6	153 13.1	238 20.3	0 0.0	264 22.5	560 47.8	252 21.5	125 10.7	112 9.6	107 9.1
年齢別	65～74歳	799 100.0	318 39.8	10 1.3	123 15.4	123 15.4	94 11.8	140 17.5	191 23.9	75 9.4	76 9.5	332 41.6	134 16.8	73 9.1	93 11.6	54 6.8
	75～84歳	813 100.0	211 26.0	245 30.1	59 7.3	13 1.6	81 10.0	120 14.8	180 22.1	114 14.0	149 18.3	384 47.2	100 12.3	43 5.3	63 7.7	103 12.7
	85歳以上	348 100.0	61 17.5	143 41.1	15 4.3	0 0.0	17 4.9	27 7.8	39 11.2	36 10.3	61 17.5	137 39.4	16 4.6	8 2.3	26 7.5	59 17.0
状況別 認定	一般高齢者	1,510 100.0	497 32.9	245 16.2	177 11.7	129 8.5	157 10.4	239 15.8	342 22.6	188 12.5	177 11.7	666 44.1	194 12.8	99 6.6	150 9.9	143 9.5
	要支援者	358 100.0	67 18.7	135 37.7	13 3.6	4 1.1	22 6.1	37 10.3	52 14.5	31 8.7	98 27.4	158 44.1	42 11.7	16 4.5	24 6.7	55 15.4
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	123 27.8	76 17.2	62 14.0	33 7.5	35 7.9	69 15.6	81 18.3	45 10.2	56 12.7	182 41.2	56 12.7	27 6.1	40 9.0	49 11.1
	西山手生活圏域	373 100.0	105 28.2	76 20.4	42 11.3	21 5.6	44 11.8	46 12.3	95 25.5	46 12.3	58 15.5	179 48.0	55 14.7	26 7.0	32 8.6	37 9.9
	精道生活圏域	671 100.0	227 33.8	142 21.2	60 8.9	48 7.2	70 10.4	102 15.2	146 21.8	71 10.6	104 15.5	294 43.8	77 11.5	46 6.9	64 9.5	72 10.7
	潮見生活圏域	446 100.0	131 29.4	99 22.2	31 7.0	30 6.7	39 8.7	63 14.1	82 18.4	57 12.8	64 14.3	188 42.2	58 13.0	25 5.6	43 9.6	52 11.7

〔8〕介護予防のために取り組みたいこと

問8(9) 介護予防のために取り組みたいことは何ですか（〇はいくつでも）

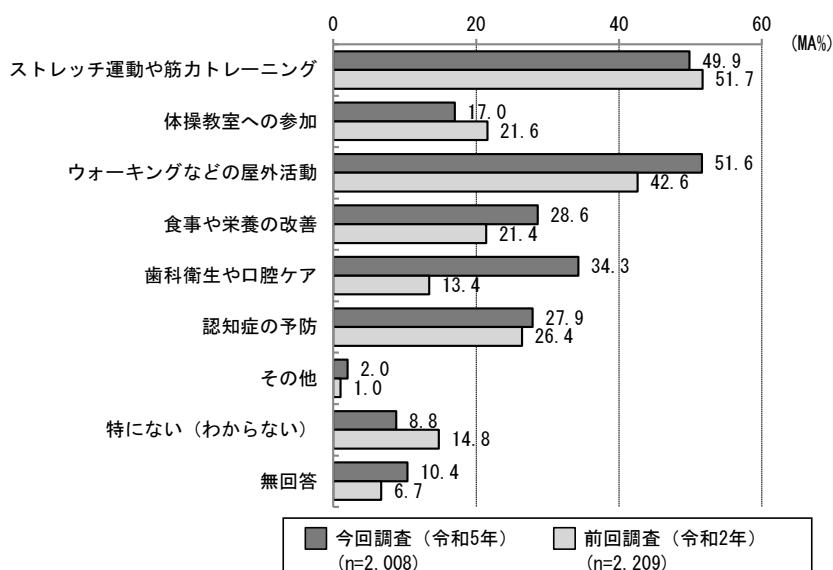
介護予防のために取り組みたいことについては、「ウォーキングなどの野外活動」が51.6%と最も多く、次いで、「ストレッチ運動や筋力トレーニング」が49.9%となっています。前回調査に比べて、「歯科衛生や口腔ケア」が20.9ポイント増加しています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「体操教室への参加」が16.4%、要支援認定者では21.5%と一般高齢者に比べ、5.1ポイント多くなっています。

性別にみると、男性は「ウォーキングなどの屋外活動」、女性は「ストレッチ運動や筋力トレーニング」が最も多く、「ウォーキングなどの屋外活動」で男性が6.9ポイント多くなっているほかは、すべて女性のほうが多く、なかでも、「体操教室への参加」は13.1ポイント、「認知症の予防」は11.4ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳、75～84歳では「ウォーキングなどの野外活動」が最も多く、85歳以上では「ストレッチ運動や筋力トレーニング」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「ストレッチ運動や筋力トレーニング」、「ウォーキングなどの野外活動」が上位を占めています。



Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 介護予防に取り組みたいこと】

			レス トレ ニン グ	体 操 教 室 へ の 参 加	動 ウ ー キ ン グ な ど の 屋 外 活	食 事 や 栄 養 の 改 善	歯 科 衛 生 や 口 腔 ケ ア	認 知 症 の 予 防	そ の 他	特 に な い (わ か ら な い)	無 回 答
		n									(MA%)
全体		2,008 100.0	1,001 49.9	342 17.0	1,037 51.6	574 28.6	688 34.3	561 27.9	40 2.0	177 8.8	209 10.4
性別	男性	803 100.0	390 48.6	75 9.3	449 55.9	201 25.0	239 29.8	168 20.9	14 1.7	86 10.7	79 9.8
	女性	1,172 100.0	598 51.0	262 22.4	574 49.0	366 31.2	439 37.5	378 32.3	26 2.2	87 7.4	124 10.6
年齢別	65～74歳	799 100.0	481 60.2	109 13.6	482 60.3	246 30.8	330 41.3	212 26.5	7 0.9	62 7.8	46 5.8
	75～84歳	813 100.0	376 46.2	161 19.8	421 51.8	232 28.5	253 31.1	232 28.5	22 2.7	72 8.9	89 10.9
	85歳以上	348 100.0	124 35.6	63 18.1	113 32.5	84 24.1	89 25.6	97 27.9	11 3.2	40 11.5	65 18.7
状況別 認定	一般高齢者	1,510 100.0	780 51.7	248 16.4	841 55.7	445 29.5	558 37.0	420 27.8	27 1.8	128 8.5	125 8.3
	要支援者	358 100.0	160 44.7	77 21.5	135 37.7	87 24.3	91 25.4	102 28.5	11 3.1	38 10.6	60 16.8
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	226 51.1	74 16.7	222 50.2	136 30.8	159 36.0	122 27.6	11 2.5	39 8.8	43 9.7
	西山手生活圏域	373 100.0	206 55.2	62 16.6	201 53.9	109 29.2	141 37.8	109 29.2	8 2.1	29 7.8	36 9.7
	精道生活圏域	671 100.0	324 48.3	123 18.3	360 53.7	184 27.4	215 32.0	177 26.4	13 1.9	62 9.2	65 9.7
	潮見生活圏域	446 100.0	204 45.7	71 15.9	216 48.4	120 26.9	149 33.4	117 26.2	7 1.6	43 9.6	55 12.3

9 認知症について

[1] 認知症状の有無

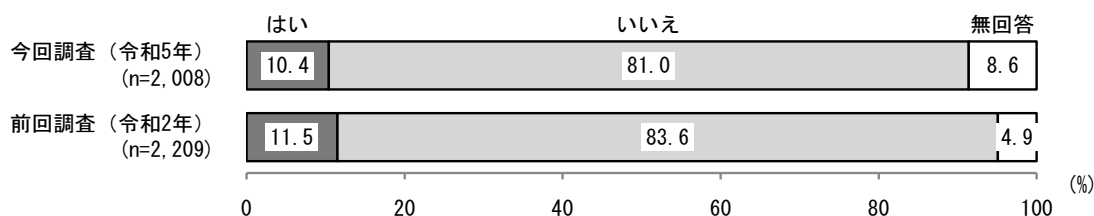
問9(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

自身や家族の認知症の症状の有無については、「はい」(ある)が10.4%、「いいえ」(ない)が81.0%となっています。

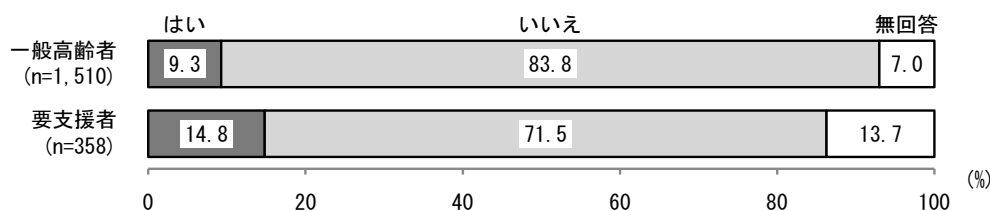
年齢別にみると、

認定状況別にみると、要支援認定者では「はい」(ある)が14.8%と、一般高齢者に比べて5.5ポイント多くなっています。

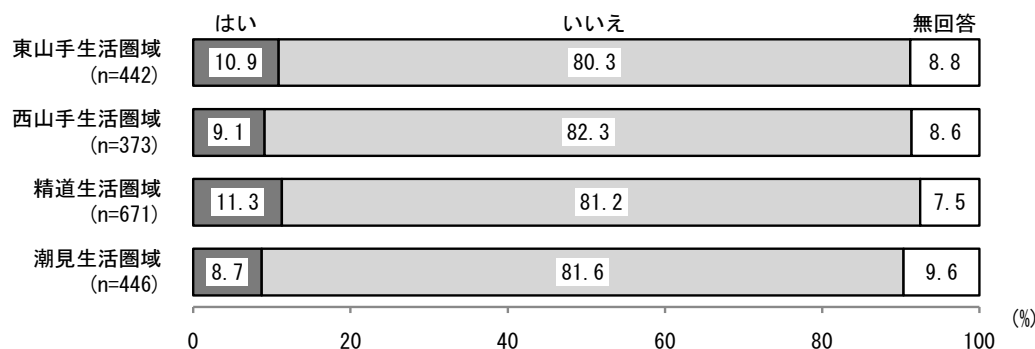
居住地域別にみると、「はい」(ある)と回答した人はすべての地域で1割程度となっていますが、精道生活圏域が11.3%と他の地域に比べてやや多く、潮見生活圏域では8.7%とやや少なくなっています。



【認定状況別 認知症の症状の有無】



【居住地域別 認知症の症状の有無】



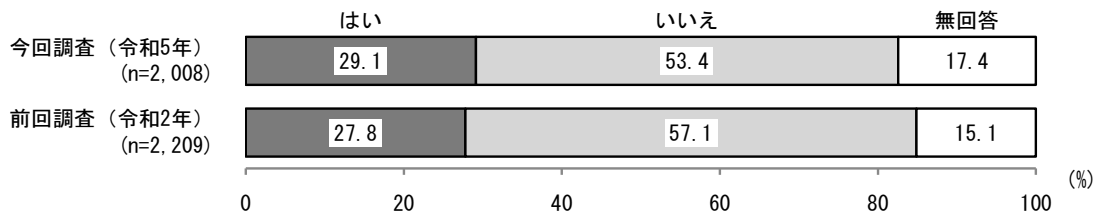
〔2〕将来、認知症になる(患う)可能性の認識の有無

問9(2) あなた(ご本人)は、認知症になる(患う)と思いますか

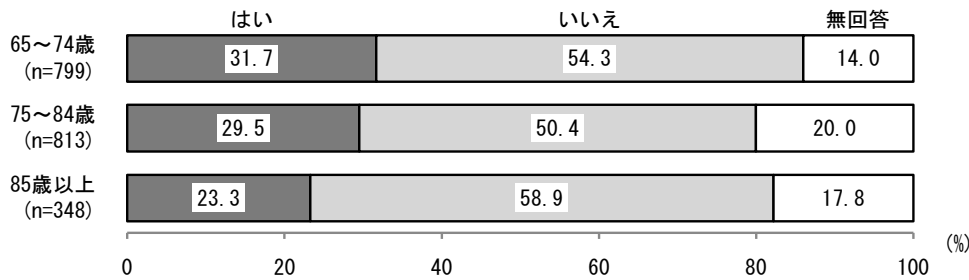
認知症になる(患う)と思うかについては、「はい」が29.1%、「いいえ」が53.4%となっています。前回調査に比べて、「はい」が1.3ポイント増加しています。

年齢別にみると、自身が認知症を患うと思う人は「前期高齢者」(65~74歳)で31.7%と最も多く、年齢が上がるにつれて減少していく傾向がみられます。

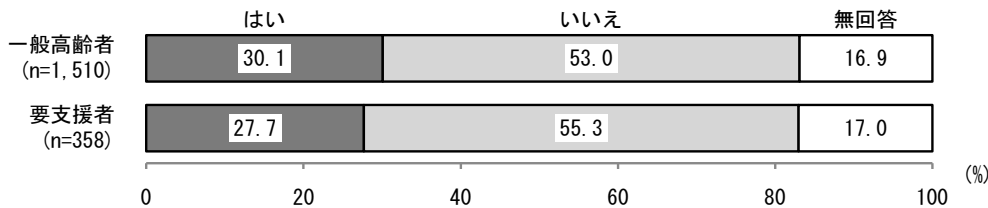
認定状況別にみると、自身が認知症を患うと思う人は一般高齢者で30.1%、要支援認定者で27.7%と、一般高齢者のほうがやや多くなっています。



【年齢別 将来、認知症になる(患う)可能性の認識の有無】



【認定状況別 将来、認知症になる(患う)可能性の認識の有無】



〔3〕相談窓口の認知

問9(3) ご本人は、認知症に関する相談窓口を知っていますか

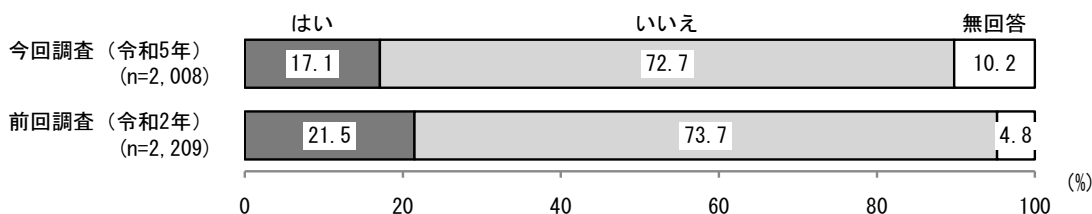
認知症に関する相談窓口の認知については、「はい」(知っている)が17.1%、「いいえ」(知らない)が72.7%となっています。前回調査に比べて、「はい」(知っている)が4.4ポイント減少しています。

性別にみると、「はい」(知っている)は女性で19.2%と男性に比べて多くなっています。

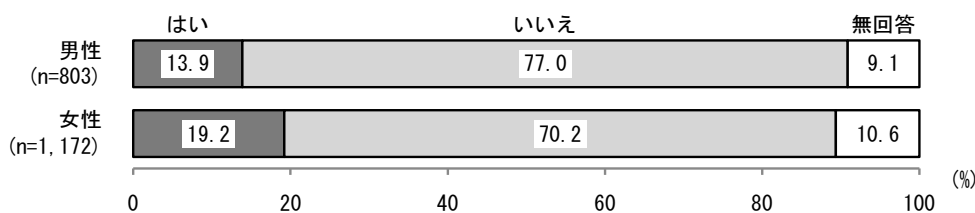
年齢別にみると、「はい」(知っている)は75～84歳で18.8%と他の年齢層に比べて多くなっています。

認定状況別にみると、「はい」(知っている)は要支援認定者で24.0%と一般高齢者に比べて多くなっています。

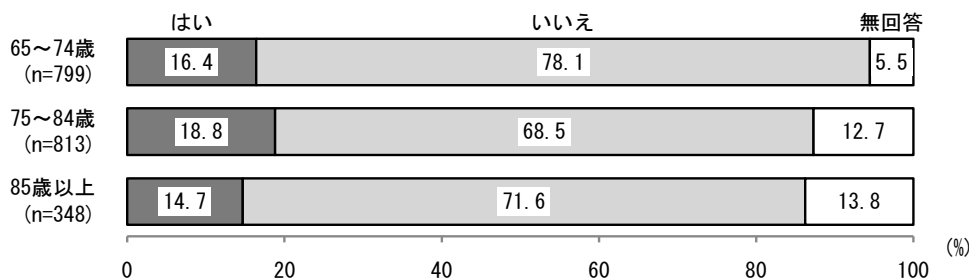
居住地域別にみると、「はい」(知っている)は東山手生活圏域と潮見生活圏域でやや多くなっています。



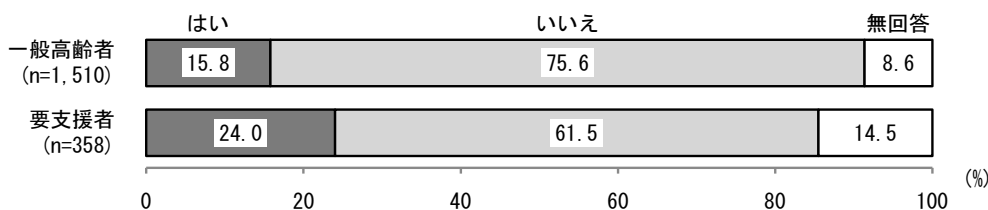
【性別 認知症に関する相談窓口の認知度】



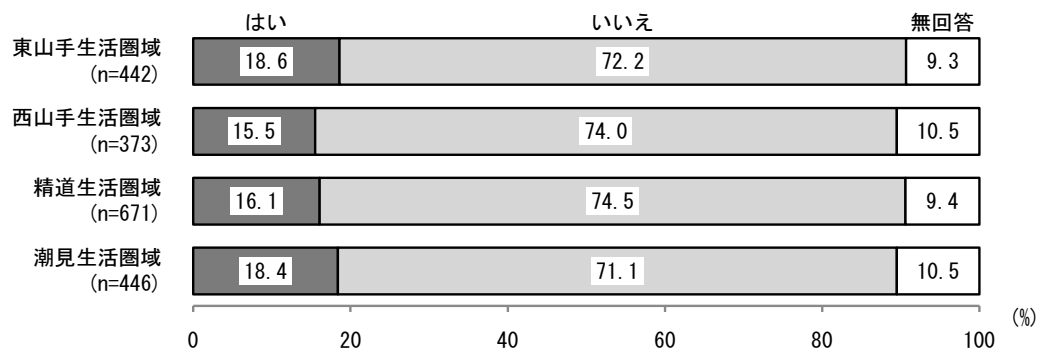
【年齢別 認知症に関する相談窓口の認知度】



【認定状況別 認知症に関する相談窓口の認知度】



【居住地域別 認知症に関する相談窓口の認知度】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

[4] 認知症予防の方法として重要だと思うこと

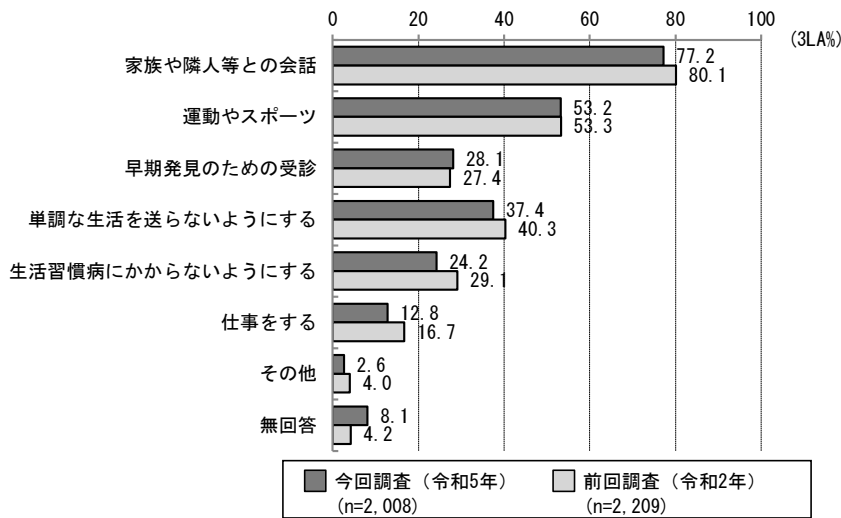
問9(4) 認知症予防の方法として、重要なことは何だと思いますか
(○は主なもの3つまで)

認知症予防の方法として重要だと思うことについては、「家族や隣人等との会話」が 77.2%と最も多く、次いで、「運動やスポーツ」が 53.2%、「単調な生活を送らないようにする」が 37.4%となっています。

性別にみると、「運動やスポーツ」、「仕事をする」以外は男性に比べて女性の方が多くっており、なかでも「早期発見のための受診」は 32.8%と、女性のほうが 11.9 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳では「仕事をする」が 19.0%と、他の年齢層に比べて多くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「運動やスポーツ」が 57.4%と要支援認定者に比べて 19.7 ポイント多く、要支援認定者では「早期発見のための受診」が 36.9%と一般高齢者に比べて 10.7 ポイント多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 認知症予防の方法として重要だと思うこと】

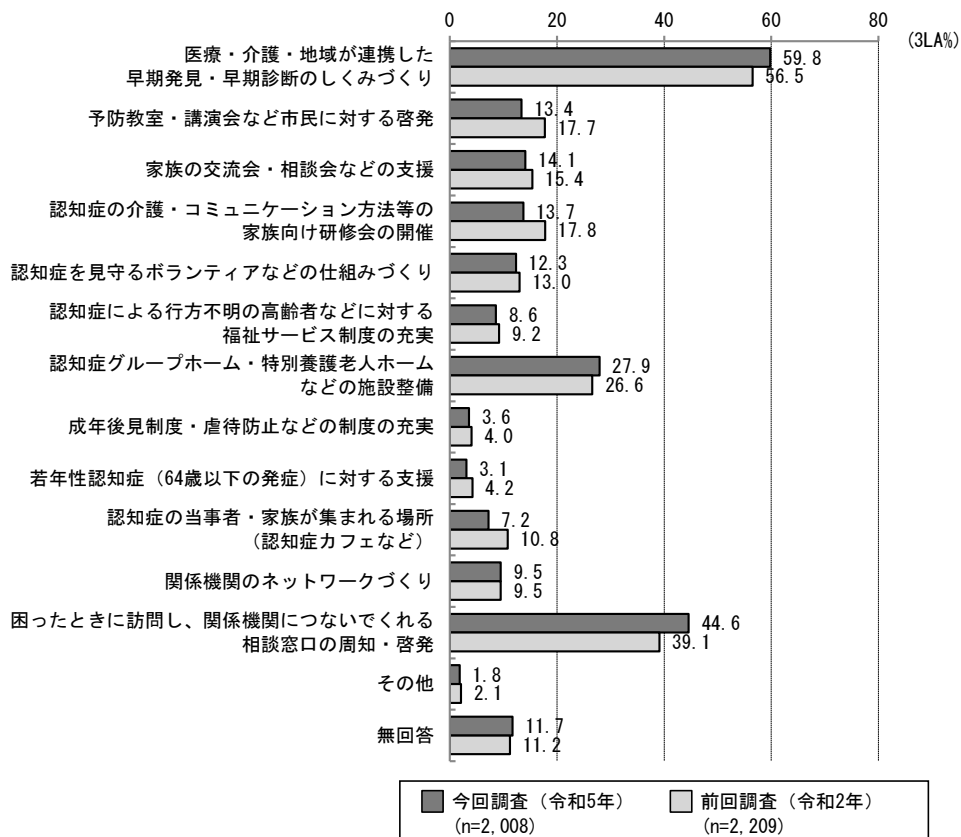
		n	家族や隣人等との会話	運動やスポーツ	早期発見のための受診	単調な生活を送らないようにする	生活習慣病にかからないようにする	仕事をする	その他	無回答
全体		2,008 100.0	77.2	53.2	28.1	37.4	24.2	12.8	5.3	8.1
性別	男性	803 100.0	59.7	47.0	20.9	33.9	21.0	19.3	3.9	8.6
	女性	1,172 100.0	93.0	58.4	32.8	39.8	26.5	8.5	1.8	7.4
年齢別	65～74歳	799 100.0	63.8	49.8	27.2	31.5	18.2	15.2	2.1	3.4
	75～84歳	813 100.0	61.2	43.2	22.7	29.3	19.8	9.7	3.2	8.2
	85歳以上	348 100.0	26.3	36.2	29.6	36.5	27.3	6.6	2.9	11.2
認定状況別	一般高齢者	1,510 100.0	78.7	57.4	26.2	37.5	24.6	14.9	2.3	6.8
	要支援者	358 100.0	26.9	37.7	36.9	37.2	24.9	3.4	4.2	11.2
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	34.1	52.0	28.3	41.2	23.5	14.9	1.6	7.5
	西山手生活圏域	373 100.0	29.6	56.6	25.2	34.6	21.2	14.7	3.5	7.2
	精道生活圏域	671 100.0	52.2	51.0	28.6	39.9	24.1	11.8	3.0	7.9
	潮見生活圏域	446 100.0	33.6	54.7	28.9	33.0	26.9	11.9	2.5	8.7

〔5〕認知症の人への支援で必要だと思うこと

問9(5) 認知症の人への支援には、何が必要だと思いますか（○は主なもの3つまで）

認知症の人への支援で必要なことは、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が59.8%と最も多く、次いで、「困ったときに訪問し、関係機関につないでくれる相談窓口の周知・啓発」が44.6%、「認知症グループホーム・特別養護老人ホームなどの施設整備」が27.9%となっています。前回調査に比べて、「困ったときに訪問し、関係機関につないでくれる相談窓口の周知・啓発」が5.5ポイント増加しています。

性別と、年齢別、認定状況別、居住地域別にみても、すべての区分で上位3項目は同じになっていますが、「困ったときに訪問し、関係機関につないでくれる相談窓口の周知・啓発」は潮見生活圏域で48.4%と、他の地域に比べてやや多くなっています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 認知症の人への支援で必要だと思うこと】

		n	くた医に予の家のけケ認ア認ヒ認認設別認ど成の若							(3LA%)	
			み早期療対防支族ケ知アヒ認認設別認ど成の若								
			づ期療対防支族ケ知アヒ認認設別認ど成の若								
			く見・介・啓・講・演・会・市								
			り・護・発・演・会・市								
			のし								
全体		2,008 100.0	1,201 59.8	270 13.4	283 14.1	275 13.7	246 12.3	173 8.6	561 27.9	72 3.6	62 3.1
性別	男性	803 100.0	503 62.6	124 15.4	111 13.8	116 14.4	84 10.5	74 9.2	211 26.3	29 3.6	25 3.1
	女性	1,172 100.0	682 58.2	144 12.3	165 14.1	156 13.3	157 13.4	97 8.3	342 29.2	43 3.7	36 3.1
年齢別	65～74歳	799 100.0	505 63.2	115 14.4	118 14.8	119 14.9	104 13.0	75 9.4	248 31.0	37 4.6	27 3.4
	75～84歳	813 100.0	482 59.3	113 13.9	110 13.5	114 14.0	108 13.3	64 7.9	218 26.8	28 3.4	25 3.1
	85歳以上	348 100.0	192 55.2	37 10.6	48 13.8	37 10.6	28 8.0	32 9.2	86 24.7	7 2.0	9 2.6
状況別	一般高齢者	1,510 100.0	919 60.9	213 14.1	226 15.0	212 14.0	189 12.5	133 8.8	446 29.5	54 3.6	46 3.0
	要支援者	358 100.0	211 58.9	41 11.5	46 12.8	43 12.0	37 10.3	22 6.1	85 23.7	12 3.4	10 2.8
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	274 62.0	64 14.5	51 11.5	55 12.4	48 10.9	48 10.9	121 27.4	17 3.8	13 2.9
	西山手生活圏域	373 100.0	221 59.2	60 16.1	46 12.3	53 14.2	37 9.9	30 8.0	107 28.7	9 2.4	15 4.0
	精道生活圏域	671 100.0	394 58.7	78 11.6	108 16.1	96 14.3	89 13.3	51 7.6	193 28.8	28 4.2	22 3.3
	潮見生活圏域	446 100.0	272 61.0	58 13.0	66 14.8	65 14.6	66 14.8	40 9.0	117 26.2	18 4.0	9 2.0

		なま認く関窓機困そ無				
		れ知り係口関つの他回				
		る症の場所(事者知・症家カフがエ				
		など)				
全体		145 7.2	190 9.5	896 44.6	37 1.8	234 11.7
性別	男性	40 5.0	79 9.8	336 41.8	17 2.1	89 11.1
	女性	103 8.8	104 8.9	551 47.0	19 1.6	137 11.7
年齢別	65～74歳	63 7.9	88 11.0	380 47.6	14 1.8	58 7.3
	75～84歳	59 7.3	71 8.7	358 44.0	18 2.2	88 10.8
	85歳以上	22 6.3	24 6.9	142 40.8	4 1.1	74 21.3
状況別	一般高齢者	115 7.6	152 10.1	702 46.5	30 2.0	135 8.9
	要支援者	23 6.4	28 7.8	145 40.5	4 1.1	69 19.3
地域別	東山手生活圏域	32 7.2	49 11.1	195 44.1	9 2.0	48 10.9
	西山手生活圏域	21 5.6	43 11.5	163 43.7	6 1.6	46 12.3
	精道生活圏域	54 8.0	52 7.7	295 44.0	13 1.9	79 11.8
	潮見生活圏域	33 7.4	35 7.8	216 48.4	7 1.6	46 10.3

〔6〕認知症セルフチェックの実施状況

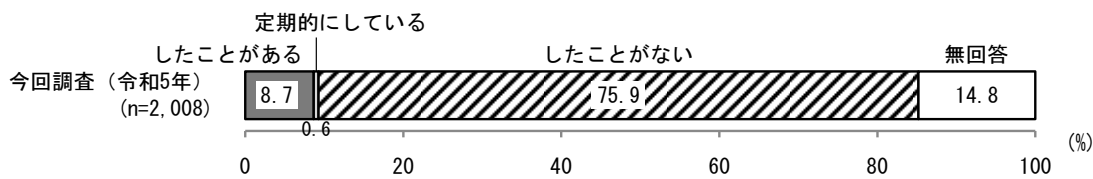
問9(6) ご本人またはご家族の方が、ご本人のための認知症セルフチェックをしたことがありますか (1つに○)

認知症セルフチェックを「したことがある」は 8.7%、「定期的に行っている」は 0.6%で、「したことがある」と「定期的に行っている」を合わせた『したことがある』は合計 9.3%となっています。

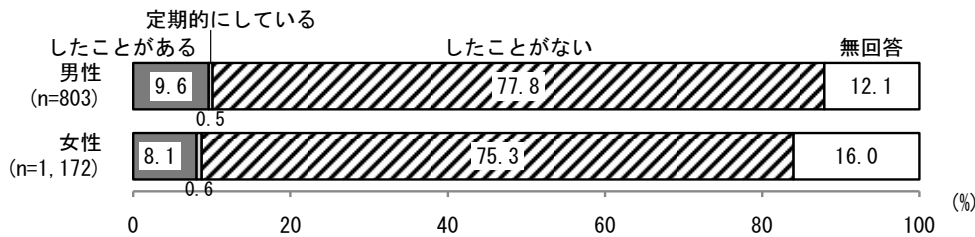
性別にみると、『したことがある』は男性が 10.1%、女性が 8.7%と男性でやや多くなっています。

年齢別にみると、『したことがある』は 75～84 歳で 11.5%と最も多く、次いで、85 歳以上が 9.8%、65～74 歳が 6.9%となっています。

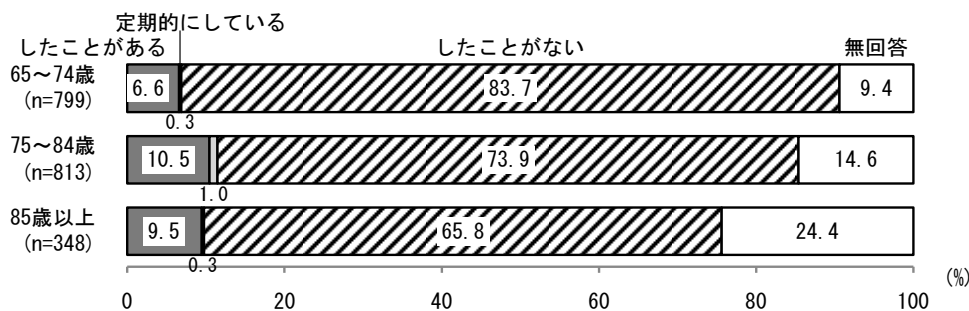
認定状況別みると、『したことがある』は一般高齢者で 8.4%、要支援認定者で 14.0%と、要支援認定者で多くなっています。



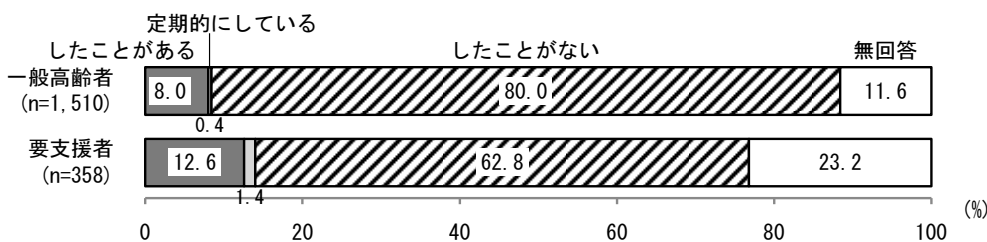
【性別 認知症セルフチェックの実施状況】



【年齢別 認知症セルフチェックの実施状況】



【認定状況別 認知症セルフチェックの実施状況】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔7〕認知症セルフチェック後の行動

【問9(6)で「1.したことがある」または「2.定期的に行っている」とお答えの方のみ】

問9(6)-1 認知症セルフチェックをした後、ご本人はどのような行動をとりましたか

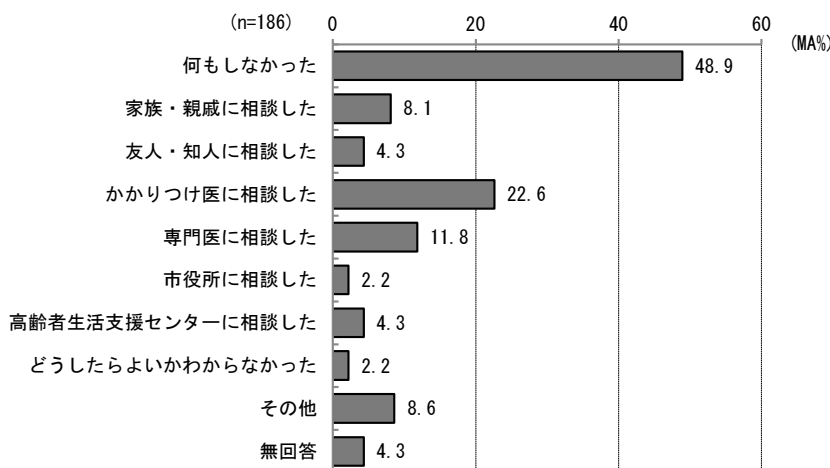
認知症セルフチェック後の行動としては、「何もしなかった」が 48.9%と最も多く、次いで「かかりつけ医に相談した」が 22.6%、「専門医に相談した」が 11.8%となっています。

性別にみると、「何もしなかった」、「家族に相談した」、「友人・知人に相談した」以外の項目はすべて女性のほうが多く、女性のほうが男性に比べて医療機関や相談機関に相談している人が多くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳では「何もしなかった」が他の年齢層に比べて多く、75～84 歳では「高齢者生活支援センターに相談した」が 6.5%みられます。

認定状況別にみると、要支援認定者では「かかりつけ医に相談した」が 38.0%最も多くなっています。

居住地域別にみると、潮見生活圏域では「高齢者生活支援センターに相談した」が 10.8%みられます。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 認知症セルフチェック後の行動】

	n	(MA%)									
		何もしなかった	家族・親戚に相談した	友人・知人に相談した	かかりつけ医に相談した	専門医に相談した	市役所に相談した	相談した高齢者生活支援センターに	かかりつけ医に相談した	その他	無回答
全体	186	48.9	8.1	4.3	22.6	11.8	2.2	4.3	2.2	8.6	4.3
性別	男性	47	8	5	15	9	0	1	2	2	3
	女性	102	43	7	3	27	13	4	7	2	13
年齢別	65～74歳	55	29	4	2	9	9	1	2	2	3
	75～84歳	93	46	7.3	3.6	16.4	16.4	1.8	3.6	3.6	5.5
	85歳以上	34	14	8.6	4.3	25.8	9.7	2.2	6.5	1.1	9.7
認定状況別	一般高齢者	127	76	7	4	20	13	2	4	4	7
	要支援者	50	13	5.3	3.1	15.7	10.2	1.6	3.1	3.1	5.5
地域別	東山手生活圏域	42	19	1	2	10	6	1	1	1	6
	西山手生活圏域	42	22	2	1	11	6	1	2	1	2
	精進生活圏域	58	28	4.8	2.4	26.2	14.3	2.4	4.8	2.4	4.8
	潮見生活圏域	37	19	7	2	15	5	1	1	1	5
	潮見生活圏域	37	19	12.1	3.4	25.9	8.6	1.7	1.7	1.7	8.6

10 災害時や緊急時の対応などについて

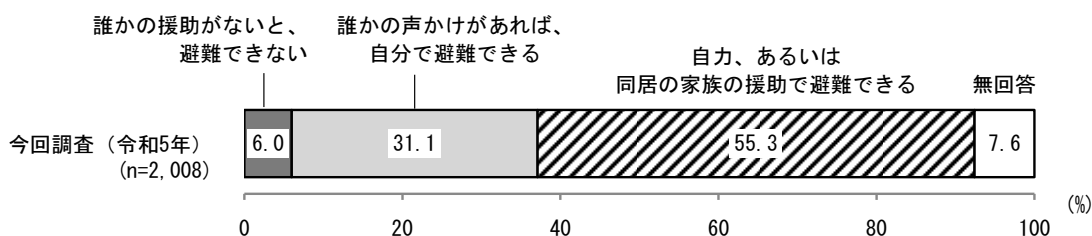
[1] 緊急時・災害時の避難の可否

問10(1) ご本人は、災害時(台風や地震など)や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか (1つに○)

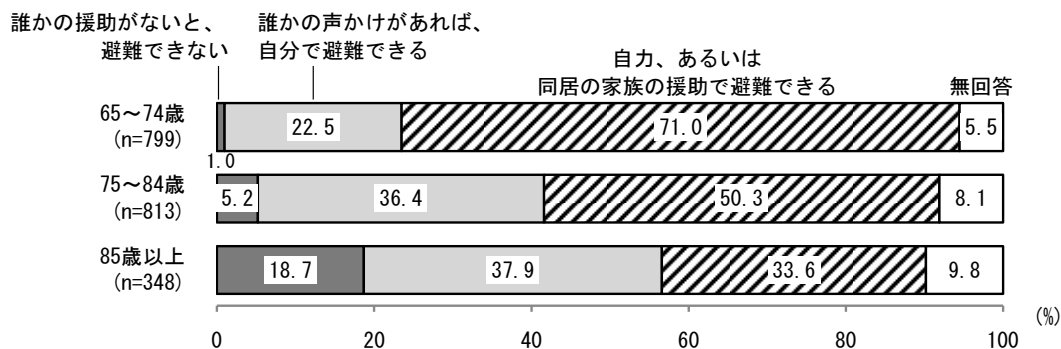
災害時や緊急時に一人で避難することができるかについては、「自力、あるいは同居の家族の援助で避難できる」が55.3%、「誰かの声かけがあれば、自分で避難できる」が31.1%で、計8割以上の方が『避難できる』と回答しています。

年齢別にみると、「誰かの援助がないと、避難できない」は年齢が上がるにつれて多くなり、85歳以上で18.7%となっています。

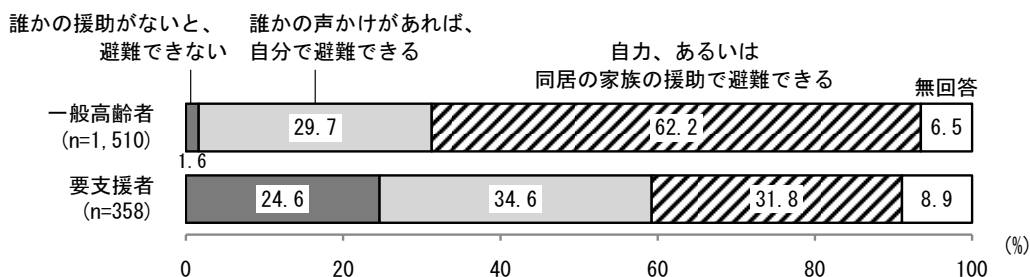
認定状況別にみると、要支援認定者の24.6%は「誰かの援助がないと、避難できない」と回答しています。



【年齢別 緊急時・災害時の避難の可否】



【認定状況別 緊急時・災害時の避難の可否】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔2〕緊急時・災害時に備えていること

問10(2) ご家庭では緊急時や災害時に備えていることはありますか
(○はいくつでも)

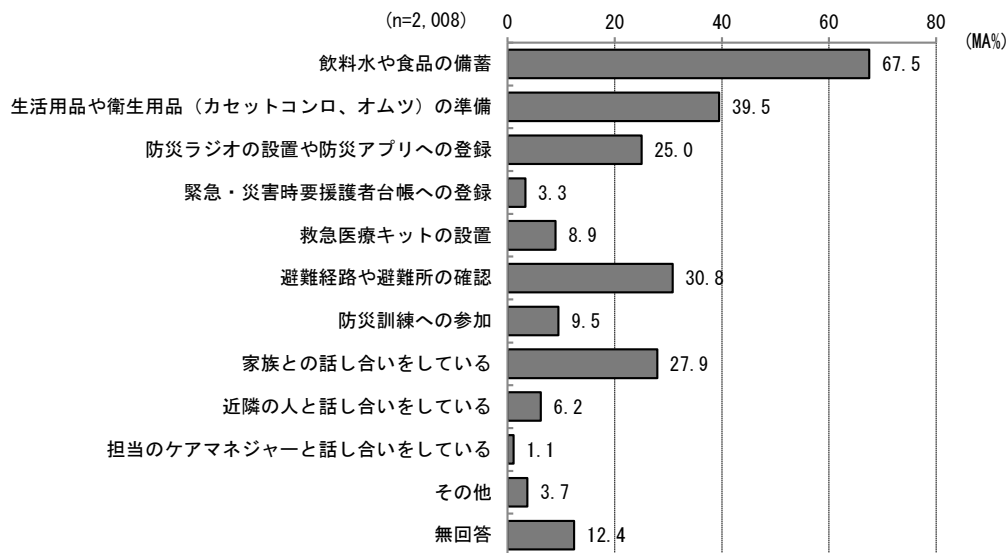
緊急時や災害時に備えていることについては、「飲料水や食品の備蓄」が 67.5%と最も多く、次いで、「生活用品や衛生用品（カセットコンロ、オムツ）の準備」が 39.5%、「避難経路や避難所の確認」が 30.8%となっています。

性別にみると、男性は「家族との話し合いをしている」が32.9%と、女性に比べて8.4ポイント多く、女性は「飲料水や食品の備蓄」で8.0ポイント、「生活用品や衛生用品（カセットコンロ、オムツ）の準備」で6.1ポイント、男性に比べて多くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢層で「飲料水や食品の備蓄」、「生活用品や衛生用品（カセットコンロ、オムツ）の準備」が上位2項目となっていますが、その割合は85歳以上ではやや少なくなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者では「緊急・災害時要援護者台帳への登録」、「担当のケアマネジャーと話をしている」が一般高齢者に比べて多くなっています。

居住地域別にみると、精道生活圏域と潮見生活圏域では、「防災訓練への参加」、「家族との話し合いをしている」が他の2地域に比べて多くなっています。



【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 緊急時・災害時に備えていること】

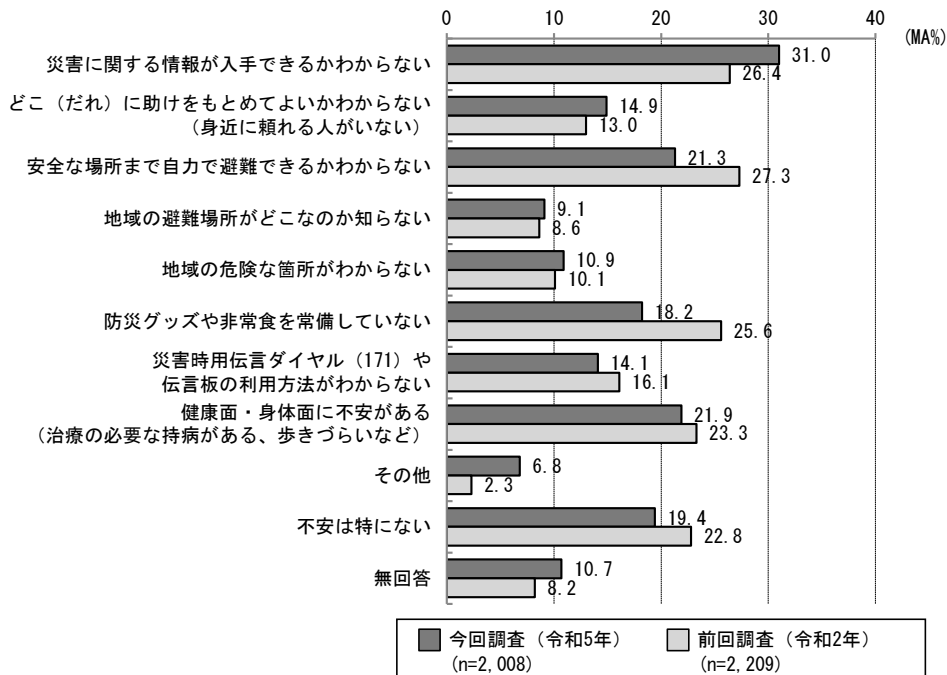
	n	飲料水や食品の備蓄	生活用品や衛生用品（カセットコンロ、オムツ）の準備	防災ラジオの設置や防災アプリへの登録	緊急・災害時要援護者台帳への登録	救急医療キットの設置	避難経路や避難所の確認	防災訓練への参加	家族との話し合いをしている	近隣の人と話し合いをしている	担当のケアマネジャーと話し合いをしている	その他	無回答
全体	2,008	1,355	793	503	66	179	619	191	560	124	23	75	248
	100.0	67.5	39.5	25.0	3.3	8.9	30.8	9.5	27.9	6.2	1.1	3.7	12.4
性別													
男性	803	506	289	223	18	86	248	71	264	32	9	34	100
	100.0	63.0	36.0	27.8	2.2	10.7	30.9	8.8	32.9	4.0	1.1	4.2	12.5
女性	1,172	832	493	275	47	91	360	118	287	88	14	40	139
	100.0	71.0	42.1	23.5	4.0	7.8	30.7	10.1	24.5	7.5	1.2	3.4	11.9
年齢別													
65～74歳	799	564	334	230	14	61	256	69	257	27	3	23	71
	100.0	70.6	41.8	28.8	1.8	7.6	32.0	8.6	32.2	3.4	0.4	2.9	8.9
75～84歳	813	568	328	207	36	84	269	96	209	69	12	31	96
	100.0	69.9	40.3	25.5	4.4	10.3	33.1	11.8	25.7	8.5	1.5	3.8	11.8
85歳以上	348	193	112	61	15	31	81	23	81	22	7	21	70
	100.0	55.5	32.2	17.5	4.3	8.9	23.3	6.6	23.3	6.3	2.0	6.0	20.1
認定別													
一般高齢者	1,510	1,063	618	396	36	135	482	152	440	84	6	51	158
	100.0	70.4	40.9	26.2	2.4	8.9	31.9	10.1	29.1	5.6	0.4	3.4	10.5
要支援者	358	208	124	66	26	34	92	26	81	26	15	18	63
	100.0	58.1	34.6	18.4	7.3	9.5	25.7	7.3	22.6	7.3	4.2	5.0	17.6
地域別													
東山手生活圏域	442	308	187	110	11	38	123	29	106	23	6	20	57
	100.0	69.7	42.3	24.9	2.5	8.6	27.8	6.6	24.0	5.2	1.4	4.5	12.9
西山手生活圏域	373	248	138	84	7	39	116	19	93	18	2	18	43
	100.0	66.5	37.0	22.5	1.9	10.5	31.1	5.1	24.9	4.8	0.5	4.8	11.5
精道生活圏域	671	444	266	187	35	58	234	86	211	43	5	24	79
	100.0	66.2	39.6	27.9	5.2	8.6	34.9	12.8	31.4	6.4	0.7	3.6	11.8
潮見生活圏域	446	307	173	109	11	36	128	49	130	36	9	12	52
	100.0	68.8	38.8	24.4	2.5	8.1	28.7	11.0	29.1	8.1	2.0	2.7	11.7

問10(3) ご本人に災害が起こった場合、どのようなことが不安ですか
(○はいくつでも)

災害時の不安については、「災害に関する情報が入手できるかわからない」が31.0%と最も多く、次いで、「健康面・身体面に不安がある（治療の必要な持病がある、歩きづらいなど）」が21.9%、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が21.3%となっています。前回調査に比べて、「災害に関する情報が入手できるかわからない」が4.6ポイント増加し、「防災グッズや非常食を常備していない」が7.4ポイント、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が6.0ポイント減少しています。

性別にみると、女性は「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」で9.7ポイント、「健康面・身体面に不安がある（治療の必要な持病がある、歩きづらいなど）」で7.7ポイント、男性に比べて多くなっています。

年齢別にみると85歳以上、認定状況別にみると要支援認定者で、「健康面・身体面に不安がある（治療の必要な持病がある、歩きづらいなど）」が最も多く、85歳以上で43.4%、要支援認定者で53.4%と、半数前後を占めています。



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 災害時の不安】

(MA%)

	n	災害に関 する情報 が入手で きるかわ からない	近に頼 れる人が いない(身 にだけ) 助けない と	安全な場 所から自 力で避難 できない	地域の避 難場所が どこなの か知らない	地域の危 険な箇所 がわから ない	防災グ ッズや非 常食を常 備してい ない	方法(1 71)がわ からない 伝言板の 利用	災害時 に伝言 板の利 用	健康面・ 治療の 必要な 不安があ る(歩 きづら いなど)	その他	不安は 特にな い	無 回 答
全体	2,008 100.0	623 31.0	299 14.9	428 21.3	183 9.1	219 10.9	365 18.2	283 14.1	439 21.9	136 6.8	389 19.4	215 10.7	
性別	男性	803 100.0	226 28.1	110 13.7	124 15.4	69 8.6	85 10.6	168 20.9	91 11.3	140 17.4	75 9.3	178 22.2	72 9.0
	女性	1,172 100.0	383 32.7	184 15.7	294 25.1	109 9.3	129 11.0	194 16.6	187 16.0	294 25.1	61 5.2	205 17.5	135 11.5
年齢別	65~74歳	799 100.0	252 31.5	93 11.6	94 11.8	69 8.6	79 9.9	131 16.4	90 11.3	85 10.6	72 9.0	191 23.9	69 8.6
	75~84歳	813 100.0	246 30.3	129 15.9	191 23.5	64 7.9	84 10.3	147 18.1	114 14.0	193 23.7	56 6.9	153 18.8	89 10.9
	85歳以上	348 100.0	108 31.0	70 20.1	127 36.5	42 12.1	48 13.8	79 22.7	68 19.5	151 43.4	8 2.3	38 10.9	47 13.5
状況別	一般高齢者	1,510 100.0	482 31.9	213 14.1	247 16.4	131 8.7	161 10.7	271 17.9	193 12.8	228 15.1	113 7.5	343 22.7	137 9.1
	要支援者	358 100.0	106 29.6	66 18.4	148 41.3	36 10.1	45 12.6	76 21.2	66 18.4	191 53.4	18 5.0	25 7.0	48 13.4
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	134 30.3	64 14.5	98 22.2	46 10.4	55 12.4	85 19.2	69 15.6	97 21.9	37 8.4	84 19.0	49 11.1
	西山手生活圏域	373 100.0	109 29.2	64 17.2	64 17.2	36 9.7	38 10.2	74 19.8	45 12.1	80 21.4	26 7.0	77 20.6	33 8.8
	精道生活圏域	671 100.0	211 31.4	89 13.3	146 21.8	49 7.3	74 11.0	124 18.5	96 14.3	160 23.8	48 7.2	120 17.9	75 11.2
	潮見生活圏域	446 100.0	139 31.2	69 15.5	102 22.9	40 9.0	42 9.4	70 15.7	53 11.9	93 20.9	21 4.7	94 21.1	49 11.0

11 今後のサービスの利用について

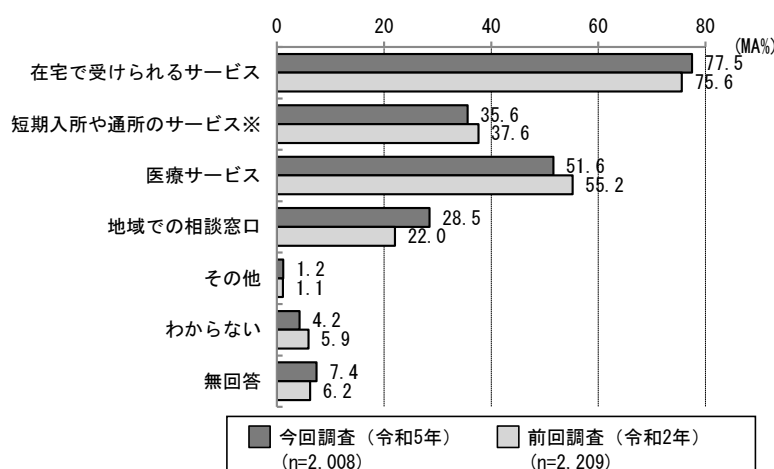
〔1〕在宅生活を続ける上で必要だと思うサービス

問11(1) 今後、自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けられると思いますか（〇はいくつでも）

在宅生活を続ける上で必要だと思うサービスは、「在宅で受けられるサービス」が77.5%と最も多く、次いで、「医療サービス」が51.6%、「短期入所や通所のサービス」が35.6%となっています。前回調査に比べて、「地域での相談窓口」が6.5ポイント増加しています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「地域での相談窓口」が30.9%、要支援認定者では21.8%と一般高齢者に比べ、9.1ポイント少なくなっています。

性別、年齢別、認定状況別、居住地域別のいずれも、すべての区分で「在宅で受けられるサービス」が最も多く、7割台となっています。



※前回調査では、「入所や通所のサービス」

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 在宅生活を続ける上で必要だと思うサービス】

		n	在宅で受けられるサービス	短期入所や通所のサービス	医療サービス	地域での相談窓口	その他	わからない	無回答
全体		2,008	77.5	35.6	51.6	28.5	1.2	4.2	7.4
性別	男性	803	63.3	25.5	40.1	20.9	8	4.2	4.9
	女性	1,172	90.4	45.3	62.2	35.7	15	5.2	6.1
年齢別	65～74歳	799	77.1	38.7	53.1	30.5	1.3	3.4	7.6
	75～84歳	813	79.1	35.9	50.8	33.9	1.1	4.6	4.5
	85歳以上	396	63.8	30.0	43.3	22.0	1.2	2.5	6.6
状況別	一般高齢者	1,510	78.5	36.9	53.3	27.1	1.5	3.1	8.1
	要支援者	348	25.5	11.6	18.0	7.4	2	1.8	3.5
地域別	東山手生活圏域	442	73.3	33.3	51.7	21.3	0.6	5.2	10.1
	西山手生活圏域	373	1,196	54.9	78.8	46.7	21	6.1	8.4
	精道生活圏域	671	268	12.3	17.8	7.8	2	1.7	4.2
	潮見生活圏域	446	74.9	34.4	49.7	21.8	0.6	4.7	11.7
	その他	442	348	150	223	123	4	2.1	3.3
その他	373	297	118	203	111	5	1.3	2.2	
その他	671	522	262	340	184	9	3.5	5.9	
その他	446	333	156	229	132	5	2.0	3.0	
その他	446	74.7	35.0	51.3	29.6	1.1	4.5	6.7	

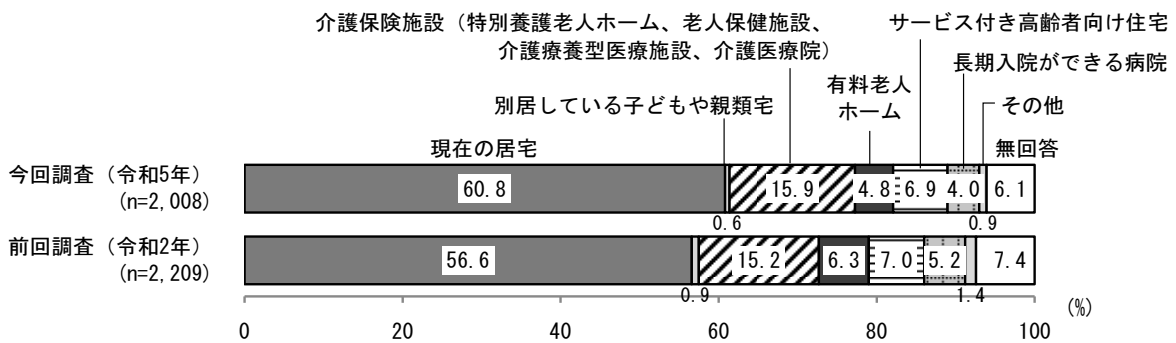
II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔2〕介護を受けたい場所

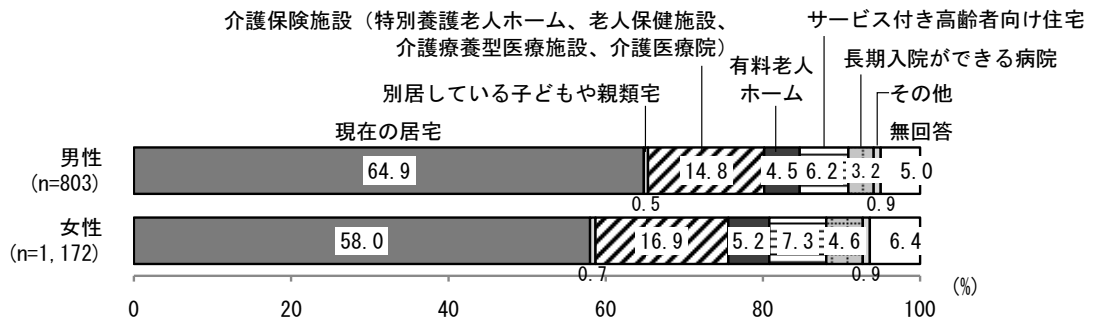
問11(2) ご本人は、どのような場所で介護を受けたいですか
(最も近いもの1つに○)

介護を受けたい場所は、「現在の居宅」が 60.8%と最も多く、次いで、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院）」が 15.9%となっています。前回調査に比べて、「現在の居宅」が 4.2 ポイント増加しています。

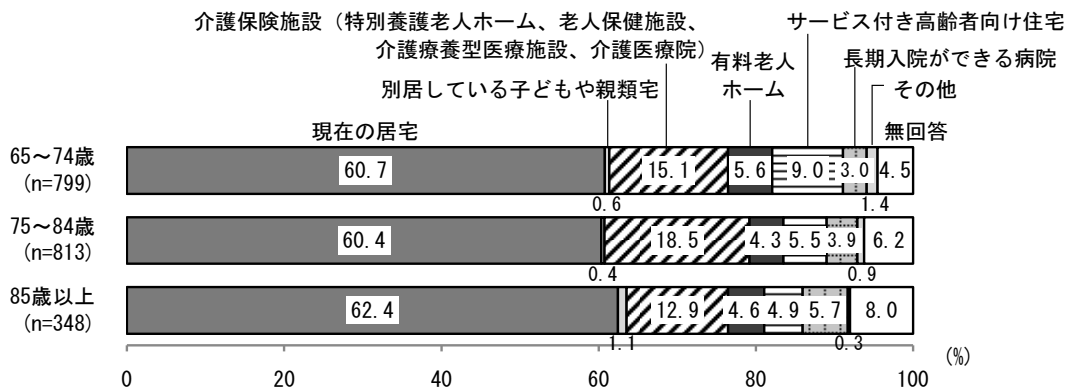
性別にみると、男性は「現在の居宅」が 64.9%と、女性に比べて 6.9 ポイント多くなっています。年齢別にみると、65～74 歳の「前期高齢者」では、「有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」、75～84 歳では「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院）」、85 歳以上では「現在の居宅」の割合が、それぞれ他の年齢層に比べて多くなっています。



【性別 介護を受けたい場所】



【年齢別 介護を受けたい場所】



〔3〕高齢者への支援として必要と思うこと

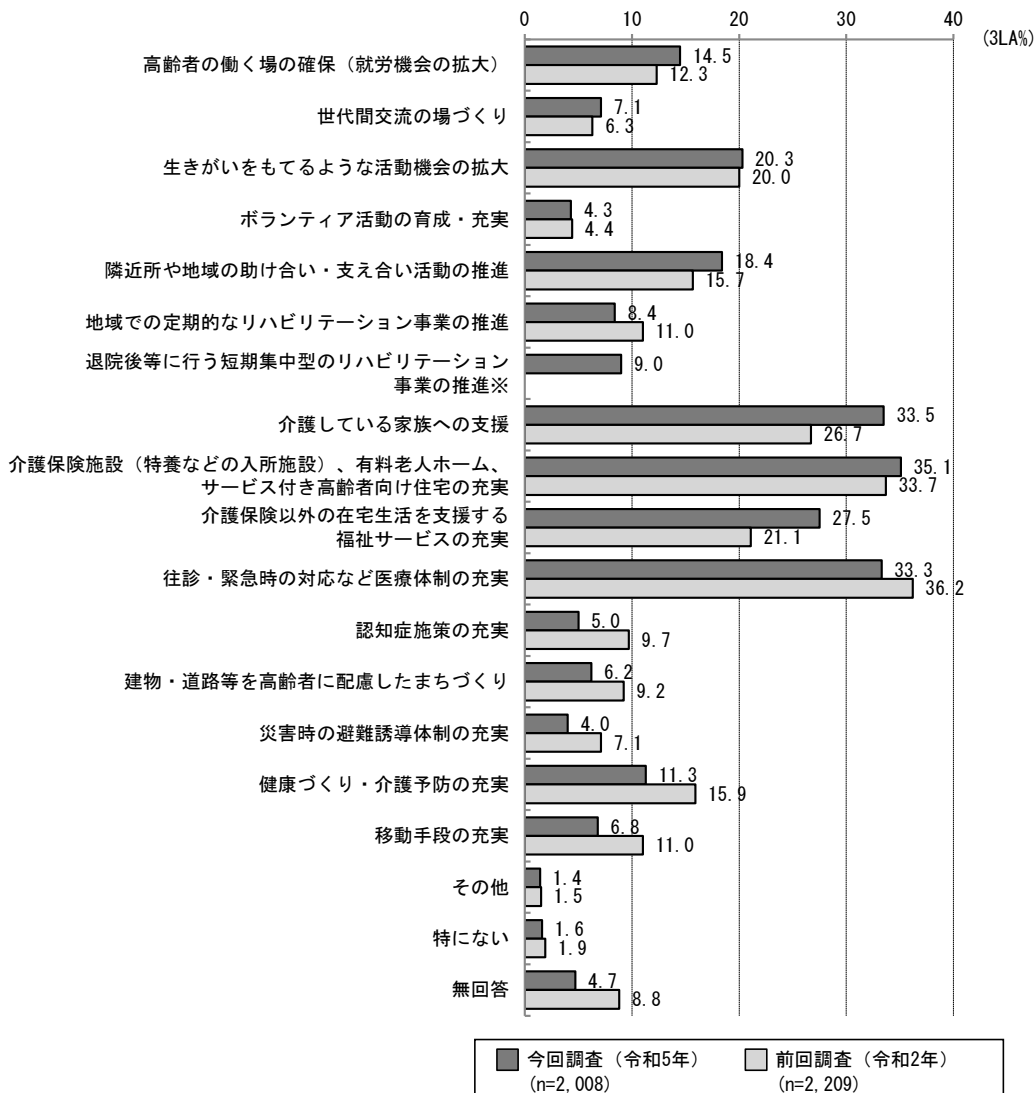
問11(3) 高齢者への支援には、何が必要だと思いますか（〇は主なもの3つまで）

高齢者への支援として必要と思うことは、「介護保険施設（特養などの入所施設）、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の充実」が35.1%と最も多く、次いで、「介護している家族への支援」が33.5%、「往診・緊急時の対応など医療体制の充実」が33.3%となっています。前回調査に比べて、「介護している家族への支援」が6.8ポイント、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が6.4ポイント増加しています。

どの属性も上位3項目は上の3つに集中していますが、それ以外では、性別にみると男性、年齢別にみると65～74歳で、「高齢者の働く場の確保」、「生きがいをもてるような活動機会の拡大」が他の区分に比べて多くなっています。

認定状況別にみると、要支援認定者で「地域での定期的なリハビリテーション事業の推進」が、一般高齢者に比べて多くなっています。

居住地域別にみると、潮見生活圏域で「隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進」が、他の地域に比べて多くなっています。



※前回調査では、選択肢なし

II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【性別・年齢別・認定状況別・居住地域別 高齢者への支援として必要と思うこと】

		n	(高齢者の働く場の確保 ―就労機会の拡大―)	世代間交流の場づくり	生きがいをもてるような活動機会 の拡大	ボランティア活動の育成・充実	隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進	地域での定期的なリハビリテーション事業の推進	地域での定期的なリハビリテーション事業の推進	退院後等に行う短期集中型のリハビリテーション事業の推進	介護している家族への支援	付加高齢者向け住宅の充実	介護保険施設(特養など)の入所施設、有料老人ホーム、サービス	介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実	(3LA%)
全体		2,008 100.0	291 14.5	143 7.1	407 20.3	87 4.3	370 18.4	168 8.4	180 9.0	673 33.5	705 35.1	552 27.5	552 27.5	552 27.5	552 27.5
性別	男性	803 100.0	180 22.4	65 8.1	188 23.4	45 5.6	132 16.4	63 7.8	48 6.0	302 37.6	280 34.9	189 23.5	189 23.5	189 23.5	189 23.5
	女性	1,172 100.0	108 9.2	76 6.5	212 18.1	41 3.5	233 19.9	103 8.8	131 11.2	361 30.8	414 35.3	355 30.3	355 30.3	355 30.3	355 30.3
年齢別	65～74歳	799 100.0	180 22.5	62 7.8	202 25.3	28 3.5	129 16.1	62 7.8	71 8.9	305 38.2	292 36.5	218 27.3	218 27.3	218 27.3	218 27.3
	75～84歳	813 100.0	95 11.7	58 7.1	155 19.1	44 5.4	169 20.8	72 8.9	80 9.8	253 31.1	292 35.9	233 28.7	233 28.7	233 28.7	233 28.7
	85歳以上	348 100.0	11 3.2	19 5.5	43 12.4	13 3.7	66 19.0	31 8.9	27 7.8	101 29.0	105 30.2	91 26.1	91 26.1	91 26.1	91 26.1
認定状況別	一般高齢者	1,510 100.0	248 16.4	113 7.5	324 21.5	70 4.6	276 18.3	110 7.3	129 8.5	542 35.9	556 36.8	431 28.5	431 28.5	431 28.5	431 28.5
	要支援者	358 100.0	19 5.3	22 6.1	56 15.6	13 3.6	61 17.0	47 13.1	41 11.5	95 26.5	109 30.4	91 25.4	91 25.4	91 25.4	91 25.4
地域別	東山手生活圏域	442 100.0	69 15.6	38 8.6	86 19.5	18 4.1	85 19.2	38 8.6	34 7.7	145 32.8	167 37.8	119 26.9	119 26.9	119 26.9	119 26.9
	西山手生活圏域	373 100.0	55 14.7	25 6.7	83 22.3	16 4.3	42 11.3	25 6.7	33 8.8	131 35.1	129 34.6	102 27.3	102 27.3	102 27.3	102 27.3
	精道生活圏域	671 100.0	97 14.5	44 6.6	137 20.4	30 4.5	127 18.9	56 8.3	68 10.1	231 34.4	238 35.5	190 28.3	190 28.3	190 28.3	190 28.3
	潮見生活圏域	446 100.0	61 13.7	33 7.4	89 20.0	22 4.9	105 23.5	43 9.6	36 8.1	142 31.8	141 31.6	119 26.7	119 26.7	119 26.7	119 26.7

		の往診・緊急時の対応など医療体制 の充実	認知症施策の充実	まちづくり ―建物・道路等を高齢者に配慮した―	災害時の避難誘導体制の充実	健康づくり・介護予防の充実	移動手段の充実	その他	特にな	無回答
全体		669 33.3	101 5.0	124 6.2	80 4.0	226 11.3	136 6.8	29 1.4	32 1.6	95 4.7
性別	男性	244 30.4	40 5.0	44 5.5	27 3.4	79 9.8	50 6.2	12 1.5	15 1.9	33 4.1
	女性	414 35.3	59 5.0	79 6.7	53 4.5	145 12.4	85 7.3	16 1.4	17 1.5	55 4.7
年齢別	65～74歳	252 31.5	38 4.8	50 6.3	16 2.0	96 12.0	56 7.0	14 1.8	9 1.1	13 1.6
	75～84歳	266 32.7	44 5.4	46 5.7	37 4.6	92 11.3	52 6.4	10 1.2	11 1.4	42 5.2
	85歳以上	135 38.8	15 4.3	25 7.2	26 7.5	34 9.8	27 7.8	4 1.1	11 3.2	30 8.6
認定状況別	一般高齢者	507 33.6	73 4.8	91 6.0	48 3.2	181 12.0	96 6.4	26 1.7	20 1.3	44 2.9
	要支援者	126 35.2	19 5.3	26 7.3	24 6.7	31 8.7	36 10.1	2 0.6	7 2.0	33 9.2
地域別	東山手生活圏域	144 32.6	19 4.3	27 6.1	22 5.0	46 10.4	34 7.7	7 1.6	7 1.6	18 4.1
	西山手生活圏域	133 35.7	13 3.5	25 6.7	12 3.2	40 10.7	23 6.2	6 1.6	10 2.7	23 6.2
	精道生活圏域	204 30.4	41 6.1	47 7.0	26 3.9	89 13.3	45 6.7	8 1.2	8 1.2	31 4.6
	潮見生活圏域	162 36.3	24 5.4	23 5.2	19 4.3	45 10.1	28 6.3	6 1.3	7 1.6	14 3.1

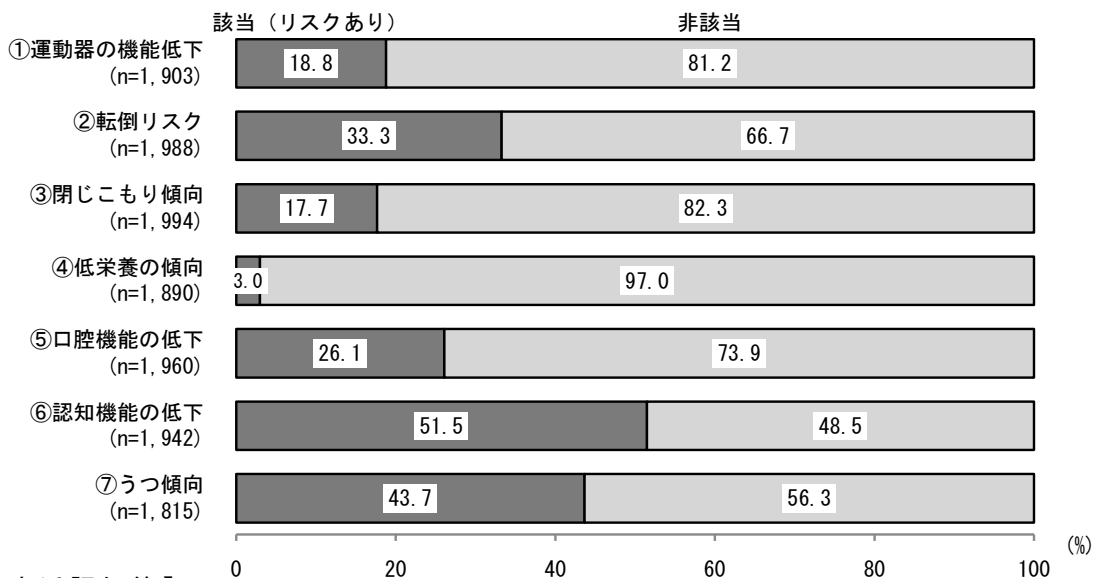
12 生活機能評価等に関する分析

本調査は、地域における高齢者の課題や必要な支援・サービス等をよりの確に把握するため、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れており、介護予防事業の「基本チェックリスト」や「手段的自立度（IADL）」などの指標の判定に関する調査項目が設定されています。

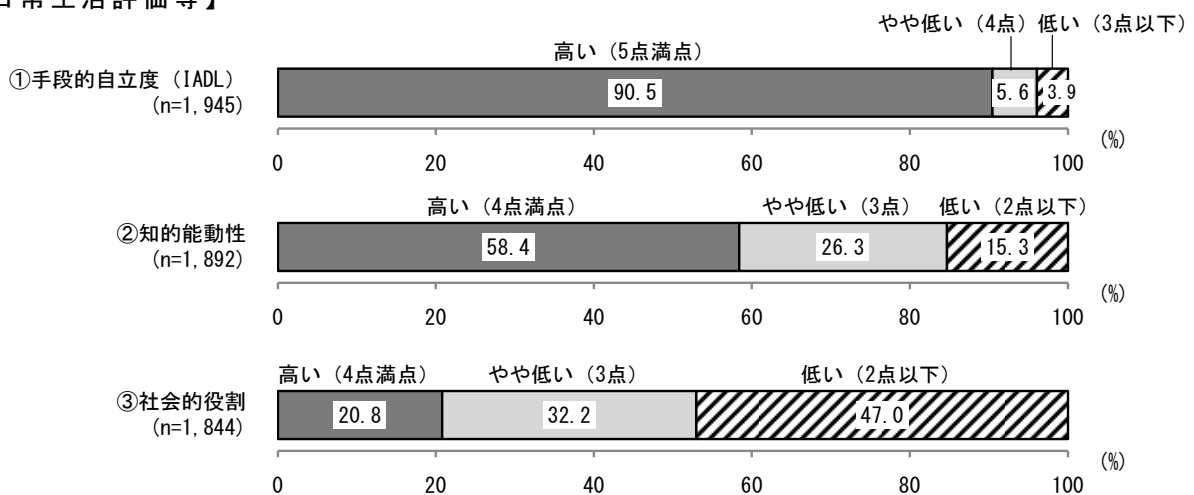
本報告書の『生活機能評価等に関する分析』では、これらの調査項目を使用し、各指標の判定（リスク評価等）を行っています。

一般高齢者、要支援認定者を合わせた全体のリスク評価等については、以下のような結果となっています。機能別のリスク該当者は、『認知機能の低下』が 51.5%と最も多く、次いで、『うつ傾向』が 43.7%となっています。『低栄養の傾向』では該当者は 3.0%と少なくなっています。老研式活動能力指標による評価では、低下者（「やや低い」「低い」の計）に該当する人は、『手段的自立度（IADL）』で 1 割弱、『知的能動性』で 4 割、『社会的役割』で 8 割弱となっています。

【機能別リスク該当者】



【日常生活評価等】



※無回答により判定・評価困難な場合は、調査数（n数）から除外して集計している。（以下同様）

Ⅱ. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

〔1〕生活機能評価

①運動器の機能低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を『運動器の機能低下』のリスク該当者と判定しています。

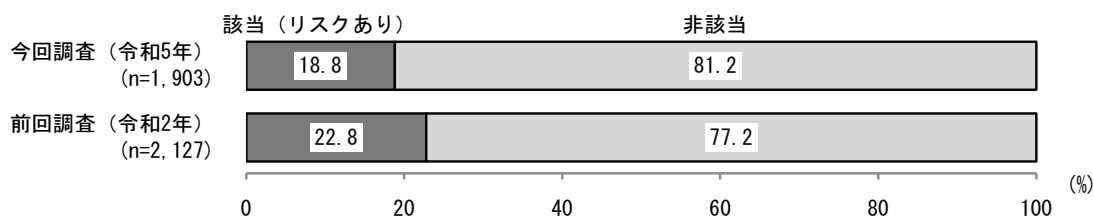
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
	(3) 15分位続けて歩いていますか	3. できない
	(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
	(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

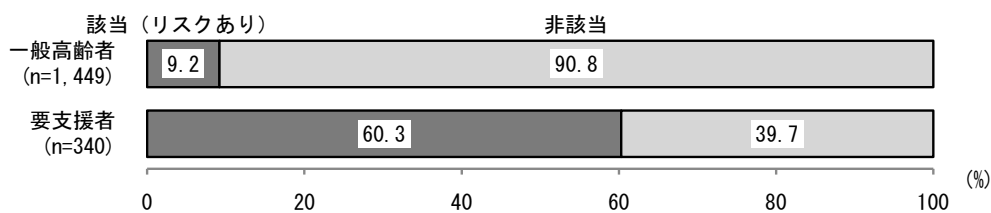
【リスク該当状況】

『運動器の機能低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は18.8%で、前回調査に比べて4.0ポイント減少しています。

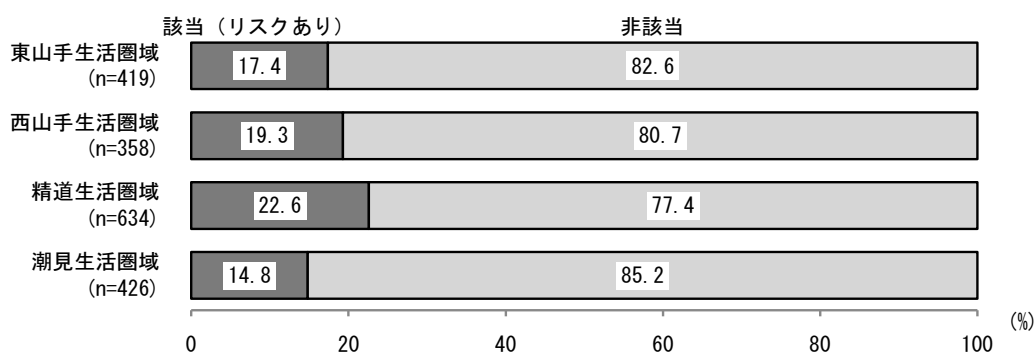
該当者（リスクあり）は要支援認定者で60.3%と多く、居住地域別にみると精道生活圏域で22.6%と、他の地域に比べてやや多くなっています。



【認定状況別 運動器の機能低下】



【居住地域別 運動器の機能低下】



②転倒リスク

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『転倒』のリスク該当者と判定しました。

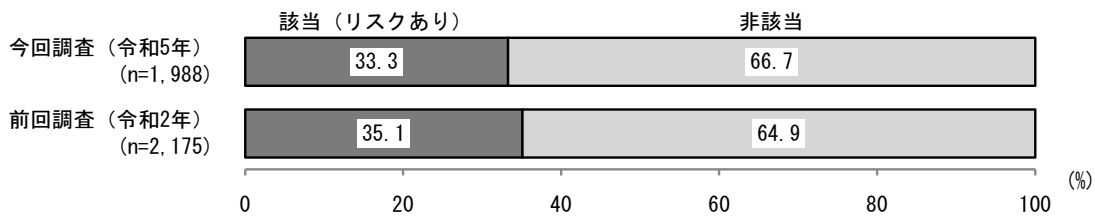
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

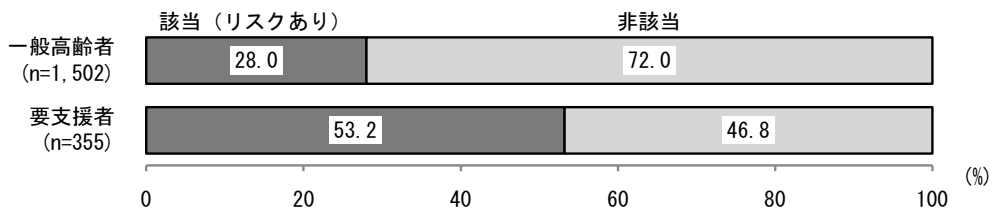
【リスク該当状況】

『転倒リスク』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は33.3%で、前回調査に比べて1.8ポイント減少しています。

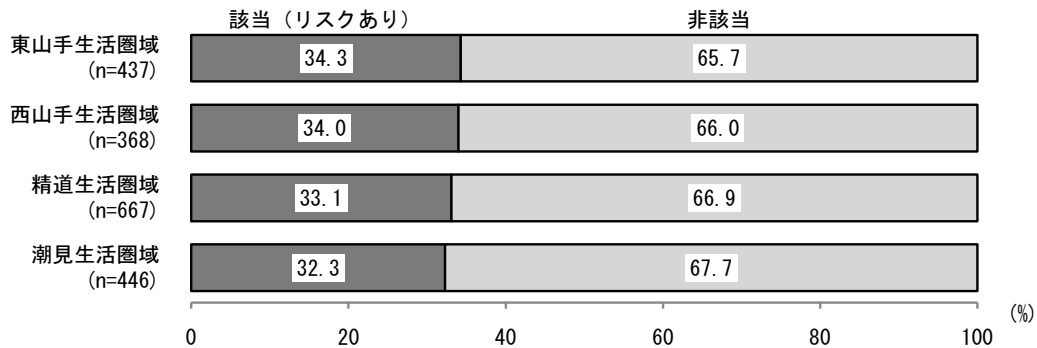
該当者（リスクあり）は要支援認定者で53.2%と多く、居住地域別には大きな差はみられません。



【認定状況別 転倒リスク】



【居住地域別 転倒リスク】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

③閉じこもり傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『閉じこもり傾向』のリスク該当者と判定しました。

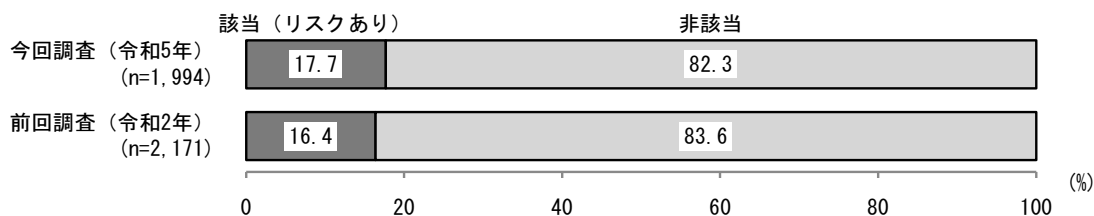
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2	(6) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

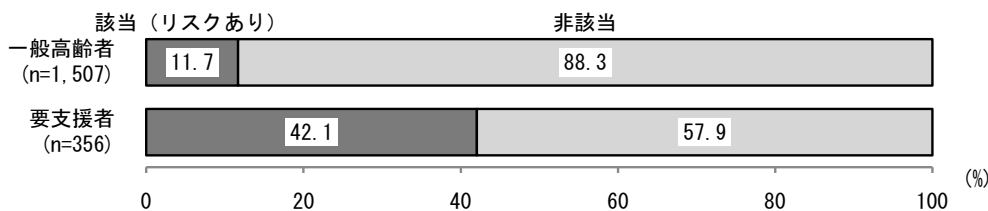
【リスク該当状況】

『閉じこもり傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は17.7%で、前回調査に比べて1.3ポイント増加しています。

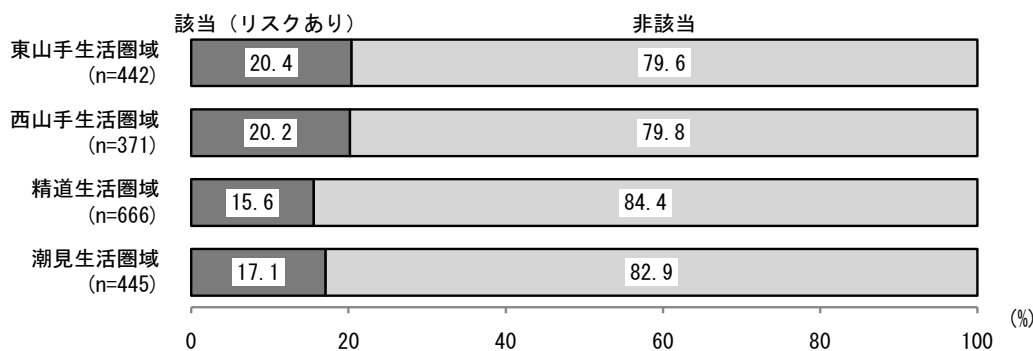
該当者（リスクあり）は要支援認定者で42.1%と多く、居住地域別には東山手生活圏域、西山手生活圏域でやや多くなっています。



【認定状況別 閉じこもり傾向】



【居住地域別 閉じこもり傾向】



④低栄養の傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目ともに該当する人を『低栄養の傾向』のリスク該当者と判定しました。

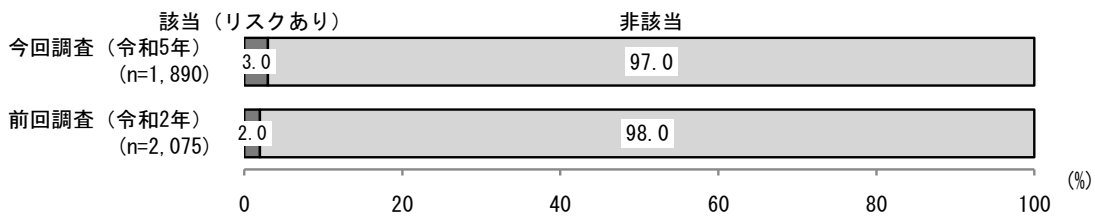
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 4	(1) 身長・体重を記入ください	B M I 18.5 未満
	(2) 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい

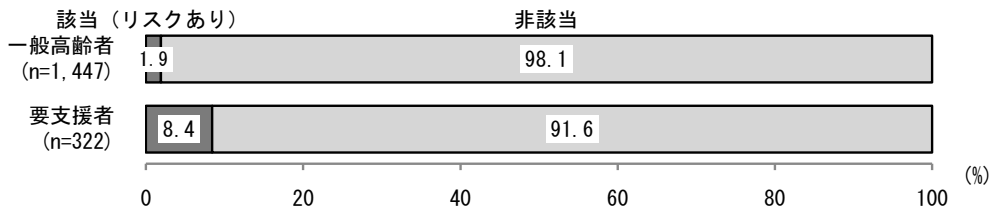
【リスク該当状況】

『低栄養の傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は 3.0%で、前回調査に比べて 1.0 ポイント増加しています。

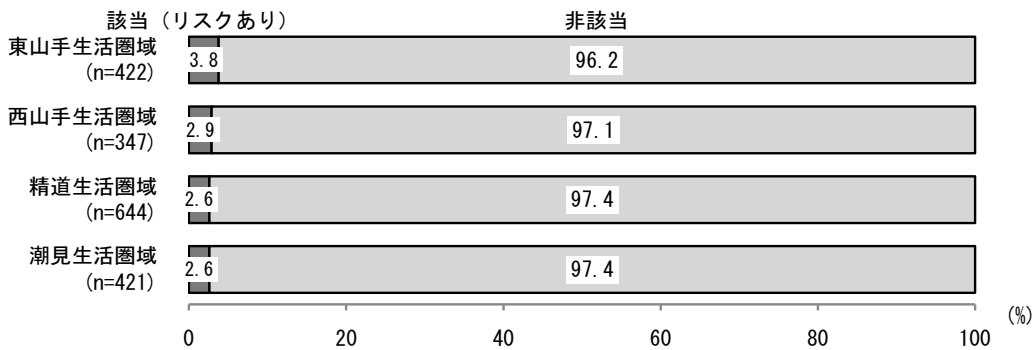
該当者（リスクあり）は要支援認定者で 8.4%と一般高齢者に比べて多く、居住地域別には東山手生活圏域で 3.8%とやや多くなっています。



【認定状況別 低栄養の傾向】



【居住地域別 低栄養の傾向】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

⑤ 口腔機能の低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を『口腔機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

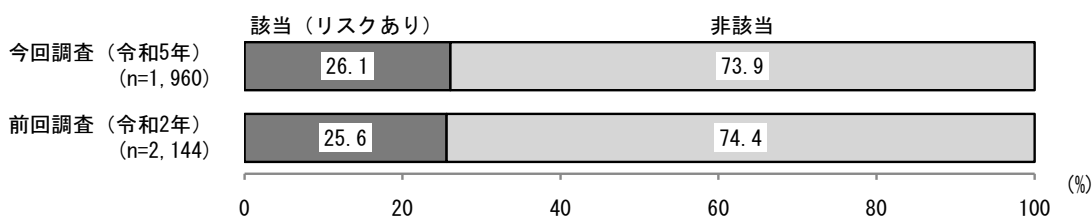
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 4	(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
	(4) お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
	(5) 口の渇きが気になりますか	1. はい

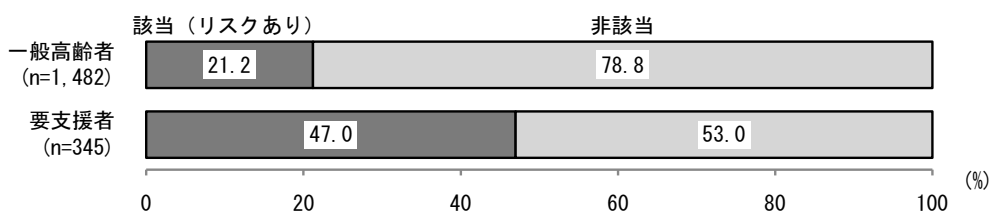
【リスク該当状況】

『口腔機能の低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は 26.1%で、前回調査とほぼ同じ結果となっています。

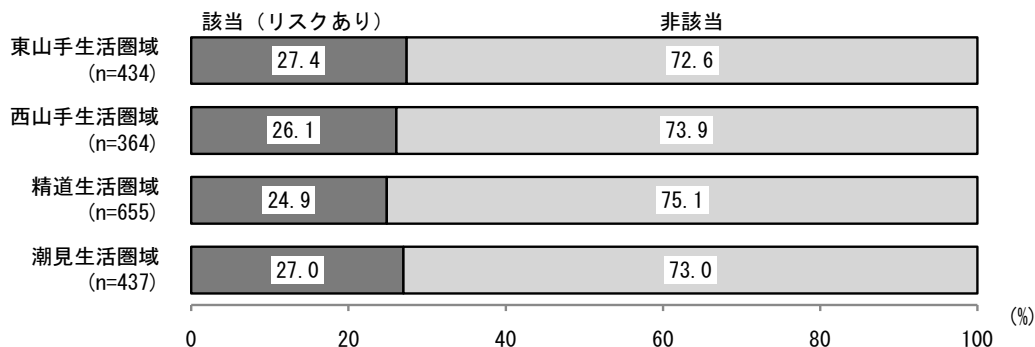
該当者（リスクあり）は要支援認定者で 47.0%と多く、居住地域別には東山手生活圏域で 27.4%、潮見生活圏域で 27.0%とやや多くなっています。



【認定状況別 口腔機能の低下】



【居住地域別 口腔機能の低下】



⑥ 認知機能の低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『認知機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

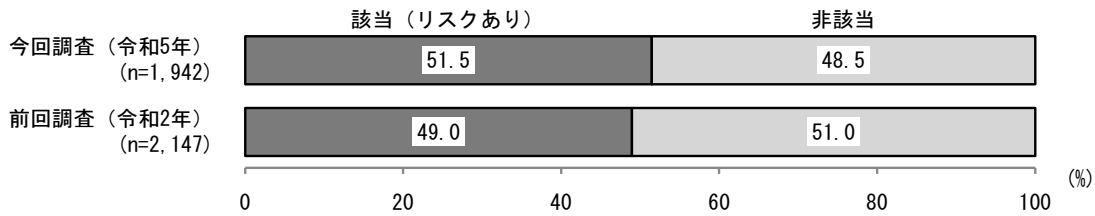
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5	(1) 物忘れが多いと感じますか	1. はい

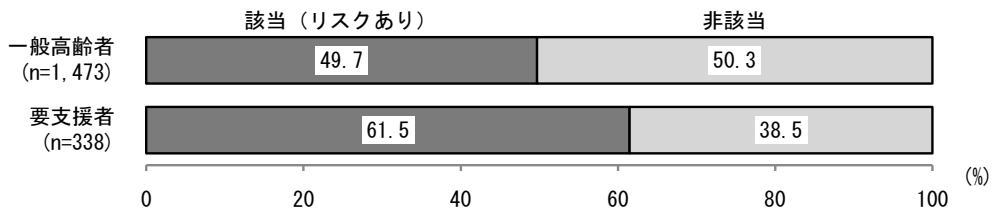
【リスク該当状況】

『認知機能の低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は51.5%で、前回調査に比べて2.5ポイント増加しています。

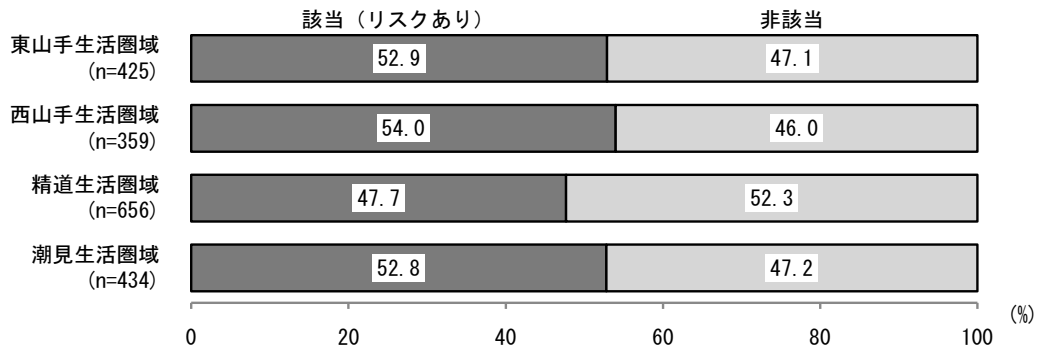
該当者（リスクあり）は要支援認定者で61.5%と多く、居住地域別には精道生活圏域で47.7%と、他の地域に比べてやや少なくなっています。



【認定状況別 認知機能の低下】



【居住地域別 認知機能の低下】



II. 調査結果 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

⑦うつ傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のいずれかに該当する人を『うつ傾向』のリスク該当者と判定しました。

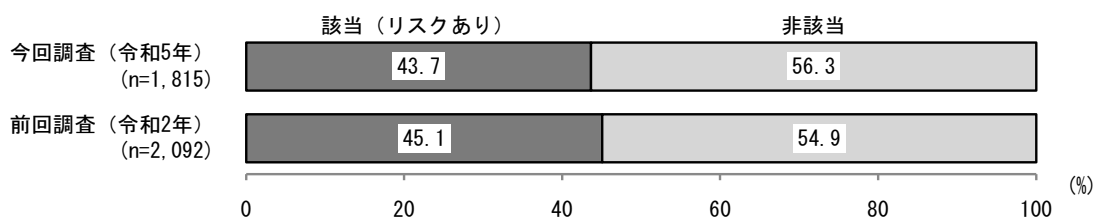
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 8	(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
	(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

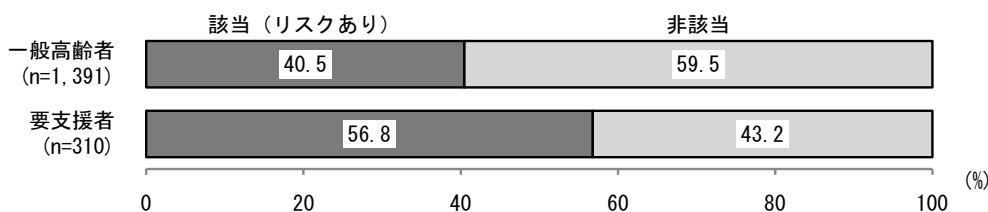
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく『うつ傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は43.7%で、前回調査に比べて1.4ポイント減少しています。

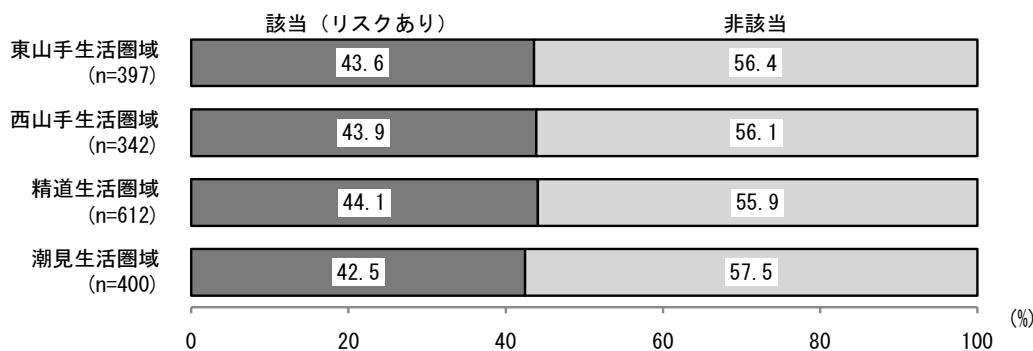
該当者（リスクあり）は要支援認定者で56.8%と多く、居住地域別には大きな差はみられません。



【認定状況別 うつ傾向】



【居住地域別 うつ傾向】



〔2〕日常生活評価

①手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問に基づき、活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：IADL）が低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を「1点」として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」（※4点以下を低下者）と評価しました。

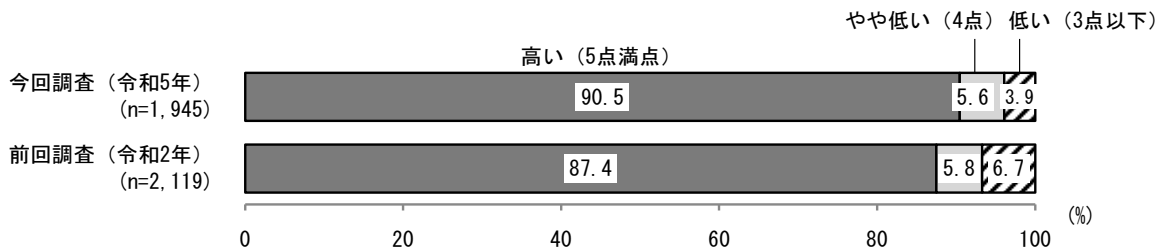
【評価設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5	(4) バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
	(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
	(6) 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
	(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
	(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）

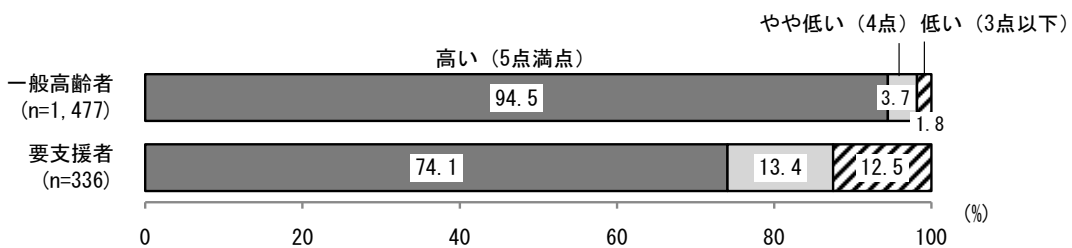
【該当状況】

『手段的自立度（IADL）』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は9.5%で、前回調査に比べて3.0ポイント減少しています。

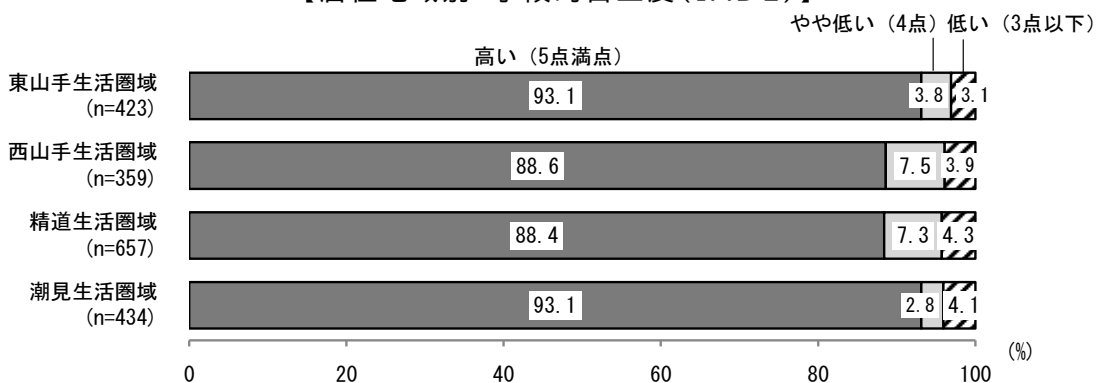
低下者（「やや低い」「低い」の計）は要支援認定者で25.9%と多く、居住地域別には西山手生活圏域で11.4%、精道生活圏域で11.6%とやや多くなっています。



【認定状況別 手段的自立度(IADL)】



【居住地域別 手段的自立度(IADL)】



〔3〕社会参加評価

① 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の余暇や創作など生活を楽しむ能力に関する設問が『知的能動性』として尺度化されており、これが低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の設問に「はい」と回答した場合を“1点”として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」（※3点以下を低下者）と評価しました。

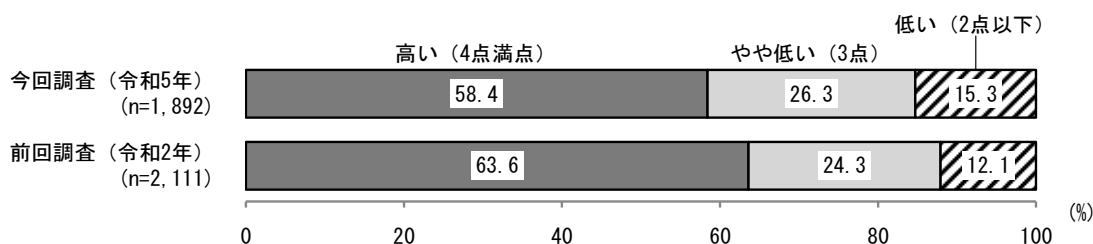
【評価設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5	(9) 年金などの書類が書けますか	1. はい (1点)
	(10) 新聞を読んでいますか	1. はい (1点)
	(11) 本や雑誌を読んでいますか	1. はい (1点)
	(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい (1点)

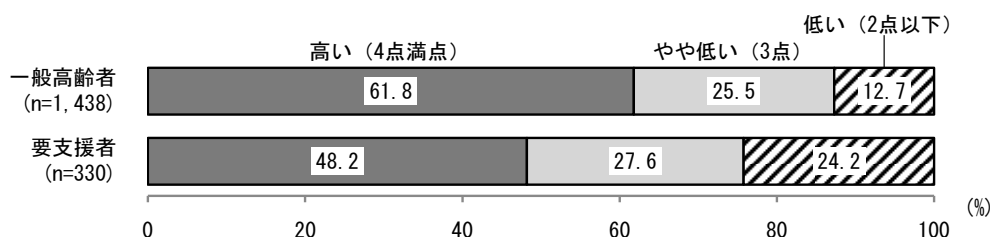
【該当状況】

『知的能動性』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は41.6%で、前回調査に比べて5.2ポイント増加しています。

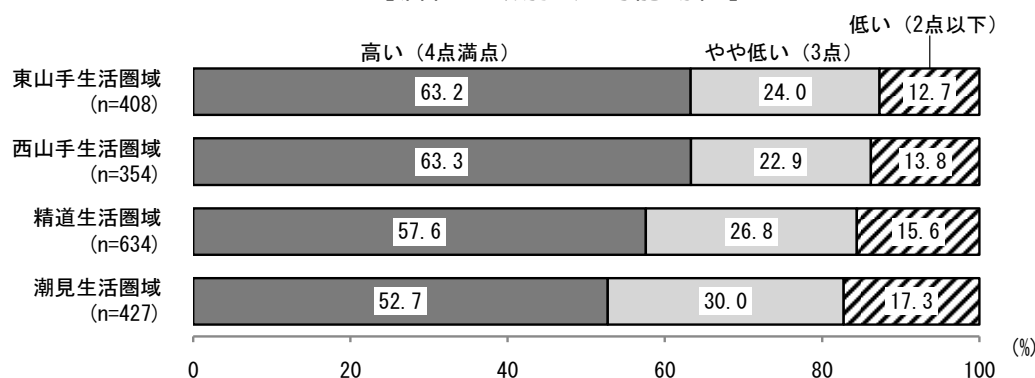
低下者（「やや低い」「低い」の計）は要支援認定者で51.8%と多く、居住地域別には潮見生活圏域で47.3%と多くなっています。



【認定状況別 知的能動性】



【居住地域別 知的能動性】



②社会的役割

老研式活動能力には、地域で社会的な役割を果たす能力に関する設問が『社会的役割』として尺度化されており、これが低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の設問に「はい」と回答した場合を“1点”として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」（※3点以下を低下者）と評価しました。

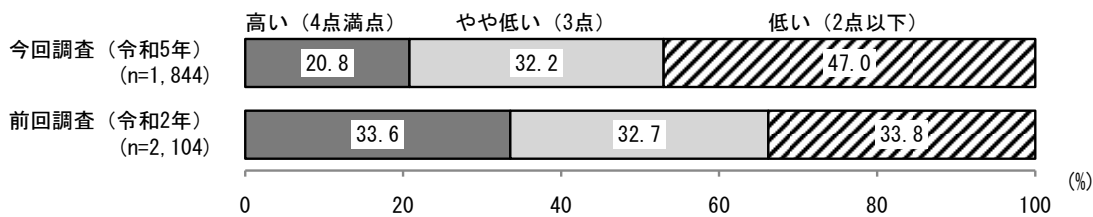
【評価設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5	(14) 友人の家を訪ねていますか	1. はい（1点）
	(15) 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい（1点）
	(16) 病人を見舞うことができますか	1. はい（1点）
	(17) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい（1点）

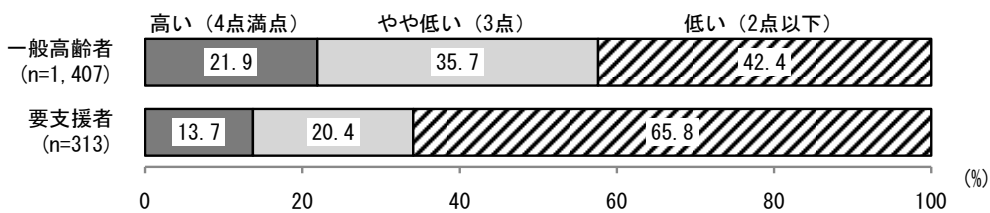
【該当状況】

老研式活動能力指標に基づく『社会的役割』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は79.2%で、前回調査に比べて12.7ポイント増加しています。

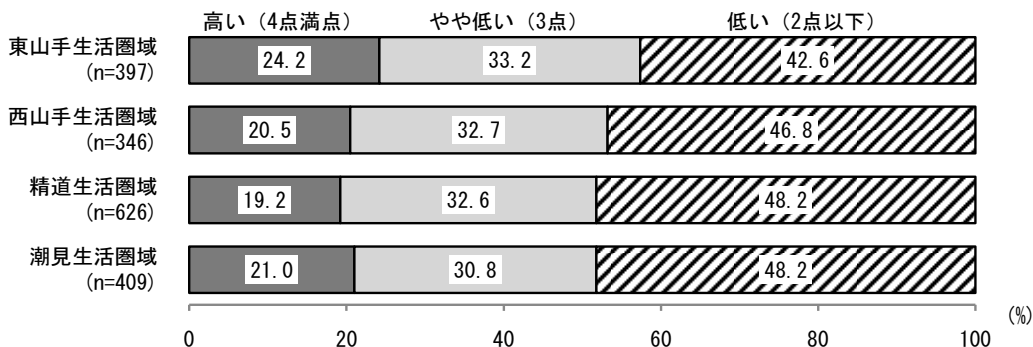
低下者（「やや低い」「低い」の計）は要支援認定者で86.2%と多く、居住地域別には東山手生活圏域で75.8%と他の地域に比べてやや少なくなっています。



【認定状況別 社会的役割】



【居住地域別 社会的役割】

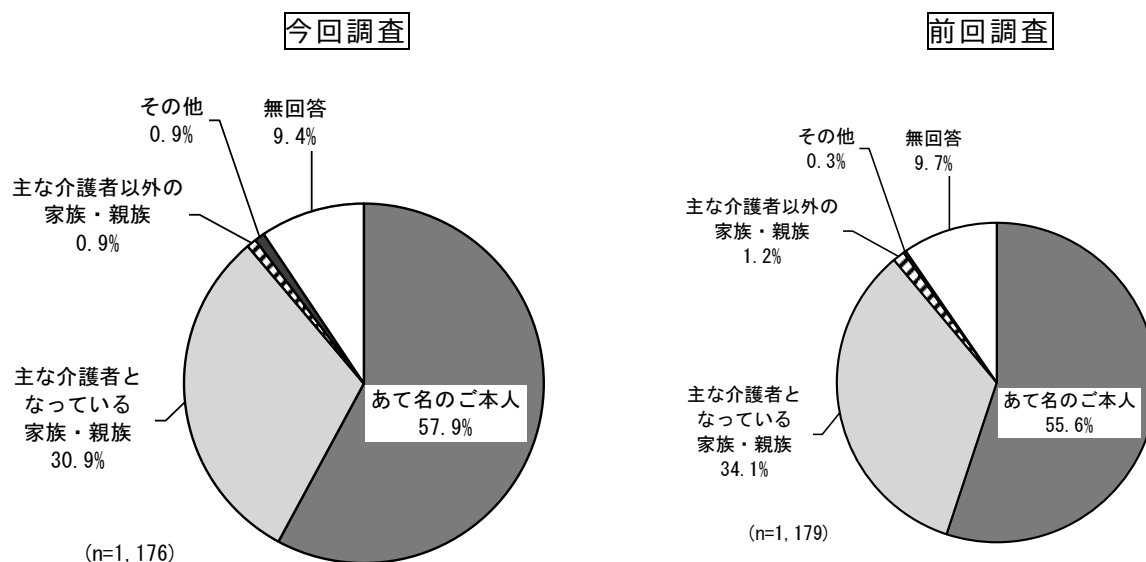


2. 在宅介護実態調査

調査対象者の基本属性

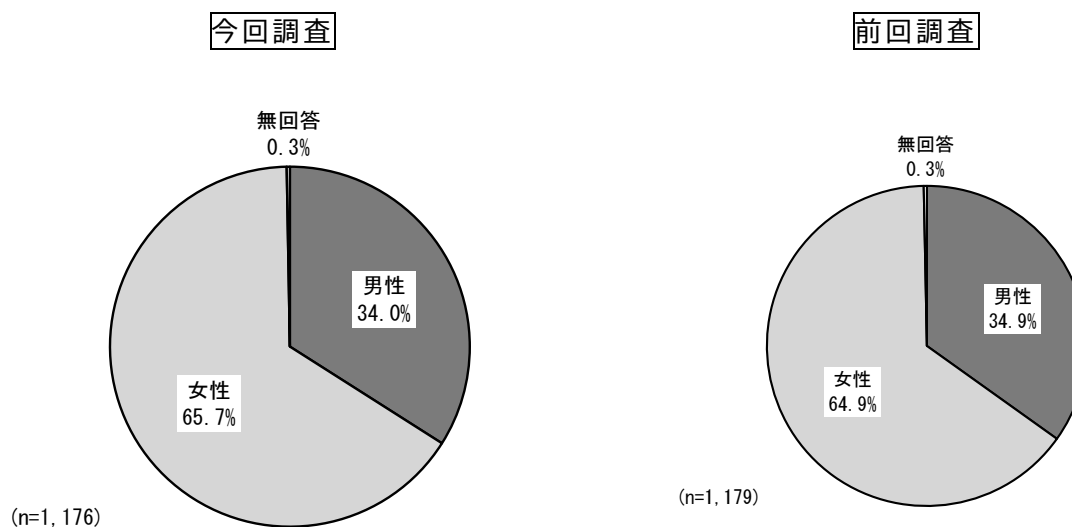
〔1〕調査票の記入者

調査票の記入者については、「あて名のご本人」が 57.9%、「主な介護者となっている家族・親族」が 30.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が 0.9%となっています



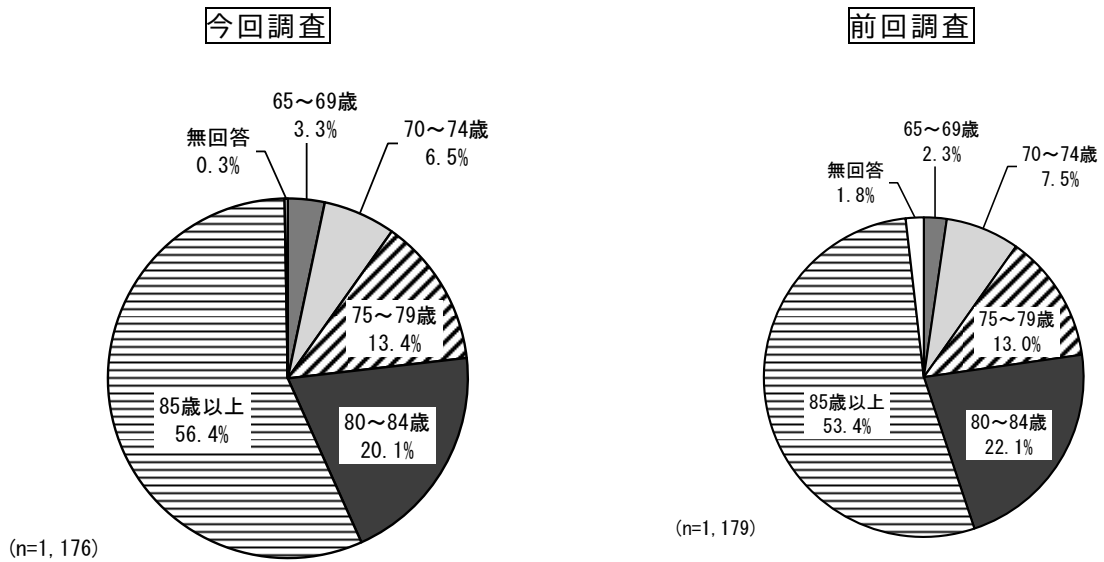
〔2〕調査対象者の性別

性別は、「男性」が 34.0%、「女性」が 65.7%となっています。

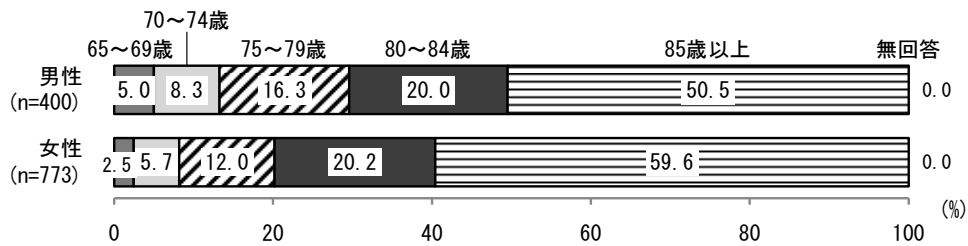


〔3〕調査対象者の年齢

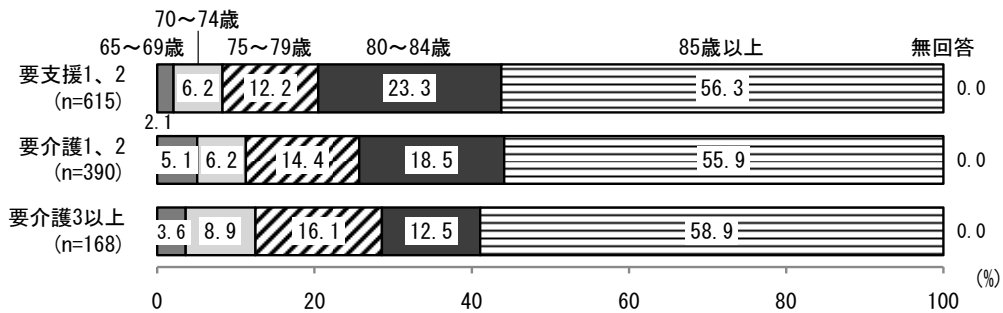
年齢は、「85歳以上」が56.4%と最も多く、次いで、「80～84歳」が20.1%、「75～79歳」が13.4%となっています。65～74歳の「前期高齢者」が9.8%、75歳以上の「後期高齢者」が89.9%で、前回調査に比べて「後期高齢者」が1.4ポイントと微増、とくに、「85歳以上」が3.0ポイント増加しています。



【性別 年齢】



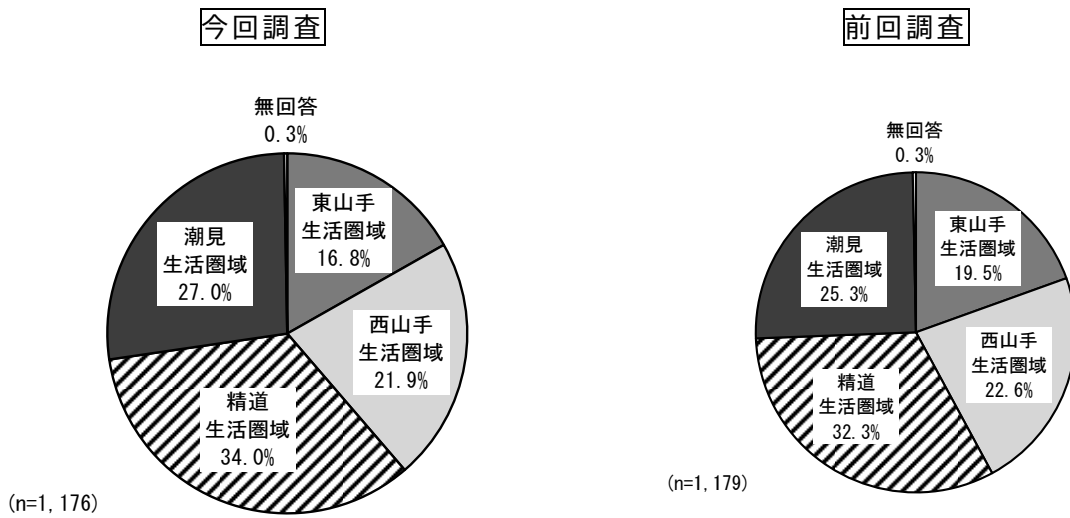
【要介護度別 年齢】



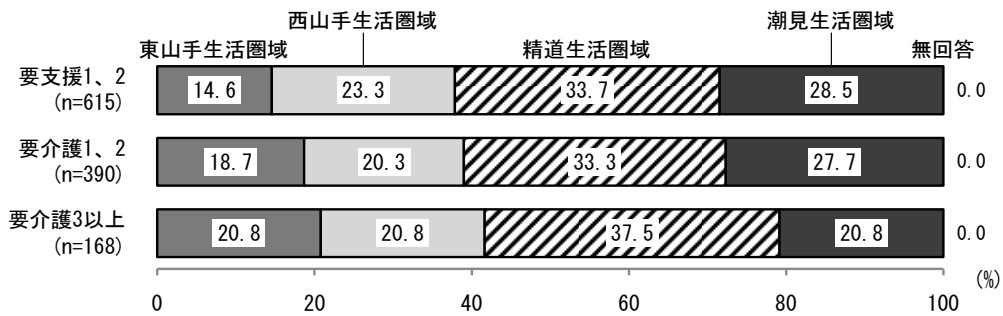
II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

[4] 調査対象者の居住地域

「精道生活圏域」が 34.0%と最も多く、次いで、「潮見生活圏域」が 27.0%、「西山手生活圏域」が 21.9%、「東山手生活圏域」が 16.8%となっています。

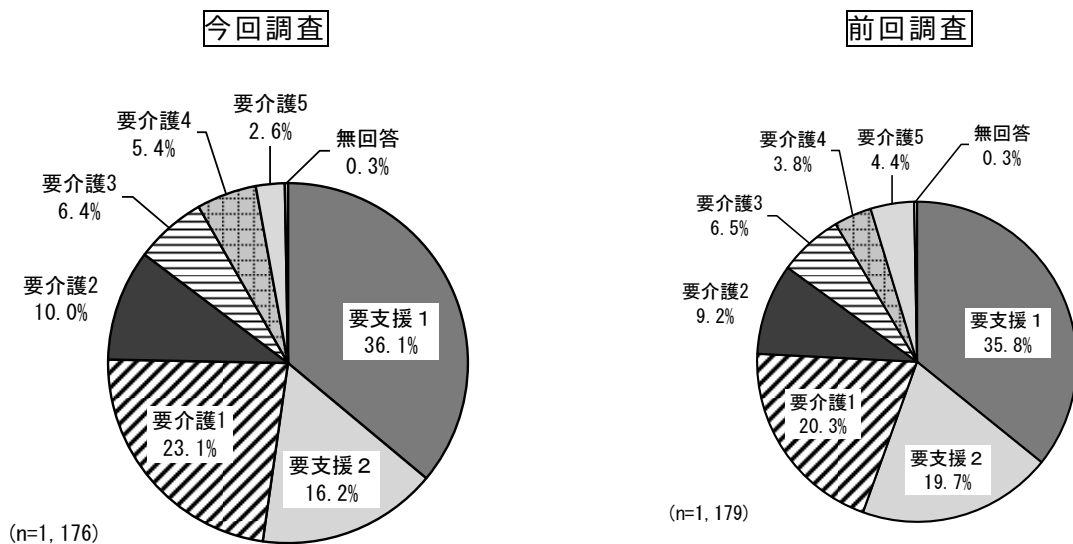


【要介護度別 居住地域】



[5] 調査対象者の要介護度

「要支援 1」が 36.1%と最も多く、次いで、「要介護 1」が 23.1%、「要支援 2」が 16.2%となっています。要介護者は 47.5%で前回調査に比べ、3.3 ポイント増加しています。



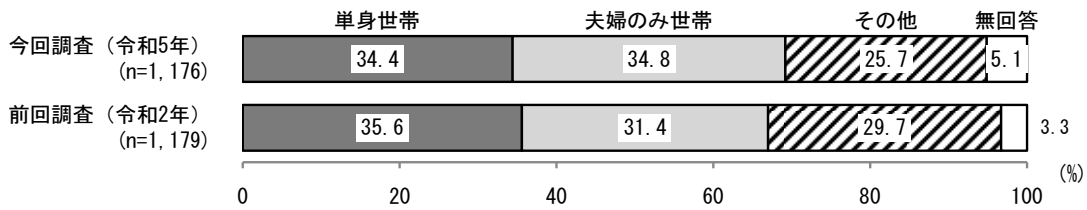
1 調査対象者本人について

[1] 世帯類型

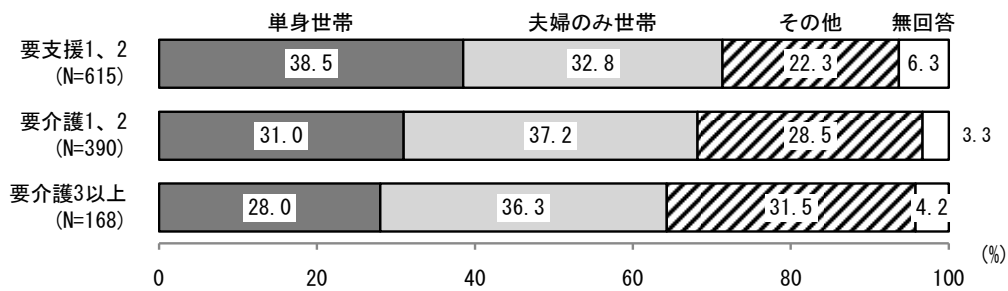
A票 問1 世帯類型について、ご回答ください（1つに○）

単身世帯が34.4%、夫婦のみが世帯が34.8%、その他が25.7%となっています。前回調査に比べ、「夫婦のみ世帯」が3.4ポイント増加しています。

要介護度別にみると、「単身世帯」が要支援1、2で38.5%と多くなっています。



【要介護度別 世帯類型】

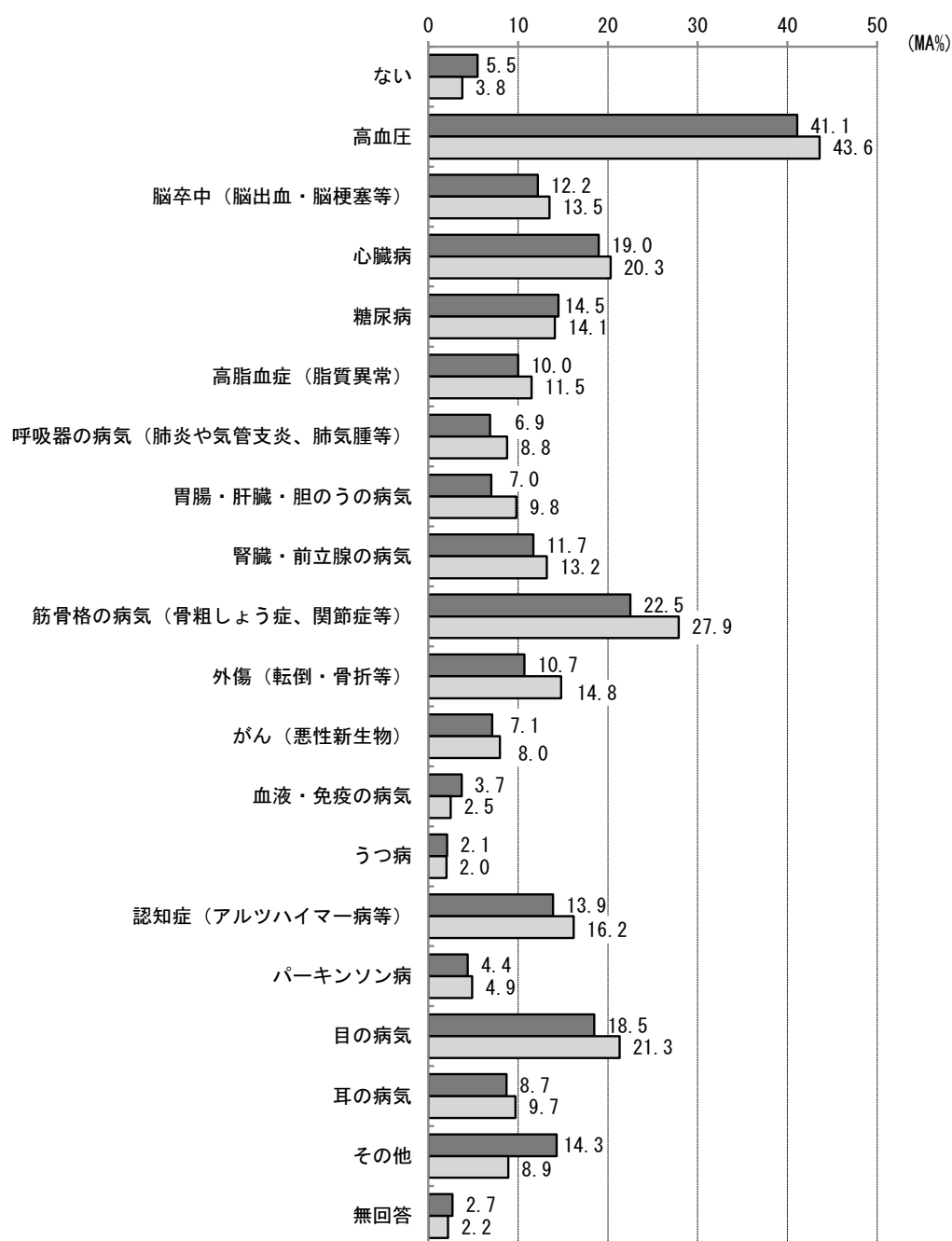


〔2〕治療中・後遺症のある病気

A票 問2 ご本人が現在治療中、または後遺症のある病気はありますか
(○はいくつでも)

治療中や後遺症のある病気については、「高血圧」が41.1%と最も多く、次いで、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が22.5%となっています。

要介護度別にみると、要介護3以上で「認知症（アルツハイマー病等）」が32.1%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が23.8%と他の区分より多くなっています。



■ 今回調査 (令和5年) (n=1,176) □ 前回調査 (令和2年) (n=1,179)

【要介護度別 治療中・後遺症のある病気】

(MA%)

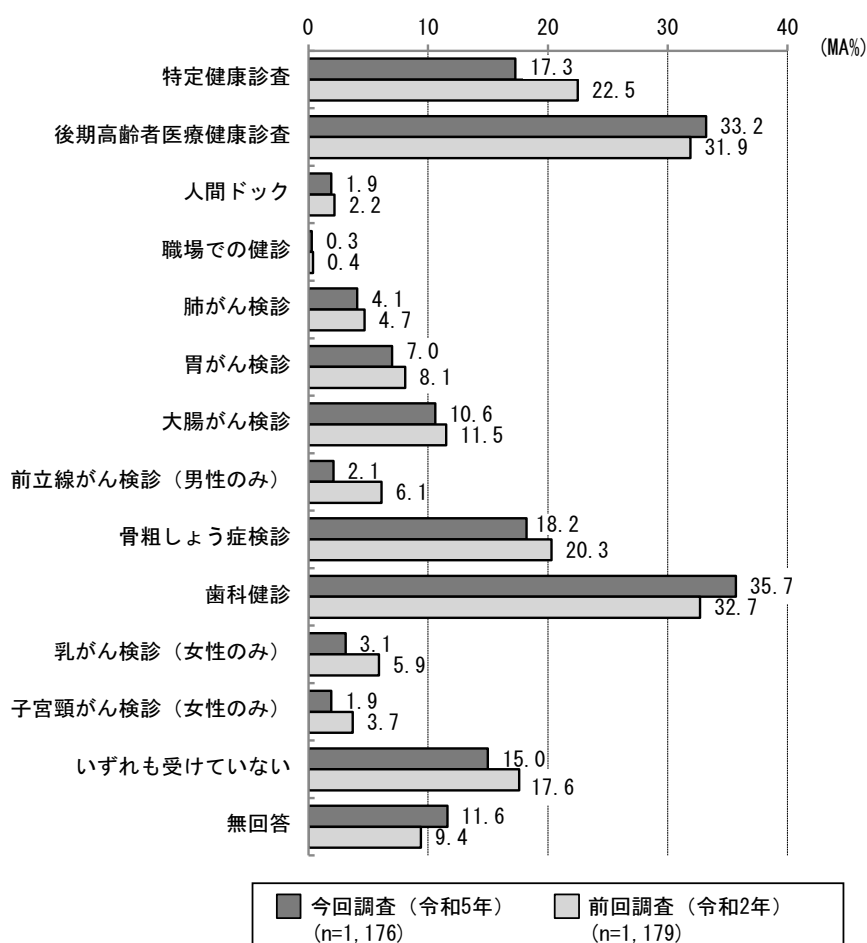
		n	ない	高血圧	(脳卒中 ・脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	(呼吸器の 病気 (肺炎や 気管支炎、 肺気腫等)	胃腸・肝臓・ 胆のうの 病気	腎臓・前立 腺の病気	(筋骨格の 病気 (骨粗しょう 症、関節症 等)	外傷(転倒・ 骨折等)	がん(悪性 新生物)
全体		1,176 100.0	65 5.5	483 41.1	143 12.2	224 19.0	170 14.5	118 10.0	81 6.9	82 7.0	138 11.7	265 22.5	126 10.7	84 7.1
認定 状況	要支援1、2	615 100.0	40 6.5	281 45.7	50 8.1	122 19.8	94 15.3	77 12.5	42 6.8	49 8.0	64 10.4	159 25.9	63 10.2	36 5.9
	要介護1、2	390 100.0	19 4.9	145 37.2	53 13.6	70 17.9	45 11.5	32 8.2	29 7.4	25 6.4	54 13.8	79 20.3	48 12.3	36 9.2
	要介護3以上	168 100.0	6 3.6	56 33.3	40 23.8	32 19.0	30 17.9	8 4.8	10 6.0	8 4.8	19 11.3	26 15.5	15 8.9	12 7.1

		血液・免疫 の病気	うつ病	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキン ソン病	目の 病気	耳の 病気	その他	無回 答
全体		44 3.7	25 2.1	164 13.9	52 4.4	218 18.5	102 8.7	168 14.3	32 2.7
認定 状況	要支援1、2	24 3.9	5 0.8	22 3.6	22 3.6	133 21.6	64 10.4	92 15.0	18 2.9
	要介護1、2	10 2.6	15 3.8	86 22.1	19 4.9	64 16.4	27 6.9	46 11.8	10 2.6
	要介護3以上	10 6.0	5 3.0	54 32.1	11 6.5	21 12.5	11 6.5	30 17.9	4 2.4

〔3〕定期健診・検診の受診状況

A票 問3 ご本人は、この1年または2年の間に、以下の定期健診・検診を受けていますか（○はいくつでも）
 ※過去に受けたことがあっても、1～2年以上前に受けたものは含みません

定期健診・検診の受診状況については、「歯科健診」が 35.7%と最も多く、次いで、「後期高齢者医療健康診査」が 33.2%、「骨粗しょう症検診」が 18.2%となっています。前回調査に比べ、「特定健康診査」が 5.2 ポイント減少し、「歯科健診」が 3.0 ポイント増加しています。要介護度別にみると、ほぼすべての項目で要支援 1、2 が多くなっています。



【要介護度別 定期健診・検診の受診状況】

(MA%)

	n	特定健康診査	後期高齢者医療健康診査	人間ドック	職場での健診	肺がん検診	胃がん検診	大腸がん検診	前立線がん検診（男性のみ）	骨粗しょう症検診	歯科健診	
全体	1,176 100.0	203 17.3	391 33.2	22 1.9	3 0.3	48 4.1	82 7.0	125 10.6	25 2.1	214 18.2	420 35.7	
認定状況	要支援1、2	615 100.0	126 20.5	237 38.5	13 2.1	2 0.3	38 6.2	59 9.6	84 13.7	14 2.3	142 23.1	245 39.8
	要介護1、2	390 100.0	61 15.6	120 30.8	5 1.3	1 0.3	6 1.5	19 4.9	32 8.2	8 2.1	53 13.6	128 32.8
	要介護3以上	168 100.0	16 9.5	33 19.6	3 1.8	0 0.0	4 2.4	4 2.4	9 5.4	3 1.8	19 11.3	47 28.0

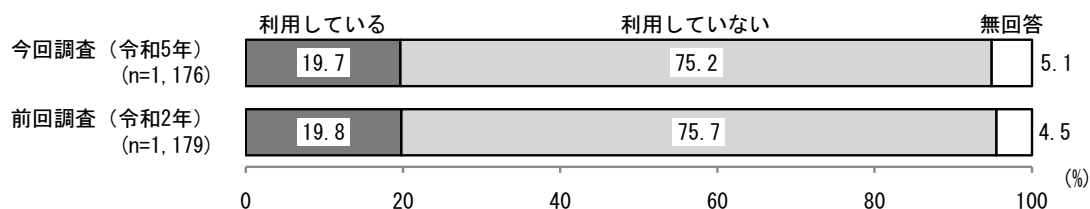
	乳がん検診（女性のみ）	子宮頸がん検診（女性のみ）	いずれも受けていない	無回答	
全体	37 3.1	22 1.9	176 15.0	136 11.6	
認定状況	要支援1、2	25 4.1	18 2.9	70 11.4	45 7.3
	要介護1、2	7 1.8	3 0.8	65 16.7	56 14.4
	要介護3以上	5 3.0	1 0.6	40 23.8	35 20.8

〔4〕訪問診療利用状況

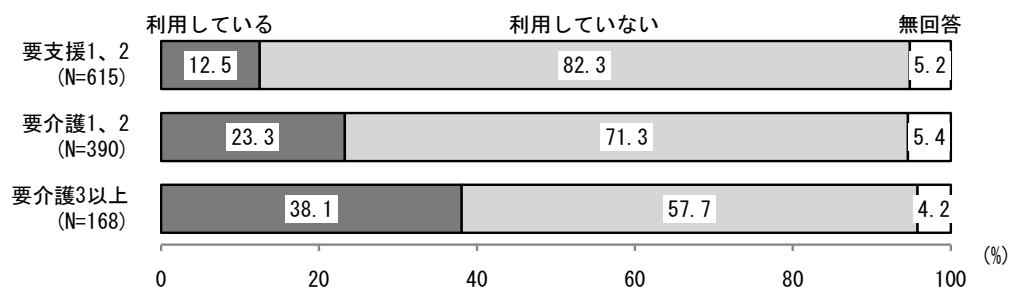
A票 問4 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません

訪問診療を「利用している」は19.7%で、前回同様の結果となっています。
要介護度別にみると、訪問診療を「利用している」は要介護3以上で38.1%と多くなっています。



【要介護度別 訪問診療利用状況】



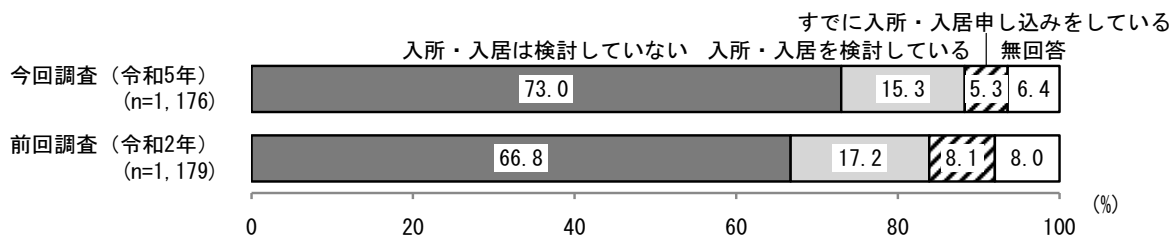
〔5〕施設等入所の検討状況

A票 問5 現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つに○)

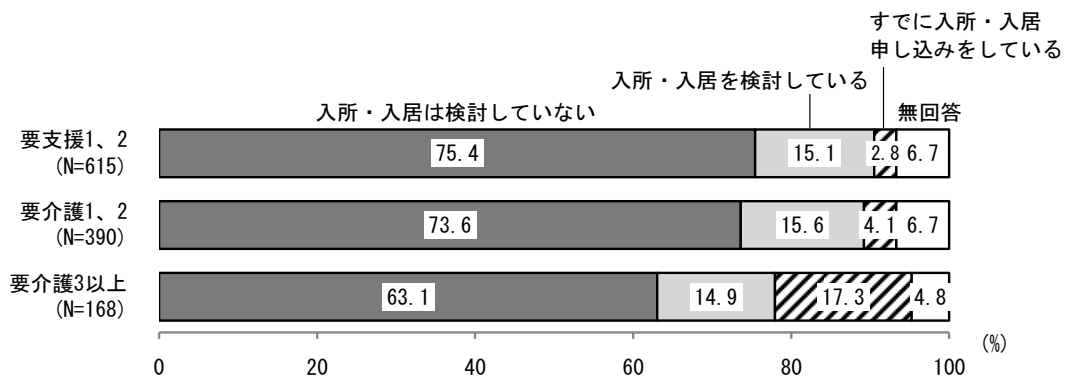
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します

施設等への「入所・入居を検討している」は 15.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は 5.3%で、入所・入居の意向がある人は合計 20.6%で、前回調査に比べて 4.7 ポイント減少しています。

要介護度別にみると、入所・入居の意向がある人は要支援 1、2、要介護 1、2 で 2 割弱、要介護 3 以上では 3 割強となっています。



【要介護度別 入所・入居の検討状況】

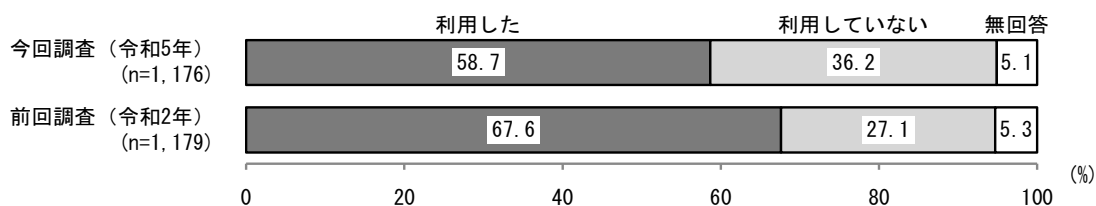


[6]介護保険サービスの利用状況

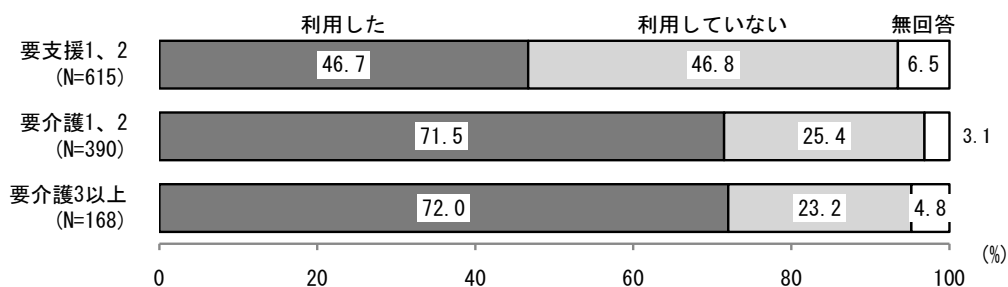
A票 問6 ご本人は、令和5年1月の1か月の間に(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか (1つに○)

令和5年1月の1か月間の、介護保険サービスの利用状況については、「利用した」が58.7%、「利用していない」が36.2%で、前回調査に比べて「利用した」は8.9ポイント減少しています。

要介護度別にみると、「利用した」は要支援1、2で5割弱、要介護認定者で7割強となっています。



【要介護度別 介護保険サービスの利用状況】

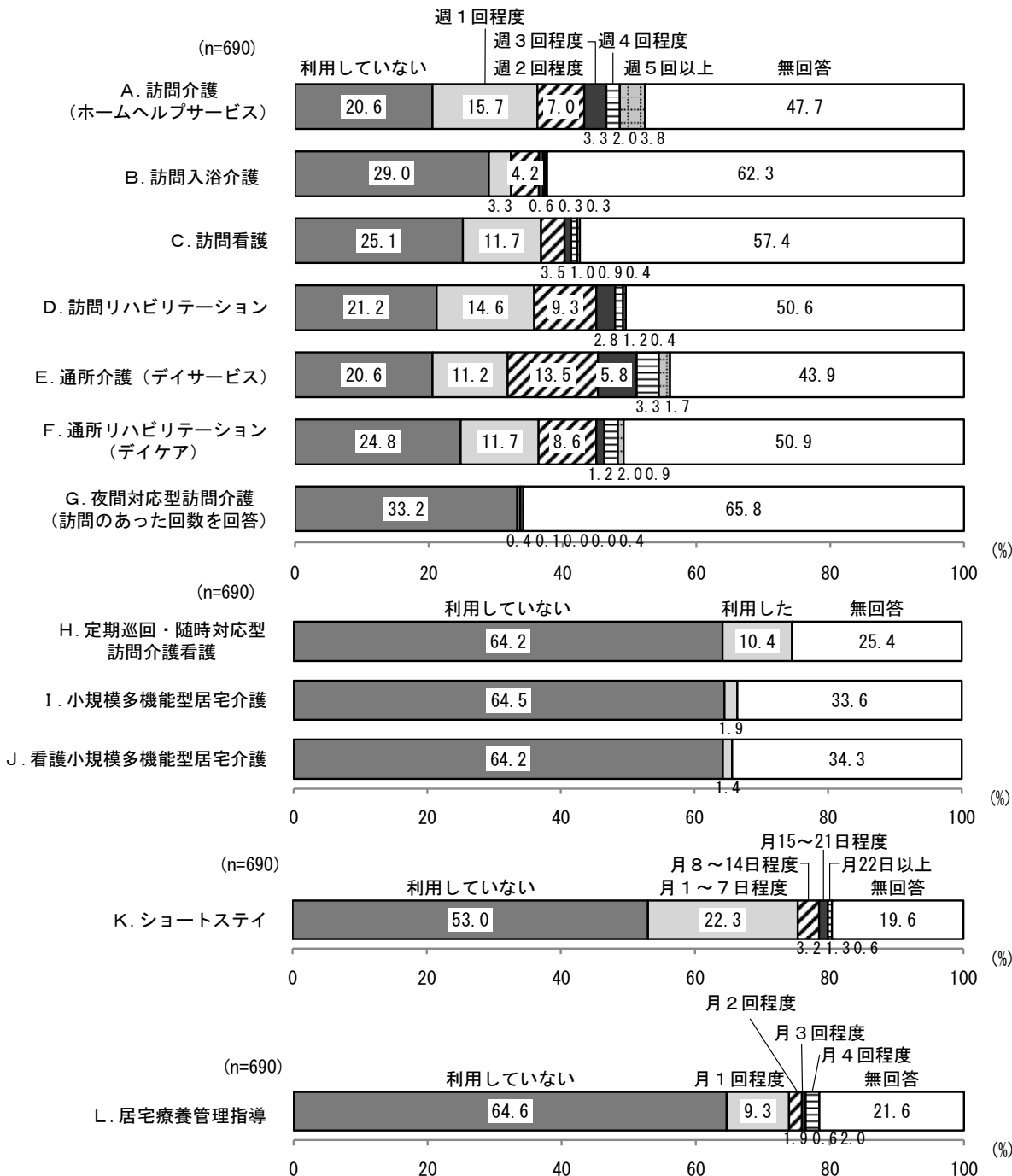


【問6で「1. 利用した」と回答した方のみ】

A票 問6-1 以下の介護保険サービスについて、令和5年1月の1ヶ月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1.利用していない)」を選択してください
(それぞれ1つに○)

令和5年1月の1ヶ月間の、利用回数について、「E.通所介護（デイサービス）」で、「週1回程度」から「週5回以上」までを合わせた『利用した』は35.5%、「週2回程度」の利用が最も多くなっています。次いで、「A.訪問介護（ホームヘルプサービス）」では、『利用した』は31.8%、「週1回程度」の利用が最も多くなっています。

『利用した』は「H.定期巡回・随時対応型訪問介護看護」で10.4%、「K.ショートステイ」で27.4%、「L.居宅療養管理指導」で13.8%となっており、「I.小規模多機能型居宅介護」や「J.看護小規模多機能型居宅介護」では少なくなっています



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

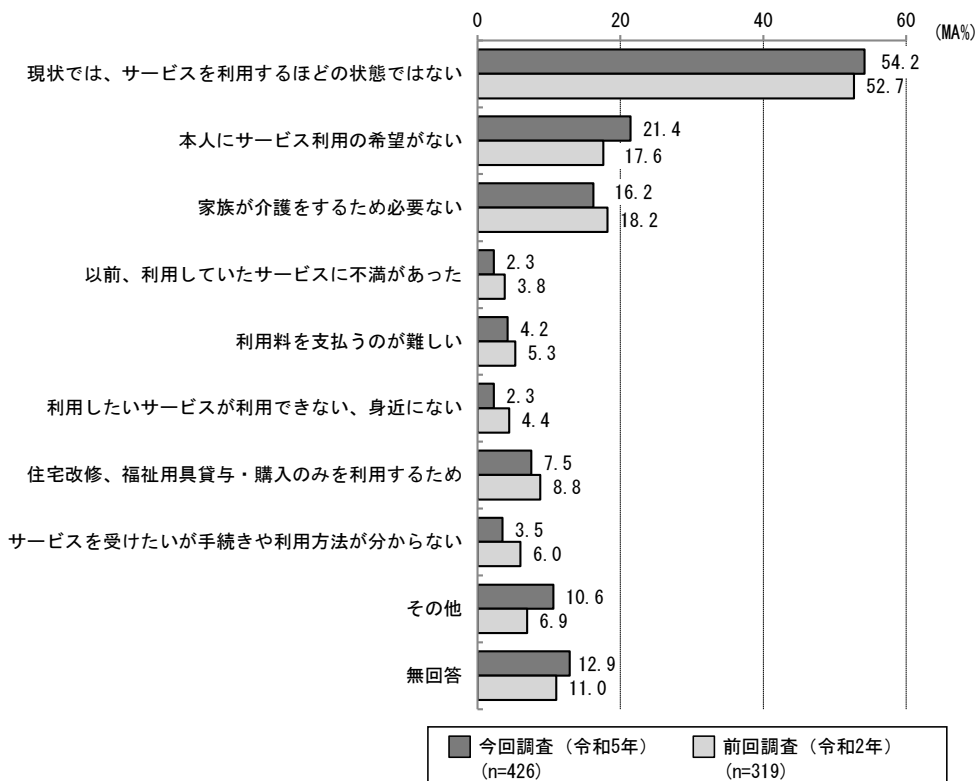
〔7〕介護保険サービス未利用の理由

【問6で「2. 利用していない」とお答えの方のみ】

A票 問6-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が54.2%と最も多く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が21.4%となっています。前回調査に比べて、「本人にサービス利用の希望がない」が3.8ポイント増加しています。

要介護度別にみると、「家族が介護をするため必要ない」が要介護3以上で30.8%と他の区分より多くなっています。



【要介護度別 介護保険サービスを利用していない理由】

		n	現状では、サービスを利用するほどではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体		426	54.2	21.4	16.2	2.3	4.2	2.3	7.5	3.5	10.6	12.9
認定状況	要支援1、2	288	62.5	18.8	12.2	2.8	3.5	2.4	8.3	3.8	9.0	10.4
	要介護1、2	99	41.4	27.3	22.2	2.0	4.0	2.0	5.1	3.0	9.1	17.2
	要介護3以上	39	25.6	25.6	30.8	0.0	10.3	2.6	7.7	2.6	25.6	20.5

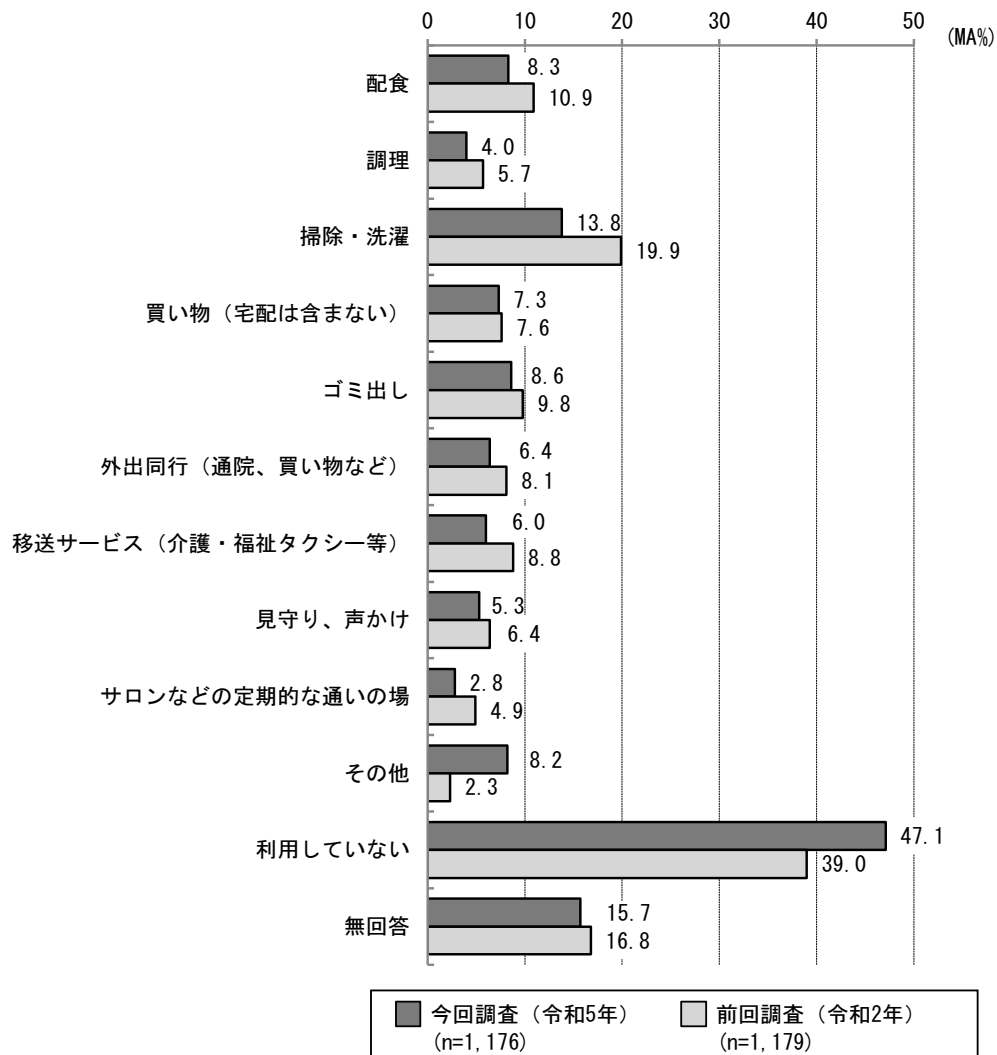
〔8〕介護保険外の支援・サービスについて

A票 問7 現在、ご本人が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

介護保険外の支援・サービスについては、「利用していない」が 47.1%を占めており、前回調査に比べて 8.1 ポイント増加しています。

利用しているサービスでは、「掃除・洗濯」が 13.8%と最も多く、次いで「ゴミ出し」が 8.6%、「配食」が 8.3%となっています。

要介護度別にみると、要支援 1、2と要介護 1、2 では「掃除・洗濯」、要介護 3 以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

【要介護度別 介護保険以外の支援やサービスの利用状況】

(MA%)

		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場
全体		1,176 100.0	98 8.3	47 4.0	162 13.8	86 7.3	101 8.6	75 6.4	71 6.0	62 5.3	33 2.8
認定状況	要支援1、2	615 100.0	43 7.0	17 2.8	92 15.0	34 5.5	53 8.6	32 5.2	19 3.1	23 3.7	18 2.9
	要介護1、2	390 100.0	35 9.0	21 5.4	59 15.1	37 9.5	35 9.0	28 7.2	30 7.7	28 7.2	13 3.3
	要介護3以上	168 100.0	20 11.9	9 5.4	11 6.5	15 8.9	13 7.7	15 8.9	22 13.1	11 6.5	2 1.2

		その他	利用していない	無回答
全体		97 8.2	554 47.1	185 15.7
認定状況	要支援1、2	43 7.0	301 48.9	97 15.8
	要介護1、2	36 9.2	170 43.6	64 16.4
	要介護3以上	18 10.7	81 48.2	23 13.7

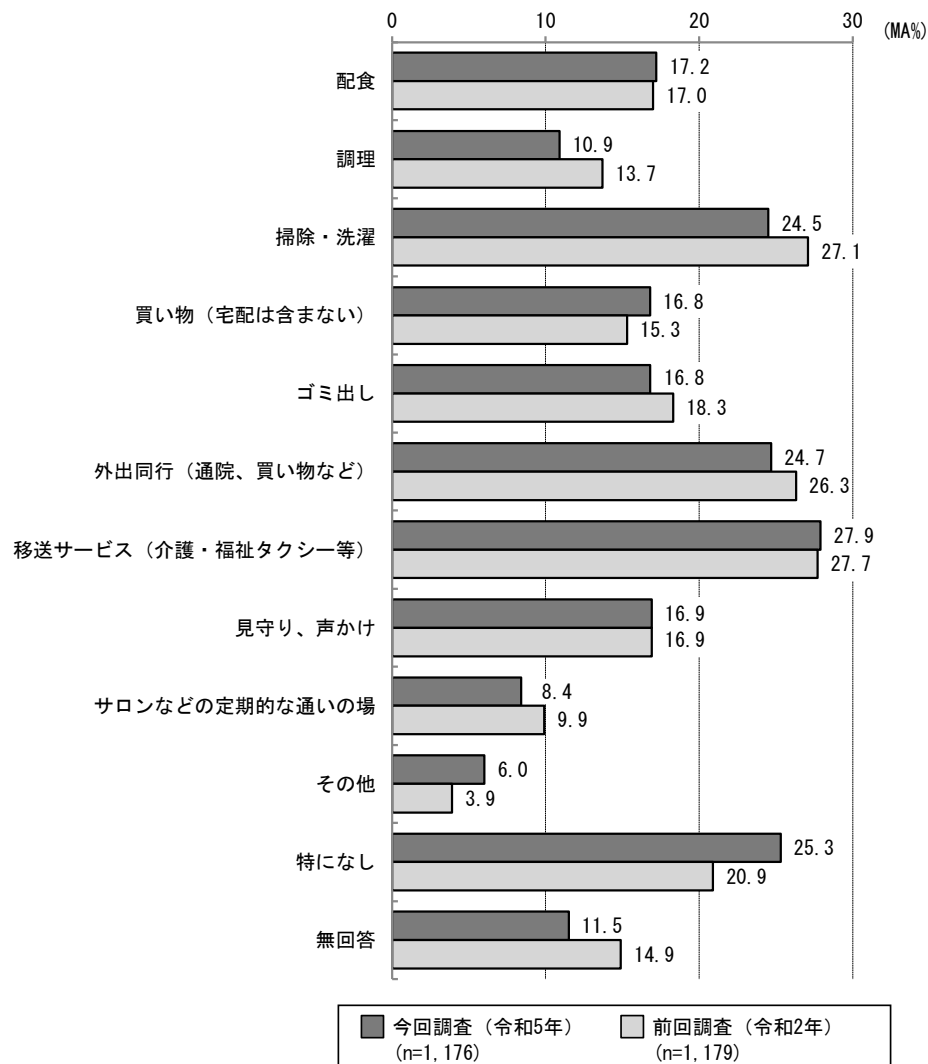
[9]在宅生活の継続に必要な支援・サービス

A票 問8 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(〇はいくつでも)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスについては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が27.9%と最も多く、次いで、「外出同行(通院、買い物など)」が24.7%、「掃除・洗濯」が24.5%となっています。

要介護度別にみると、要支援1、2では「掃除・洗濯」、要介護認定者では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が最も多くなっています。



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

【要介護度別 在宅生活の継続に必要な支援・サービス】

(MA%)

		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ
全体		1,176 100.0	202 17.2	128 10.9	288 24.5	197 16.8	198 16.8	290 24.7	328 27.9	199 16.9
認定状況	要支援1、2	615 100.0	101 16.4	55 8.9	172 28.0	100 16.3	111 18.0	137 22.3	147 23.9	95 15.4
	要介護1、2	390 100.0	76 19.5	55 14.1	90 23.1	68 17.4	65 16.7	114 29.2	122 31.3	83 21.3
	要介護3以上	168 100.0	24 14.3	17 10.1	25 14.9	28 16.7	21 12.5	38 22.6	59 35.1	20 11.9

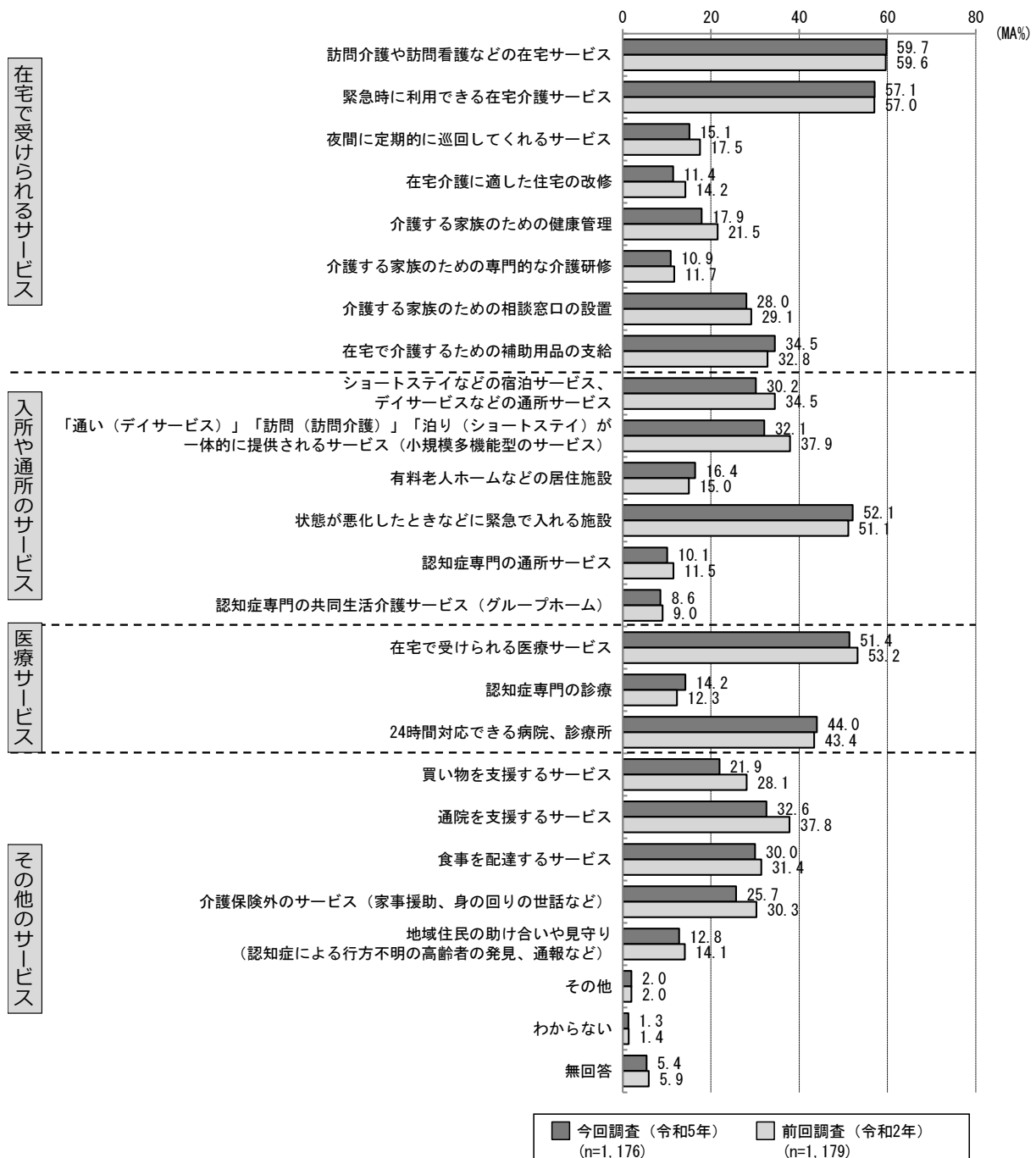
		サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体		99 8.4	71 6.0	297 25.3	135 11.5
認定状況	要支援1、2	42 6.8	36 5.9	167 27.2	67 10.9
	要介護1、2	44 11.3	21 5.4	83 21.3	51 13.1
	要介護3以上	12 7.1	14 8.3	46 27.4	17 10.1

[10]身の回りのことができなくなったときに必要な支援・サービス

A票 問9 今後、ご本人の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けられると思いますか (〇はいくつでも)

必要な支援・サービスについては、「訪問介護や訪問看護などの在宅サービス」が59.7%と最も多く、次いで、「緊急時に利用できる在宅介護サービス」が57.1%、「状態が悪化したときなどに緊急で入れる施設」が52.1%、「在宅で受けられる医療サービス」が51.4%となっています。

要介護度別にみると、要支援1、2では「訪問介護や訪問看護などの在宅サービス」が61.8%と最も多く、要介護1、2では「緊急時に利用できる在宅介護サービス」が61.3%、要介護3以上では「在宅で受けられる医療サービス」が51.2%と最も多くなっています。



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

【要介護度別 在宅生活継続に必要なサービス】

(MA%)

	n	訪問介護や訪問看護などの在宅サービス	緊急時に利用できる在宅介護サービス	夜間に定期的に巡回してくれるサービス	在宅介護に適した住宅の改修	介護する家族のための健康管理	研修 介護する家族のための専門的な介護	介護する家族のための相談窓口の設置	在宅で介護するための補助用品の支給	シヨートステイなどの宿泊サービス、デイサービスなどの通所サービス	「通い（デイサービス）」「訪問（訪問介護）」「泊り（シヨートステイ）」が一体的に提供されるサービス（小規模多機能型のサービス）	有料老人ホームなどの居住施設	状態が悪化したときなどに緊急で入れる施設
全体	1,176 100.0	702 59.7	671 57.1	178 15.1	134 11.4	211 17.9	128 10.9	329 28.0	406 34.5	355 30.2	378 32.1	193 16.4	613 52.1
認定状況	要支援1、2	615 100.0	380 61.8	346 56.3	91 14.8	58 9.4	95 15.4	57 9.3	153 24.9	153 24.9	192 31.2	109 17.7	315 51.2
	要介護1、2	390 100.0	237 60.8	239 61.3	66 16.9	50 12.8	80 20.5	48 12.3	130 33.3	140 35.9	136 34.9	59 15.1	214 54.9
	要介護3以上	168 100.0	84 50.0	83 49.4	20 11.9	25 14.9	36 21.4	23 13.7	45 26.8	60 35.7	48 28.6	25 14.9	83 49.4

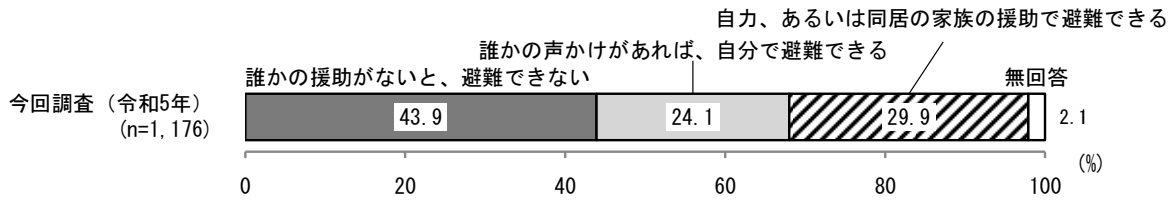
	認知症専門の通所サービス	認知症専門の共同生活介護サービス（グループホーム）	在宅で受けられる医療サービス	認知症専門の診療	24時間対応できる病院、診療所	買い物支援サービス	通院を支援するサービス	食事を配達するサービス	介護保険外のサービス（家事援助、身の回りの世話など）	地域住民の助け合いや見守り（認知症による行方不明の高齢者の発見、通報など）	その他	わからない	無回答	
全体	119 10.1	101 8.6	604 51.4	167 14.2	518 44.0	258 21.9	383 32.6	353 30.0	302 25.7	151 12.8	23 2.0	15 1.3	63 5.4	
認定状況	要支援1、2	49 8.0	36 5.9	331 53.8	68 11.1	265 43.1	147 23.9	194 31.5	209 34.0	168 27.3	73 11.9	9 1.5	7 1.1	36 5.9
	要介護1、2	53 13.6	49 12.6	186 47.7	71 18.2	178 45.6	83 21.3	135 34.6	108 27.7	92 23.6	61 15.6	9 2.3	4 1.0	14 3.6
	要介護3以上	16 9.5	16 9.5	86 51.2	28 16.7	74 44.0	27 16.1	54 32.1	34 20.2	42 25.0	17 10.1	5 3.0	4 2.4	13 7.7

[11] 緊急時・災害時の避難の可否

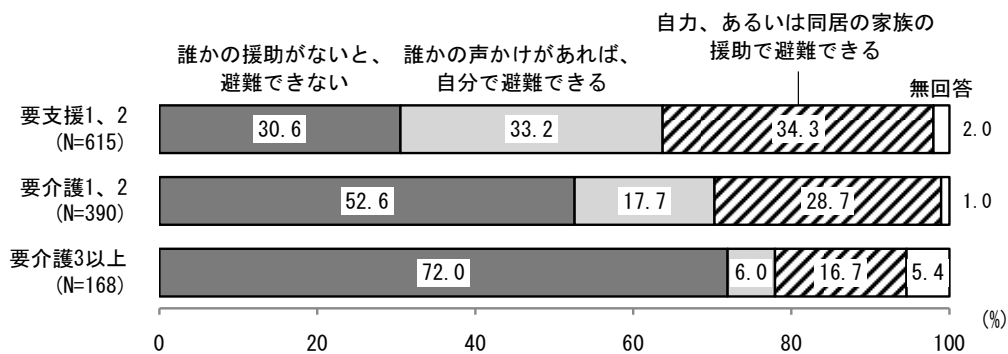
A票 問10 ご本人は、災害時(台風や地震など)や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか (1つに○)

緊急時・災害時の避難の可否について、「誰かの援助がないと、避難できない」が43.9%と最も多く、次いで、「自力、あるいは同居の家族の援助で避難できる」が29.9%、「誰かの声かけがあれば、自分で避難できる」が24.1%となっています。

要介護度別にみると、要介護3以上では、「誰かの援助がないと、避難できない」が72.0%と、他の区分に比べて多くなっています。



【要介護度別 緊急時・災害時の避難の可否】

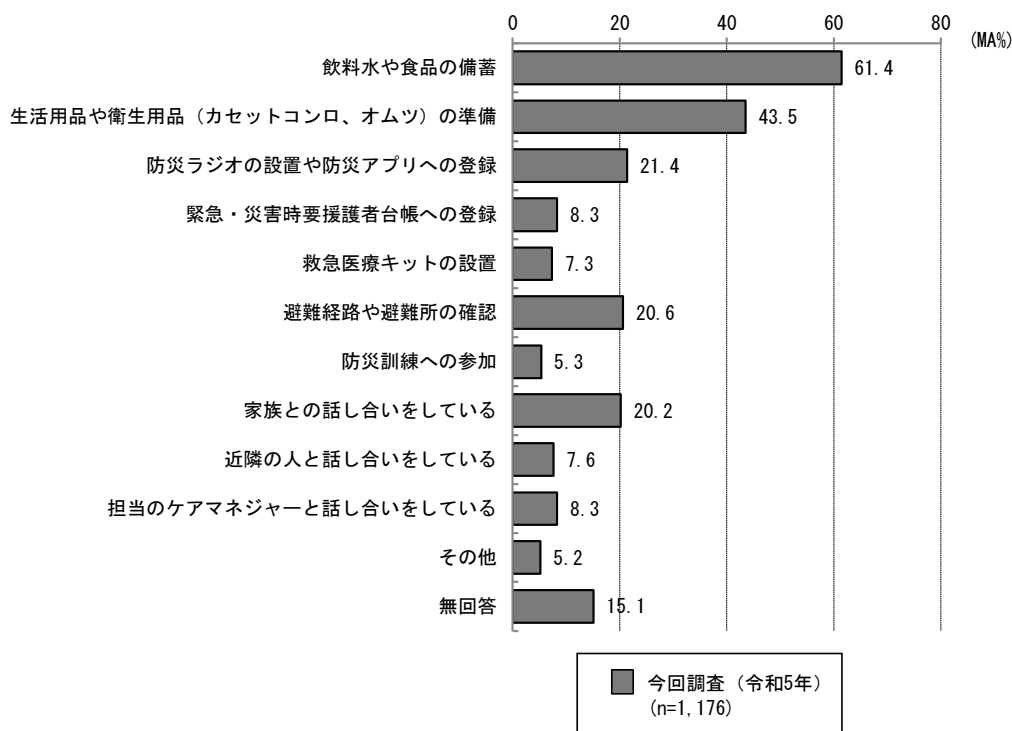


[12] 緊急時・災害時への備え

A票 問11 ご家庭では、緊急時や災害時に備えていることはありますか
(○はいくつでも)

緊急時・災害時への備えについては、「飲料水や食品の備蓄」が 61.4%と最も多く、次いで、「生活用品や衛生用品（カセットコンロ、オムツ）の準備」が 43.5%となっています。

要介護度別にみると、要介護 1、2 では「家族との話し合いをしている」が 23.3%と、他の区分に比べて多くなっています。



【要介護度別 緊急時や災害時に備えていること】

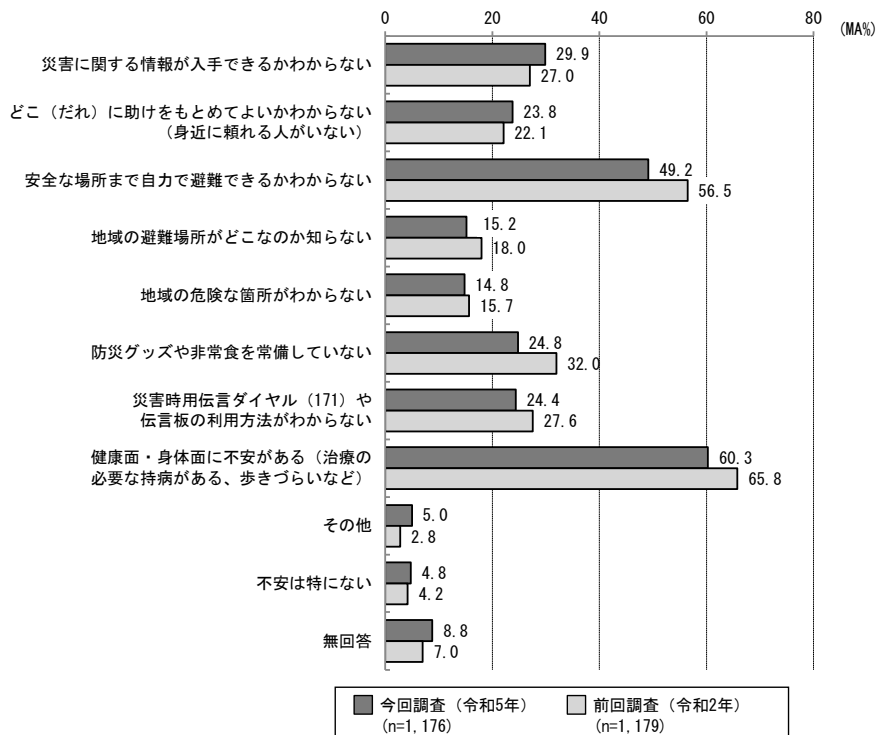
認定状況	n	(MA%)												
		飲料水や食品の備蓄	（生活用品や衛生用品のカセットコンロ、オムツ）の準備	防災ラジオの設置や防災アプリへの登録	緊急・災害時要援護者台帳への登録	救急医療キットの設置	避難経路や避難所の確認	防災訓練への参加	家族との話し合いをしている	近隣の人と話し合いをしている	担当のケアマネジャーと話し合いをしている	その他	無回答	
全体	1,176 100.0	722 61.4	511 43.5	252 21.4	98 8.3	86 7.3	242 20.6	62 5.3	237 20.2	89 7.6	98 8.3	61 5.2	178 15.1	
要支援1、2	615 100.0	400 65.0	258 42.0	132 21.5	45 7.3	46 7.5	119 19.3	37 6.0	118 19.2	51 8.3	42 6.8	38 6.2	86 14.0	
	390 100.0	218 55.9	173 44.4	83 21.3	32 8.2	25 6.4	85 21.8	19 4.9	91 23.3	28 7.2	43 11.0	12 3.1	64 16.4	
	168 100.0	101 60.1	79 47.0	37 22.0	21 12.5	15 8.9	38 22.6	6 3.6	28 16.7	10 6.0	13 7.7	11 6.5	28 16.7	

[13]緊急時・災害時に不安なこと

A票 問12 ご本人に災害が起こった場合、どのようなことが不安ですか
(○はいくつでも)

緊急時・災害時に不安なことについては、「健康面・身体面に不安がある（治療の必要な持病がある、歩きづらいなど）」が60.3%と最も多く、次いで、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が49.2%となっています。前回調査に比べて、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が7.3ポイント、「健康面・身体面に不安がある（治療の必要な持病がある、歩きづらいなど）」が5.5ポイント減少しています。

要介護度別にみると、ほぼすべての項目で要介護1、2が他の区分より多く、要介護1、2の方で災害に対する不安が強くなっています。



【要介護度別 緊急時・災害時に不安なこと】

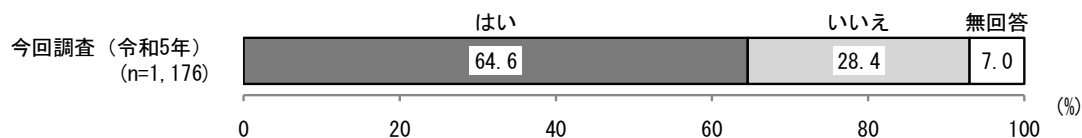
		n	災害に関する情報が入手できるかわからない	どこ(だれ)に助けをもとめてよいかかわからない(身近に頼れる人がいない)	安全な場所まで自力で避難できるかわからない	地域の避難場所がどこなのか知らない	地域の危険な箇所がわからない	防災グッズや非常食を常備していない	災害時用伝言ダイヤル(171)や伝言板の利用方法がわからない	健康面・身体面に不安がある(治療の必要な持病がある、歩きづらいなど)	その他	不安は特にない	無回答
全体		1,176 100.0	352 29.9	280 23.8	579 49.2	179 15.2	174 14.8	292 24.8	287 24.4	709 60.3	59 5.0	57 4.8	104 8.8
認定状況	要支援1、2	615 100.0	190 30.9	145 23.6	278 45.2	95 15.4	103 16.7	151 24.6	154 25.0	355 57.7	32 5.2	36 5.9	54 8.8
	要介護1、2	390 100.0	122 31.3	102 26.2	216 55.4	64 16.4	54 13.8	108 27.7	99 25.4	250 64.1	12 3.1	10 2.6	31 7.9
	要介護3以上	168 100.0	39 23.2	31 18.5	84 50.0	19 11.3	16 9.5	31 18.5	33 19.6	33 60.7	14 8.3	11 6.5	19 11.3

[14] 高齢者生活支援センターの認知

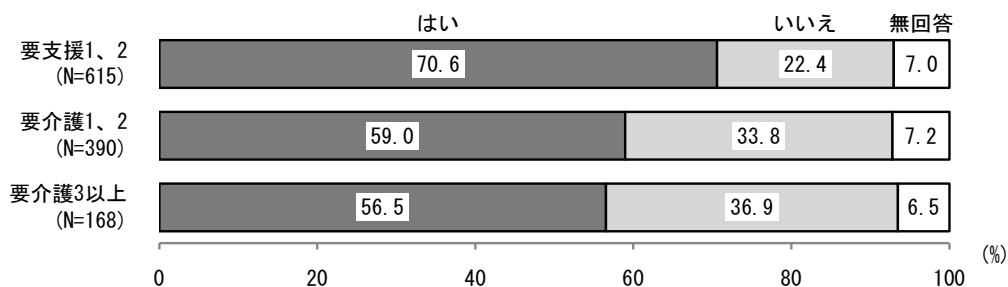
A票 問13 ご本人のお住まいを担当する「高齢者生活支援センター」を知っていますか(1つに○)

高齢者生活支援センターの認知については、「はい」(知っている)が64.6%、「いいえ」(知らない)が28.4%となっています。

要介護度別にみると、「はい」(知っている)は要支援1、2で70.6%と多く、要介護1、2、要介護3以上でも6割弱となっています。



【要介護度別 高齢者生活支援センターの認知】



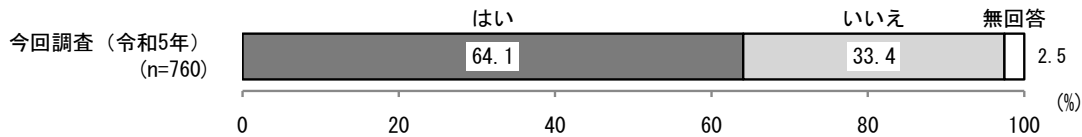
〔15〕高齢者生活支援センターの利用

【問13で「1.はい」とお答えの方のみ】

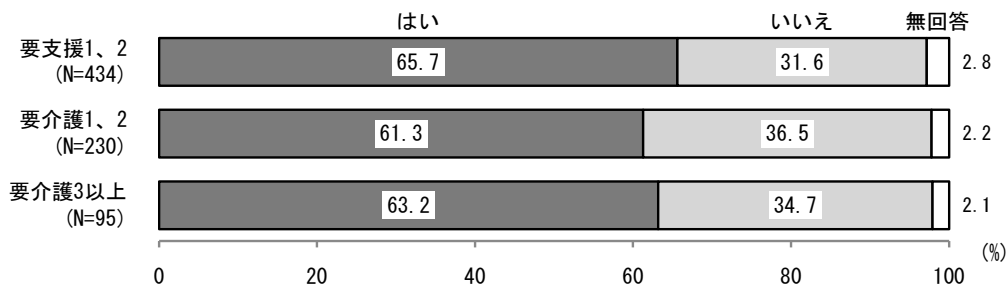
A票 問13-1 ご本人やご家族は高齢者生活支援センターを利用したことがありますか
(1つに○)

高齢者生活支援センターの利用については、「はい」(利用したことがある)が64.1%、「いいえ」(利用したことがない)が33.4%となっています。

要介護度別にみると、「はい」(利用したことがある)はすべての区分で6割台となっています。



【要介護度別 高齢者生活支援センターの利用】



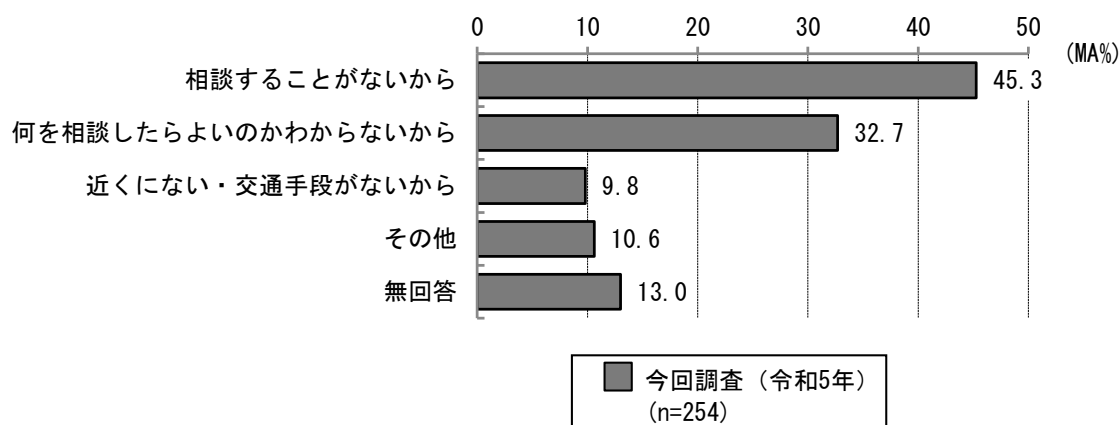
[16] 高齢者生活支援センター未利用の理由

【問13-1で「2.いいえ」とお答えの方のみ】

A票 問13-2 その理由は何ですか（〇はいくつでも）

高齢者生活支援センター未利用の理由については、「相談することがないから」が 45.3%と最も多く、次いで、「何を相談したらよいのかわからないから」が 32.7%となっています。

要介護度別にみると、要支援 1、2、要介護 1、2 では「相談することがないから」、要介護 3 以上では「何を相談したらよいのかわからないから」が最も多くなっています。



【要介護度別 高齢者生活支援センター未利用の理由】

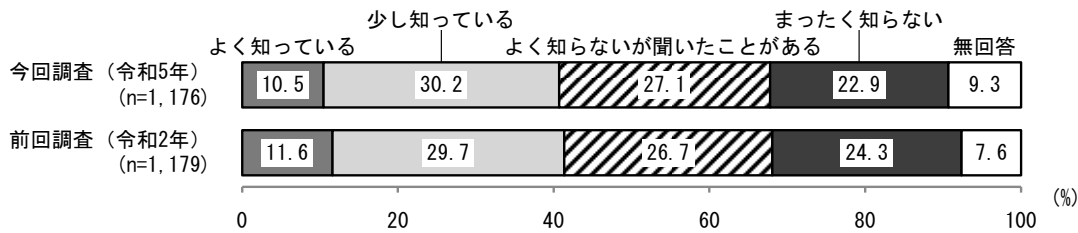
		(MA%)					
		n	相談することがないから	何を相談したらよいのかわからないから	近くにない・交通手段がないから	その他	無回答
全体		254	115	83	25	27	33
		100.0	45.3	32.7	9.8	10.6	13.0
認定状況	要支援1、2	137	63	37	17	17	18
		100.0	46.0	27.0	12.4	12.4	13.1
	要介護1、2	84	40	33	5	5	12
	100.0	47.6	39.3	6.0	6.0	14.3	
	要介護3以上	33	12	13	3	5	3
	100.0	36.4	39.4	9.1	15.2	9.1	

〔17〕成年後見制度の認知

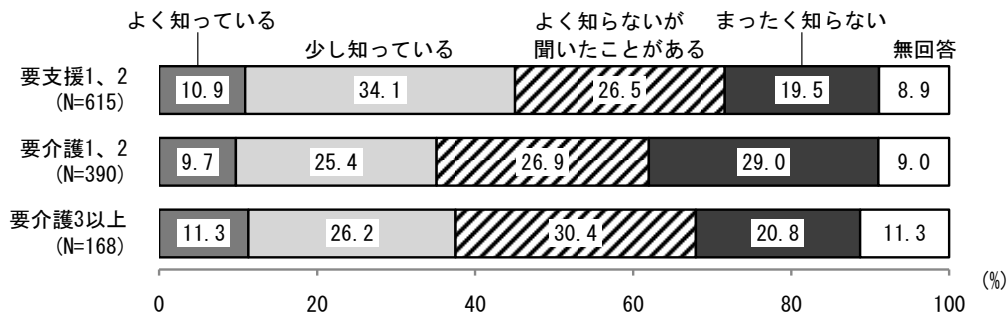
A票 問14 ご本人は『成年後見制度』について知っていますか（1つに○）

成年後見制度の認知については、「少し知っている」が30.2%と最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」が27.1%、「まったく知らない」が22.9%、「よく知っている」が10.5%で、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている』は40.7%となっています。

要介護度別にみると、『知っている』は要支援1、2で45.0%、要介護1、2で35.1%、要介護3以上で37.5%となっています。



【要介護度別 成年後見制度の認知】



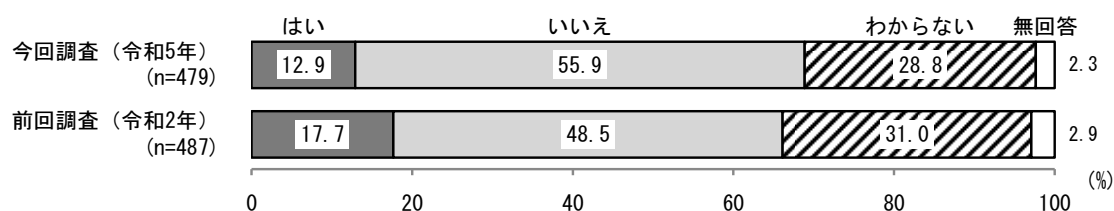
[18] 成年後見制度の利用意向

【問14で「1.よく知っている」または「2.少し知っている」とお答えの方】

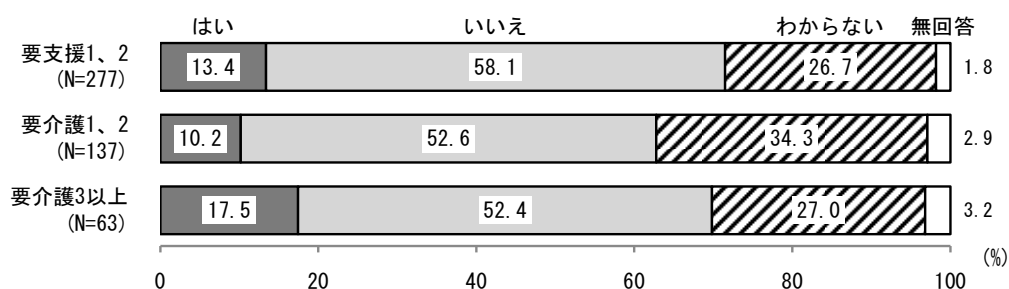
A票 問14-1 今後、成年後見人制度を利用したいですか（1つに○）

成年後見制度の利用意向については、「はい」（利用したい）が12.9%、「いいえ」（利用したくない）が55.9%となっています。前回調査に比べて、「はい」（利用したい）は4.8ポイント減少しています。

要介護度別にみると、要介護3以上で「はい」（利用したい）が17.5%と、他の区分に比べて多くなっています。



【要介護度別 成年後見制度の利用意向】

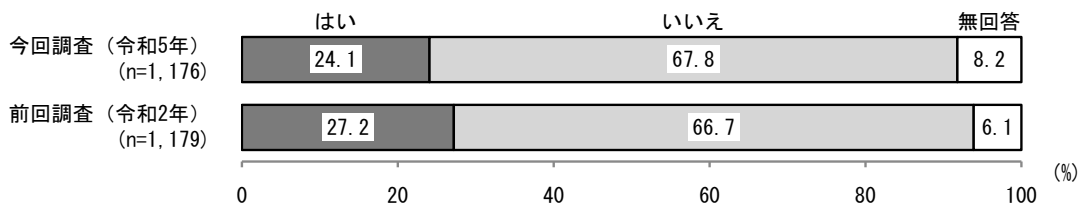


[19] 認知症状の有無

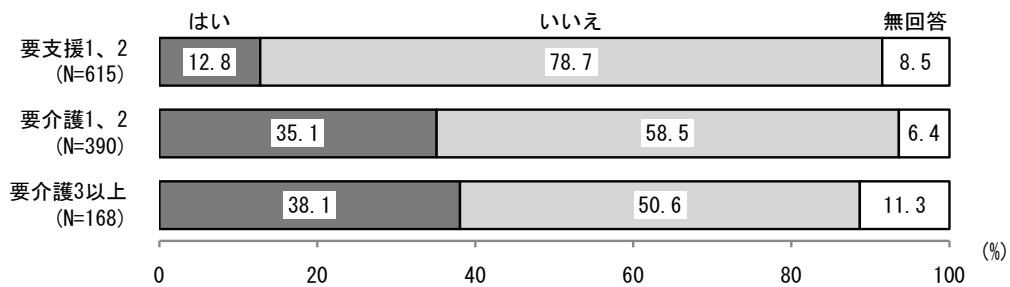
A票 問15 ご本人やご家族の中に認知症の症状がある人がいますか（1つに○）

ご本人やご家族の中に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」（いる）が 24.1%、「いいえ」（いない）が 67.8%となっています。前回調査に比べて、「はい」（いる）は 3.1 ポイント減少しています。

要介護度別にみると、「はい」（いる）は要支援1、2では 12.8%と少なく、要介護認定者では 3 割台となっています。



【要介護度別 認知症状の有無】

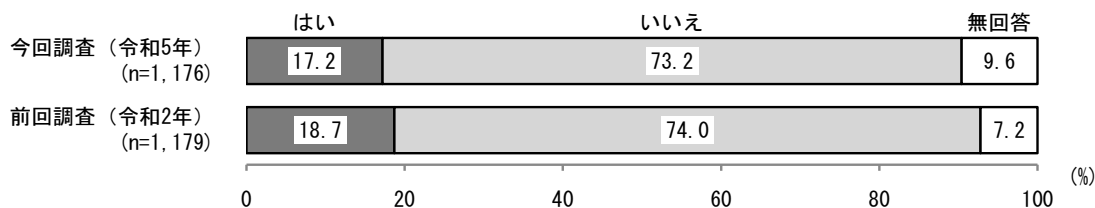


〔20〕認知症の相談窓口の認知

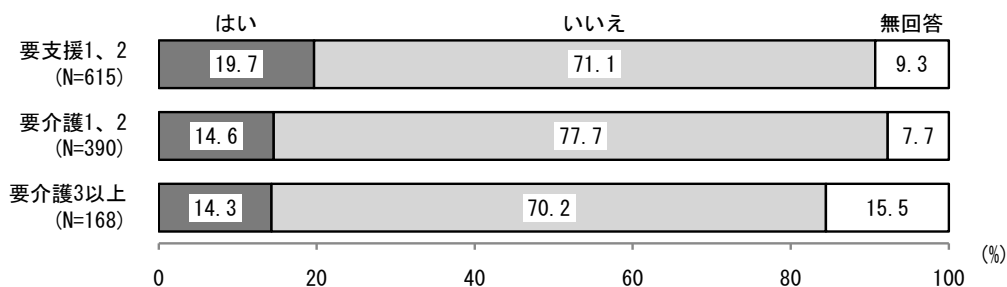
A票 問16 ご本人は認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）

認知症の相談窓口の認知については、「はい」（知っている）が 17.2%、「いいえ」（知らない）が 73.2%となっています。

要介護度別にみると、「はい」（知っている）は要支援1、2で 19.7%と、要介護認定者に比べてやや多くなっています。



【要介護度別 認知症の相談窓口の認知】

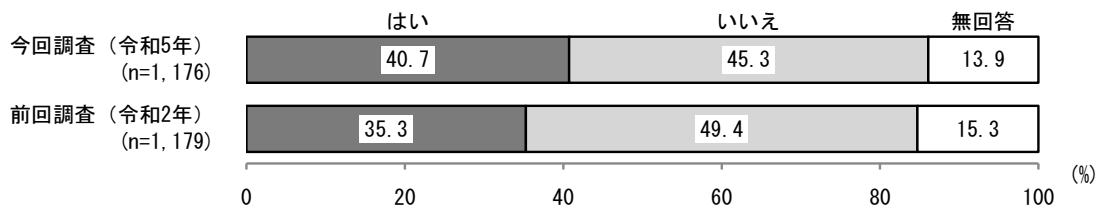


〔21〕将来、認知症になる(患う)可能性の認識の有無

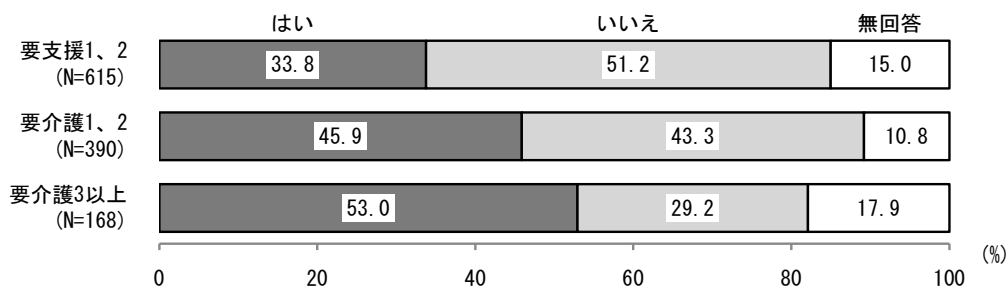
A票 問17 あなた(ご本人)は認知症になる(患う)と思いますか (1つに○)

自身は認知症になると思うかについては、「はい」(認知症になると思う)が40.7%、「いいえ」(認知症にならないと思う)が45.3%となっています。前回調査に比べて、「はい」(認知症になると思う)が5.4ポイント増加しています。

要介護度別にみると、「はい」(認知症になると思う)は要介護3以上で53.0%と約半数を占めています。



【要介護度別 将来、認知症になる(患う)可能性の認識の有無】

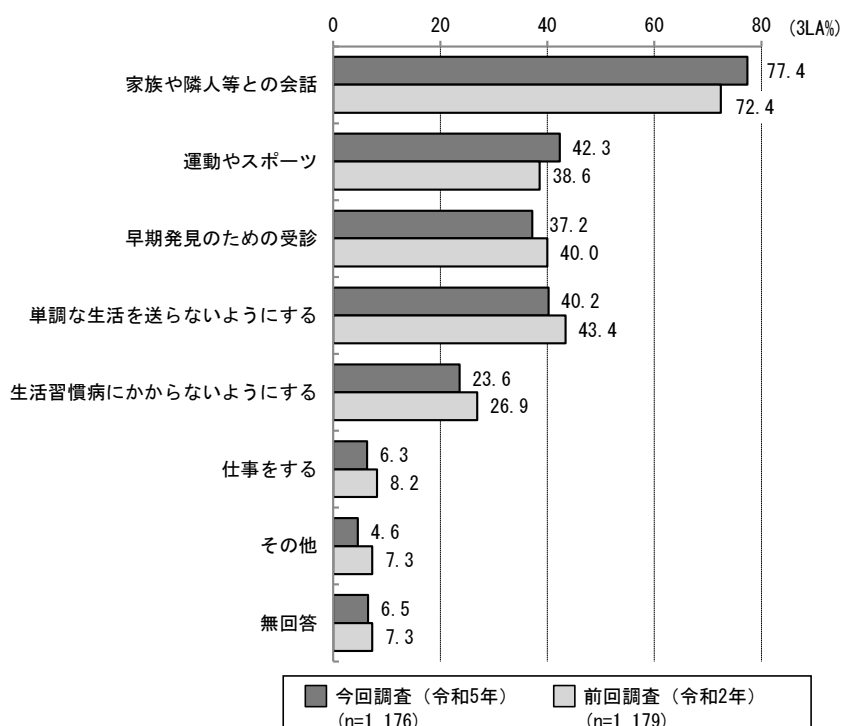


〔22〕認知症予防の方法として重要だと思うこと

A票 問18 認知症予防の方法として、重要なことはどのようなことだと思いますか
(○は主なもの3つまで)

認知症予防の方法として重要だと思うことは、「家族や隣人等との会話」が 77.4%と最も多く、次いで、「運動やスポーツ」が 42.3%、「単調な生活を送らないようにする」が 40.2%となっています。

要介護度別にみると、すべての区分で「家族や隣人等との会話」が最も多く、次いで、要支援1、2では「運動やスポーツ」が 44.9%、要介護1、2では「単調な生活を送らないようにする」が 43.1%、要介護3以上では「早期発見のための受診」が 38.7%となっています。



【要介護度別 認知症予防の方法として重要なこと】

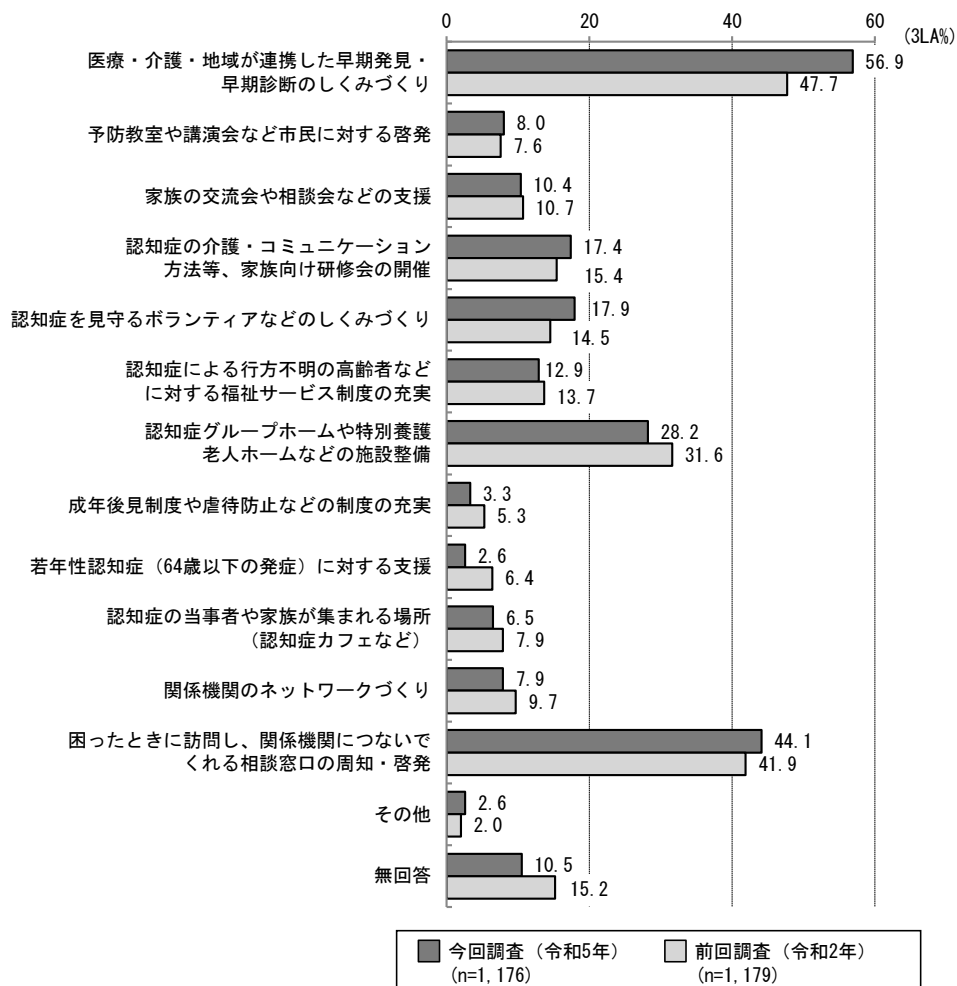
		n	家族や隣人等との会話	運動やスポーツ	早期発見のための受診	単調な生活を送らないようにする	生活習慣病にかからないようにする	仕事をする	その他	無回答
全体		1,176	910	498	437	473	278	74	54	76
		100.0	77.4	42.3	37.2	40.2	23.6	6.3	4.6	6.5
認定状況	要支援1、2	615	487	276	230	242	158	41	30	35
		100.0	79.2	44.9	37.4	39.3	25.7	6.7	4.9	5.7
	要介護1、2	390	300	166	141	168	81	24	12	26
	100.0	76.9	42.6	36.2	43.1	20.8	6.2	3.1	6.7	
	要介護3以上	168	120	55	65	61	38	8	12	15
	100.0	71.4	32.7	38.7	36.3	22.6	4.8	7.1	8.9	

[23] 認知症の人への支援に必要と思うこと

A票 問19 認知症の人への支援には、何が必要だと思いますか
 (〇は主なもの3つまで)

認知症の人への支援に必要なことについては、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が 56.9%と最も多く、次いで「困ったときに訪問し、関係機関につないでくれる相談窓口の周知・啓発」が 44.1%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が 28.2%となっています。前回調査に比べて、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が 9.2 ポイント増加しています。

要介護度別にみると、すべての区分で「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が最も多くなっていますが、とくに要支援 1、2 で 60.3%と他の区分に比べて多くなっています。



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

【要介護度別 認知症の人への支援に必要なこと】

(3LA%)

	n	発見・早期診断のしくみづくり	医療・介護・地域の連携した早期	啓発教室や講演会など市民に対する	予防教室や講演会など市民に対する	家族の交流会や相談会などの支援	認知症の介護・コミュニケーションの開催	認知症の見守るボランティアなど	認知症に対する福祉サービスの高齢者充	認知症グループホームなどの施設整備	成年後見制度や虐待防止などの制	若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援
全体	1,176 100.0	669 56.9	94 8.0	122 10.4	205 17.4	210 17.9	152 12.9	332 28.2	39 3.3	31 2.6		
認定状況	要支援1、2	615 100.0	371 60.3	52 8.5	60 9.8	96 15.6	101 16.4	64 10.4	164 26.7	26 4.2	15 2.4	
	要介護1、2	390 100.0	208 53.3	31 7.9	44 11.3	72 18.5	79 20.3	62 15.9	115 29.5	10 2.6	10 2.6	
	要介護3以上	168 100.0	88 52.4	11 6.5	18 10.7	37 22.0	29 17.3	26 15.5	53 31.5	2 1.2	6 3.6	

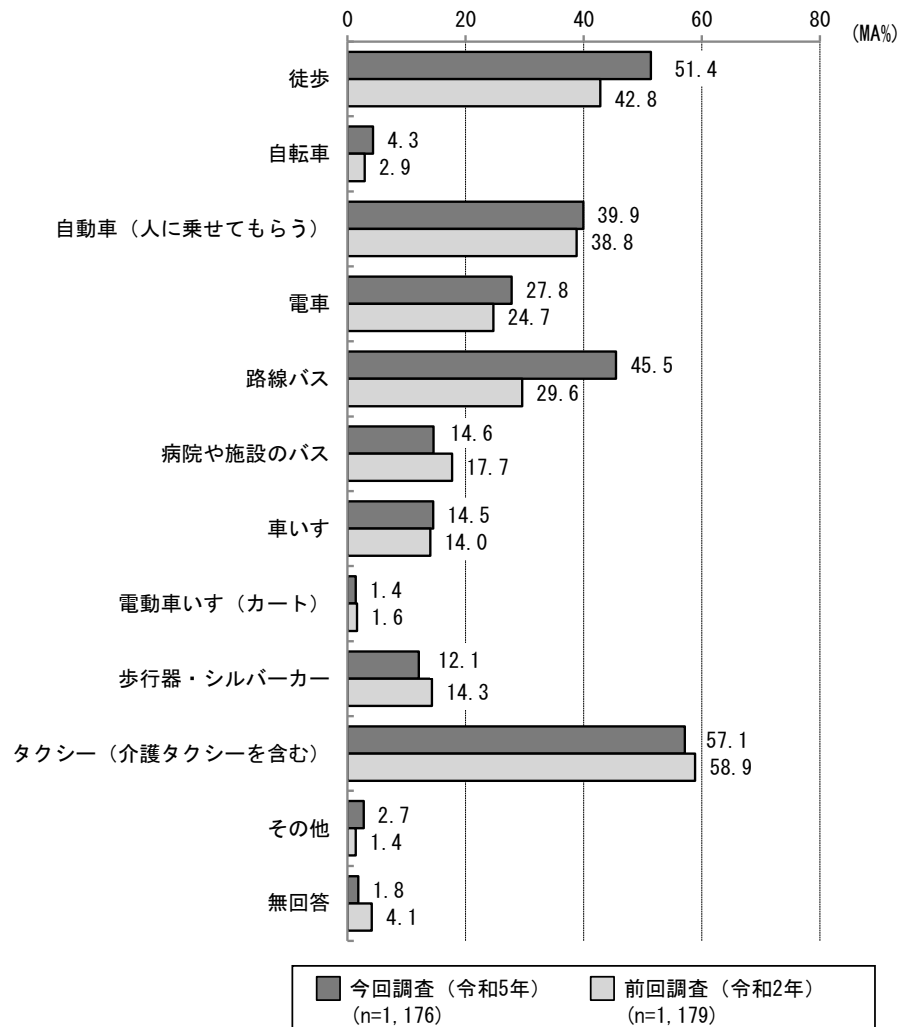
	場 所（認知症の当事者や家族が集まれる）	関係機関のネットワークづくり	困ったときに訪問し、関係機関に	その他	無回答	
全体	77 6.5	93 7.9	519 44.1	30 2.6	123 10.5	
認定状況	要支援1、2	39 6.3	45 7.3	285 46.3	15 2.4	64 10.4
	要介護1、2	28 7.2	33 8.5	162 41.5	11 2.8	39 10.0
	要介護3以上	10 6.0	15 8.9	72 42.9	4 2.4	19 11.3

〔24〕外出時の移動手段

A票 問20 ご本人が、外出する際の移動手段は何ですか（○はいくつでも）

外出時の移動手段については、「タクシー（介護タクシーを含む）」が57.1%と最も多く、次いで、「徒歩」が51.4%、「路線バス」が45.5%となっています。前回調査と比べて、「路線バス」が15.9ポイント、「徒歩」が8.6ポイント増加しています。

要介護度別にみると、要支援1、2では「徒歩」が最も多く、次いで「路線バス」となっています。要介護認定者では、「タクシー（介護タクシーを含む）」が最も多く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」となっており、要介護3以上では「車いす」も40.5%と多くなっています。



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

【要介護度別 外出時の移動手段】

(MA%)

		n	徒歩	自転車	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)
全体		1,176 100.0	604 51.4	51 4.3	469 39.9	327 27.8	535 45.5	172 14.6	171 14.5	16 1.4
認定状況	要支援1、2	615 100.0	390 63.4	34 5.5	216 35.1	213 34.6	365 59.3	98 15.9	22 3.6	6 1.0
	要介護1、2	390 100.0	182 46.7	14 3.6	184 47.2	102 26.2	142 36.4	58 14.9	80 20.5	8 2.1
	要介護3以上	168 100.0	31 18.5	3 1.8	68 40.5	11 6.5	27 16.1	15 8.9	68 40.5	2 1.2

		歩行器・シルバーカー	タクシー (介護タクシーを含む)	その他	無回答
全体		142 12.1	671 57.1	32 2.7	21 1.8
認定状況	要支援1、2	85 13.8	356 57.9	17 2.8	8 1.3
	要介護1、2	44 11.3	225 57.7	9 2.3	5 1.3
	要介護3以上	13 7.7	88 52.4	6 3.6	8 4.8

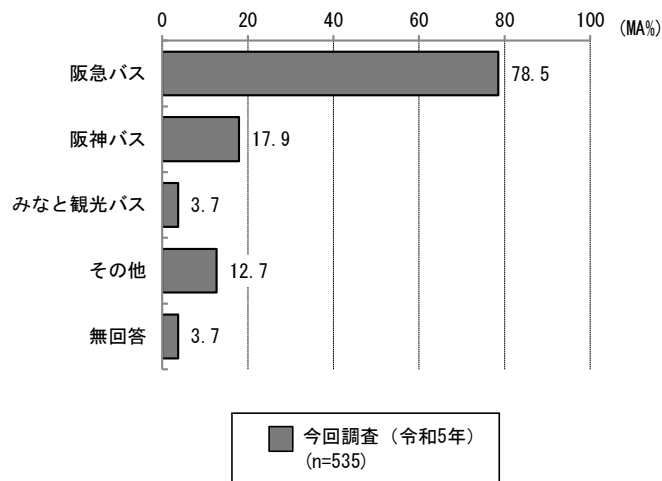
〔25〕普段利用する路線バス

【問20で「5.路線バス」とお答えの方のみ】

A票 問20-1 ご本人が、普段利用する路線バスは何ですか（〇はいくつでも）

普段利用する路線バスについては、「阪急バス」が78.5%と最も多く、次いで、「阪神バス」が17.9%、「みなと観光バス」が3.7%となっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「阪急バス」が多くなっていますが、特に潮見生活地域で82.9%と最も多くなっています。



【居住地域別 普段利用する路線バス】

	n	(MA%)				
		阪急バス	阪神バス	みなと観光バス	その他	無回答
全体	535	420	96	20	68	20
	100.0	78.5	17.9	3.7	12.7	3.7
東山手生活圏域	109	84	11	6	18	3
	100.0	77.1	10.1	5.5	16.5	2.8
西山手生活圏域	122	98	22	2	13	3
	100.0	80.3	18.0	1.6	10.7	2.5
精道生活圏域	158	117	34	6	21	8
	100.0	74.1	21.5	3.8	13.3	5.1
潮見生活圏域	146	121	29	6	16	6
	100.0	82.9	19.9	4.1	11.0	4.1

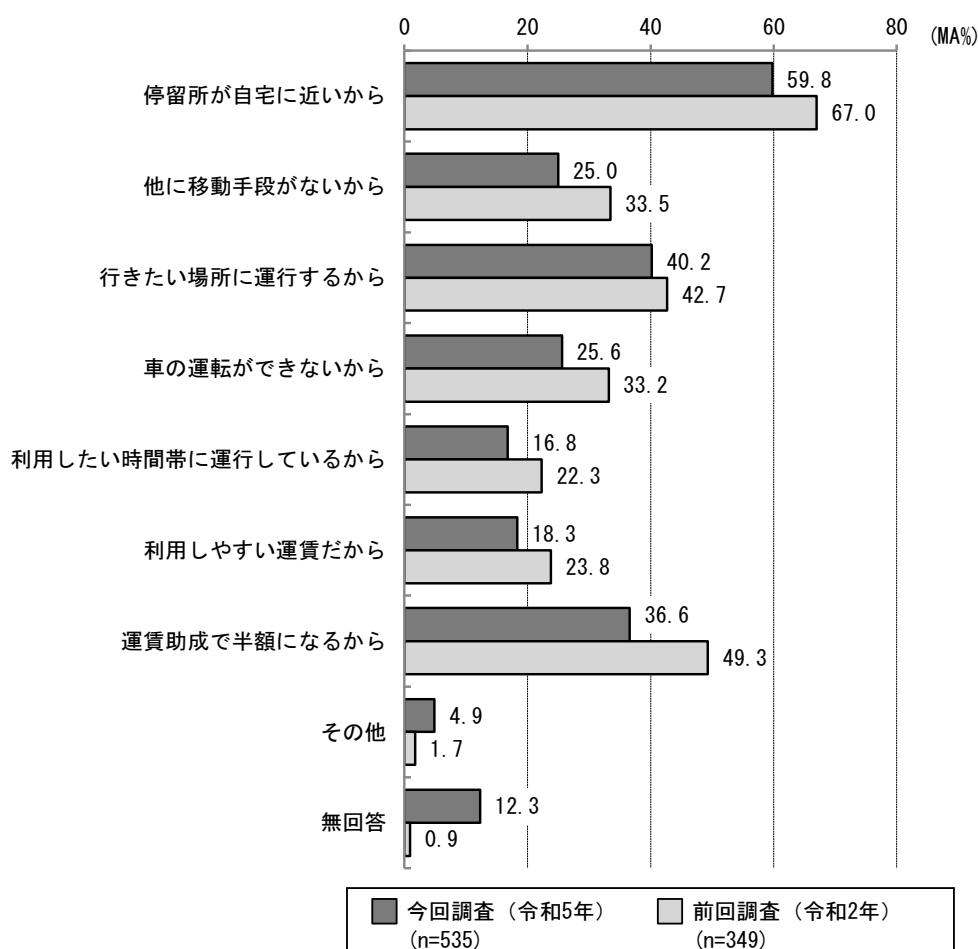
[26] 路線バスを利用する理由

【問20で「5.路線バス」とお答えの方のみ】

A票 問20-2 ご本人が、路線バスを利用する理由は何ですか（〇はいくつでも）

路線バスを利用する理由については、「停留所が自宅に近いから」が59.8%と最も多く、次いで、「行きたい場所に運行するから」が40.2%、「運賃助成で半額になるから」が36.6%となっています。

年齢別にみると、65～74歳では「行きたい場所に運行するから」が46.4%、「車の運転ができないから」が33.9%と他の年齢層よりも多く、85歳以上では「停留所が自宅に近いから」が64.6%と他の年齢層よりも多くなっています。



【年齢別・居住地域別 路線バスを利用する理由】

(MA%)

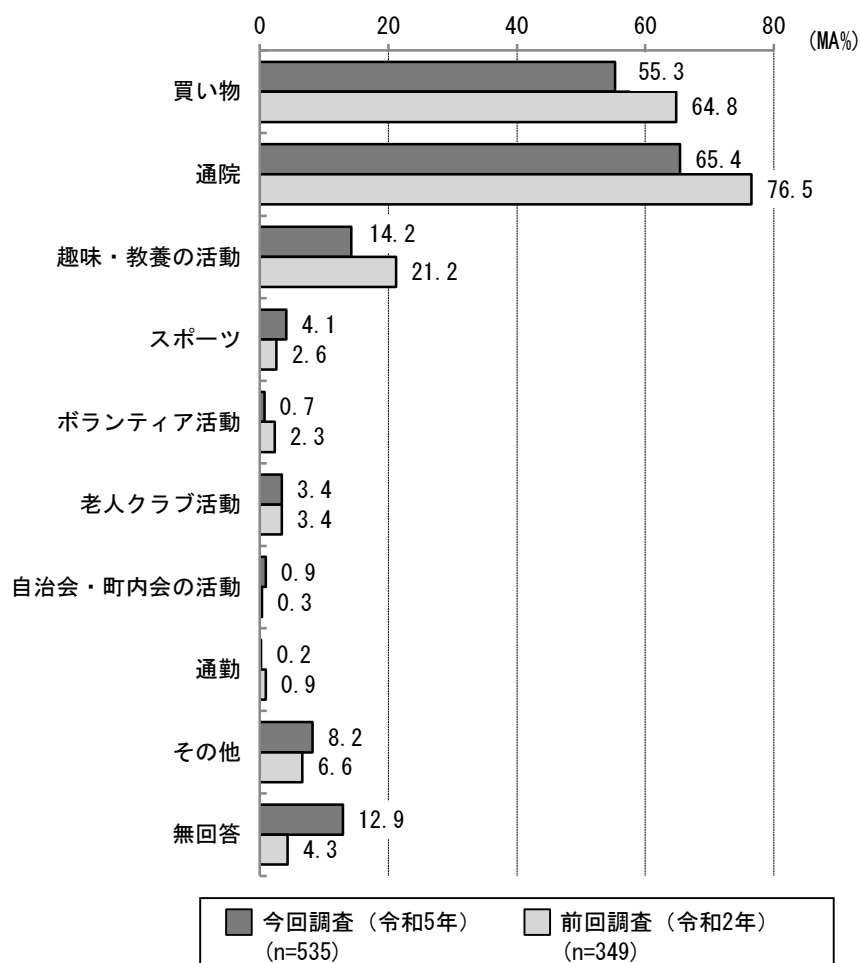
	n	停留所が自宅に近いから	他に移動手段がないから	行きたい場所に運行するから	車の運転ができないから	利用したい時間帯に運行しているから	利用しやすい運賃だから	運賃助成で半額になるから	その他	無回答
全体	535 100.0	320 59.8	134 25.0	215 40.2	137 25.6	90 16.8	98 18.3	196 36.6	26 4.9	66 12.3
65～74歳	56 100.0	33 58.9	16 28.6	26 46.4	19 33.9	11 19.6	10 17.9	22 39.3	0 0.0	6 10.7
75～84歳	182 100.0	95 52.2	47 25.8	68 37.4	43 23.6	25 13.7	35 19.2	58 31.9	11 6.0	28 15.4
85歳以上	297 100.0	192 64.6	71 23.9	121 40.7	75 25.3	54 18.2	53 17.8	116 39.1	15 5.1	32 10.8
東山手生活圏域	109 100.0	67 61.5	28 25.7	38 34.9	26 23.9	21 19.3	21 19.3	39 35.8	8 7.3	14 12.8
西山手生活圏域	122 100.0	72 59.0	42 34.4	57 46.7	36 29.5	23 18.9	30 24.6	45 36.9	2 1.6	12 9.8
精道生活圏域	158 100.0	90 57.0	30 19.0	72 45.6	40 25.3	28 17.7	26 16.5	52 32.9	8 5.1	21 13.3
潮見生活圏域	146 100.0	91 62.3	34 23.3	48 32.9	35 24.0	18 12.3	21 14.4	60 41.1	8 5.5	19 13.0

〔27〕路線バスを利用する目的

【問20で「5.路線バス」とお答えの方のみ】

A票 問20-3 ご本人が、路線バスを利用する目的は何ですか（〇はいくつでも）

路線バスを利用する目的については、「通院」が 65.4%と最も多く、次いで、「買い物」が 55.3%、「趣味・教養の活動」が 14.2%となっています。



【年齢別・居住地域別 路線バスを利用する目的】

(MA%)

	買い物	通院	趣味・教養の活動	スポーツ	ボランティア活動	老人クラブ活動	自治会・町内会の活動	通勤	その他	無回答
全体	296 55.3	350 65.4	76 14.2	22 4.1	4 0.7	18 3.4	5 0.9	1 0.2	44 8.2	69 12.9
65～74歳	31 55.4	41 73.2	5 8.9	1 1.8	0 0.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	3 5.4	6 10.7
75～84歳	98 53.8	108 59.3	34 18.7	3 1.6	1 0.5	7 3.8	4 2.2	1 0.5	17 9.3	27 14.8
85歳以上	167 56.2	201 67.7	37 12.5	18 6.1	3 1.0	10 3.4	1 0.3	0 0.0	24 8.1	36 12.1
東山手生活圏域	66 60.6	74 67.9	15 13.8	3 2.8	1 0.9	4 3.7	1 0.9	0 0.0	8 7.3	12 11.0
西山手生活圏域	66 54.1	84 68.9	17 13.9	4 3.3	0 0.0	6 4.9	0 0.0	0 0.0	11 9.0	12 9.8
精道生活圏域	85 53.8	101 63.9	28 17.7	9 5.7	2 1.3	3 1.9	1 0.6	1 0.6	16 10.1	24 15.2
潮見生活圏域	79 54.1	91 62.3	16 11.0	6 4.1	1 0.7	5 3.4	3 2.1	0 0.0	9 6.2	21 14.4

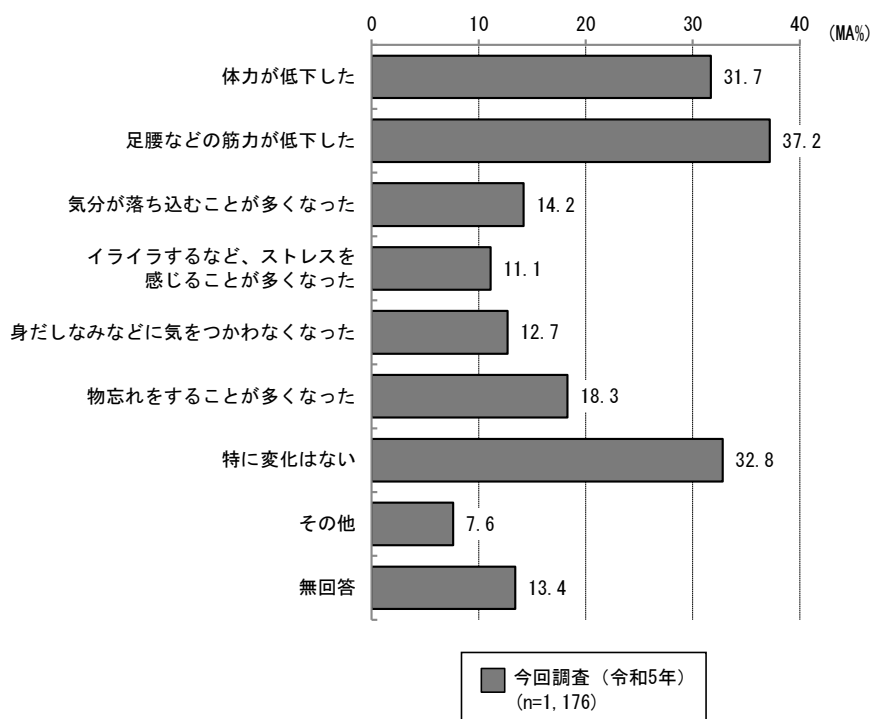
Ⅱ. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

[28]新型コロナウイルス感染症の影響

A票 問21 ご本人は、新型コロナウイルス感染症の影響により、以下のような変化はありましたか（〇はいくつでも）

新型コロナウイルス感染症の影響については、「足腰などの筋力が低下した」が37.2%と最も多く、次いで、「体力が低下した」が31.7%となっています。一方で、「特に変化はない」も32.8%みられます。

要介護度別にみると、「足腰などの筋力が低下した」が要支援1、2で41.6%と最も多くなっています。要介護認定者では「特に変化はない」が4割前後と最も多くなっています。



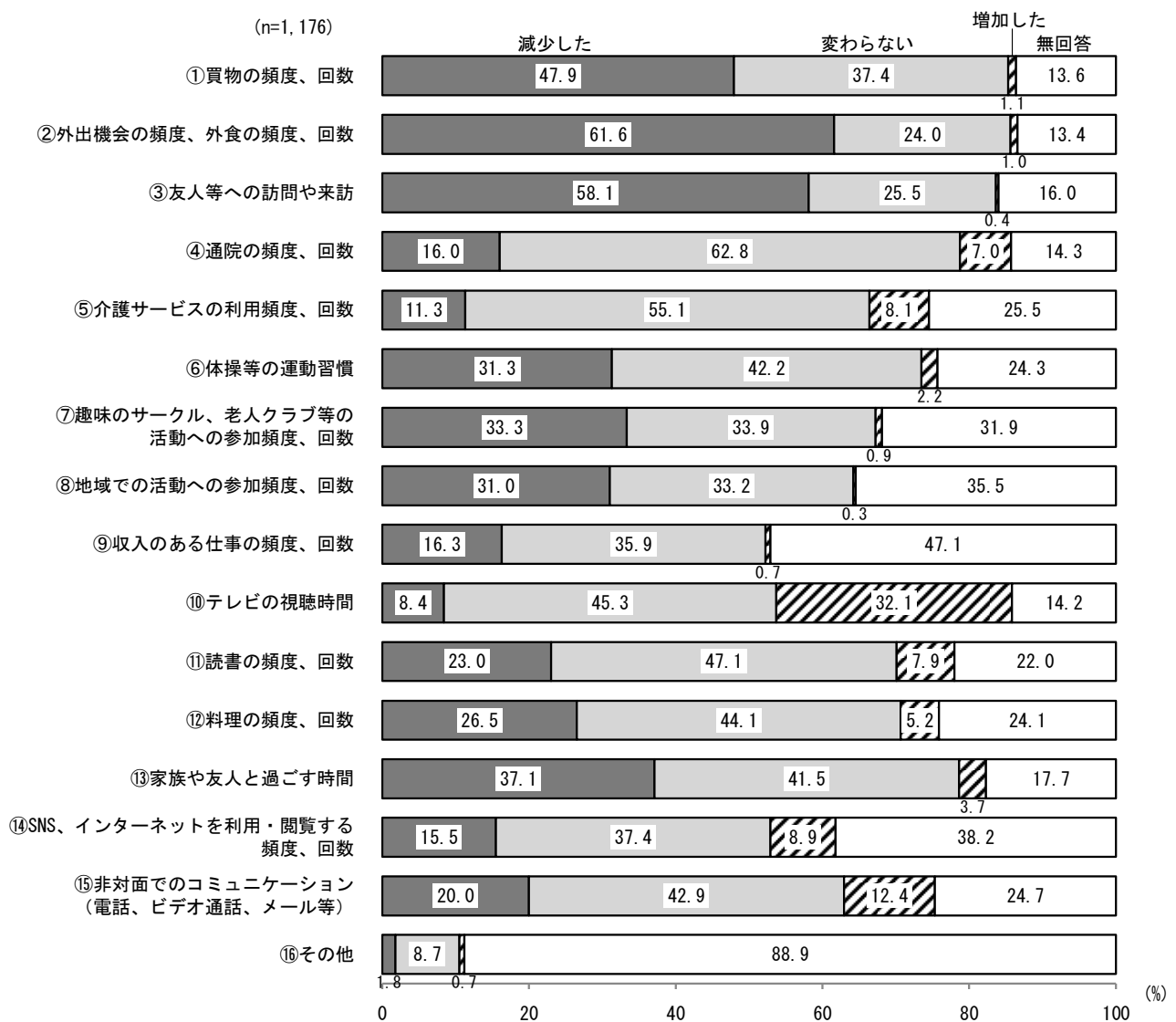
【要介護度別 新型コロナウイルス感染症の影響】

		(MA%)									
		n	体力が低下した	足腰などの筋力が低下した	気分が落ち込むことが多くなった	イライラするなど、ストレスを感じるが多くなった	身だしなみなどに気がつかなくなった	物忘れをすることが多くなった	特に変化はない	その他	無回答
全体		1,176	373	438	167	131	149	215	386	89	158
		100.0	31.7	37.2	14.2	11.1	12.7	18.3	32.8	7.6	13.4
認定状況	要支援1、2	615	211	256	108	82	92	118	172	50	82
		100.0	34.3	41.6	17.6	13.3	15.0	19.2	28.0	8.1	13.3
	要介護1、2	390	112	136	42	35	42	74	142	28	56
	100.0	28.7	34.9	10.8	9.0	10.8	19.0	36.4	7.2	14.4	
	要介護3以上	168	48	44	16	14	14	21	71	11	20
	100.0	28.6	26.2	9.5	8.3	8.3	12.5	42.3	6.5	11.9	

A票 問22 コロナ禍前と現在を比較して、ご本人の日常生活はどのように変化しましたか（それぞれに○は1つ）

コロナ禍前と現在を比較して、日常生活はどのように変化したかについて、「減少した」は、「②外出機会の頻度、外出の頻度、回数」61.6%、「③友人等への訪問や来訪」58.1%、「①買物の頻度、回数」47.9%などと多くなっています。

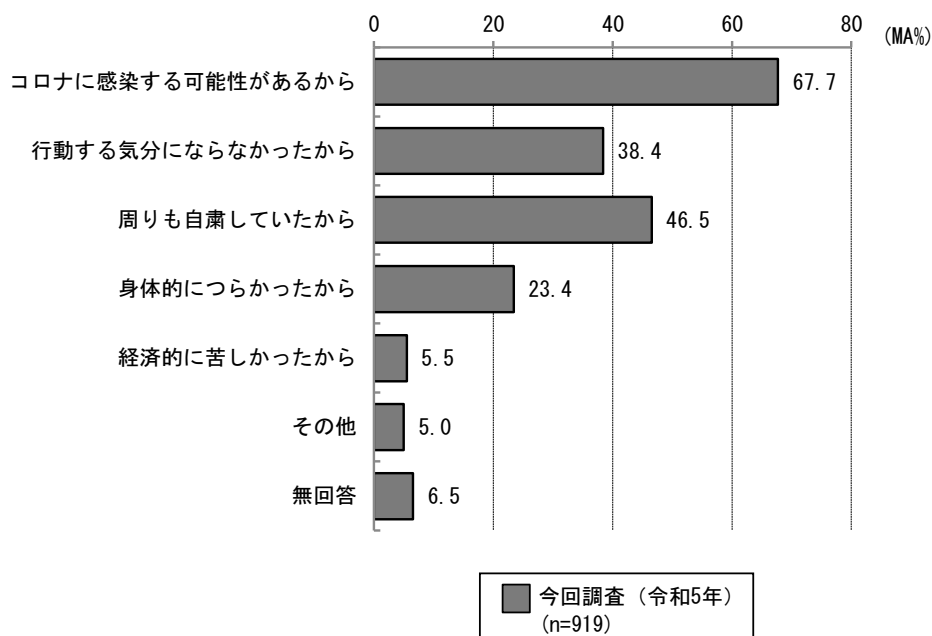
一方、「増加した」は、「⑩テレビの視聴時間」で 32.1%と最も多く、「⑮非対面でのコミュニケーション（電話、ビデオ通話、メール等）」、「⑭SNS、インターネットを利用・閲覧する頻度、回数」で、1割前後みられます。



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

A票 問22-1 「減少した」を選択した理由は何ですか（〇はいくつでも）

「減少した」を選択した理由については、「コロナに感染する可能性があるから」が67.7%と最も多く、次いで、「周りも自粛していたから」が46.5%、「行動する気分にならなかったから」が38.4%となっています。



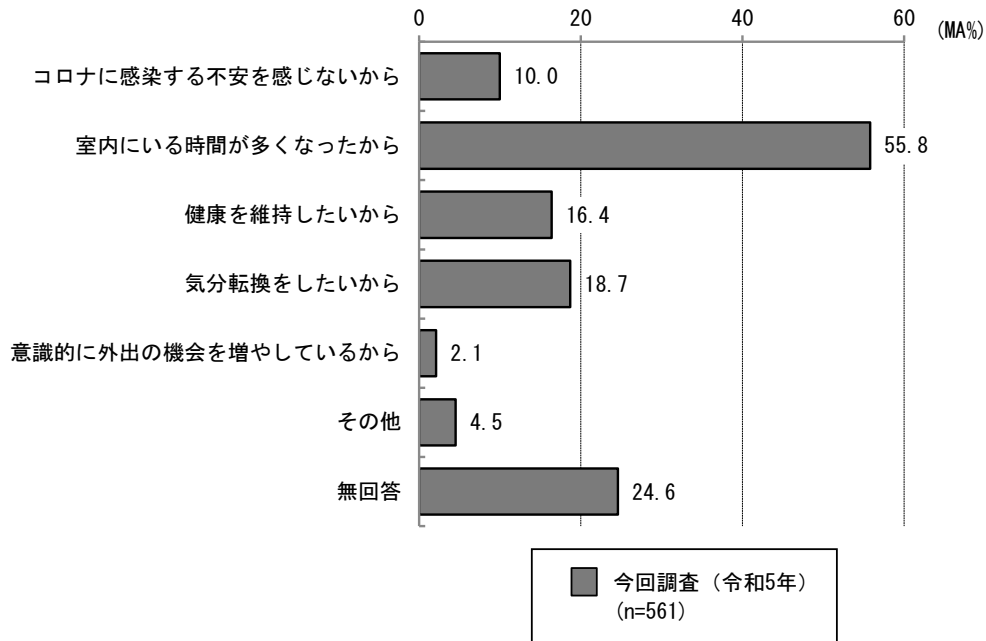
【要介護度別 「減少した」を選択した理由】

		n	ら コ ロ ナ に 感 染 す る 可 能 性 が あ る か	行 動 す る 気 分 に な ら な か つ た か ら	周 り も 自 粛 し て い た か ら	身 体 的 に つ ら か つ た か ら	経 済 的 に 苦 し か つ た か ら	そ の 他	無 回 答
全体		919	622	353	427	215	51	46	60
		100.0	67.7	38.4	46.5	23.4	5.5	5.0	6.5
認 定 状 況	要支援1、2	517	354	220	254	128	31	19	32
		100.0	68.5	42.6	49.1	24.8	6.0	3.7	6.2
	要介護1、2	292	194	102	131	59	19	16	22
	100.0	66.4	34.9	44.9	20.2	6.5	5.5	7.5	
	要介護3以上	108	72	29	40	28	1	11	6
	100.0	66.7	26.9	37.0	25.9	0.9	10.2	5.6	

A票 問22-2 「増加した」を選択した理由は何ですか（〇はいくつでも）

「増加した」を選択した理由については、「室内にいる時間が多くなったから」が 55.8%と最も多く、次いで、「気分転換をしたいから」が 18.7%、「健康を維持したいから」が 16.4%となっています。

要介護別度に見ると、すべての区分で「室内にいる時間が多くなったから」が最も多く、次いで、要支援1、2では「気分転換をしたいから」、要介護3以上では「健康を維持したいから」が多くなっています。



要介護度別 「増加した」を選択した理由】

		n	から コ ロ ナ に 感 染 す る 不 安 を 感 じ な い	室 内 に い る 時 間 が 多 く な っ た か ら	健 康 を 維 持 し た い か ら	気 分 転 換 を し た い か ら	意 識 的 に 外 出 の 機 会 を 増 や し て い	そ の 他	無 回 答
全体		561 100.0	56 10.0	313 55.8	92 16.4	105 18.7	12 2.1	25 4.5	138 24.6
認 定 状 況	要支援1、2	322 100.0	38 11.8	192 59.6	49 15.2	65 20.2	8 2.5	5 1.6	73 22.7
	要介護1、2	169 100.0	13 7.7	88 52.1	31 18.3	31 18.3	3 1.8	14 8.3	45 26.6
	要介護3以上	69 100.0	4 5.8	32 46.4	12 17.4	9 13.0	1 1.4	6 8.7	20 29.0

Ⅱ. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

〔29〕コロナ禍の後に取り組みたいこと(自由記述)

A票 問23 コロナ禍の後に、ご本人が取り組みたいことは何ですか(自由記述)

コロナ禍の後に取り組みたいことについてご意見をいただいたところ、37件の回答がありました。内訳は下記のとおりで、「旅行やスポーツがしたい」が13件と最も多くなっています。

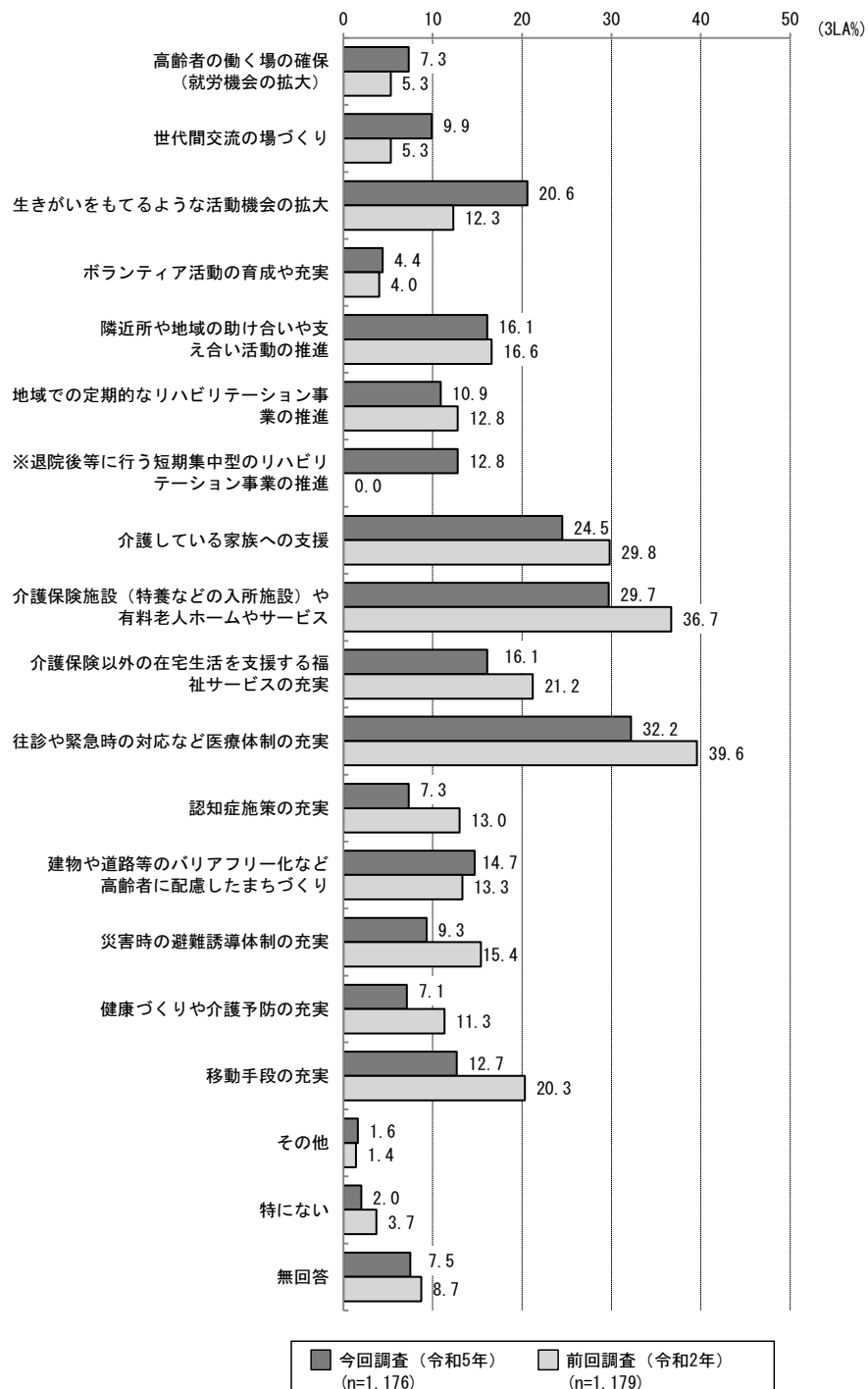
内容	件数
旅行やスポーツがしたい	13
食事や買い物に出かけたい	11
家族や友人に会いたい	3
コロナ前のように自由に普通の生活を送りたい	3
体力維持	1
特になし	6

[30] 高齢者への支援に必要なと思うもの

A票 問24 高齢者への支援には、何が必要だと思いますか（○は主なもの3つまで）

高齢者への支援に必要なと思うものについては、「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が32.2%と最も多く、次いで、「介護保険施設（特養などの入所施設）や有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の充実」が29.7%、「介護している家族への支援」が24.5%となっています。前回調査に比べて、「生きがいをもてるような活動機会の拡大」が8.3ポイント増加しています。

要介護度別にみると、要介護1、2では「介護保険施設（特養などの入所施設）や有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の充実」、要介護3以上では「介護している家族への支援」が最も多くなっています。



※前回調査では項目なし

II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

【要介護度別 高齢者への支援に必要なと思うもの】

(3LA%)

	n	高齢者の働く場の確保 (就労機会の拡大)	世代間交流の場づくり	生きがいをもてるような活動機会の拡大	ボランティア活動の育成や充実	隣近所や地域の助け合いや支え合い活動の推進	地域での定期的なリハビリテーション事業の推進	退院後等に行う短期集中型のリハビリテーション事業の推進	介護している家族への支援	介護保険施設(特養など)の入り付けの高齢者向け住宅の充実	介護保険以外の在宅生活を支援するサービスの充実	往診や緊急時の対応など医療体制の充実	
全体	1,176 100.0	86 7.3	116 9.9	242 20.6	52 4.4	189 16.1	128 10.9	150 12.8	288 24.5	349 29.7	189 16.1	379 32.2	
認定状況	要支援1、2	615 100.0	37 6.0	61 9.9	124 20.2	33 5.4	108 17.6	76 12.4	74 12.0	112 18.2	169 27.5	114 18.5	214 34.8
	要介護1、2	390 100.0	33 8.5	45 11.5	93 23.8	12 3.1	57 14.6	36 9.2	49 12.6	110 28.2	120 30.8	51 13.1	110 28.2
	要介護3以上	168 100.0	15 8.9	10 6.0	25 14.9	7 4.2	24 14.3	15 8.9	27 16.1	65 38.7	60 35.7	23 13.7	54 32.1

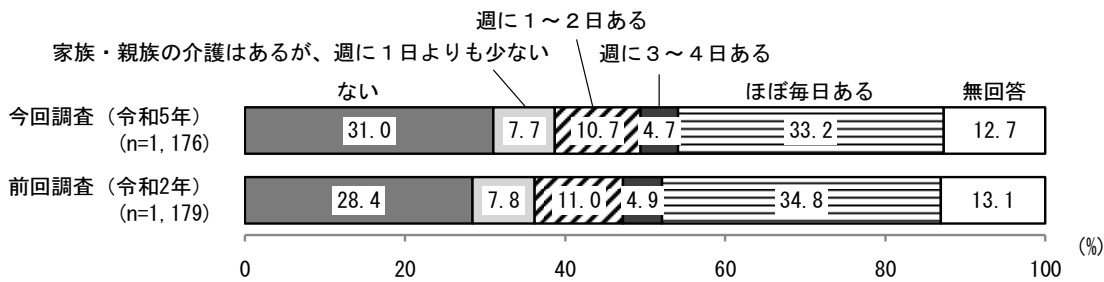
	認知症施策の充実	建物や道路等に配慮したまちづくり	災害時の避難誘導体制の充実	健康づくりや介護予防の充実	移動手段の充実	その他	特にない	無回答
全体	86 7.3	173 14.7	109 9.3	84 7.1	149 12.7	19 1.6	23 2.0	88 7.5
認定状況	要支援1、2	31 5.0	100 16.3	50 8.1	54 8.8	81 13.2	11 2.0	50 8.1
	要介護1、2	37 9.5	46 11.8	42 10.8	24 6.2	44 11.3	7 1.8	29 7.4
	要介護3以上	18 10.7	27 16.1	17 10.1	6 3.6	24 14.3	1 0.6	8 4.8

[31] 家族・親族による介護の頻度

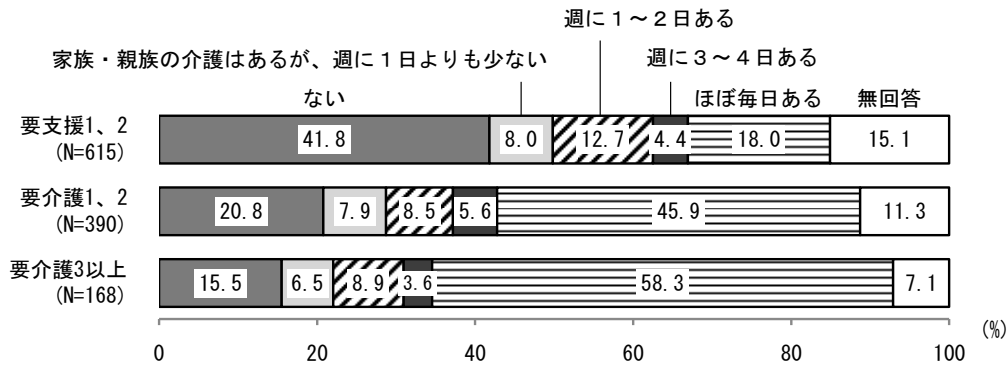
A票 問25 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(1つに○)
 ※同居していない子どもや親族等からの介護を含む

家族・親族による介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が 33.2%と最も多く、次いで、「ない」が 31.0%で、家族から介護を『受けている』（「ない」以外の合計）は 56.3%となっており、前回調査に比べて 2.2 ポイント減少しています。

要介護度別にみると、要支援 1、2 では「ない」が 41.8%で最も多く、要介護 1、2 では『受けている』が 67.9%、要介護 3 以上では 77.3%となっています。



【要介護度別 家族・親族による介護の頻度】

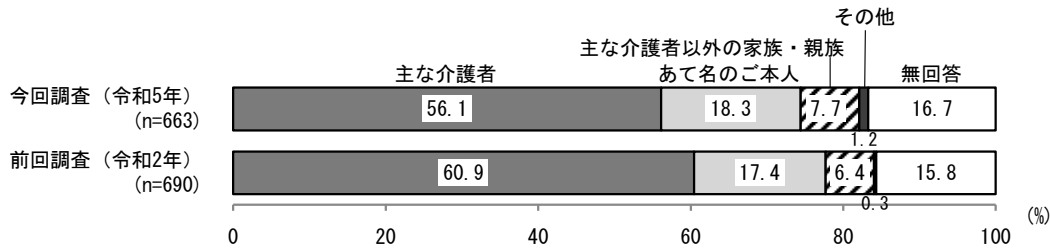


2 主な介護者について

【A票の問 25 で「2.」～「5.」(家族や親族の介護を受けている) を選択された方のみ】

〔1〕調査票の記入者

「主な介護者」が56.1%と最も多く、次いで、「あて名のご本人」が18.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が7.7%となっています。

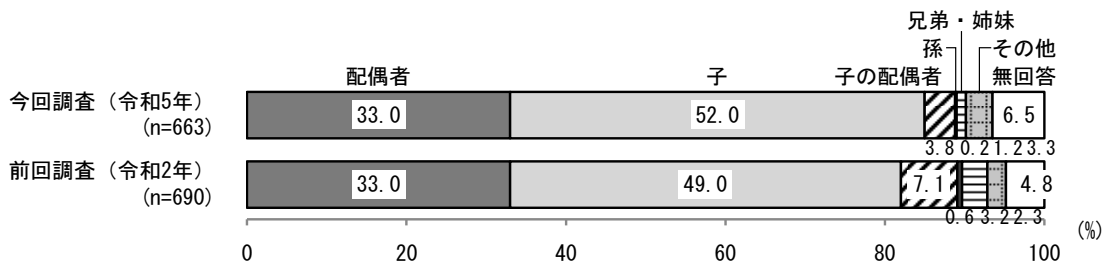


〔2〕介護者と調査対象との関係

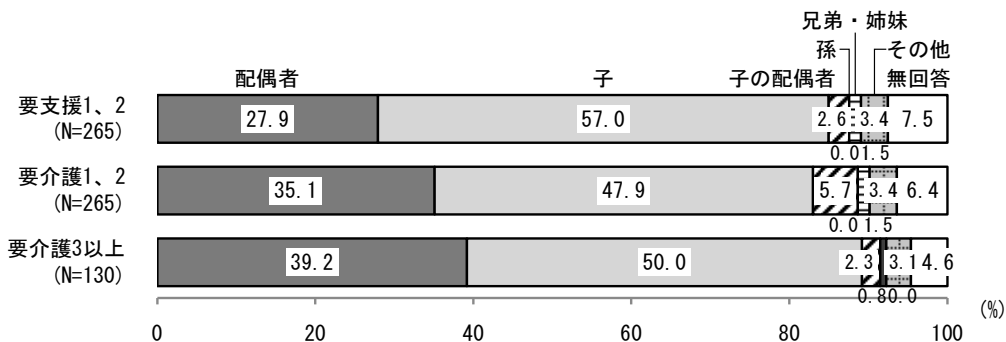
B票 問1 主な介護者の方は、どなたですか (1つに○)

主な介護者は「子」が52.0%と最も多く、次いで、「配偶者」が33.0%、「子の配偶者」が3.8%となっています。

要介護度別にみると、年齢があがるにつれて「配偶者」の割合が多くなる傾向がみられます。



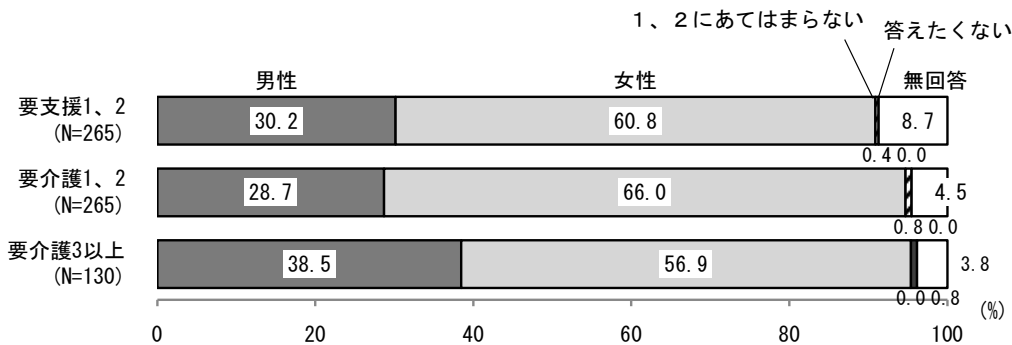
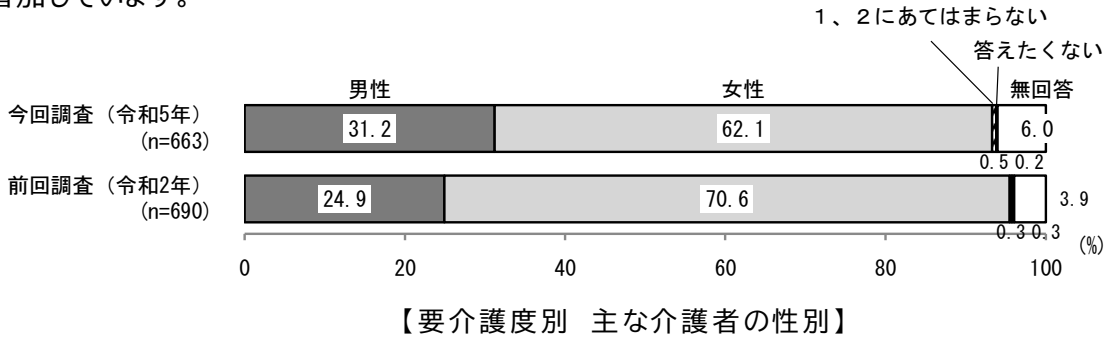
【要介護度別 介護者と本人の関係】



〔3〕主な介護者の性別

B票 問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）

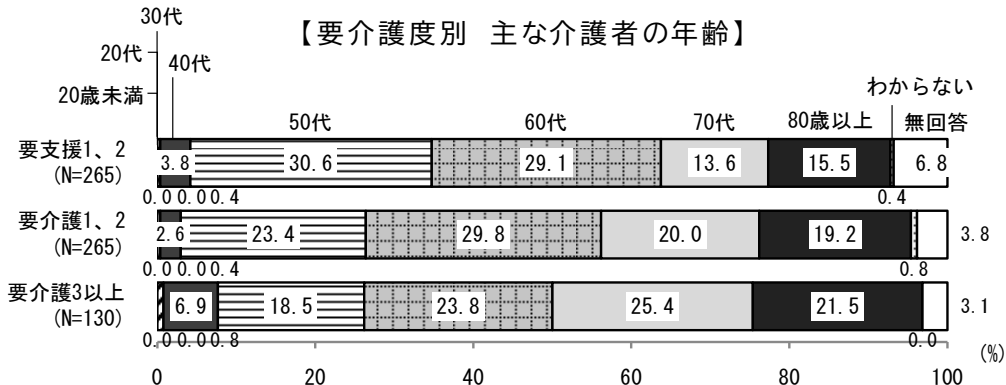
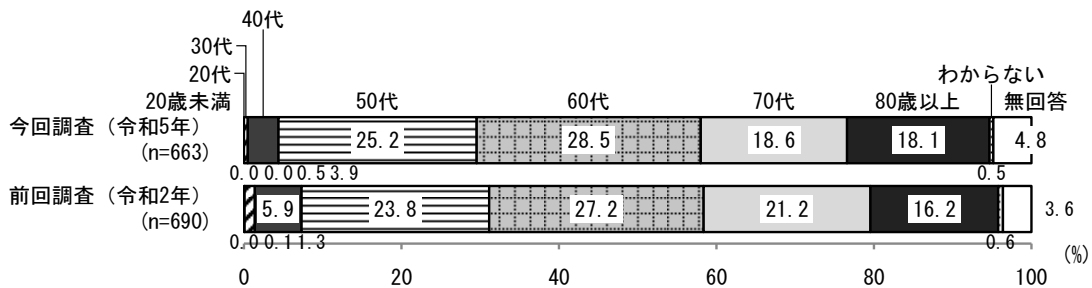
主な介護者の性別は、「女性」が62.1%と多くなっていますが、前回調査に比べて男性が6.3%増加しています。



〔4〕主な介護者の年齢

B票 問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）

主な介護者の年齢は、「60代」が28.5%と最も多く、次いで、「50代」が25.2%となっています。60代以上による介護が合計65.2%と半数以上を占め、「80歳以上」も18.1%みられます。要介護度別にみると、要介護認定者では「60代以上」が約7割と多くなっています。

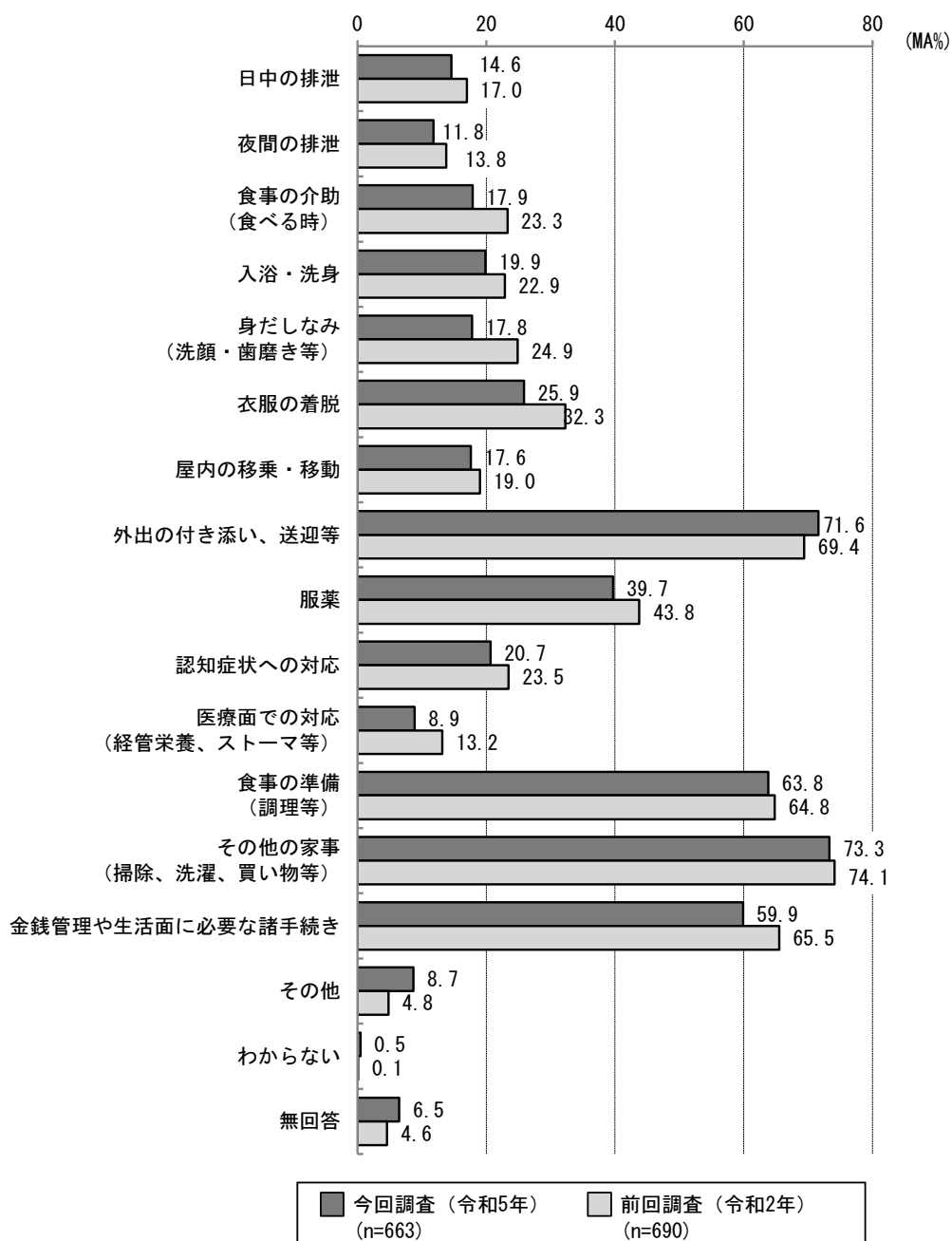


[5] 主な介護者が行っている介護

B票 問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(〇はいくつでも)

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が73.3%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が71.6%、「食事の準備（調理等）」が63.8%となっています。

要介護度別にみると、要支援1、2、要介護1、2では「外出の付き添い、送迎等」が最も多く、要介護3以上は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多くなっています。



【要介護度別 主な介護者が行っている介護】

(MA%)

		n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
全体		663 100.0	97 14.6	78 11.8	119 17.9	132 19.9	118 17.8	172 25.9	117 17.6	475 71.6	263 39.7	137 20.7
認定状況	要支援1、2	265 100.0	8 3.0	8 3.0	12 4.5	30 11.3	13 4.9	20 7.5	16 6.0	168 63.4	48 18.1	23 8.7
	要介護1、2	265 100.0	23 8.7	21 7.9	45 17.0	65 24.5	43 16.2	68 25.7	42 15.8	207 78.1	126 47.5	66 24.9
	要介護3以上	130 100.0	66 50.8	49 37.7	62 47.7	37 28.5	60 46.2	83 63.8	58 44.6	97 74.6	86 66.2	47 36.2

		(医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	(その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	き 金銭管理や生活面に必要な諸手続	その他	わからない	無回答
全体		59 8.9	423 63.8	486 73.3	397 59.9	58 8.7	3 0.5	43 6.5
認定状況	要支援1、2	17 6.4	129 48.7	168 63.4	118 44.5	25 9.4	2 0.8	25 9.4
	要介護1、2	21 7.9	189 71.3	204 77.0	182 68.7	19 7.2	1 0.4	13 4.9
	要介護3以上	21 16.2	102 78.5	111 85.4	94 72.3	14 10.8	0 0.0	5 3.8

II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

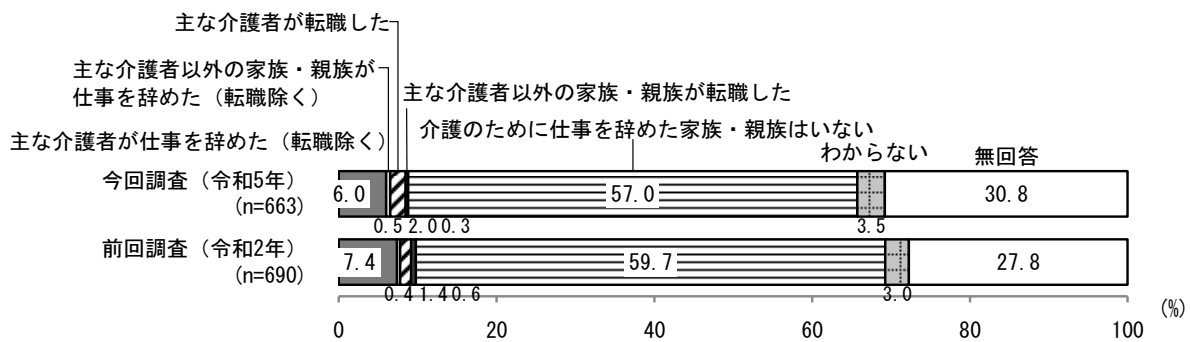
[6] 介護のための離職の有無

B票 問5 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（1つに○）

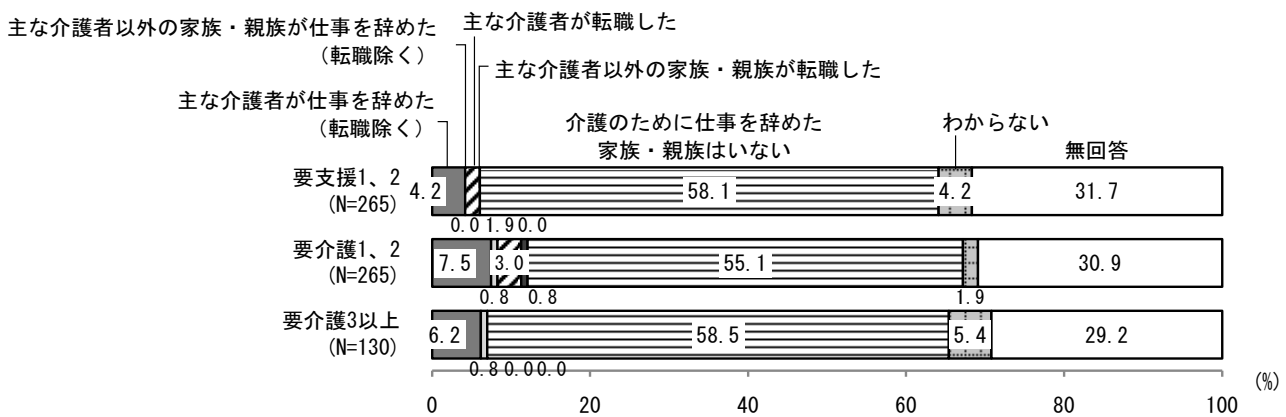
※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。また、自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護のための離職については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 57.0%と最も多くなっています。

要介護度別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は要介護1、2で 7.5%、要介護3以上で 6.2%となっています。



【要介護度別 介護のための離職の有無】



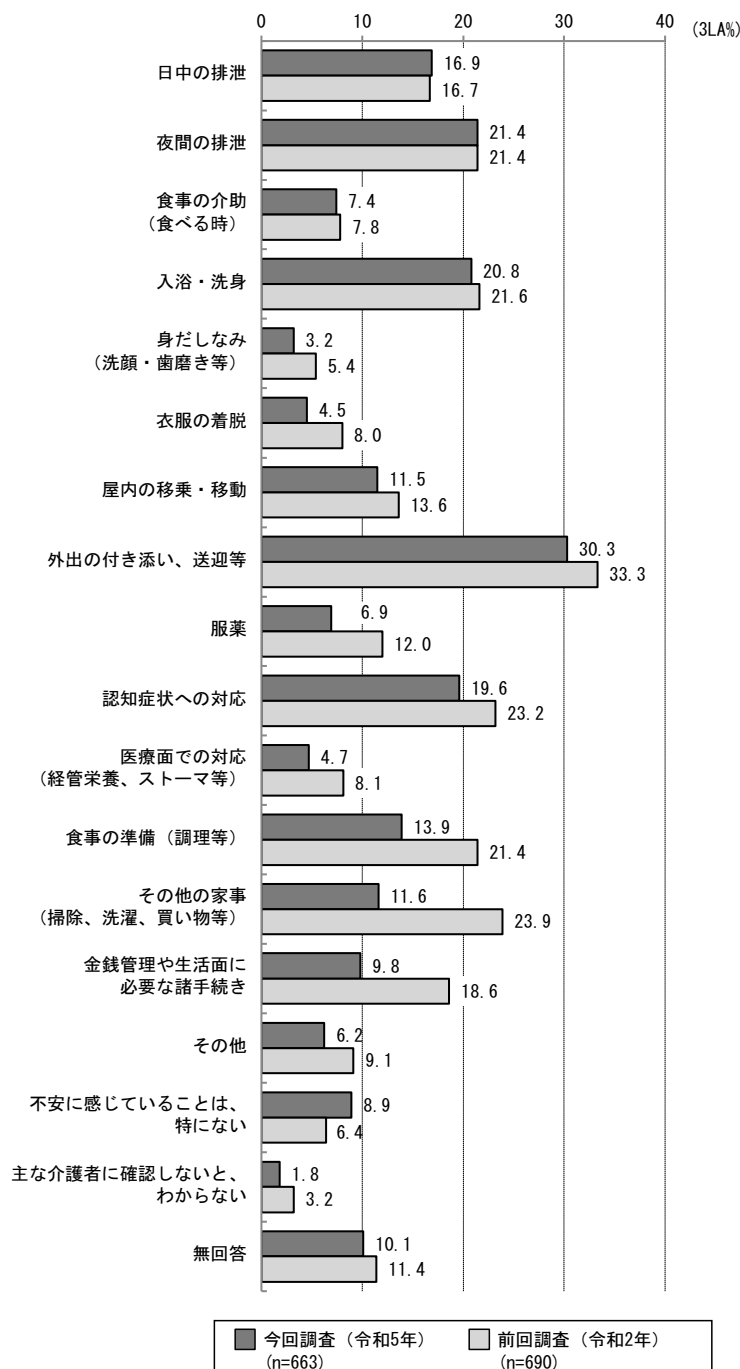
〔7〕主な介護者が不安に感じる介護

B票 問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（1～17から主なものを3つまでに○）

※現状で行っているか否かは問いません

在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護は、「外出の付き添い、送迎等」が30.3%と最も多く、次いで、「夜間の排泄」が21.4%、「入浴・洗身」が20.8%となっています。。前回調査に比べて、「食事の準備（調理等）」が7.5ポイント、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が12.3ポイント、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が8.8ポイント減少しています。

要介護度別にみると、要支援1、2と要介護1、2では「外出の付き添い、送迎等」が最も多く、要介護3以上では「夜間の排泄」が、33.1%と最も多くなっています。



II. 調査結果 2. 在宅介護実態調査

【要介護度別 介護者が不安に感じる介護】

(3LA%)

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	
全体	663 100.0	112 16.9	142 21.4	49 7.4	138 20.8	21 3.2	30 4.5	76 11.5	201 30.3	46 6.9	130 19.6	31 4.7	
認定状況	要支援1、2	265 100.0	22 8.3	32 12.1	12 4.5	48 18.1	5 1.9	9 3.4	24 9.1	95 35.8	12 4.5	31 11.7	9 3.4
	要介護1、2	265 100.0	52 19.6	66 24.9	18 6.8	64 24.2	10 3.8	12 4.5	34 12.8	81 30.6	25 9.4	68 25.7	10 3.8
	要介護3以上	130 100.0	37 28.5	43 33.1	19 14.6	26 20.0	5 3.8	8 6.2	17 13.1	25 19.2	8 6.2	31 23.8	12 9.2

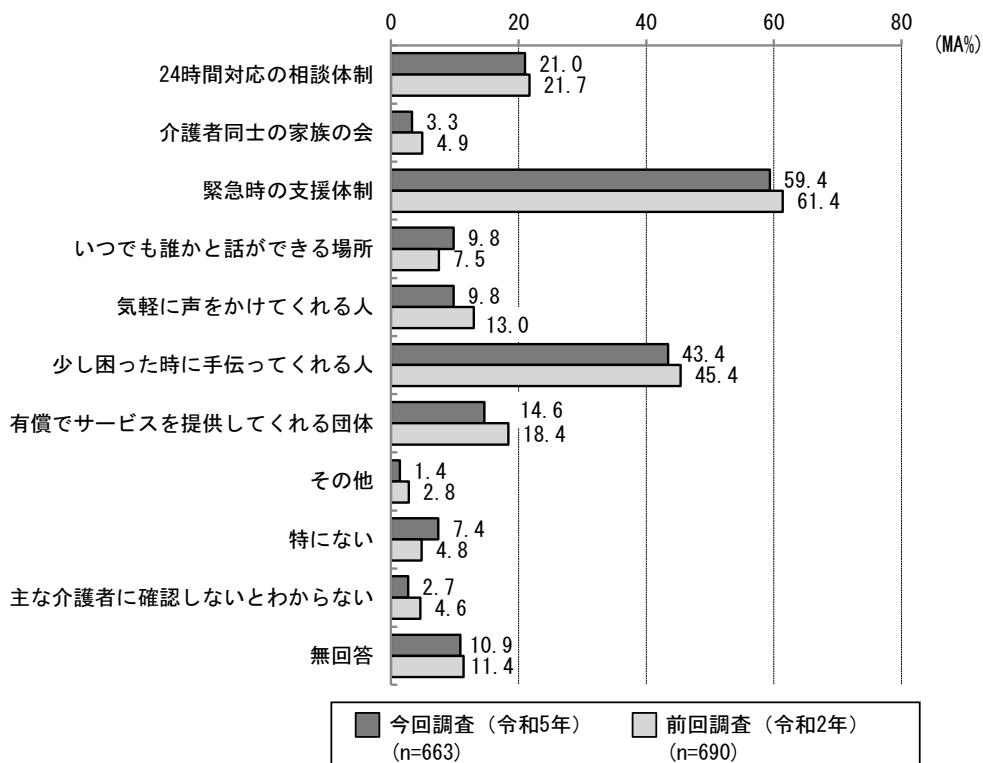
	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にな	主ない介護者に確認しないと、わか	無回答	
全体	92 13.9	77 11.6	65 9.8	41 6.2	59 8.9	12 1.8	67 10.1	
認定状況	要支援1、2	37 14.0	45 17.0	31 11.7	15 5.7	36 13.6	5 1.9	34 12.8
	要介護1、2	37 14.0	22 8.3	25 9.4	18 6.8	11 4.2	6 2.3	25 9.4
	要介護3以上	18 13.8	10 7.7	8 6.2	8 6.2	12 9.2	1 0.8	8 6.2

〔8〕現在の生活を継続するために必要と感じる地域での支援

B票 問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が必要だと感じる地域での支援は何ですか（〇はいくつでも）

現在の生活を継続するために必要と感じる地域での支援については、「緊急時の支援体制」が59.4%と最も多く、次いで、「少し困った時に手伝ってくれる人」が43.4%、「24時間対応の相談体制」が21.0%となっています。

要介護度別にみると、上位3項目はどの区分も同じになっていますが、要介護1、2では「いつでも誰かと話ができる場所」が12.5%、「有償でサービスを提供してくれる団体」が17.4%と、他の区分に比べて多くなっています。



【要介護度別 現在の生活を継続するために必要と感じる地域での支援】

		n	24時間対応の相談体制	介護者同士の家族の会	緊急時の支援体制	いつでも誰かと話ができる場所	気軽に声をかけてくれる人	少し困った時に手伝ってくれる人	有償でサービスを提供してくれる団体	その他	特にない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体		663	139	22	394	65	65	288	97	9	49	18	72
		100.0	21.0	3.3	59.4	9.8	9.8	43.4	14.6	1.4	7.4	2.7	10.9
認定状況	要支援1、2	265	45	4	148	27	28	109	34	1	23	10	36
		100.0	17.0	1.5	55.8	10.2	10.6	41.1	12.8	0.4	8.7	3.8	13.6
	要介護1、2	265	60	15	159	33	30	133	46	2	13	5	28
	100.0	22.6	5.7	60.0	12.5	11.3	50.2	17.4	0.8	4.9	1.9	10.6	
	要介護3以上	130	33	3	86	5	7	43	17	6	13	3	8
	100.0	25.4	2.3	66.2	3.8	5.4	33.1	13.1	4.6	10.0	2.3	6.2	

3 介護者の就労について

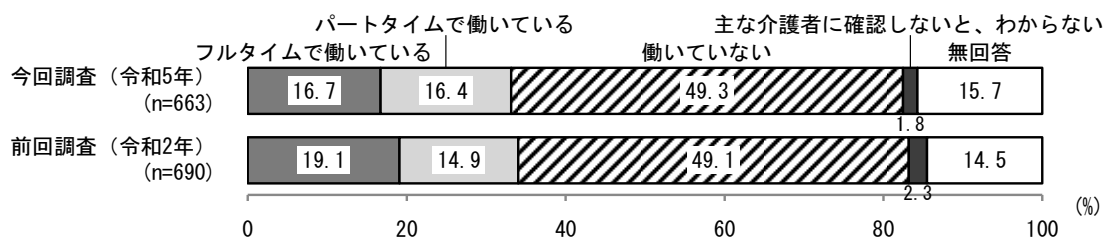
[1] 主な介護者の勤務形態

B票 問8 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください
(○は1つ)

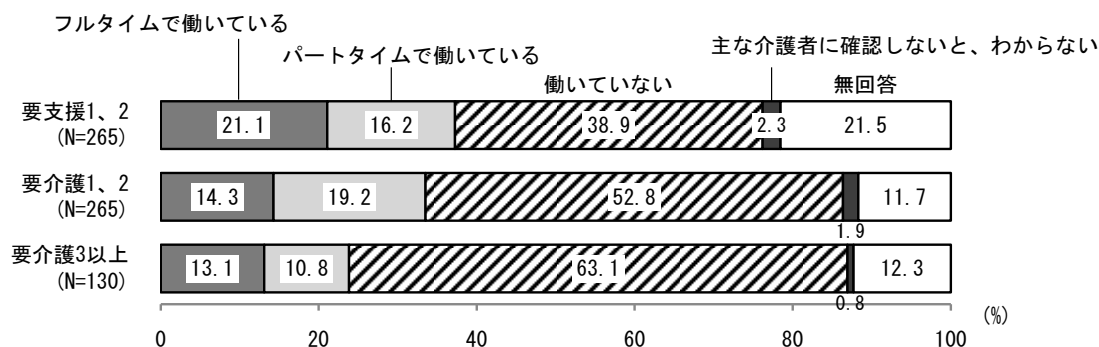
※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

介護者の勤務形態については、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた、『働いている』は合計 33.1%となっています。

要介護度別にみると、『働いている』は要支援1、2で 37.3%、要介護1、2で 33.5%、要介護3以上で 23.9%となっています。



【要介護度別 主な介護者の勤務形態】



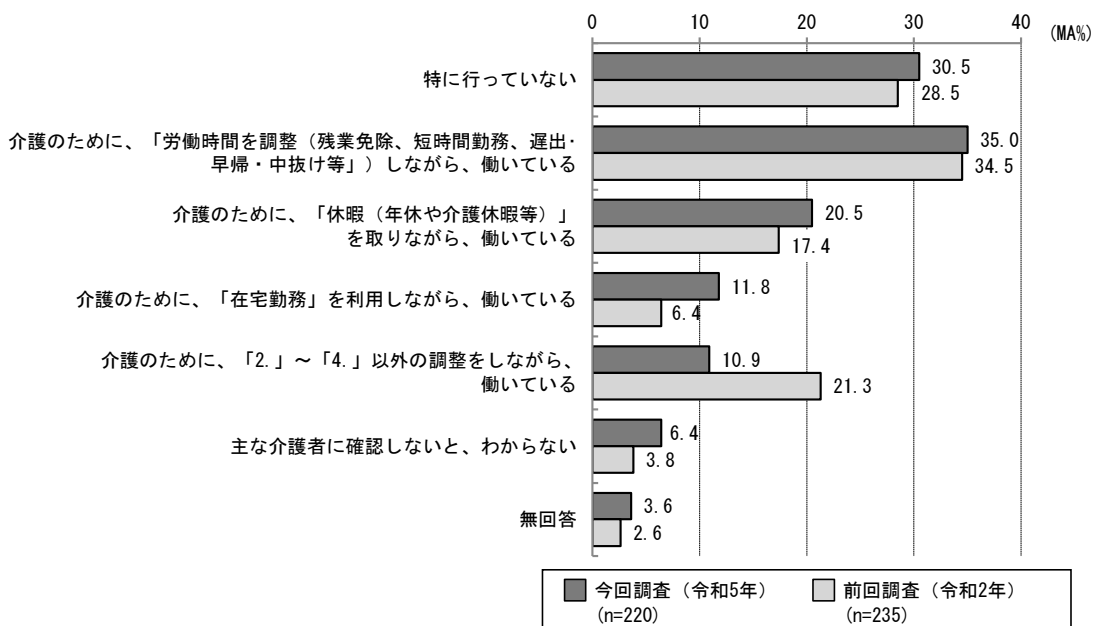
〔2〕主な介護者の方の働き方の調整

【問8で「1.」「2.」(働いている)とお答えの方のみ】

B票 問8-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（〇はいくつでも）

主な介護者の方の働き方については、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」の調節をしながら、働いている」が35.0%と最も多くなっています。前回調査に比べて、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が5.4ポイント増加しています。

要介護度別にみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」は、要介護1、2で40.4%、要介護3以上で48.4%と最も多くなっています。



【要介護度別 主な介護者の方の働き方の調整】

認定状況	n	(MA%)						
		特に行っていない	早帰・中抜け等	介護のために「労働時間を調整」	介護のために「休暇」	介護のために「在宅勤務」	介護のために「2.」～「4.」以外の調整	主な介護者に確認しないと、わからない
全体	220	67	77	45	26	24	14	8
	100.0	30.5	35.0	20.5	11.8	10.9	6.4	3.6
要支援1、2	99	37	25	13	9	11	11	7
	100.0	37.4	25.3	13.1	9.1	11.1	11.1	7.1
	89	25	36	20	12	9	2	1
	100.0	28.1	40.4	22.5	13.5	10.1	2.2	1.1
要介護3以上	31	5	15	11	5	4	1	0
	100.0	16.1	48.4	35.5	16.1	12.9	3.2	0.0

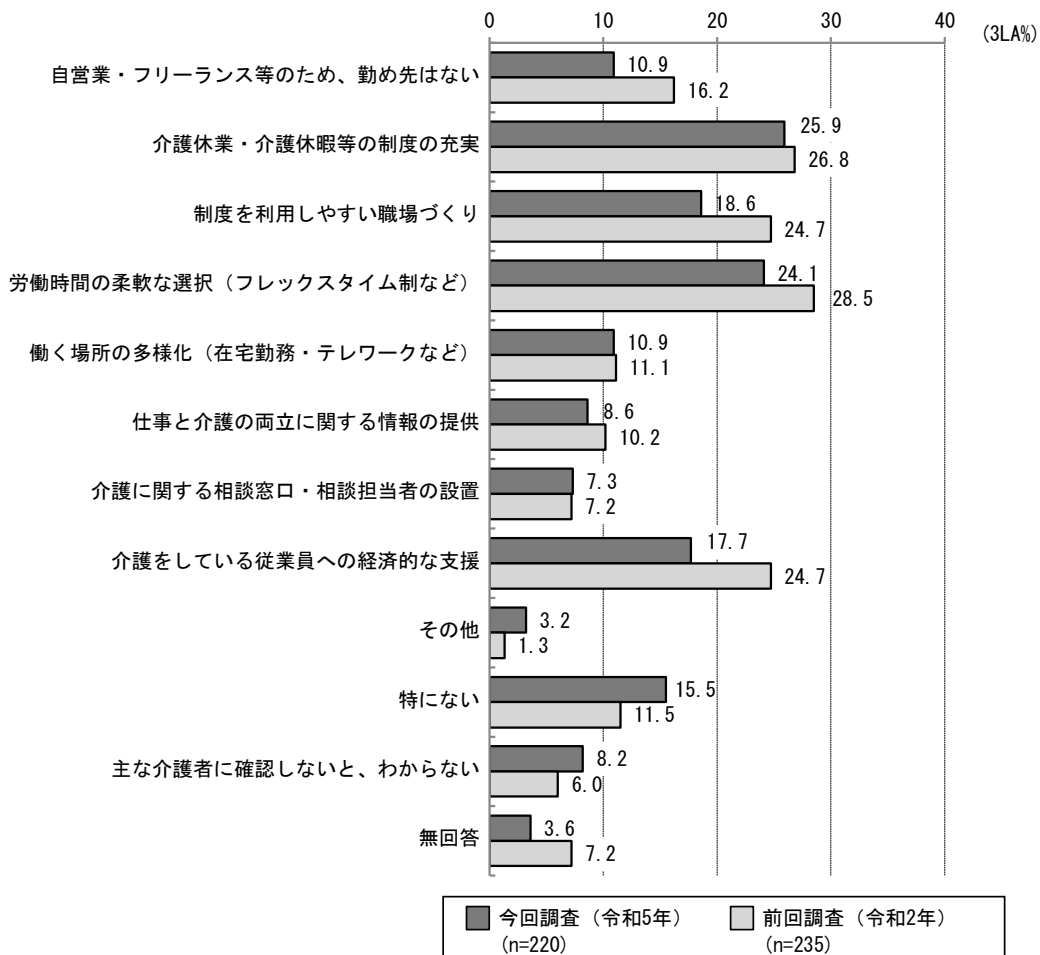
〔3〕就労の継続に効果的な勤め先からの支援

【問7で「1.」「2.」(働いている)とお答えの方のみ】

B票 問8-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（主なもの3つまでに○）

就労の継続のために必要な支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.9%と最も多く、次いで、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.1%となっています。

要介護度別にみると、要支援1、2、要介護3以上では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く、要介護1、2では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が28.1%と最も多くなっています。



【要介護度別 就労の継続に効果的な勤め先からの支援】

(3LA%)

	n	勤め先は ない	自営業・フリー ランス等のため、	介護休業・介護 休暇等の制度の充 実	制度を利用しやす い職場づくり	労働時間の柔軟な 選択など (フレックスタイム 制など)	働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワ ークなど)	仕事と介護の両立 に関する情報の 提供	介護に関する相談 窓口・相談担当 者の設置	介護をしている 従業員の経済的 な支援	その他
全体	220 100.0	24 10.9	57 25.9	41 18.6	53 24.1	24 10.9	19 8.6	16 7.3	39 17.7	7 3.2	
認定 状況	要支援1、2	99 100.0	10 10.1	21 21.2	15 15.2	19 19.2	8 8.1	7 7.1	10 10.1	11 11.1	4 4.0
	要介護1、2	89 100.0	13 14.6	24 27.0	18 20.2	25 28.1	14 15.7	10 11.2	5 5.6	16 18.0	2 2.2
	要介護3以上	31 100.0	1 3.2	12 38.7	8 25.8	9 29.0	2 6.5	1 3.2	1 3.2	11 35.5	1 3.2

	特 に ない	主 な 介 護 者 に 確 認 し な い と、 わ か ら ない	無 回 答	
全体	34 15.5	18 8.2	8 3.6	
認定 状況	要支援1、2	15 15.2	14 14.1	4 4.0
	要介護1、2	14 15.7	3 3.4	3 3.4
	要介護3以上	5 16.1	1 3.2	1 3.2

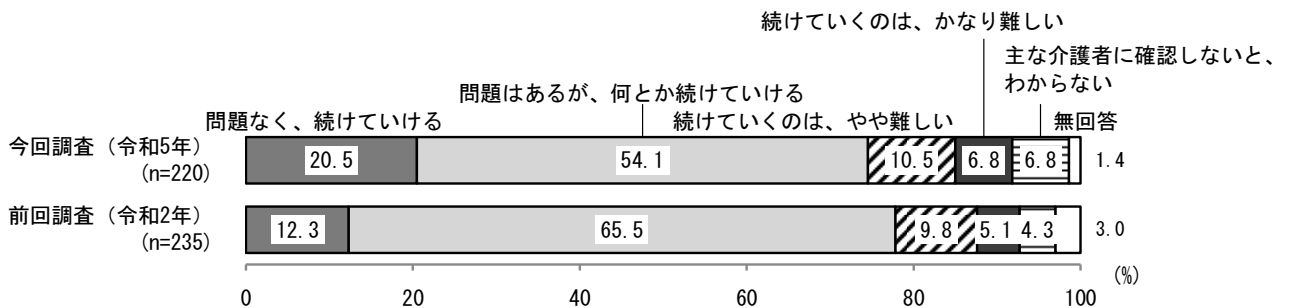
[4] 主な介護者の就労継続の可否

【問7で「1.」「2.」(働いている)とお答えの方のみ】

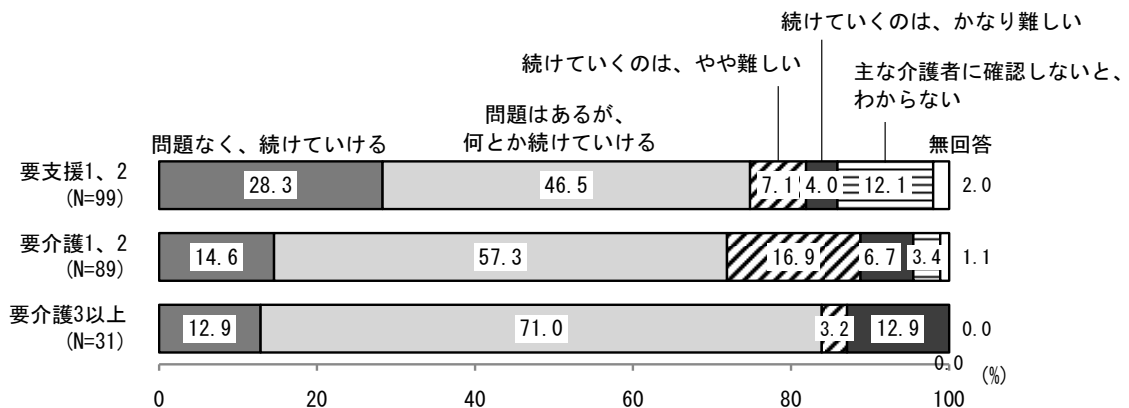
B票 問8-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか
(1つに○)

主な介護者の就労継続の可否について、「問題なく、続けていける」と「問題あるが、何とか続けていける」を合わせた『続けていける』は合計 74.6%となっていますが、「問題はある」と回答している人が 54.1%となっています。前回調査に比べて、「問題なく続けていける」は 8.2 ポイント増加しています。

要介護度別にみると、要支援 1、2 では「問題なく続けていける」が 28.3%と、他の区分に比べて多く、要介護 3 以上では「続けていくのは、かなり難しい」が 12.9%と他の区分に比べて多くなっています。



【要介護度別 主な介護者の就労継続の可否】

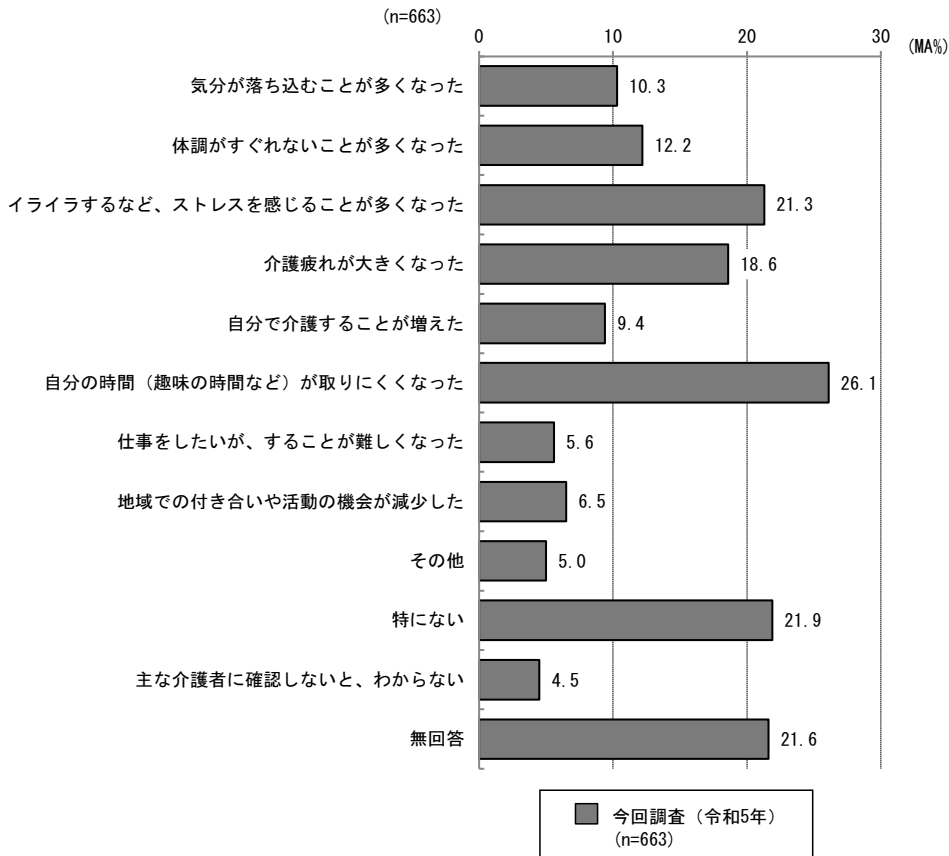


〔5〕新型コロナウイルス感染症が主な介護者に与えた影響について

B票 問9 主な介護者の方は、新型コロナウイルス感染症の影響により、以下のような変化はありましたか（〇はいくつでも）

新型コロナウイルス感染症の影響については、「自分の時間（趣味の時間など）が取りにくくなった」が 26.1%と最も多く、次いで、「イライラするなど、ストレスを感じるが多くなった」が 21.3%、「介護疲れが大きくなった」が 18.6%となっていますが、一方で「特にない」も 2割ほどみられます。

要介護度別にみると、「自分の時間（趣味の時間など）が取りにくくなった」は要介護3以上で 36.2%と、他の区分に比べて多くなっています。



【要介護度別 新型コロナウイルス感染症の影響について】

認定状況	n	(MA%)												
		気分が落ち込むことが多くなった	体調がすぐれないことが多くなった	イライラするなど、ストレスを感じるが多くなった	介護疲れが大きくなった	自分で介護することが増えた	自分の時間（趣味の時間など）が取りにくくなった	仕事をしたいが、することが難しくなった	地域での付き合いや活動の機会が減少した	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	663	68	81	141	123	62	173	37	43	33	145	30	143	
	100.0	10.3	12.2	21.3	18.6	9.4	26.1	5.6	6.5	5.0	21.9	4.5	21.6	
認定状況	要支援1、2	265	21	26	45	25	14	47	7	15	11	58	21	73
		100.0	7.9	9.8	17.0	9.4	5.3	17.7	2.6	5.7	4.2	21.9	7.9	27.5
	要介護1、2	265	34	38	65	63	28	76	21	17	15	60	7	48
	100.0	12.8	14.3	24.5	23.8	10.6	28.7	7.9	6.4	5.7	22.6	2.6	18.1	
要介護3以上	130	12	16	30	34	19	47	8	10	7	27	2	22	
	100.0	9.2	12.3	23.1	26.2	14.6	36.2	6.2	7.7	5.4	20.8	1.5	16.9	

調查票

第10次芦屋すこやか長寿プラン2-1策定に向けたアンケート調査 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

市民の皆様には、平素より市政の推進に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、本市では、必要なサービス基盤の整備に向けて、3年を1期とする計画を策定しており、次期計画「第10次芦屋すこやか長寿プラン2-1」の策定に向けた基礎資料とするため、今般アンケート調査を実施します。

この調査は、皆様の介護サービスの質の向上を目的に、生活の実態や介護保険に対する考え・意向などを把握するためのものであり、調査結果は、今後の高齢者福祉事業及び介護保険事業の充実に活用します。なお、アンケートは無記名であり、ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、本調査で得られたデータは、本調査の目的以外には利用しません。

大変お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年2月

芦屋市

本調査はウェブでの回答が可能です。(ウェブ回答にご協力をお願いいたします。)

ウェブブラウザのURL欄に、下記URLを入力してください。

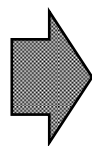
URL <https://src.webcas.net/form/pub/src2/ashiyashi1>

または、右記のQRコードを読み取り、アクセスしてください。



※あて名のご本人が何らかの事情により、**回答できない(代筆も困難な)場合**には、その理由について、下記の中から、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 病院などに入院中
2. 介護保険施設などに入所中
3. 市街転出
4. 死亡
5. その他()



これらのいずれかに該当する場合は、これ以降の質問にお答えいただく必要はありません。お手数をおかけいたしますが、同封の返信用封筒に入れて、この**調査票をご返送ください**。

◆ この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

本調査に関するコールセンター(電話)0120-186-189(フリーダイヤル)

これは芦屋市の高齢者福祉施策についてのアンケート調査票です。

ふりがな付きのアンケート調査票が必要な場合は、ご連絡ください。

芦屋市福祉部 高齢介護課 e-mail: koureikaigo@city.ashiya.lg.jp

Survey on the Elderly Welfare in Ashiya City

If you need a Japanese with furigana version of the questionnaire, please contact the office below:

Ashiya City Senior Citizens' Long-term Care Section

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(3) 15分位続けて歩いていますか(1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(1つに○)			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか(1つに○)			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか(1つに○)			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2~4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(1つに○)			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
(8) 外出する際の移動手段は何ですか(○はいくつでも)			
1. 徒歩	2. 自転車		
3. バイク	4. 自動車(自分で運転)		
5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車		
7. 路線バス⇒ (8)-1~3へ	8. 病院や施設のバス		
9. 車いす	10. 電動車いす(カート)		
11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー		
13. その他()			
【(8)で「7.路線バス」とお答えの人】※それ以外の方は問3へ			
(8)-1 ご本人が、普段利用する路線バスは何ですか(○はいくつでも)			
1. 阪急バス	2. 阪神バス		
3. みなと観光バス	4. その他()		
(8)-2 ご本人が、路線バスを利用する理由は何ですか(○はいくつでも)			
1. 停留所が自宅に近いから	2. 他に移動手段がないから		
3. 行きたい場所に運行するから	4. 車の運転ができないから		
5. 利用したい時間帯に運行しているから	6. 利用しやすい運賃だから		
7. 運賃助成で半額になるから	8. その他()		
(8)-3 ご本人が、路線バスを利用する目的は何ですか(○はいくつでも)			
1. 買い物	2. 通院		
3. 趣味・教養の活動	4. スポーツ		
5. ボランティア活動	6. 老人クラブ活動		
7. 自治会・町内会の活動	8. 通勤		
9. その他()			

問 3 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1)ご本人は、新型コロナウイルス感染症の影響で、以下のような変化はありましたか
(○はいくつでも)

1. 体力が低下した
2. 足腰などの筋力が低下した
3. 気分が落ち込むことが多くなった
4. イライラするなど、ストレスを感じるが多くなった
5. 身だしなみなどに気をつかわなくなった
6. 物忘れをすることが多くなった
7. 特に変化はない
8. その他()

(2) コロナ禍前と現在を比較して、ご本人の日常生活はどのように変化しましたか。
(それぞれに○は1つ)※⑯については、自由記述欄となっています。

	減少した	変わらない	増加した
①買物の頻度、回数	1	2	3
②外出機会の頻度、外食の頻度、回数	1	2	3
③友人等への訪問や来訪	1	2	3
④通院の頻度、回数	1	2	3
⑤介護サービスの利用頻度、回数	1	2	3
⑥体操等の運動習慣	1	2	3
⑦趣味のサークル、老人クラブ等の活動への参加頻度、回数	1	2	3
⑧地域での活動への参加頻度、回数	1	2	3
⑨収入のある仕事の頻度、回数	1	2	3
⑩テレビの視聴時間	1	2	3
⑪読書の頻度、回数	1	2	3
⑫料理の頻度、回数	1	2	3
⑬家族や友人と過ごす時間	1	2	3
⑭SNS、インターネットを利用・閲覧する頻度、回数	1	2	3
⑮非対面でのコミュニケーション(電話、ビデオ通話、メール等)	1	2	3
⑯その他()	1	2	3

(2)-1 「減少した」を選択した理由は何ですか(○はいくつでも)

1. コロナに感染する可能性があるから
2. 行動する気分にならなかったから
3. 周りも自粛していたから
4. 身体的につらかったから
5. 経済的に苦しかったから
6. その他()

(2)-2 「増加した」を選択した理由は何ですか(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. コロナに感染する不安を感じないから | 2. 室内にいる時間が多くなったから |
| 3. 健康を維持したいから | 4. 気分転換をしたいから |
| 5. 意識的に外出の機会を増やしているから | 6. その他() |

(3)コロナ禍の後に取り組みたいことは何ですか

(自由記述:例「気分転換に旅行に行ってみたい」「お気に入りのレストランで外食をしたい」等)

問 4 食べることについて

(1) 身長・体重 身長

--	--	--

 cm 体重

--	--	--

 kg

(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい 2. いいえ

(5) 口の渇きが気になりますか

1. はい 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(1つに○)

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(7) どなたかと食事をとる機会がありますか(1つに○)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか	
1. はい⇒ (13)-1 へ	2. いいえ⇒ (14)へ
【(13)で「1. はい」とお答えの人】	
(13)-1 記事や番組を参考にして、自宅で何に取り組んでいますか(○はいくつでも)	
1. バランスの取れた食事	2. 体操や散歩など定期的な運動
3. 趣味活動等のストレス解消	4. 禁煙や禁酒
5. 歯と口の健康保持	6. 感染症対策
7. その他()	
(14) 友人の家を訪ねていますか	
1. はい	2. いいえ
(15) 家族や友人の相談にのっていますか	
1. はい	2. いいえ
(16) 病人を見舞うことができますか	
1. はい	2. いいえ
(17) 若い人に自分から話しかけることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(18) ご本人の日常生活の中での楽しみは何ですか(○はいくつでも)	
1. 働くこと	2. 学習や教養を高めるための活動
3. スポーツ	4. 趣味の活動
5. ボランティア活動	6. 老人クラブ活動
7. 自治会・町内会の活動	8. 旅行
9. 買い物	10. 孫など家族と会ったりすること
11. その他()	12. 特にない
(19) ご本人は、現在、収入のある仕事をしていますか(1つに○)	
1. はい(正規職員)⇒ (20)へ	2. はい(非正規職員)⇒ (20)へ
3. 働いていない⇒ (19)-1 へ	
【(19)で「3. 働いていない」とお答えの人】	
(19)-1 今後、働いてみたいという意向はありますか	
1. はい(正規職員)	2. はい(非正規職員)
3. はい(どちらでも可)	4. いいえ
(20) ご本人が、働き方で重視する条件はどれですか(○はいくつでも)	
1. 経験、知識を生かせる仕事	2. 労働時間を選べる仕事
3. 自分の体力に合った仕事	4. 収入
5. 地域に貢献できる仕事	6. 人と交流できる仕事
7. その他()	8. わからない

(1)-1 現在参加していない活動のうち今後参加したい活動は何ですか(○はいくつでも)	
1. ボランティアのグループ	2. スポーツ関係のグループ・クラブ
3. 趣味関係のグループ	4. 学習・教養サークル
5. 介護予防の場(さわやか教室、介護予防センターなど)	
6. 通いの場(つどい場、ワンコインサロン、生きがいデイサービスなど)	
7. 老人クラブ	8. 町内会・自治会
9. 収入のある仕事	10. その他()
(2) ご本人が、地域でお手伝いできることは何ですか(○はいくつでも)	
1. 話し相手、相談相手	2. 声掛け、見守り、安否確認
3. 買い物やごみ出しの手伝い	4. 子育ての手伝い(送迎、見守り等)
5. 緊急時の看病や救急車を呼ぶなどの手助け	6. 健康づくり活動や介護予防につながる活動
7. その他()	8. 特にない
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか(1つに○)	
1. 是非参加したい⇒ (3)-1 へ	2. 参加してもよい⇒ (3)-1 へ
3. 参加したくない⇒ (4) へ	4. 既に参加している⇒ (3)-1 へ
【(3)で「1.是非参加したい」「2.参加してもよい」「4.既に参加している」のいずれかとお答えの人】	
(3)-1 参加したい(参加している)と考えた理由は何ですか(○はいくつでも)	
1. 友人・知人が参加している(誘われた)から 2. 新しい友人ができるから	
3. 生活に充実感が得られるから 4. 健康・体力の向上のため	
5. 場所が近い(徒歩で行ける範囲)から 6. 趣味活動等を増やしたいから	
7. その他()	
(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)として</u> 参加してみたいと思いますか(1つに○)	
1. 是非参加したい⇒ (4)-1 へ	2. 参加してもよい⇒ (4)-1 へ
3. 参加したくない⇒ (5) へ	4. 既に参加している⇒ (4)-1 へ
【(4)で「1.是非参加したい」「2.参加してもよい」「4.既に参加している」のいずれかとお答えの人】	
(4)-1 参加したい(参加している)と考えた理由は何ですか(○はいくつでも)	
1. 友人・知人が参加している(誘われた)から 2. 新しい友人ができるから	
3. 生活に充実感が得られるから 4. 技術・経験を生かすことができるから	
5. 地域社会に貢献できるから 6. 企画・運営に興味があるから	
7. その他()	

(5)ご本人が、普段から交流や付き合いのある方はどなたですか(○はいくつでも)	
1. 同居する家族	2. 離れて住む家族
3. 近くに住む同世代の人	4. 自分より若い世代の人
5. 自分より年上の世代の人	6. 地域の子ども
7. 地域の店や事業所で働く人	8. 外国籍の人
9. その他()	10. 特に付き合いのある人はいない
(5)-1 ご本人が、今後新たに交流や関わり合いを持ちたいと思う方はどなたですか(○はいくつでも)	
1. 離れて住む家族	2. 近くに住む同世代の人
3. 自分より若い世代の人	4. 自分より年上の世代の人
5. 地域の子ども	6. 地域の店や事業所で働く人
7. 外国籍の人	8. その他()
9. 既に交流ができています	10. 新たに交流を持ちたいと思う人はいない

問7 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(○はいくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(○はいくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(○はいくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(○はいくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(○はいくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師	
5. 市役所	6. 高齢者生活支援センター	
7. その他()		
8. そのような人はいない(家族や友人・知人以外に相談する人はいない)		
(6) ご本人のお住いを担当する「高齢者生活支援センター」を知っていますか(1つに○)		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【高齢者生活支援センターとは】 介護や健康、福祉等の生活に関する身近な総合相談窓口となる「地域包括支援センター」の芦屋市における愛称</p> </div>		
1. はい⇒ (6)-1 へ	2. いいえ⇒ (7) へ	
【(6)で「1. はい」とお答えの人】		
(6)-1 ご本人やご家族は、高齢者生活支援センターを利用したことがありますか(1つに○)		
1. はい⇒ (7) へ	2. いいえ⇒ (6)-2 へ	
【(6)で「2. いいえ」とお答えの人】		
(6)-2 その理由は何ですか		
1. 相談することがないから	2. 何を相談したらよいのかわからないから	
3. 近くにない・交通手段がないから	4. その他()	
(7) ご本人は、「成年後見制度」について知っていますか(1つに○)		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【成年後見制度とは】 認知症高齢者など、判断能力の不十分な方を法律面や生活面で支援する制度 (さまざまな契約の支援や財産管理の支援など)</p> </div>		
1. よく知っている ⇒ (7)-1 へ	2. 少し知っている ⇒ (7)-1 へ	
3. よく知らないが聞いたことがある ⇒ 問8 へ	4. まったく知らない ⇒ 問8 へ	
【(7)で「1.よく知っている」または「2.少し知っている」とお答えの人】		
(7)-1 今後、成年後見制度を利用したいですか(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	3. わからない

問 8 健康について

(1) 現在の健康状態はいかがですか(1つに○)

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

(2) 現在、どの程度幸せですか(1つに○)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

(とても不幸) ←————→ (とても幸せ)

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) あなたは、かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師を決めていますか(○はいいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かかりつけ医師がいる | 2. かかりつけ歯科医師がいる |
| 3. かかりつけ薬剤師がいる | 4. 決めていない |

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(○はいいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. ない | |
| 2. 高血圧 | 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) |
| 4. 心臓病 | 5. 糖尿病 |
| 6. 高脂血症(脂質異常) | 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎、肺気腫等) |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 9. 腎臓・前立腺の病気 |
| 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) | 11. 外傷(転倒・骨折等) |
| 12. がん(悪性新生物) | 13. 血液・免疫の病気 |
| 14. うつ病 | 15. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 16. パーキンソン病 | 17. 目の病気 |
| 18. 耳の病気 | 19. その他 |

(8) ご本人は、この1年または2年の間に、以下の定期健診・検診を受けていますか。
(○はいくつでも) ※過去に受けたことがあっても、1～2年以上前に受けたものは含みません

《この1年間に受けたものに○》

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1. 特定健康診査 | 2. 後期高齢者医療健康診査 |
| 3. 人間ドック | 4. 職場での健診 |
| 5. 肺がん検診 | 6. 胃がん検診 |
| 7. 大腸がん検診 | 8. 前立腺がん検診 ※ <u>男性のみ</u> |
| 9. 骨粗しょう症検診 | 10. 歯科健診 |

《この2年間に受けたものに○》※女性のみ

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 11. 乳がん検診 | 12. 子宮頸がん検診 |
| 13. いずれも受けていない ※過去に受けたことがある場合を含みます | |

(9) 介護予防のために取り組みたいことは何ですか(○はいくつでも)

【介護予防とは?】 要介護状態等になることの予防や要介護状態等の軽減・悪化の防止を目的に行う活動

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. ストレッチ運動や筋力トレーニング | 2. 体操教室への参加 |
| 3. ウォーキングなどの屋外活動 | 4. 食事や栄養の改善 |
| 5. 歯科衛生や口腔ケア | 6. 認知症の予防 |
| 7. その他() | 8. 特にない(わからない) |

問9 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) あなた(ご本人)は、認知症になる(患う)と思いますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) ご本人は、認知症に関する相談窓口を知っていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 認知症予防の方法として、重要なことは何だと思えますか(○は主なもの3つまで)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 家族や隣人等との会話 | 2. 運動やスポーツ |
| 3. 早期発見のための受診 | 4. 単調な生活を送らないようにする |
| 5. 生活習慣病にかからないようにする | 6. 仕事をする |
| 7. その他() | |

(5) 認知症の人への支援には、何が重要だと思いますか(○は主なもの3つまで)

1. 医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり
2. 予防教室・講演会など市民に対する啓発
3. 家族の交流会・相談会などの支援
4. 認知症の介護・コミュニケーション方法等の家族向け研修会の開催
5. 認知症を見守るボランティアなどの仕組みづくり
6. 認知症による行方不明の高齢者などに対する福祉サービス制度の充実
7. 認知症グループホーム・特別養護老人ホームなどの施設整備
8. 成年後見制度・虐待防止などの制度の充実
9. 若年性認知症(64歳以下の発症)に対する支援
10. 認知症の当事者・家族が集まれる場所(認知症カフェなど)
11. 関係機関のネットワークづくり
12. 困ったときに訪問し、関係機関につないでくれる相談窓口の周知・啓発
13. その他()

(6) ご本人またはご家族の方が、ご本人のための認知症セルフチェックをしたことがありますか(1つに○)

【認知症セルフチェックとは】

認知症かどうかを自分で簡単に調べることができるチェックシート。本市のホームページでは、「これって認知症？」というページを用意しています。

1. したことがある⇒ (6)-1へ 2. 定期的に行っている⇒ (6)-1へ 3. したことがない⇒ 問10へ

【(6)で「1.したことがある」または「2. 定期的に行っている」とお答えの人】

(6)-1 認知症セルフチェックをした後、ご本人はどのような行動をとりましたか

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 何もしなかった | 2. 家族・親戚に相談した |
| 3. 友人・知人に相談した | 4. かかりつけ医に相談した |
| 5. 専門医に相談した | 6. 市役所に相談した |
| 7. 高齢者生活支援センターに相談した | 8. どうしたらよいかわからなかった |
| 9. その他() | |

問 10 災害時や緊急時の対応などについて

(1) ご本人は、災害時(台風や地震など)や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか(1つに○)

1. 誰かの援助がないと、避難できない
2. 誰かの声かけがあれば、自分で避難できる
3. 自力、あるいは同居の家族の援助で避難できる

(2) ご家庭では、緊急時や災害時に備えていることはありますか(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 飲料水や食品の備蓄 | |
| 2. 生活用品や衛生用品(カセットコンロ、オムツ)の準備 | |
| 3. 防災ラジオの設置や防災アプリへの登録 | 4. 緊急・災害時要援護者台帳への登録 |
| 5. 救急医療キットの設置 | 6. 避難経路や避難所の確認 |
| 7. 防災訓練への参加 | 8. 家族との話し合いをしている |
| 9. 近隣の人と話し合いをしている | 10. 担当のケアマネジャーと話し合いをしている |
| 11. その他() | |

(3) ご本人に災害が起こった場合、どのようなことが不安ですか(○はいくつでも)

1. 災害に関する情報が入手できるかわからない
2. どこ(だれ)に助けをもとめてよいかわからない(身近に頼れる人がいない)
3. 安全な場所まで自力で避難できるかわからない
4. 地域の避難場所がどこなのか知らない
5. 地域の危険な箇所がわからない
6. 防災グッズや非常食を常備していない
7. 災害時用伝言ダイヤル(171)や伝言板の利用方法がわからない
8. 健康面・身体面に不安がある(治療の必要な持病がある、歩きづらいなど)
9. その他()
10. 不安は特にない

問 11 今後のサービスの利用について

(1) 今後、自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けられると思いますか(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 在宅で受けられるサービス | 2. 短期入所や通所のサービス |
| 3. 医療サービス | 4. 地域での相談窓口 |
| 5. その他() | 6. わからない |

(2) ご本人は、どのような場所で介護を受けたいですか(最も近いもの1つに○)

- | | |
|---|------------------|
| 1. 現在の居宅 | 2. 別居している子どもや親類宅 |
| 3. 介護保険施設(特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院) | |
| 4. 有料老人ホーム | 5. サービス付き高齢者向け住宅 |
| 6. 長期入院ができる病院 | 7. その他() |

(3) 高齢者への支援には、何が必要だと思いますか(○は主なもの3つまで)

1. 高齢者の働く場の確保(就労機会の拡大)
2. 世代間交流の場づくり
3. 生きがいをもてるような活動機会の拡大
4. ボランティア活動の育成・充実
5. 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進
6. 地域での定期的なリハビリテーション事業の推進
7. 退院後等に行う短期集中型のリハビリテーション事業の推進
8. 介護している家族への支援
9. 介護保険施設(特養などの入所施設)、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の充実
10. 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実
11. 往診・緊急時の対応など医療体制の充実
12. 認知症施策の充実
13. 建物・道路等を高齢者に配慮したまちづくり
14. 災害時の避難誘導體制の充実
15. 健康づくり・介護予防の充実
16. 移動手段の充実
17. その他()
18. 特にない

問 12 自由意見

◆最後に、ご意見・ご要望等がありましたら、遠慮なくお聞かせください

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました

第10次芦屋すこやか長寿プラン21策定に向けたアンケート調査

【在宅介護実態調査】

市民の皆様には、平素より市政の推進に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、本市では、必要なサービス基盤の整備に向けて、3年を1期とする計画を策定しており、次期計画「第10次芦屋すこやか長寿プラン21」の策定に向けた基礎資料とするため、今般アンケート調査を実施します。

この調査は、皆様の介護サービスの質の向上を目的に、生活の実態や介護保険に対する考え・意向などを把握するためのものであり、調査結果は、今後の高齢者福祉事業及び介護保険事業の充実に活用します。なお、アンケートは無記名であり、ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、本調査で得られたデータは、本調査の目的以外には利用しません。大変お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年2月

芦屋市

本調査はウェブでの回答が可能です。(ウェブ回答にご協力をお願いいたします。)

ウェブブラウザのURL欄に、下記URLを入力してください。

URL <https://src.webcas.net/form/pub/src2/ashiyashi1>

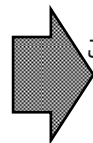
または、右記のQRコードを読み取り、アクセスしてください。



※あて名のご本人が何らかの事情により、**回答できない(代筆も困難な)場合**には、

その理由について、下記の中から、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 病院などに入院中
2. 介護保険施設などに入所中
3. 市街転出
4. 死亡
5. その他()



これらのいずれかに該当する場合は、

これ以降の質問にお答えいただく必要はありません。

お手数をおかけいたしますが、同封の返信用

封筒に入れて、この**調査票をご返送ください**。

◆ この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

本調査に関するコールセンター(電話)0120-186-189(フリーダイヤル)

これは芦屋市の高齢者福祉施策についてのアンケート調査票です。

ふりがな付きのアンケート調査票が必要な場合は、ご連絡ください。

芦屋市福祉部 高齢介護課 e-mail: koureikaigo@city.ashiya.lg.jp

Survey on the Elderly Welfare in Ashiya City

If you need a Japanese with furigana version of the questionnaire, please contact the office below:

Ashiya City Senior Citizens' Long-term Care Section

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方の中から無作為に抽出した方です。
2. ご回答にあたっては、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. 各質問について、あてはまるお答えの番号に○(または文字など)を記入してください。なお、質問によっては、“○は3つまで”など、○の数が決まっている場合がありますのでご注意ください。
4. 回答で「その他」を選んだ場合は、()内に具体的に記入してください。
5. 令和5年1月1日現在の状況を記入してください。
6. 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、令和5年2月15日(水)までにポストに投函し、ご返送ください。(※切手は不要です)

A票

あて名のご本人について、お伺いします

記入者	1. あて名のご本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. その他()
-----	--

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つに○)		
1. 単身世帯	2. 夫婦のみの世帯	3. その他()

問2 ご本人が現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(○はいくつでも)	
1. ない 2. 高血圧 4. 心臓病 6. 高脂血症(脂質異常) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 12. がん(悪性新生物) 14. うつ病 16. パーキンソン病 18. 耳の病気	3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 5. 糖尿病 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎、肺気腫等) 9. 腎臓・前立腺の病気 11. 外傷(転倒・骨折等) 13. 血液・免疫の病気 15. 認知症(アルツハイマー病等) 17. 目の病気 19. その他()

問3 ご本人は、この1年または2年の間に、以下の定期健診・検診を受けていますか
 (○はいくつでも) ※過去に受けたことがあっても、1～2年以上前に受けたものは含みません

◀ ↓この1年間に受けたものに○ ▶

- | | | |
|-----------|--------------------------|-------------|
| 1. 特定健康診査 | 2. 後期高齢者医療健康診査 | 3. 人間ドック |
| 4. 職場での健診 | 5. 肺がん検診 | 6. 胃がん検診 |
| 7. 大腸がん検診 | 8. 前立腺がん検診 ※ <u>男性のみ</u> | 9. 骨粗しょう症検診 |
| 10. 歯科健診 | | |

◀ ↓この2年間に受けたものに○ ▶ ※女性のみ

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 11. 乳がん検診 | 12. 子宮頸がん検診 |
| 13. いずれも受けていない ※過去に受けたことがある場合を含みます | |

問4 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか(1つに○)
 ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つに○)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

問6 ご本人は、令和5年1月の1か月の間に(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 利用した ⇒ 問 6-1 へ | 2. 利用していない ⇒ 問 6-2 へ |
|-------------------|----------------------|

問 6-1 問6で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和5年1月の1ヶ月間の利用状況をご回答ください。

対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1.利用していない)」を選択してください。(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
(※回答例)●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A.訪問介護(ホームヘルパー)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B.訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C.訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D.訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E.通所介護(デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F.通所リハビリテーション(デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G.夜間対応型訪問介護 (訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	利用の有無(1つに○)	
H.定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I.小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J.看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21 日程度	月22日 以上
K.ショートステイ	0回	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
L.居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回

【問6で「2.利用していない」とお答えの方にお聞きします】

問6-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(○はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他()

【すべての方にお聞きします】

問7 現在、ご本人が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてご回答ください
(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他() |
| 11. 利用していない | |

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(○はいくつでも)
 ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともを含みます。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他(|
| 11. 特になし | |

問9 今後、ご本人の身の回りのことができなくなったとき、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けられると思いますか。(○はいくつでも)

【在宅で受けられるサービス】

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 訪問介護や訪問看護などの在宅サービス | 2. 緊急時に利用できる在宅介護サービス |
| 3. 夜間に定期的に巡回してくれるサービス | 4. 在宅介護に適した住宅の改修 |
| 5. 介護する家族のための健康管理 | 6. 介護する家族のための専門的な介護研修 |
| 7. 介護するかおくのための相談窓口の設置 | 8. 在宅で介護するための補助用品の支給 |

【入所や通所のサービス】

- | | |
|---|-------------------------------|
| 9. ショートステイなどの宿泊サービス、デイサービスなどの通所サービス | |
| 10. 「通い(デイサービス)」「訪問(訪問介護)」「泊り(ショートステイ)」が一体的に提供されるサービス | |
| 11. 有料老人ホームなどの居住施設 | 12. 状態が悪化したときなどに緊急で入れる施設 |
| 13. 認知症専門の通所サービス | 14. 認知症専門の共同生活介護サービス(グループホーム) |

【医療サービス】

- | | |
|---------------------|--------------|
| 15. 在宅で受けられる医療サービス | 16. 認知症専門の診療 |
| 17. 24時間対応できる病院、診療所 | |

【その他サービス】

- | | |
|---|-----------------|
| 18. 買い物を支援するサービス | 19. 通院を支援するサービス |
| 20. 食事を配達するサービス | |
| 21. 介護保険外のサービス(家事援助、身の周りの世界など) | |
| 22. 地域住民の助け合いや見守り(認知症による行方不明の高齢者の発見、通報など) | |
| 23. その他() | 24. わからない |

問10 ご本人は、災害時(台風や地震など)や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか
 (1つに○)

1. 誰かの援助がないと、避難できない
2. 誰かの声かけがあれば、自分で避難できる
3. 自力、あるいは同居の家族の援助で避難できる

問 11 ご家庭では、緊急時や災害時に備えていることはありますか(○はいくつでも)

1. 飲料水や食品の備蓄
2. 生活用品や衛生用品(カセットコンロ、オムツ)の準備
3. 防災ラジオの設置や防災アプリへの登録
4. 緊急・災害時要援護者台帳への登録
5. 救急医療キットの設置
6. 避難経路や避難所の確認
7. 防災訓練への参加
8. 家族との話し合いをしている
9. 近隣の人と話し合いをしている
10. 担当のケアマネジャーと話し合いをしている
11. その他()

問 12 ご本人に災害が起こった場合、どのようなことが不安ですか(○はいくつでも)

1. 災害に関する情報が入手できるかわからない
2. どこ(だれ)に助けをもとめてよいかわからない(身近に頼れる人がいない)
3. 安全な場所まで自力で避難できるかわからない
4. 地域の避難場所がどこなのか知らない
5. 地域の危険な箇所がわからない
6. 防災グッズや非常食を常備していない
7. 災害時用伝言ダイヤル(171)や伝言板の利用方法がわからない
8. 健康面・身体面に不安がある(治療の必要な持病がある、歩きづらいなど)
9. その他()
10. 不安は特にない

問 13 ご本人のお住いを担当する「高齢者生活支援センター」を知っていますか(1つに○)

【高齢者生活支援センターとは】

介護や健康、福祉等の生活に関する身近な総合相談窓口となる「地域包括支援センター」の芦屋市における愛称

1. はい⇒ (13)-1 へ

2. いいえ⇒ 問 14 へ

【問 13 で「1.はい」とお答の方にお聞きします】

問 13-1 ご本人やご家族は、高齢者生活支援センターを利用したことがありますか(1つに○)

1. はい⇒ 問 14 へ

2. いいえ⇒ (13)-2 へ

【問 13 で「2.いいえ」とお答の方にお聞きします】

問 13-2 その理由は何ですか(○はいくつでも)

1. 相談することがないから
2. 何を相談したらよいのかわからないから
3. 近くにない・交通手段がないから
4. その他()

問 20 ご本人が、外出する際の移動手段は何ですか(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|---|------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 自動車(人に乗せてもらう) |
| 4. 電車 | 5. 路線バス⇒ 問 20-1~3 へ | 6. 病院や施設のバス |
| 7. 車いす | 8. 電動車いす(カート) | 9. 歩行器・シルバーカー |
| 10. タクシー(介護タクシーを含む) | | 11. その他() |

【問 20 で「5.路線バス」とお答えの方にお聞きます】

問 20-1 ご本人が、普段利用する路線バスは何ですか(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 阪急バス | 2. 阪神バス |
| 3. みなと観光バス | 4. その他() |

【問 20 で「5.路線バス」とお答えの方にお聞きます】

問 20-2 ご本人が、路線バスを利用する理由は何ですか(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 停留所が自宅に近いから | 2. 他に移動手段がないから |
| 3. 行きたい場所に運行するから | 4. 車の運転ができないから |
| 5. 利用したい時間帯に運行しているから | 6. 利用しやすい運賃だから |
| 7. 運賃助成で半額になるから | 8. その他() |

【問 20 で「5.路線バス」とお答えの方にお聞きます】

問 20-3 ご本人が、路線バスを利用する目的は何ですか(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 | 3. 趣味・教養の活動 |
| 4. スポーツ | 5. ボランティア活動 | 6. 老人クラブ活動 |
| 7. 自治会・町内会の活動 | 8. 通勤 | 9. その他() |

問 21 ご本人は、新型コロナウイルス感染症の影響により、以下のような変化はありましたか(○はいくつでも)

1. 体力が低下した
2. 足腰などの筋力が低下した
3. 気分が落ち込むことが多くなった
4. イライラするなど、ストレスを感じるが多くなった
5. 身だしなみなどに気をつかわなくなった
6. 物忘れをすることが多くなった
7. 特に変化はない
8. その他()

問 22 コロナ禍前と現在を比較して、ご本人の日常生活はどのように変化しましたか。

(それぞれに○は1つ)

	減少した	変わらない	増加した
①買物の頻度、回数	1	2	3
②外出機会の頻度、外食の頻度、回数	1	2	3
③友人等への訪問や来訪	1	2	3
④通院の頻度、回数	1	2	3
⑤介護サービスの利用頻度、回数	1	2	3
⑥体操等の運動習慣	1	2	3
⑦趣味のサークル、老人クラブ等の活動への参加頻度、回数	1	2	3
⑧地域での活動への参加頻度、回数	1	2	3
⑨収入のある仕事の頻度、回数	1	2	3
⑩テレビの視聴時間	1	2	3
⑪読書の頻度、回数	1	2	3
⑫料理の頻度、回数	1	2	3
⑬家族や友人と過ごす時間	1	2	3
⑭SNS、インターネットを利用・閲覧する頻度、回数	1	2	3
⑮非対面でのコミュニケーション(電話、ビデオ通話、メール等)	1	2	3
⑯その他()	1	2	3

問 22-1 「減少した」を選択した理由は何ですか(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. コロナに感染する可能性があるから | 2. 行動する気分にならなかったから |
| 3. 周りも自粛していたから | 4. 身体的につらかったから |
| 5. 経済的に苦しかったから | 6. その他() |

問 22-2 「増加した」を選択した理由は何ですか(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. コロナに感染する不安を感じないから | 2. 室内にいる時間が多くなったから |
| 3. 健康を維持したいから | 4. 気分転換をしたいから |
| 5. 意識的に外出の機会を増やしているから | 6. その他() |

問 23 コロナ禍の後に、ご本人が取り組みたいことは何ですか

(自由記述:例「気分転換に旅行に行ってみたい」「お気に入りのレストランで外食をしたい」等)

問 24 高齢者への支援には、何が重要だと思いますか(○は主なもの3つまで)

1. 高齢者の働く場の確保(就労機会の拡大)
2. 世代間交流の場づくり
3. 生きがいをもてるような活動機会の拡大
4. ボランティア活動の育成や充実
5. 隣近所や地域の助け合いや支え合い活動の推進
6. 地域での定期的なリハビリテーション事業の推進
7. 退院後等に行う短期集中型のリハビリテーション事業の推進
8. 介護している家族への支援
9. 介護保険施設(特養などの入所施設)や有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の充実
10. 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実
11. 往診や緊急時の対応など医療体制の充実
12. 認知症施策の充実
13. 建物や道路等のバリアフリー化など高齢者に配慮したまちづくり
14. 災害時の避難誘導體制の充実
15. 健康づくりや介護予防の充実
16. 移動手段の充実
17. その他()
18. 特にない

問 25 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(1つに○)

※同居していない子どもや親族等からの介護を含む。

1. ない ⇒ 調査はこれで終了です。
 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
 3. 週に1～2日ある
 4. 週に3～4日ある
 5. ほぼ毎日ある
- } ⇒ 次ページのB票へ進んでください

◆ご本人のご意見・ご要望等がありましたら、遠慮なくお聞かせください

- A票の問25(P.9)で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、あて名のご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします。

B票

主な介護者の方について、お伺いします

記入者	1. 主な介護者 2. あて名のご本人 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. その他()
-----	---

問1 主な介護者の方は、どなたですか(1つに○)		
1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者
4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他()

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つに○)			
1. 男性	2. 女性		
3. 1、2にあてはまらない	4. 答えたくない		

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つに○)		
1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(○はいくつでも)	
【身体介護】	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
【生活援助】	
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
【その他】	
15. その他()	16. わからない

問5 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(1つに○)※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。また、自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) | |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(1~17 から主なもの3つまでに○)※現状で行っているか否かは問いません。

【身体介護】

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |

【生活援助】

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

【その他】

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 15. その他() | |
| 16. 不安に感じていることは、特にな | 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問7 現在の生活を継続するために、主な介護者の方が必要だと感じる地域での支援は何ですか(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 24時間対応の相談体制 | 2. 介護者同士の家族の会 |
| 3. 緊急時の支援体制 | 4. いつでも誰かと話ができる場所 |
| 5. 気軽に声をかけてくれる人 | 6. 少し困った時に手伝ってくれる人 |
| 7. 有償でサービスを提供してくれる団体 | 8. その他() |
| 9. 特にな | 10. 主な介護者に確認しないとわからない |

問8 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つに○)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

- | | | |
|-----------------------|-----|---------------|
| 1. フルタイムで働いている | } ⇒ | 問 8-1~問 8-3 へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } ⇒ | 問9へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

【問8で「1.フルタイムで働いている」または「2.パートタイムで働いている」とお答えの方に、問8-1～問8-3についてお聞きます】

問8-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてありますか
(〇はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問8-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか
(主なもの3つまでに〇)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他()
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問8-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つに〇)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 主な介護者の方は、新型コロナウイルス感染症の影響により、以下のような変化はありましたか
(〇はいくつでも)

1. 気分が落ち込むことが多くなった
2. 体調がすぐれないことが多くなった
3. イライラするなど、ストレスを感じるが多くなった
4. 介護疲れが大きくなった
5. 自分で介護することが増えた
6. 自分の時間(趣味の時間など)が取りにくくなった
7. 仕事をしたいが、することが難しくなった
8. 地域での付き合いや活動の機会が減少した
9. その他()
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

◆主な介護者の方のご意見・ご要望等がありましたら、遠慮なくお聞かせください

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました

第10次芦屋すこやか長寿プラン21
策定に向けたアンケート調査

報告書

発行 芦屋市こども福祉部 福祉室 高齢介護課

〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7-6

電話 0797-38-2044

FAX 0797-38-2060

令和5年5月